

昭和63年度動物愛護館建築工事

意匠図		構造図	
A-1	表紙・図書目録	C-1	地盤改良図
A-2	特記仕様書(1)	C-2	構造特記仕様書・地質柱状図
A-3	特記仕様書(2)	C-3	構造特記仕様書 階1
A-4	特記仕様書(3)	C-4	構造特記仕様書 階2
A-5	仕上表	C-5	構造特記仕様書 階3
A-6	案内図・敷地求積図・公園等・面積表	C-6	構造特記仕様書 階4
A-7	建物求積図・面積表	C-7	基礎伏図
A-8	1階平面図	C-8	各階床伏図
A-9	2階平面図	C-9	基礎リスト
A-10	屋根伏図	C-10	各階柱リスト
A-11	立面図	C-11	梁リスト
A-12	1階展示室・2階研修室兼会議室・1・2階ホール 断面詳細図	C-12	スラブリスト
A-13	バルコニー部分断面詳細図・玄関部分断面詳細図	C-13	階段配筋詳細図・/壁リスト
A-14	バルコニー手すり詳細図・外部PS詳細図	C-14	外階段配筋詳細図
A-15	階段平面詳細図	C-15	Z通架構配筋詳細図
A-16	階段断面詳細図		
A-17	テラス部分詳細図・屋上点検口詳細図		
A-18	玄関回り詳細図		
A-19	外部階段詳細図		
A-20	舞台床伏図・断面図・下足入詳細図・受付廻り詳細図		
A-21	グルーミング室 詳細図		
A-22	グルーミング室 作業台・戸棚詳細図		
A-23	1階洗面所・便所詳細図		
A-24	2階洗面所・便所詳細図		
A-25	展開図 凡1		
A-26	展開図 凡2		
A-27	展開図 凡3		
A-28	展開図 凡4		
A-29	1階天井伏図		
A-30	2階天井伏図		
A-31	建具符号図		
A-32	建具表 凡1		
A-33	建具表 凡2		
A-34	外構配置図		
A-35	動物舎A,B平面図・立面図・断面詳細図・小屋伏図		
A-36	足洗場詳細図 アスファルト舗装・緑石・フェンス詳細図		
A-37	フェンス詳細図		
A-38	フェンス詳細図		
A-39	日影図		

マイクログラフ
121-11687

静岡県建設部
公共建築課
課長補佐
係長
主査
担当

建築工事特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事名称 昭和63年度 動物愛護館建築工事
2. 工事場所 静岡県彦根954・953・943-6 943-1 の一部
3. 地域

イ. 用途地域・一種住専・二種住専・住居・商業・近隣商業・準工業・工業・工専・指定なし

ロ. 防火地域・防火・準防火〇指定なし

ハ. その他 市街化調整地域
4. 敷地面積 1103.69 m²
5. 構造・規模

名称	構造・規模	建築面積(m ²)	延床面積(m ²)
動物愛護館	鉄筋コンクリート造 2階建	181.06	286.91
動物舎 A	木造平屋建	9.0	9.0
動物舎 B	木造平屋建	4.0	4.0
計		194.06	299.91

6. 工事範囲
- 設計図書(図面・特記仕様書・共通仕様書・設計書)及び現場説明事項・質疑応答書に示す範囲とする。また本工事施工にあたっては下記別途工事施工者と常に連絡を密にし、円滑な工事施工を図ること。
- ①. 電気工事 ②. 衛生工事 ③. 空調工事 4. 合併処理施設工事 5. 昇降機工事 6.

II. 仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載された事項の他は全て建設大臣官房官庁営繕部制定「建築工事共通仕様書」昭和 60 年度版による。
2. 設計図書の内容に明記がない場合又は相違ある場合は原則として本市監督員の指示によるほか次の優先順位による。1)現場説明事項(質疑応答書を含む) 2)特記仕様書 3)設計図面及設計書 4)共通仕様書 前記いずれかに記載あるもの又は技術上必要な材料及び工事は含むものとする。
3. 特記仕様は下記による。○印のついたものを適用する。◎印のない場合は※印及び⊗印を適用する。
4. 特記事項に記載の()内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は、当該表を示す。

章	項目	特記事項		
① 一般共通事項	①. 適用範囲等	●建築工事標準詳細図 建設大臣官房官庁営繕部監修(昭和 60 年版)		
	②. 提出書類	提出書類	部数	摘要
		①現場代理人等通知書	1	着手日までに提出 (第12号様式)
		②工程表	±2	着手日までに提出 (第10号様式)
		③着手届	±2	着手日までに提出 (第9号様式)
		④工事施工計画書	1	着手日までに提出
		⑤下請負人通知書	1	下請工事契約締結後速やかに提出(第8号様式)
		⑥現場代理人等経歴書	1	着手日までに提出
		⑦日報・月報	1	毎月5日まで及び、工事完成時に提出
		⑧工事写真	1	
		⑨残土処理調査書	3	
		⑩防水保証書	1	
		⑪材料品質証明書 試験成績書等	1	杭、コンクリート、鉄筋、鉄骨等 地盤改良工事
		⑫出来形検査申請書	1	(第19号様式)
		⑬完成届出書	1	(第17号様式)
		⑭支出命令書	1	部分払請求又は完成請求時
		⑮その他	1	下請業者との契約書の写し(下請業者と契約締結後速やかに提出)

③. 工事管理	本工事は最少限下記の工事担当者を専従させ、原則として他工事との兼務は認めないものとする。担当者はいずれも経歴書を提出し、本市監督員の承認を得ること。 ○現場代理人 1名(建設業法による) ○主任技術者 1名(○一級建築士・二級建築士・経験10年以上の技術者) ○係員 1名(・一級建築士 名・二級建築士 名 経験 3 年以上の技術者 名)
④. 工事写真	着手前より竣工迄各工種、工程毎に撮影すること(特に隠ぺい部は確実に)竣工写真はカラー写真とする。なお塗装工事にあっては、各塗膜層毎にカラーとすること。いずれも台紙に貼付け、内容説明を書き表紙をつけて竣工時に提出するが中間検査時等必要に応じてその都度提示するものとする。
⑤. 施工図等	施工図、加工図、現寸図、製作図、割付図等は事前に作成し本市監督員の承認を得たのち製作及び施工すること。
6. 技能士	・適用する ・適用しない (1.5.2) 適用工事種別 ・鉄筋工事・コンクリート工事・鉄骨工事・ブロック及びALCパネル工事 ・防水工事・石工事・タイル工事・木工事・屋根及びとい工事 ・左官工事・塗装工事・建具工事・内装工事・植栽工事
⑦. 建築材料等	建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等以上とする。ただし同等以上とする場合は監督員の承諾を受ける。
⑧. 発生材の処理	引き渡しを要するもの (1.1.9) ・なし ・あり ()
⑨設備工事との取合い	施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の開口部の補強(便器、ダクト等) ※駆動装置が電動による建具類の2次配線(連動操作盤以後)及び操作スイッチ(煙感知器、自動閉鎖装置、連動操作盤等) ※フローリングブロックの床の穴あけ ※トイレブース内設備関連補強 施工図 設備機器の位置、取合などの検討できる施工図を提出して監督員の承認を受ける。

② 仮設工事	①. 監督員事務所	※設ける ○設けない 監督員事務所の規模・1号・2号・3号・4号・5号 (2.3.1表) ○合板扉・波形亜鉛鉄板・鋼製波鉄板 高 2 m 敷地北・東南側境界 ・防護シート・防護金網 柱間1.8m 胴縁4段 控柱φ3.6m
	②. 仮囲い ③. 安全施設 ④. 工事用水 ⑤. 工事用電力	構内既存の施設・利用できる(※有償・無償) ⊗利用できない 構内既存の施設・利用できる(※有償・無償) ⊗利用できない (工事用電力、用水共構内既存の施設を有償で利用する場合は、子メーターを設置し使用料金を精算すること。
③ 土工事	①. 埋戻し・盛土 ②. 残土処分	・A種 ※B種 (3.2.3) (3.2.1表) ・場内処分 ・場内敷均し ・場内積置 (3.2.5.) ※場外搬出 { ・指定処分 地内 km内外 ・※自由処分 運搬距離 km内外 処分地の地名・地番・所有者・土量を明記の上写真を添付し提出のこと。

④ 地業工事	1. 既製コンクリート杭地業	(4.2.1) (4.2.3) (4.6.2)			
	杭の種類	高強度プレストレストコンクリート杭	外殻鋼管付コンクリート杭		
	規格、材質など	JISA5337規格品 ※A種 ・B種 ・	※認定品		
	長さ (m)				
	断面寸法 (mm)		φ	φ	
	鋼管厚さ		>mm		
	長期設計支持力(t/本)		t/本	t/本	
	継手の工法	※アーク溶接 ・			
	杭の施工法	(4.2.2)			
	・打撃工法 杭打機 ※ディーゼルハンマー ・ <	>			
⑤ 地業工事	・掘削工法 ※打撃併用工法 プレボーリングの掘削深さ及び径(m) <	> (4.2.2)			
	杭打機 ※ディーゼルハンマー ・ <	>			
	・セメントミルク工法 試験掘削(本) ※最初の1本 施工業者 <	>			
	杭の本数(本) ※最初の1本 ・	・			
	杭の種類 ※本杭と同じ ・	・			
	杭の寸法 長さ(m) 断面寸法(mm)	※本杭と同じ			
	設計支持力(t/本)	(4.6.3)			
	支持力の算定方法 ※昭和46年1月29日建設省告示第111号による。(4.6.5)				
	改良工 CS 10 180 kg/m ³ f _{cd} = 15 N/mm ² (長期) (日本セメント産産)				
	③. 捨コンクリート地業	コンクリートの種別 ※6.9.1表のB種 (4.9.1) 厚さ(mm) 50			
⑥ 断熱層	4. 防湿層 ⑤. 報告書	ポリエチレンフィルム⑦0.15mm、重ね幅縦横とも250mm以上 下記項目につき整理の上、監督員に2部提出する。改良エラストマス(難燃性) 杭配置図、杭の種類、長さ、断面寸法、数量、杭のメーカー、杭打施工図 設計支持力、打込機械名、杭打着手日、完了日、打込順位、打込深さ、最終沈下量、杭の支持力。			
	⑥. 断熱層	発泡ポリスチレン板 50 ⑦ 50 ダウ化エドマナム B-2 程度 ポリエチレンフィルム⑧ 0.15 付 (±間) ⑨ 30 (厚根スラブ) JIS-A-9511			

マイクロ NO. 121-11688	昭和 63 年度	昭和63年度 動物愛護館建築工事 工事設計図	図面名 特記仕様書(1)	縮尺 昭和 年 月 日	静岡市建設部	課長 課長補佐	係長	主査	設計	設計事務所 駿河建築設計事務所	担当者	施設 コード 図番 A・2・38
-----------------------	-------------	------------------------	-----------------	----------------	--------	------------	----	----	----	--------------------	-----	------------------------

鉄筋工事

①.鉄筋の種類

②.鉄筋の継手

3.帯筋

(5.1.1)(5.1.2)

鉄筋	類別	種別	径(mm)
・異形鉄筋	※A類 (JIS規格品)	・SD 30	10.13.16.19.22.25
		・SD 35	
		・	

(5.2.1)

接合方法	径(mm)
○重ね継手	全z
・ガス圧接	
・	

(5.2.5)(5.2.14図)

※H形・W-I形・S形(スパイラル筋)

①.設計基準強度

②.レデーミストコンクリート

③.細骨材の塩分含有量など

④.混和材料

⑤.普通コンクリートの調合

⑥.打放し仕上げ

⑦.骨材

⑧.コンクリート中の塩化物量

⑨.塩化物量の試験

普通コンクリート

Fo (kg/cm²)

※210

・180

・150

躯体

外構土間コン

捨コン

種別※I類(JIS表示許可工場で製造されたコンクリート)

・II類

塩分含有量(o/wt) ※0.04以下

・0.1以下

混和剤 ※AE減水剤標準形

・AE剤

所要空気量(o/vl) ※4

調合設計強度F=(Fo+t)+2.5σ

温度補正項目について15kg/cm²は適用しない。

種別

施工箇所

・A種

※B種

・C種

外壁面

骨材は、「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)建設省暫定案」又は、「セメント骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)建設省暫定案」による試験により安全と認められた骨材を使用する。但し、安全と認められないものを使用する場合はコンクリート中のアルカリ量がR20換算で3.0kg/m²以下のコンクリートを使用する。

塩化物量(c1重量)

(kg/m²)

※.30以下

・.60以下

測定器

(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けたものとする。

試験の採取

下記により試験値は同一試料における3回の測定の平均値とする。

※150m²ごと又は、その端数につき1回以上とする。

・50m²ごと又は、その端数につき1回以上とする。

(海砂など塩分を含むおそれのある骨材を用いる場合)

①.鋼材の種類

2.高力ボルト

3.溶接部の検査

4.鉄骨の製作所

5.アンカーボルトの保持及び埋込み工法

6.柱底均しモルタル

7.さび止め塗料(耐火被覆下地共)

8.耐火被覆

種類

・JISの高力ボルト(JIS B 1186) 2種F 10T

・特殊高力ボルト(JISB 1186と同等以上の品質保証のもの)

試験の種類別

試験箇所

摘要

超音波探傷試験

建設省告示第1103号の認定工場で、かつ、社団法人全国鉄構工業連合会鋼構造物製作工場認定(・H・M・R)グレード以上の製作所とし、監督員の承認を受ける。

材料 JIS G3101 SS41

種別

・A種

※B種

・C種

工法

・A種

※B種

※17.3.1表による

種別

材料及び工法

摘要

・ラス張りモルタル

15章3節による

・耐火材吹付け

ロックウール

・乾式

・湿式

・耐火板

・石綿けい酸カルシウム

耐火吹付け及び耐火板は、建築基準法による耐火構造の指定を受けたものとする。

種別

※8.1.1表

①.異形丸鋼 A類(規格品)

・丸鋼 A類(規格品)

JIS.A.5416の規格品

床用 厚さ

壁用 厚さ

①.空胴コンクリートブロック

②.鉄筋の種類

3.ALCパネルの種類

①.アスファルト防水

(9.1.1表)~(9.1.6表)

外部

内部

伸縮目地

・アスファルト目地

・既製目地

2.合成高分子防水

3.塗膜防水

①ステンレス防水

④.シーリング用材料

⑤.責任施工

①壁タイル工法

②役物タイル

③外壁伸縮目地

④接着剤試験

⑤タイル工事

①.木材の含水率

②.木材の種別等級

③.積丹材

④.代用樹種

⑤.集材

⑥.ラワン材

⑦.寸法

⑧.表面仕上げ

⑨.防衛処理

⑩.防び処理

・密着張り(ヴィブラート)③改良積上げ張り・積上げ張り(11.1.3)

④ユニットタイル改良積上げ張り(ますく工法)・ユニットタイル圧着張り

・使用しない ※使用する 使用箇所(※ノンスリップ 外壁・軒・窓廻り)

・施工しない・施工する 目地寸法 × 材種

・行う ・行わない

床 イナフロア-100 イナフロア100 歩道用スロープ ラグランフロアノンスリップ ユーゲンモザイクラスターシリーズ 各程度(イナフス)

便所・洗面所、壁100角半磁器タイル程度(100角)床、50角磁器タイル(アイランド)程度

※A種・B種

構造材、下地材

樹種

等級

造作材

樹種

等級

・桧・1等以上

桧・半桧

・杉・

杉・

大引(土間コンクリートの上)③桧・

鴨・

大引・

・杉・

回縁(生地仕上げ)

③桧・1等

根太(土間コンクリートの上)③桧・

桧・の類

根太

③桧・

出入口枠

柱、間柱(見え隠れ)③杉・

鋼線、見切縁、回縁、カーテンボックス

壁、天井下地材

③杉・

巾木

・

・

タモ・ナラ

・使用する ※使用しない

(12.1.2)

化粧ばり造作用集成材 材種()厚さ()mm厚さ※JAS規格

③造作用集成材 材種(桧・タモ)

化粧ばり構造用集成材 材種()厚さ()mm厚さ※JAS規格

構造用集成材 材種()

JAS防虫1種処理材の規格品とする。

造作材は仕上り寸法とし、構造材、下地材は挽立て寸法とする。

・A種 ※B種 ・C種

(12.1.4表)

尚、壁胴縁及び野縁の取付面は機械かんな削りとする。

クレオソート油塗りとする。(等前)

※行わない ・行う()

鉄骨工事

防水工事

①.設計基準強度

②.レデーミストコンクリート

③.細骨材の塩分含有量など

④.混和材料

⑤.普通コンクリートの調合

⑥.打放し仕上げ

⑦.骨材

⑧.コンクリート中の塩化物量

⑨.塩化物量の試験

普通コンクリート

Fo (kg/cm²)

※210

・180

・150

躯体

外構土間コン

捨コン

種別※I類(JIS表示許可工場で製造されたコンクリート)

・II類

塩分含有量(o/wt) ※0.04以下

・0.1以下

混和剤 ※AE減水剤標準形

・AE剤

所要空気量(o/vl) ※4

調合設計強度F=(Fo+t)+2.5σ

温度補正項目について15kg/cm²は適用しない。

種別

施工箇所

・A種

※B種

・C種

外壁面

骨材は、「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)建設省暫定案」又は、「セメント骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)建設省暫定案」による試験により安全と認められた骨材を使用する。但し、安全と認められないものを使用する場合はコンクリート中のアルカリ量がR20換算で3.0kg/m²以下のコンクリートを使用する。

塩化物量(c1重量)

(kg/m²)

※.30以下

・.60以下

測定器

(財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けたものとする。

試験の採取

下記により試験値は同一試料における3回の測定の平均値とする。

※150m²ごと又は、その端数につき1回以上とする。

・50m²ごと又は、その端数につき1回以上とする。

(海砂など塩分を含むおそれのある骨材を用いる場合)

①.鋼材の種類

2.高力ボルト

3.溶接部の検査

4.鉄骨の製作所

5.アンカーボルトの保持及び埋込み工法

6.柱底均しモルタル

7.さび止め塗料(耐火被覆下地共)

8.耐火被覆

種類

・JISの高力ボルト(JIS B 1186) 2種F 10T

・特殊高力ボルト(JISB 1186と同等以上の品質保証のもの)

試験の種類別

試験箇所

摘要

超音波探傷試験

建設省告示第1103号の認定工場で、かつ、社団法人全国鉄構工業連合会鋼構造物製作工場認定(・H・M・R)グレード以上の製作所とし、監督員の承認を受ける。

材料 JIS G3101 SS41

種別

・A種

※B種

・C種

工法

・A種

※B種

※17.3.1表による

種別

材料及び工法

摘要

・ラス張りモルタル

15章3節による

・耐火材吹付け

ロックウール

・乾式

・湿式

・耐火板

・石綿けい酸カルシウム

耐火吹付け及び耐火板は、建築基準法による耐火構造の指定を受けたものとする。

種別

※8.1.1表

①.異形丸鋼 A類(規格品)

・丸鋼 A類(規格品)

JIS.A.5416の規格品

床用 厚さ

壁用 厚さ

①.空胴コンクリートブロック

②.鉄筋の種類

3.ALCパネルの種類

①.アスファルト防水

(9.1.1表)~(9.1.6表)

外部

内部

伸縮目地

・アスファルト目地

・既製目地

2.合成高分子防水

3.塗膜防水

①ステンレス防水

④.シーリング用材料

⑤.責任施工

①壁タイル工法

②役物タイル

③外壁伸縮目地

④接着剤試験

⑤タイル工事

①.木材の含水率

②.木材の種別等級

③.積丹材

④.代用樹種

⑤.集材

⑥.ラワン材

⑦.寸法

⑧.表面仕上げ

⑨.防衛処理

⑩.防び処理

・密着張り(ヴィブラート)③改良積上げ張り・積上げ張り(11.1.3)

④ユニットタイル改良積上げ張り(ますく工法)・ユニットタイル圧着張り

・使用しない ※使用する 使用箇所(※ノンスリップ 外壁・軒・窓廻り)

・施工しない・施工する 目地寸法 × 材種

・行う ・行わない

床 イナフロア-100 イナフロア100 歩道用スロープ ラグランフロアノンスリップ ユーゲンモザイクラスターシリーズ 各程度(イナフス)

便所・洗面所、壁100角半磁器タイル程度(100角)床、50角磁器タイル(アイランド)程度

※A種・B種

構造材、下地材

樹種

等級

造作材

樹種

等級

・桧・1等以上

桧・半桧

・杉・

杉・

大引(土間コンクリートの上)③桧・

鴨・

大引・

・杉・

回縁(生地仕上げ)

③桧・1等

根太(土間コンクリートの上)③桧・

桧・の類

根太

③桧・

出入口枠

柱、間柱(見え隠れ)③杉・

鋼線、見切縁、回縁、カーテンボックス

壁、天井下地材

③杉・

巾木

・

・

タモ・ナラ

・使用する ※使用しない

(12.1.2)

化粧ばり造作用集成材 材種()厚さ()mm厚さ※JAS規格

③造作用集成材 材種(桧・タモ)

化粧ばり構造用集成材 材種()厚さ()mm厚さ※JAS規格

構造用集成材 材種()

JAS防虫1種処理材の規格品とする。

造作材は仕上り寸法とし、構造材、下地材は挽立て寸法とする。

・A種 ※B種 ・C種

(12.1.4表)

尚、壁胴縁及び野縁の取付面は機械かんな削りとする。

クレオソート油塗りとする。(等前)

※行わない ・行う()

マイクログ NO.

121-11689

昭和63年度

昭和63年度 動物愛護館建築工事

工事設計図

図面名

特記仕様書(2)

縮尺

昭和 年 月 日

静岡市建設部

課長

課長補佐

係長

主査

設計

設計事務所

担当者

施設コードNo.

図番 A・3・38

13	屋根及び樋工事	①. 樋	屋内鋼製樋の防露 ※行う ・行わない (13.4.3)
		②. ルーフドレン	施工範囲※13.4.4表 V.P管 SGPW管 RC造、SRC造は、原則としてコンクリート打込みとする。 (13.4.1表)
14	金属工事	①. 軽量鉄骨天井下地	野縁などの種類 (14.4.1) (14.4.1表) 屋内 ※19形 ・25形 屋外 ・19形 ※25形
		2. 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナなどの種類 (14.5.1) (14.5.1表) ※14.5.1表による。
15	左官工事	③. 金属成形板張	材料の種類 取付下地 シーリング材
		④. アルミ笠木	Y.K.K ≡協 理 研 程度 (W=225 @1.8 シルバー ・ W=175 @1.8 シルバー)
16	建具工事	①. 下地の処理	コンクリート面に施工の場合は水洗いのうえ接着剤塗布を行なうこと。
		②. モルタル塗	壁、柱型は定規摺りを行なうこと。面取りは出隅○24mm・15mm・9mm
17	塗装工事	③. コンクリート打放し面の下地調整	コンクリート打放し(B種)面に吹付け仕上げを行う場合は、セメント系下地調整塗材(JIS.A.6916)を全面に塗付けて平滑にする。 尚住宅都市整備公団の認定品については同等と認め使用可とする。
		④. ロックウール吹付	(15.7.2)
18	内装工事	①. ビニール床シート	厚 2.5 (マフル) 継目 ○溶接 ・突付
		2. ゼミール床タイル	厚 ※2.0 ・2.5 ・3.0
19	雑工事	③. 接着剤	18.1.1表による 但し1階床については防湿層有無の別なく全てエポキシ樹脂系とする。
		④. 石膏ボード	厚 ○9 ○12 ・化粧ボード ○チーバーボード クロス
20	電気工事	⑤. 石綿遮熱材板	厚 ※6 ・8 ・10
		⑥. 岩綿吸音板	厚 ・9 ○12 ・15 ・18 大きさ ○600×300 ・600×600 ・模様入り 工法 ・直張り ○石膏ボード捨張り
21	設備工事	⑦. フローリングブロック	厚 ※15 ・18 材種 ※マトア ・ナラ ・桜 () ○ナラ ※ (サンダー掛は仕上りUCの場合100#まで) " " OSW " 60#まで
		⑧. フローリングボード	厚 ○15 ・18 材種 ○ナラ ・桜 ()
22	設備工事	9. 畳	・A種 ※B種
		⑩. 壁紙(布)張り	防火性能の級別 ※1級 ・
23	設備工事	⑪. カーペット	種別・A種・B種※C種敷込工法※グリッパ工法下敷材※黄麻フェルト
		⑫. タタミカーペット	種別・A種・B種 敷込工法・グリッパ工法※全面接着工法 カーペットは防炎加工品とする
24	設備工事	⑬. グラスウール	32k ○50
25	設備工事	⑭. 断熱材	種別・A種・B種
		⑮. 遮音材	種別・A種・B種
26	設備工事	⑯. 防音材	種別・A種・B種
		⑰. 防振材	種別・A種・B種
27	設備工事	⑱. 防湿材	種別・A種・B種
		⑲. 防臭材	種別・A種・B種
28	設備工事	⑳. 防炎材	種別・A種・B種
		㉑. 防火材	種別・A種・B種
29	設備工事	㉒. 耐火材	種別・A種・B種
		㉓. 耐熱材	種別・A種・B種
30	設備工事	㉔. 耐酸材	種別・A種・B種
		㉕. 耐碱材	種別・A種・B種
31	設備工事	㉖. 耐腐材	種別・A種・B種
		㉗. 耐食材	種別・A種・B種
32	設備工事	㉘. 耐薬材	種別・A種・B種
		㉙. 耐油材	種別・A種・B種
33	設備工事	㉚. 耐水材	種別・A種・B種
		㉛. 耐湿材	種別・A種・B種
34	設備工事	㉜. 耐熱材	種別・A種・B種
		㉝. 耐冷材	種別・A種・B種
35	設備工事	㉞. 耐震材	種別・A種・B種
		㉟. 耐風材	種別・A種・B種
36	設備工事	㊱. 耐雪材	種別・A種・B種
		㊲. 耐氷材	種別・A種・B種
37	設備工事	㊳. 耐塩材	種別・A種・B種
		㊴. 耐酸材	種別・A種・B種
38	設備工事	㊵. 耐碱材	種別・A種・B種
		㊶. 耐腐材	種別・A種・B種
39	設備工事	㊷. 耐食材	種別・A種・B種
		㊸. 耐薬材	種別・A種・B種
40	設備工事	㊹. 耐油材	種別・A種・B種
		㊺. 耐水材	種別・A種・B種
41	設備工事	㊻. 耐湿材	種別・A種・B種
		㊼. 耐熱材	種別・A種・B種
42	設備工事	㊽. 耐冷材	種別・A種・B種
		㊾. 耐震材	種別・A種・B種
43	設備工事	㊿. 耐風材	種別・A種・B種
		㋀. 耐雪材	種別・A種・B種
44	設備工事	㋁. 耐氷材	種別・A種・B種
		㋂. 耐塩材	種別・A種・B種
45	設備工事	㋃. 耐酸材	種別・A種・B種
		㋄. 耐碱材	種別・A種・B種
46	設備工事	㋅. 耐腐材	種別・A種・B種
		㋆. 耐食材	種別・A種・B種
47	設備工事	㋇. 耐薬材	種別・A種・B種
		㋈. 耐油材	種別・A種・B種
48	設備工事	㋉. 耐水材	種別・A種・B種
		㋊. 耐湿材	種別・A種・B種
49	設備工事	㋋. 耐熱材	種別・A種・B種
		㋌. 耐冷材	種別・A種・B種
50	設備工事	㋍. 耐震材	種別・A種・B種
		㋎. 耐風材	種別・A種・B種
51	設備工事	㋏. 耐雪材	種別・A種・B種
		㋐. 耐氷材	種別・A種・B種
52	設備工事	㋑. 耐塩材	種別・A種・B種
		㋒. 耐酸材	種別・A種・B種
53	設備工事	㋓. 耐碱材	種別・A種・B種
		㋔. 耐腐材	種別・A種・B種
54	設備工事	㋕. 耐食材	種別・A種・B種
		㋖. 耐薬材	種別・A種・B種
55	設備工事	㋗. 耐油材	種別・A種・B種
		㋘. 耐水材	種別・A種・B種
56	設備工事	㋙. 耐湿材	種別・A種・B種
		㋚. 耐熱材	種別・A種・B種
57	設備工事	㋛. 耐冷材	種別・A種・B種
		㋜. 耐震材	種別・A種・B種
58	設備工事	㋝. 耐風材	種別・A種・B種
		㋞. 耐雪材	種別・A種・B種
59	設備工事	㋟. 耐氷材	種別・A種・B種
		㋠. 耐塩材	種別・A種・B種
60	設備工事	㋡. 耐酸材	種別・A種・B種
		㋢. 耐碱材	種別・A種・B種
61	設備工事	㋣. 耐腐材	種別・A種・B種
		㋤. 耐食材	種別・A種・B種
62	設備工事	㋥. 耐薬材	種別・A種・B種
		㋦. 耐油材	種別・A種・B種
63	設備工事	㋧. 耐水材	種別・A種・B種
		㋨. 耐湿材	種別・A種・B種
64	設備工事	㋩. 耐熱材	種別・A種・B種
		㋪. 耐冷材	種別・A種・B種
65	設備工事	㋫. 耐震材	種別・A種・B種
		㋬. 耐風材	種別・A種・B種
66	設備工事	㋭. 耐雪材	種別・A種・B種
		㋮. 耐氷材	種別・A種・B種
67	設備工事	㋯. 耐塩材	種別・A種・B種
		㋰. 耐酸材	種別・A種・B種
68	設備工事	㋱. 耐碱材	種別・A種・B種
		㋲. 耐腐材	種別・A種・B種
69	設備工事	㋳. 耐食材	種別・A種・B種
		㋴. 耐薬材	種別・A種・B種
70	設備工事	㋵. 耐油材	種別・A種・B種
		㋶. 耐水材	種別・A種・B種
71	設備工事	㋷. 耐湿材	種別・A種・B種
		㋸. 耐熱材	種別・A種・B種
72	設備工事	㋹. 耐冷材	種別・A種・B種
		㋺. 耐震材	種別・A種・B種
73	設備工事	㋻. 耐風材	種別・A種・B種
		㋼. 耐雪材	種別・A種・B種
74	設備工事	㋽. 耐氷材	種別・A種・B種
		㋾. 耐塩材	種別・A種・B種
75	設備工事	㋿. 耐酸材	種別・A種・B種
		㍀. 耐碱材	種別・A種・B種
76	設備工事	㍁. 耐腐材	種別・A種・B種
		㍂. 耐食材	種別・A種・B種
77	設備工事	㍃. 耐薬材	種別・A種・B種
		㍄. 耐油材	種別・A種・B種
78	設備工事	㍅. 耐水材	種別・A種・B種
		㍆. 耐湿材	種別・A種・B種
79	設備工事	㍇. 耐熱材	種別・A種・B種
		㍈. 耐冷材	種別・A種・B種
80	設備工事	㍉. 耐震材	種別・A種・B種
		㍊. 耐風材	種別・A種・B種
81	設備工事	㍋. 耐雪材	種別・A種・B種
		㍌. 耐氷材	種別・A種・B種
82	設備工事	㍍. 耐塩材	種別・A種・B種
		㍎. 耐酸材	種別・A種・B種
83	設備工事	㍇. 耐碱材	種別・A種・B種
		㍈. 耐腐材	種別・A種・B種
84	設備工事	㍉. 耐食材	種別・A種・B種
		㍊. 耐薬材	種別・A種・B種
85	設備工事	㍋. 耐油材	種別・A種・B種
		㍌. 耐水材	種別・A種・B種
86	設備工事	㍍. 耐湿材	種別・A種・B種
		㍎. 耐熱材	種別・A種・B種
87	設備工事	㍇. 耐冷材	種別・A種・B種
		㍈. 耐震材	種別・A種・B種
88	設備工事	㍉. 耐風材	種別・A種・B種
		㍊. 耐雪材	種別・A種・B種
89	設備工事	㍋. 耐氷材	種別・A種・B種
		㍌. 耐塩材	種別・A種・B種
90	設備工事	㍍. 耐酸材	種別・A種・B種
		㍆. 耐碱材	種別・A種・B種
91	設備工事	㍇. 耐腐材	種別・A種・B種
		㍈. 耐食材	種別・A種・B種
92	設備工事	㍉. 耐薬材	種別・A種・B種
		㍊. 耐油材	種別・A種・B種
93	設備工事	㍋. 耐水材	種別・A種・B種
		㍌. 耐湿材	種別・A種・B種
94	設備工事	㍍. 耐熱材	種別・A種・B種
		㍆. 耐冷材	種別・A種・B種
95	設備工事	㍇. 耐震材	種別・A種・B種
		㍈. 耐風材	種別・A種・B種
96	設備工事	㍉. 耐雪材	種別・A種・B種
		㍊. 耐氷材	種別・A種・B種
97	設備工事	㍋. 耐塩材	種別・A種・B種
		㍌. 耐酸材	種別・A種・B種
98	設備工事	㍍. 耐碱材	種別・A種・B種
		㍆. 耐腐材	種別・A種・B種
99	設備工事	㍇. 耐食材	種別・A種・B種
		㍈. 耐薬材	種別・A種・B種
100	設備工事	㍉. 耐油材	種別・A種・B種
		㍊. 耐水材	種別・A種・B種
101	設備工事	㍋. 耐湿材	種別・A種・B種
		㍌. 耐熱材	種別・A種・B種
102	設備工事	㍍. 耐冷材	種別・A種・B種
		㍆. 耐震材	種別・A種・B種
103	設備工事	㍇. 耐風材	種別・A種・B種
		㍈. 耐雪材	種別・A種・B種
104	設備工事	㍉. 耐氷材	種別・A種・B種
		㍊. 耐塩材	種別・A種・B種
105	設備工事	㍋. 耐酸材	種別・A種・B種
		㍌. 耐碱材	種別・A種・B種
106	設備工事	㍍. 耐腐材	種別・A種・B種
		㍆. 耐食材	種別・A種・B種
107	設備工事	㍇. 耐薬材	種別・A種・B種
		㍈. 耐油材	種別・A種・B種
108	設備工事	㍉. 耐水材	種別・A種・B種
		㍊. 耐湿材	種別・A種・B種
109	設備工事	㍋. 耐熱材	種別・A種・B種
		㍌. 耐冷材	種別・A種・B種
110	設備工事	㍍. 耐震材	種別・A種・B種
		㍆. 耐風材	種別・A種・B種
111	設備工事	㍇. 耐雪材	種別・A種・B種
		㍈. 耐氷材	種別・A種・B種
112	設備工事	㍉. 耐塩材	種別・A種・B種
		㍊. 耐酸材	種別・A種・B種
113	設備工事	㍋. 耐碱材	種別・A種・B種
		㍌. 耐腐材	種別・A種・B種
114	設備工事	㍍. 耐食材	種別・A種・B種
		㍆. 耐薬材	種別・A種・B種
115	設備工事	㍇. 耐油材	種別・A種・B種
		㍈. 耐水材	種別・A種・B種
116	設備工事	㍉. 耐湿材	種別・A種・B種
		㍊. 耐熱材	種別・A種・B種
117	設備工事	㍋. 耐冷材	種別・A種・B種
		㍌. 耐震材	種別・A種・B種
118	設備工事	㍍. 耐風材	種別・A種・B種
		㍆. 耐雪材	種別・A種・B種
119	設備工事	㍇. 耐氷材	種別・A種・B種
		㍈. 耐塩材	種別・A種・B種
120	設備工事	㍉. 耐酸材	種別・A種・B種
		㍊. 耐碱材	種別・A種・B種
121	設備工事	㍋. 耐腐材	種別・A種・B種
		㍌. 耐食材	種別・A種・

敬告讀者

ポーチ	テラス	外 壁	窓 枠	バルコニー	軒 天 井	外 部 階 段	外 構	備 考
ポーチ 床 磁器タイル貼り (100角)		外 壁 コンクリート打放シ 弾性吹付タイル	巾面部分 パーライトモルタル④40	バルコニー 床 防水モルタル金ゴテ 目地切		外部階段 防水モルタル金ゴテ	北側テラス前 端 コンクリート打放シ 弾性吹付タイル	定礎石 赤御影石③30 W H 400×300
1ノスリップタイル (92×92)		一部 50角磁器タイル貼り	アスファルト 1レーフィング Z248	ドレーン 鋳鉄製100φ (一般型)		1ノスリップタイル 66×92	丸穴 硬質塩ビ管 外径140φ 型枠打放シ	工事書込共
立上リ コンクリート打放シ吹付タイル		ガラスブロック積 115° (ポント フォンズ)	ステンレス 露出防水 (カーステンレス④4)	巾本 防水モルタル金ゴテ H=120 (目地分)		巾本 防水モルタル金ゴテ H=120 (目地分)	弾性吹付タイル	
スロープ 床 磁器タイル貼り (100角)		打継目地 ポリサルバイド系シーリング		腰 コンクリート打放シ 弾性吹付タイル		腰 コンクリート打放シ 弾性吹付タイル	窓木 コンクリート直押エ	銘名文字 ステンレス H.L 箱文字 Z50°×8文字
腰 コンクリート打放シ吹付タイル		一部 化粧目地	平部分 コンクリート直上 露出 アスファルト防水	笠木 コンクリート直押エ		笠木 コンクリート直押エ		
展示室前 テラス 床 磁器タイル貼り (100角)		腰 50角磁器タイル貼り	管継仕様 D-2 カラー砂付	手摺 ステンレスパイプ 42.7φ		上ゲ裏 コンクリート打放シ 弾性吹付タイル		天井裏 塩ビシ 裏面下地 塩ビ
1ノスリップタイル (92×92)		巾本 コンクリート打放シ 目地分 弾性吹付タイル	笠木 アルミ既製品 W=175.225 シル			丸穴 硬質塩ビ管 外径165φ 型枠打放シ		ステンレス 150φ 防虫網付
ブルミジ室 磁器タイル貼り (100角)			水切り アルミ	ポーチ軒天井 コンクリート打放シ 弾性吹付タイル		弾性吹付タイル		外装 P.S VU管 450φ 半割リ V.E 塗り
1ノスリップタイル (92×92)		壁柱 硬質塩ビ管 100 φ VE 塗	ドレーン 鋳鉄製 100 φ (一般型)			ブルミジ室 出入口テラス モルタル金ゴテ仕上 1ノスリップ 66×92		ファイト ステンレス④0.8 カエ
		ツカミ金物 ステンレス④1200	庇 防水モルタル金ゴテ		テラス天井 軽鉄下地 黒石綿不燃ボード⑥6			
玄関ホール前 テラス 磁器タイル貼り (100角)		ポーチ 腰 50角磁器タイル貼り		目地シ張り EPI塗 塩ビ廻り縁		腰 50角磁器タイル貼り		
		腰 50角磁器タイル貼り		底 上ゲ裏 コンクリート打放シ 弾性吹付タイル		底 上ゲ裏 コンクリート打放シ 弾性吹付タイル		

内部往來

部 位		床		巾 木		壁		壁		天 井		備 考	
		仕 上	塗 装	仕 上	塗 装	仕 上	塗 装	仕 上	塗 装	仕 上	塗 装		
1	玄 関 ホール	モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビシート②2.5貼リ	ワックス掛	桧 H=75	S.O.P			1	モルタル金ゴテ	M.P	軽鉄下地 石ゴウボード⑨捨張り 岩綿吸音板⑫貼リ 塩ビ廻り縁		
2	グリーミング室	モルタル金ゴテ下地 エポキシ系樹脂 塩床材(ノンスリップエポ)				モルタル金ゴテ H=1100	E.P.I	2	同 上	E.P.I	軽鉄下地 無石棉不燃ボード⑥ 目造シ張り 塩ビ廻り縁	造り付 作業台, ステンレス製 グレーンク 500x500 室名札	
3	展示室	モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビシート②2.5貼リ	ワックス掛	桧 H=75	S.O.P			3	桧合板⑤.5目造シ張り	S.O.P	軽鉄下地 石ゴウボード⑨捨張り 岩綿吸音板⑫貼リ アルミ廻り縁(カー)	カーテンBox 桧 S.O.P ステンレス流シ 別途 室名札 造り付 作業台 アルミビクチャール(廻り縁兼用型)	
4	更衣室	同 上	同 上	同 上	同 上			4	モルタル金ゴテ	E.P.II	コンクリート打放シ	室名札	
5	洗面所	同 上	同 上	ステンレス②1.5 H.L H=70				5	100角半磁器タイル貼リ		軽鉄下地 無石棉不燃ボード⑥ 目造シ張り 塩ビ廻り縁	E.P.I	室名札
6	便 所	50角磁器タイル貼リ						6	100角半磁器タイル貼リ		同 上	同 上	スクリーン ボリ合板 ブラッシュ 床見切 ステンレス② H.L 手摺 既製品 壁見切
7	階 段 室	モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビシート②2.5貼リ	同 上	桧 H=75	S.O.P	手摺壁 モルタル金ゴテ 桧木・タモ 手摺 タモ縁及材 40φ	M.P S.L.C	7	モルタル金ゴテ	M.P	軽鉄下地 桧合板・有孔桧合板⑤.5 目造シ張り	S.L.C	ステンレス ノンスリップ・ゴムタイヤ入
8	ホ ール	モルタル金ゴテ下地塩ビシート②2.5貼リ 一部ナラフローリングブロック①15張り	ワックス掛 U.C	桧 H=75	S.O.P S.L.C			8	モルタル金ゴテ 桧合板⑤.5目造シ張り	M.P S.L.C	軽鉄下地 桧合板・有孔桧合板⑤.5 目造シ張り アルミ廻り縁(カー)	S.L.C	桧ナラ種厚材 80x180 U.C塗 流シ付下地入 手摺 タモ種厚材 40φ S.L.C塗
9	研修室 兼 会議室	ナラフローリングブロック①15張り	U.C	同 上	S.L.C			9	桧合板⑤.5目造シ張り 一部有孔桧合板⑤.5目造シ張り	S.L.C	桧合板・有孔桧合板⑤.5目造シ張り 石ゴウボード⑨F地岩綿吸音板⑫貼リ 塩ビ廻り縁	S.L.C	桧 ナラ種厚材 100x300 U.C塗
10	舞 台	コンパネ①12 ナラフローリング①15 6R.R張り	同 上	同 上	同 上			10	石ゴウボード⑫ビニールクロス貼リ		軽鉄下地 桧合板⑤.5目造シ張り	S.L.C	
11	湯沸室	モルタル金ゴテ下地 長尺塩ビシート②2.5貼リ	ワックス掛	同 上	S.O.P			11	モルタル金ゴテ	E.P.I	軽鉄下地 無石棉不燃ボード⑥ 目造シ張り 塩ビ廻り縁	E.P.I	流シ台 2=1200 J=110 L=750 吊戸棚 2=700 Z台 水切棚 水カリ ステンレス②0.6 ステンレスシールド②=150 室名札
12	倉 庫	同 上	同 上	同 上	同 上			12	同 上	E.P.II	同 上	E.P.II	スクリーン ボリ合板 ブラッシュ 床見切 ステンレス② H.L 手摺 既製品 壁見切
13	洗面所	同 上	同 上	ステンレス②1.5 H.L H=80				13	100角半磁器タイル貼リ		同 上	E.P.I	室名札
14	便 所	50角磁器タイル貼リ						14	100角半磁器タイル貼リ		同 上	同 上	

マイクロNo. 121-11691

NO	工事名
	昭和38年度 動物環境保護工事

圖 名	卷 次
-----	-----

D.by

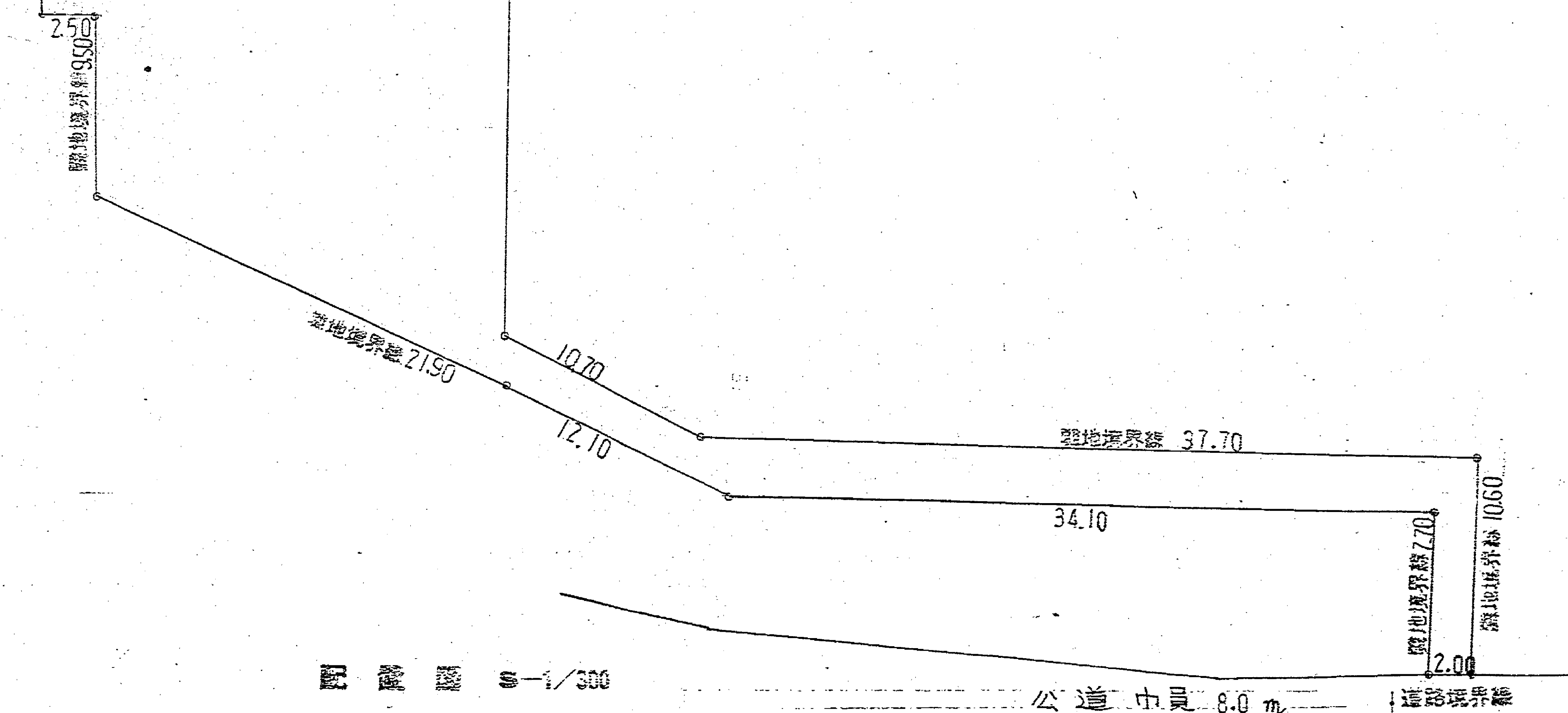
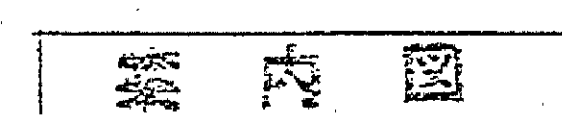
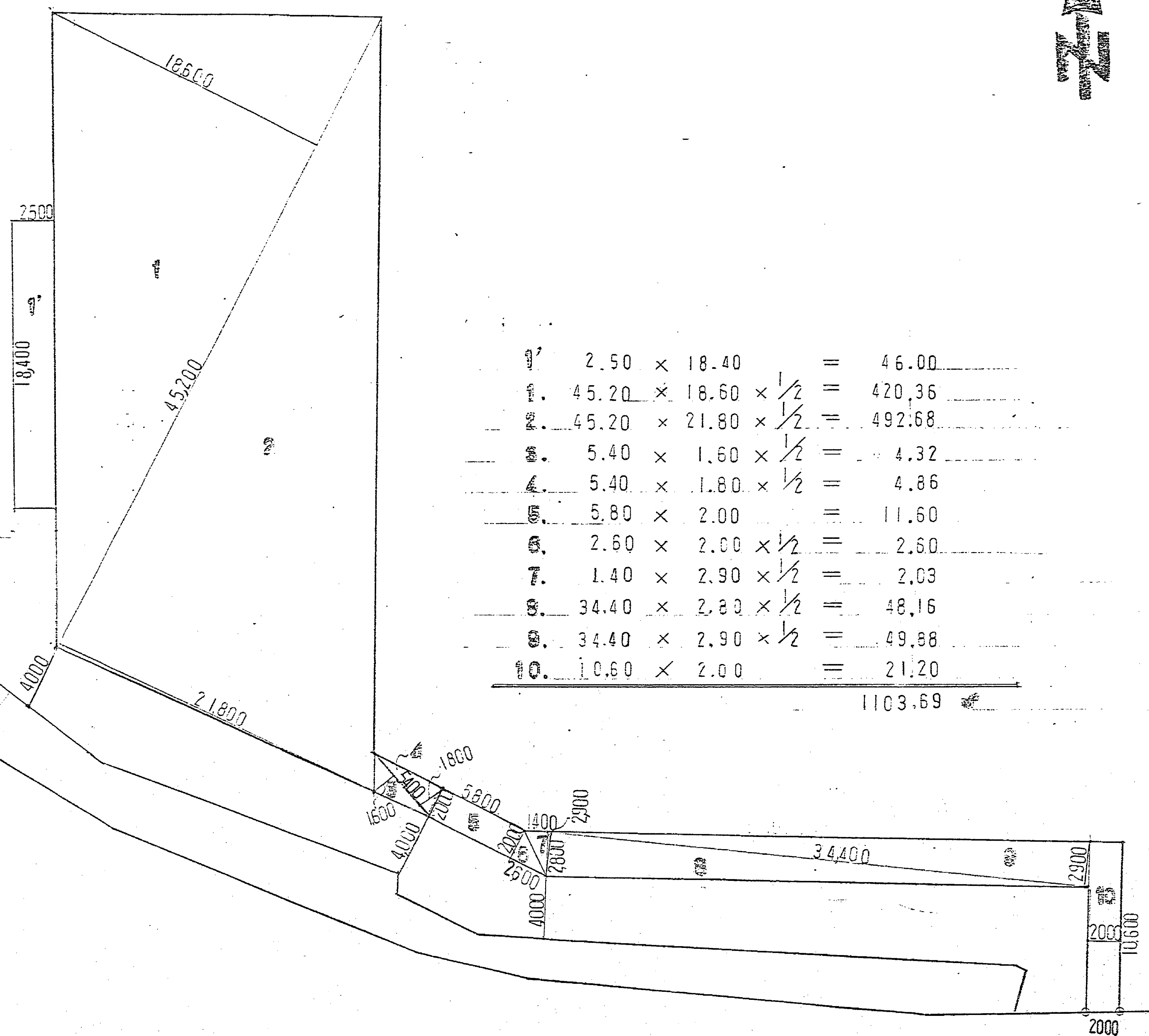
C.by

DATE _____

1級建築士事務所登録()1869
1級建築士登録 45165
鞍 智 勝 利

鞍 智 建 築 設 計 事 務 所
 鞍 田 市 伝 馬 町 10-14 TEL 55-4049 52-6887

NO. **A-5**

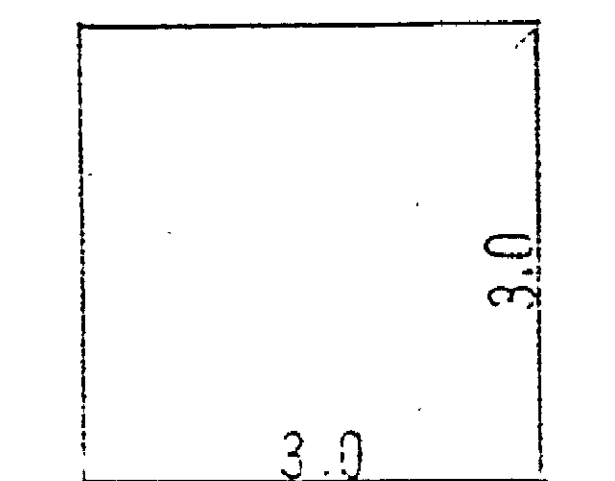
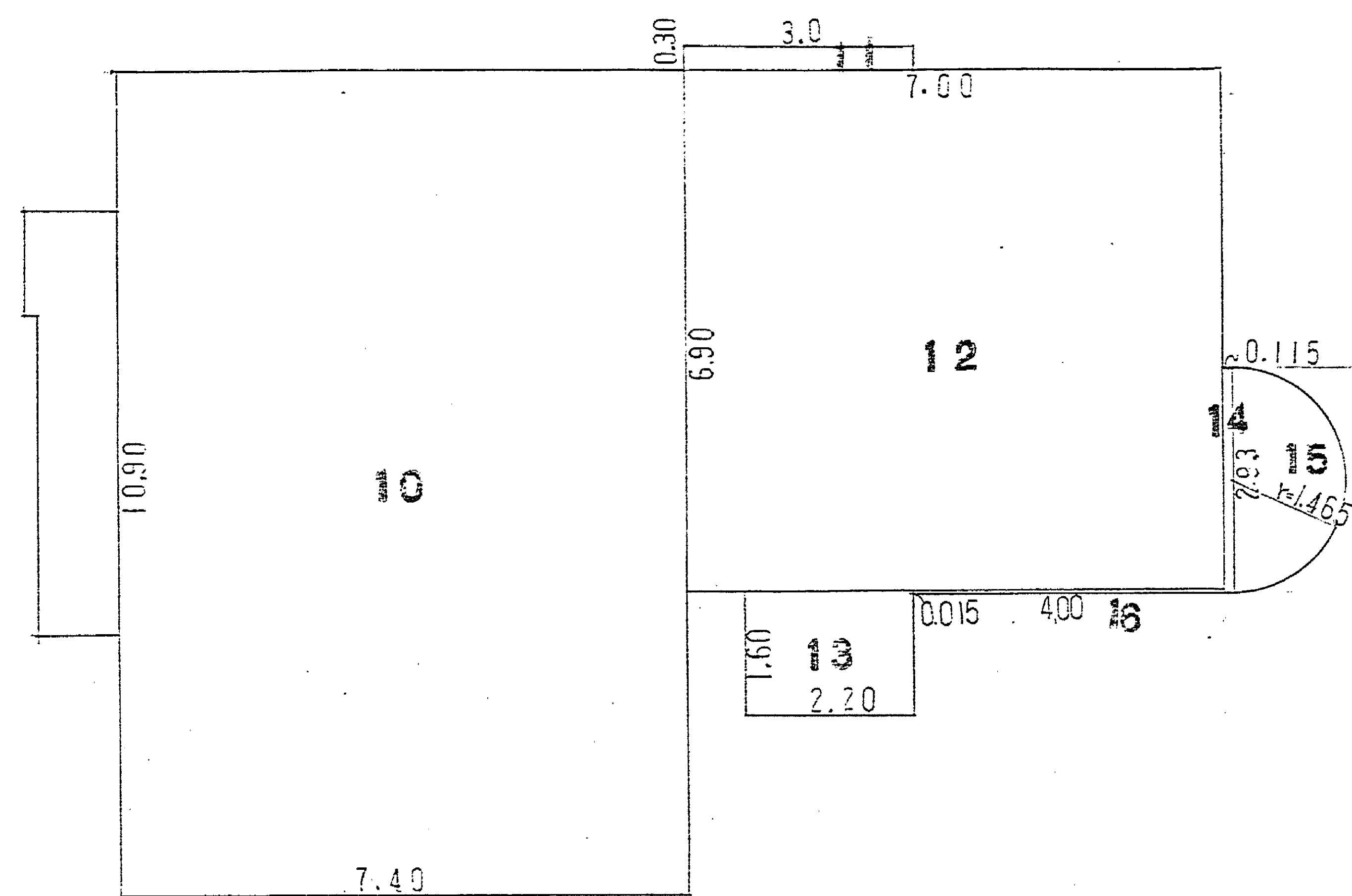


1.	2.50	×	18.60	=	46.00
2.	45.20	×	18.60	×	$\frac{1}{2}$ = 420.36
3.	45.20	×	21.80	×	$\frac{1}{2}$ = 492.68
4.	5.40	×	1.60	×	$\frac{1}{2}$ = 4.32
5.	5.40	×	1.80	×	$\frac{1}{2}$ = 4.86
6.	5.80	×	2.00	=	11.60
7.	2.60	×	2.00	×	$\frac{1}{2}$ = 2.60
8.	1.40	×	2.90	×	$\frac{1}{2}$ = 2.03
9.	34.40	×	2.20	×	$\frac{1}{2}$ = 48.16
10.	34.40	×	2.90	×	$\frac{1}{2}$ = 49.88
11.	10.60	×	2.00	=	21.20

1103.69

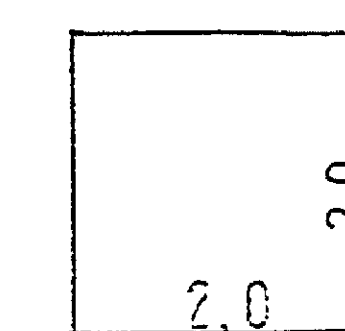
建築場所	静岡市産文 954-1 953・943-6 943-1の一部	
用途地域	市街化調整区域	
防火指定	ナシ	
建ぺい率	70 %	(16.8%)
容積率	400. %	(26.1%)

國 籍 別	年
英 國 籍	1103.69
日 本 籍	333.87
韓 國 籍	194.06
其 他 國 籍	56.70



$$3.0 \times 3.0 = 9.0 \text{ m}^2$$

動物舎A

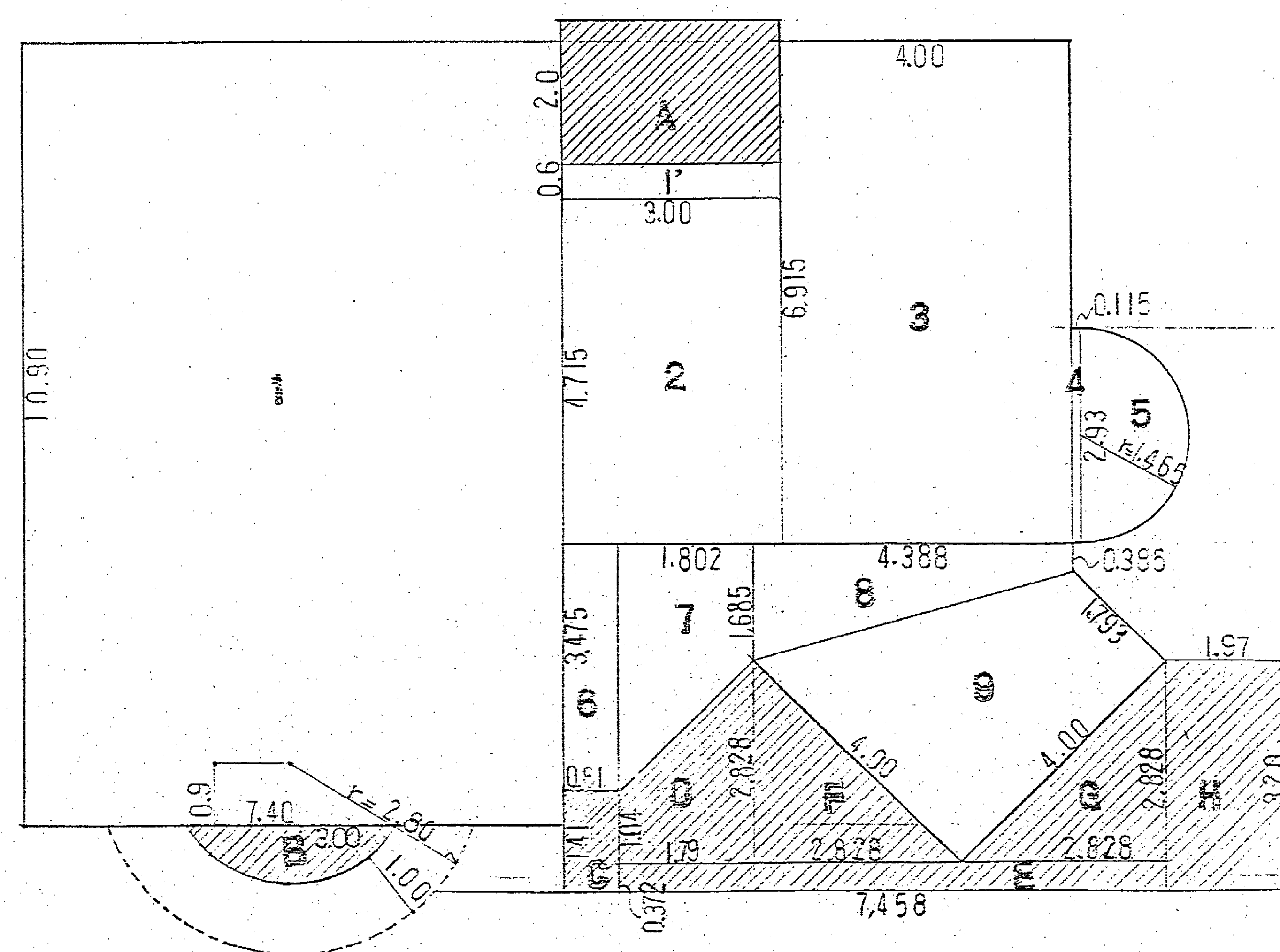


$$2.0 \times 2.0 = 4.0 \text{ m}^2$$

動物舎B

10	$10.90 \times 7.40 = 80.66$
11	$0.30 \times 3.00 = 0.90$
12	$6.90 \times 7.00 = 48.30$
13	$1.60 \times 2.20 = 3.52$
14	$2.93 \times 0.115 = 0.34$
15	$1.465 \times 1.465 \times \pi \times \frac{180}{360} = 3.37$
16	$0.015 \times 4.00 = 0.06$
計	137.15 m ²

2 階床面積図



1 階床面積図

1'	$0.60 \times 3.00 = 1.80$
1	$10.90 \times 7.40 = 80.66$
2	$4.715 \times 3.00 = 14.15$
3	$6.915 \times 4.00 = 27.66$
4	$2.93 \times 0.115 = 0.34$
5	$1.465 \times 1.465 \times \pi \times \frac{180}{360} = 3.37$
6	$3.475 \times 0.810 = 2.81$
7	$(3.475 + 1.685) \times 1.802 \times \frac{1}{2} = 4.66$
8	$(1.685 + 0.385) \times 4.388 \times \frac{1}{2} = 4.54$
9	$(4.00 + 1.793) \times 4.00 \times \frac{1}{2} = 11.58$
計	151.56 m ²

A	$3.00 \times 2.00 = 6.00$
B	$\frac{1}{2} \times 3.00 \times 0.90 = 1.80$
C	$1.41 \times 0.81 = 1.14$
D	$(1.04 + 2.828) \times 1.802 \times \frac{1}{2} = 3.49$
E	$0.372 \times 7.458 = 2.77$
F	$2.828 \times 2.828 \times \frac{1}{2} = 4.00$
G	$2.828 \times 2.828 \times \frac{1}{2} = 4.00$
H	$1.97 \times 3.20 = 6.30$
計	29.50 m ²

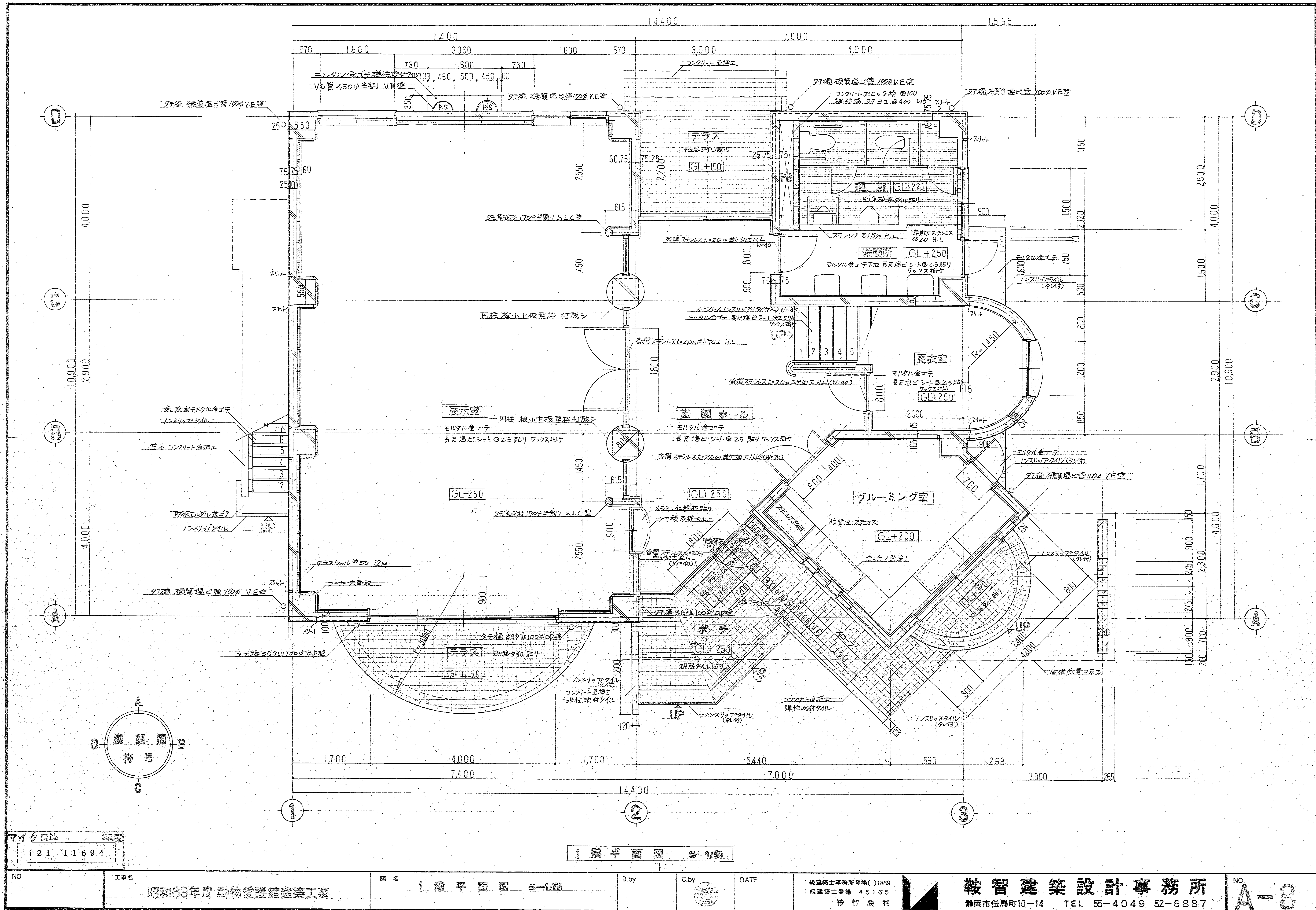
$$\text{建築面積} 151.56 + 29.50 = 181.06 \text{ m}^2$$

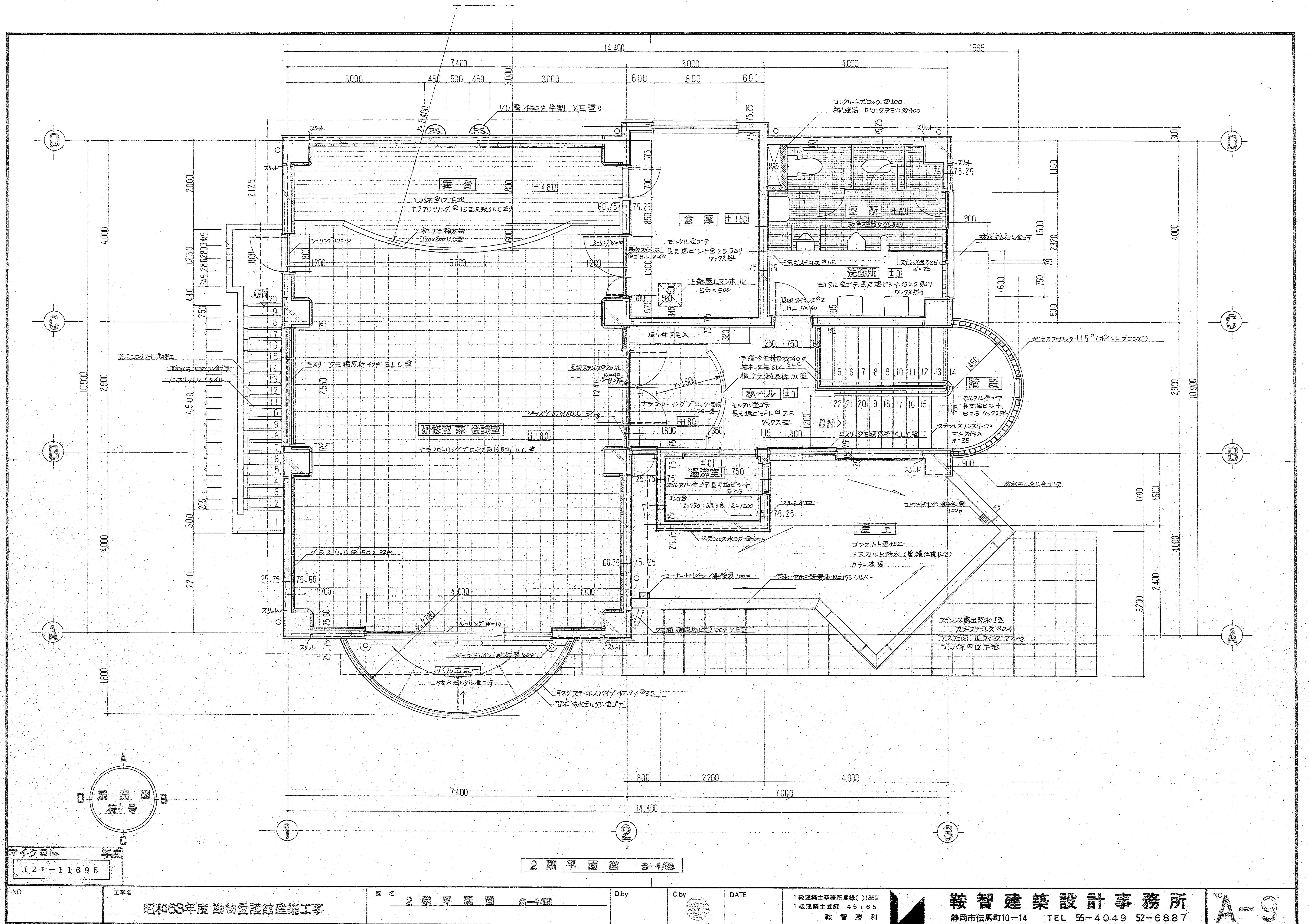
面積表 (全護館)	
建築面積	坪
1階床面積	151.56
2階床面積	137.15
延床面積	288.71

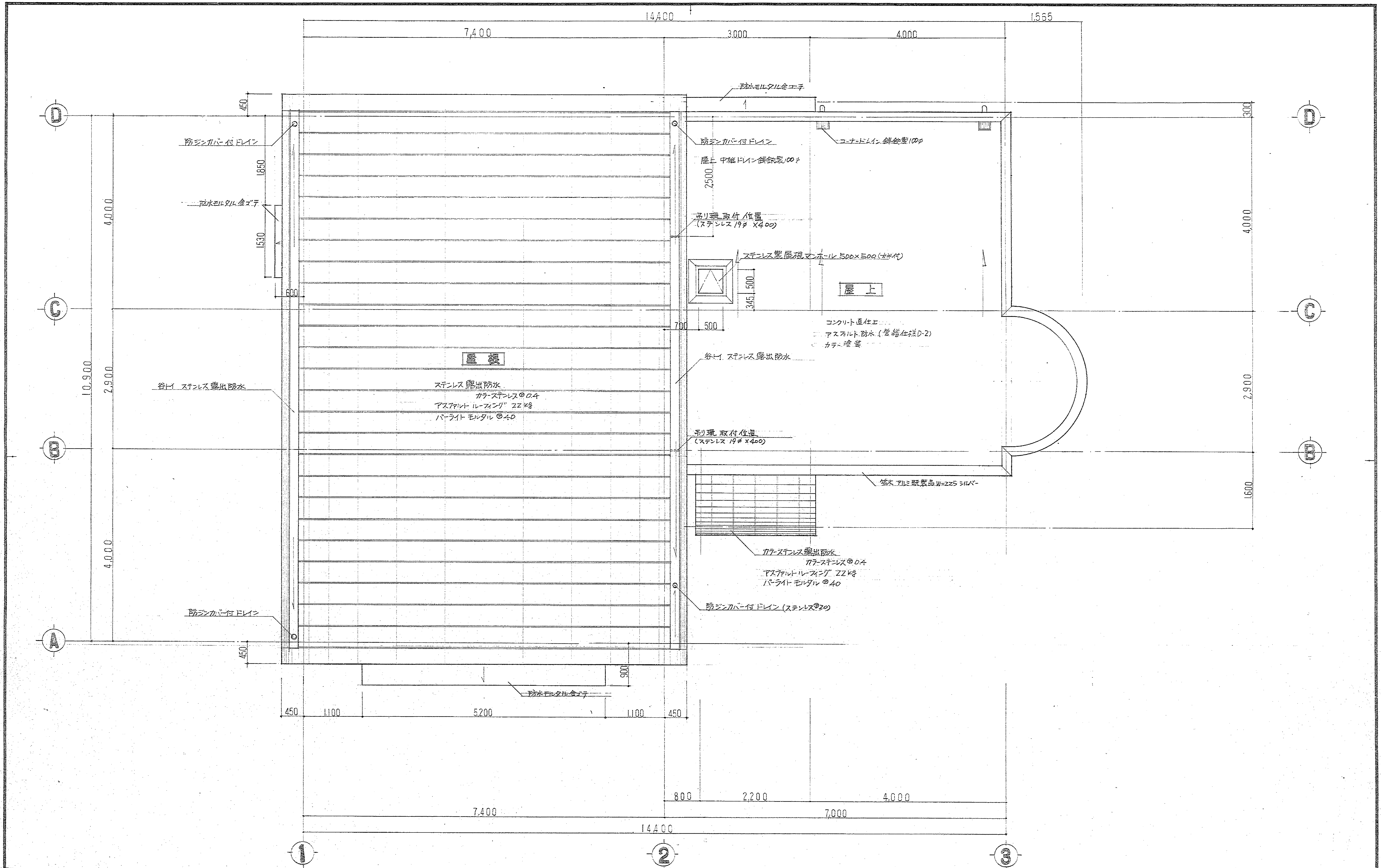
坪	
延建築面積	坪
全護館床面積	288.71
動物舎A-B床面積	13.00
延床面積	301.71

$$\text{延建築面積} = 181.06 + 13.00 = 194.06 \text{ m}^2$$

マイクログラフ
121-11693

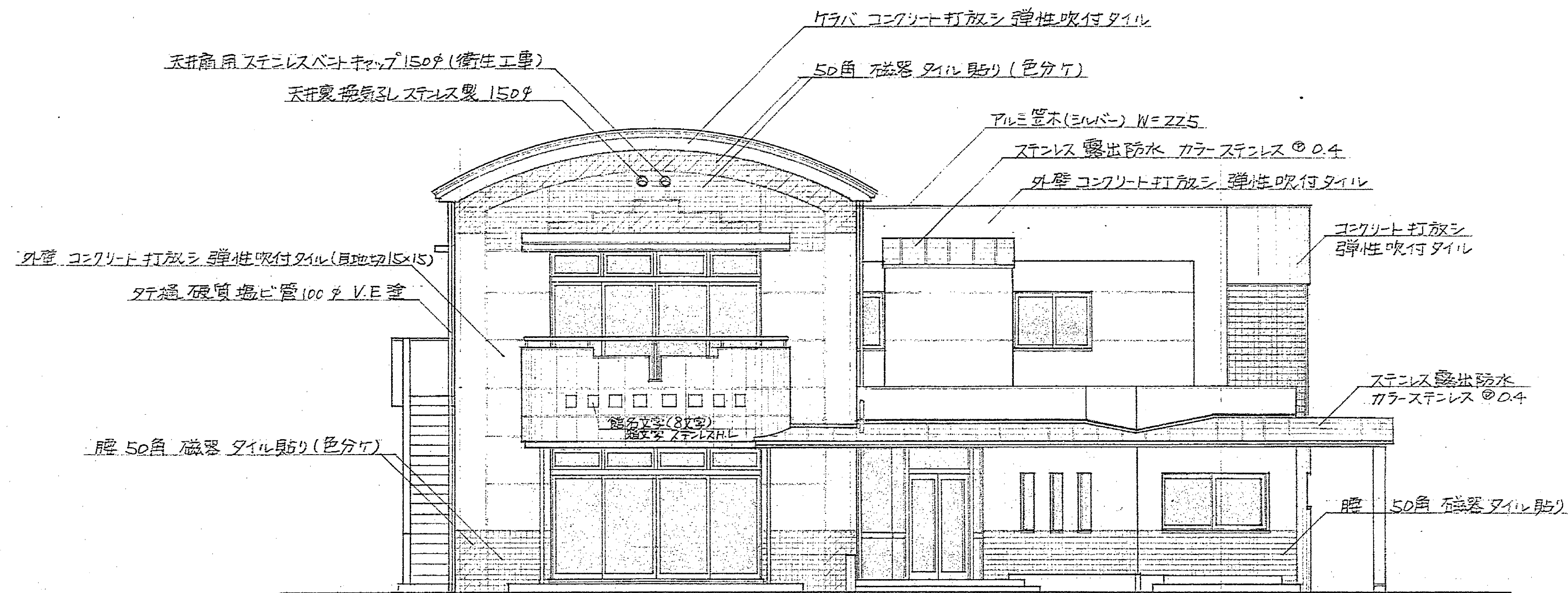




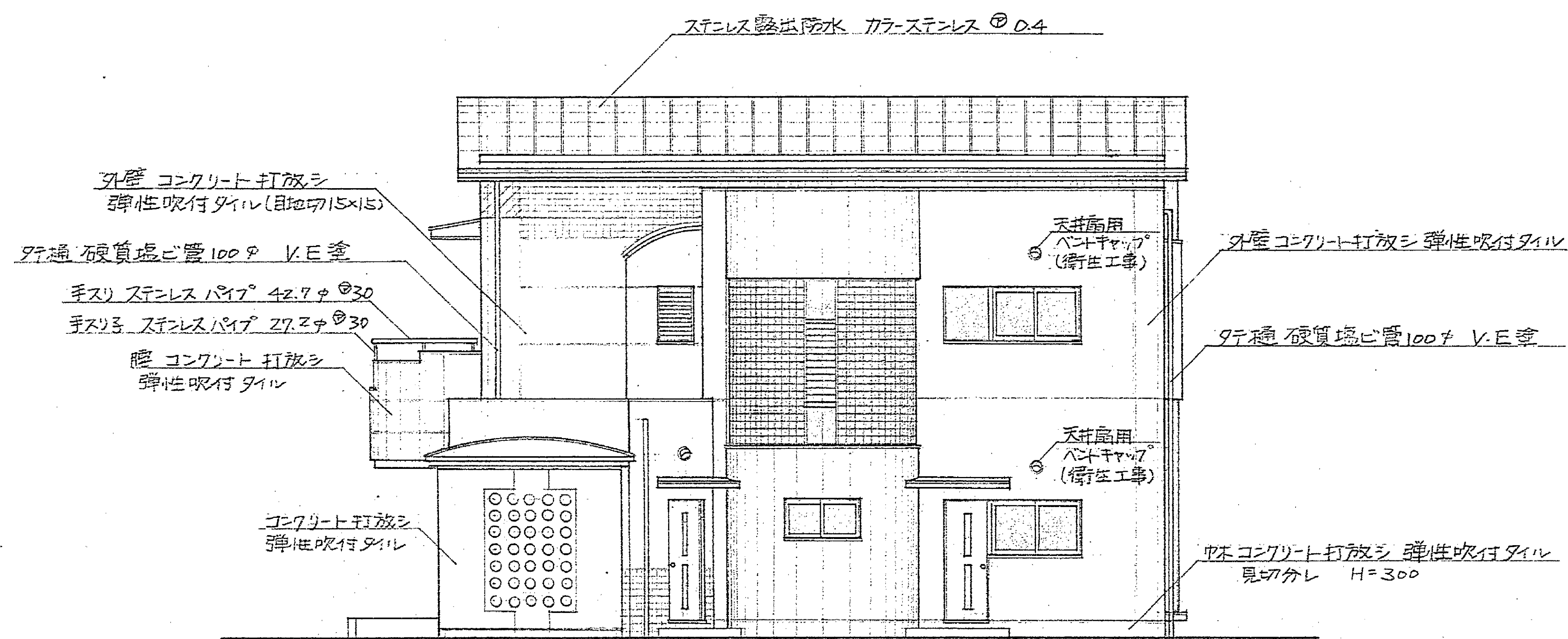


マイクログラフ
121-11696

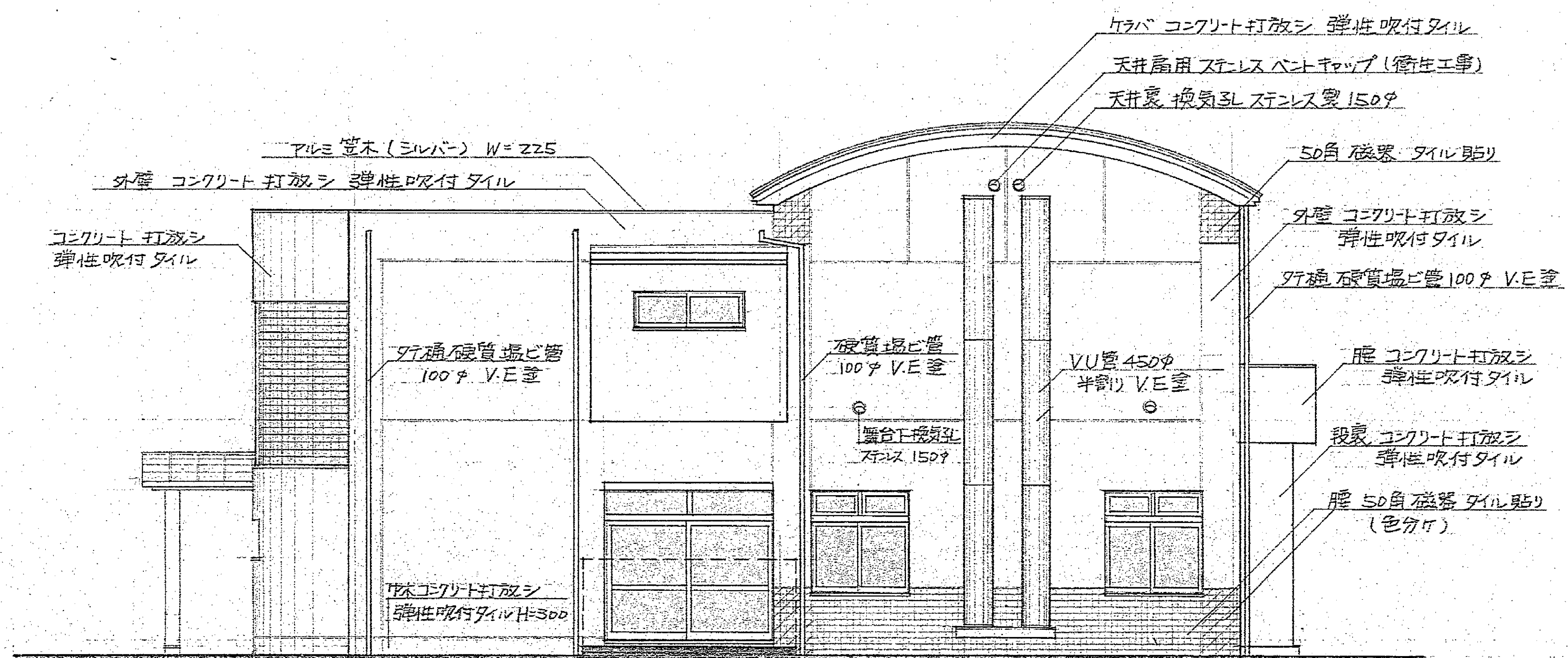
屋根伏図 3-1/30



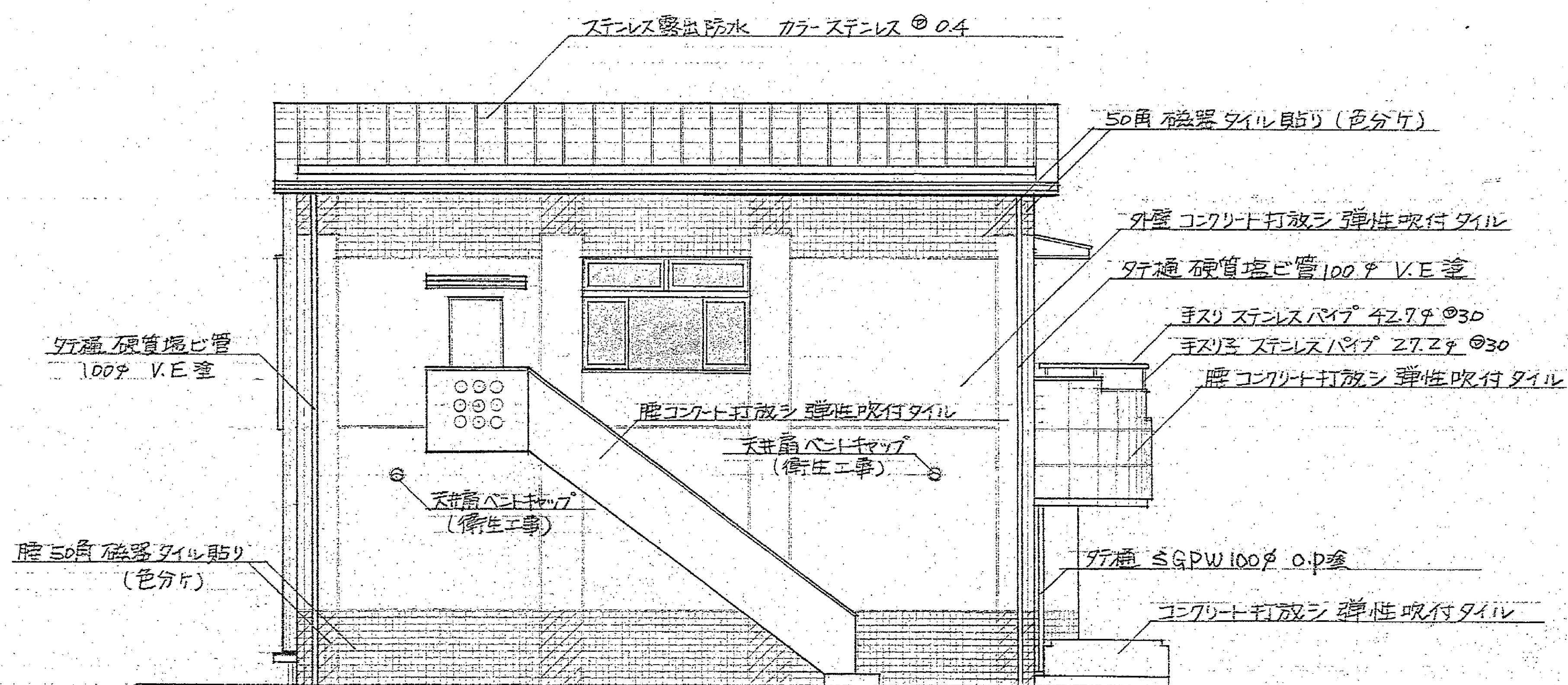
南側立面図 S-1/100



東側立面図 S-1/100

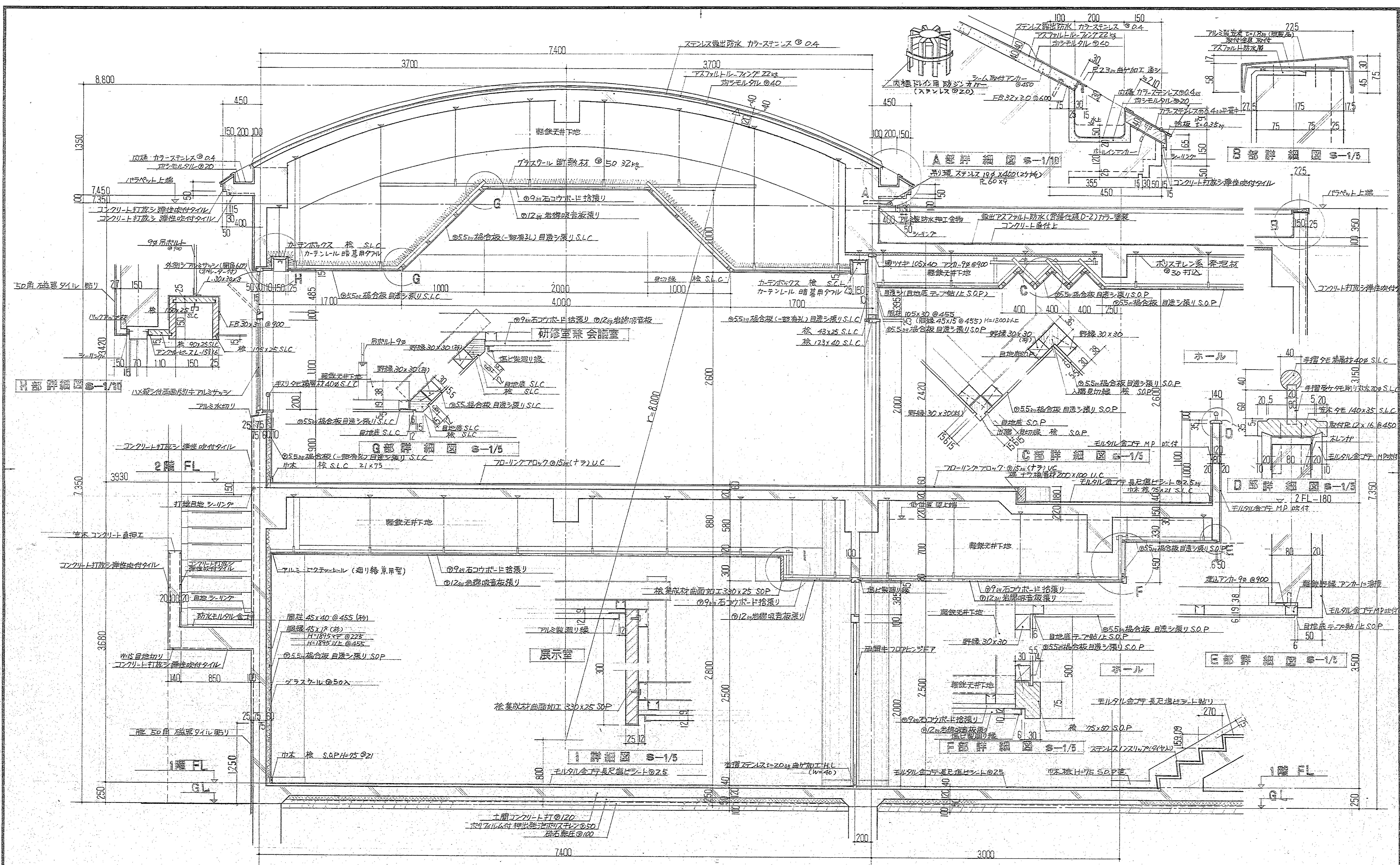


北側立面図 S-1/100



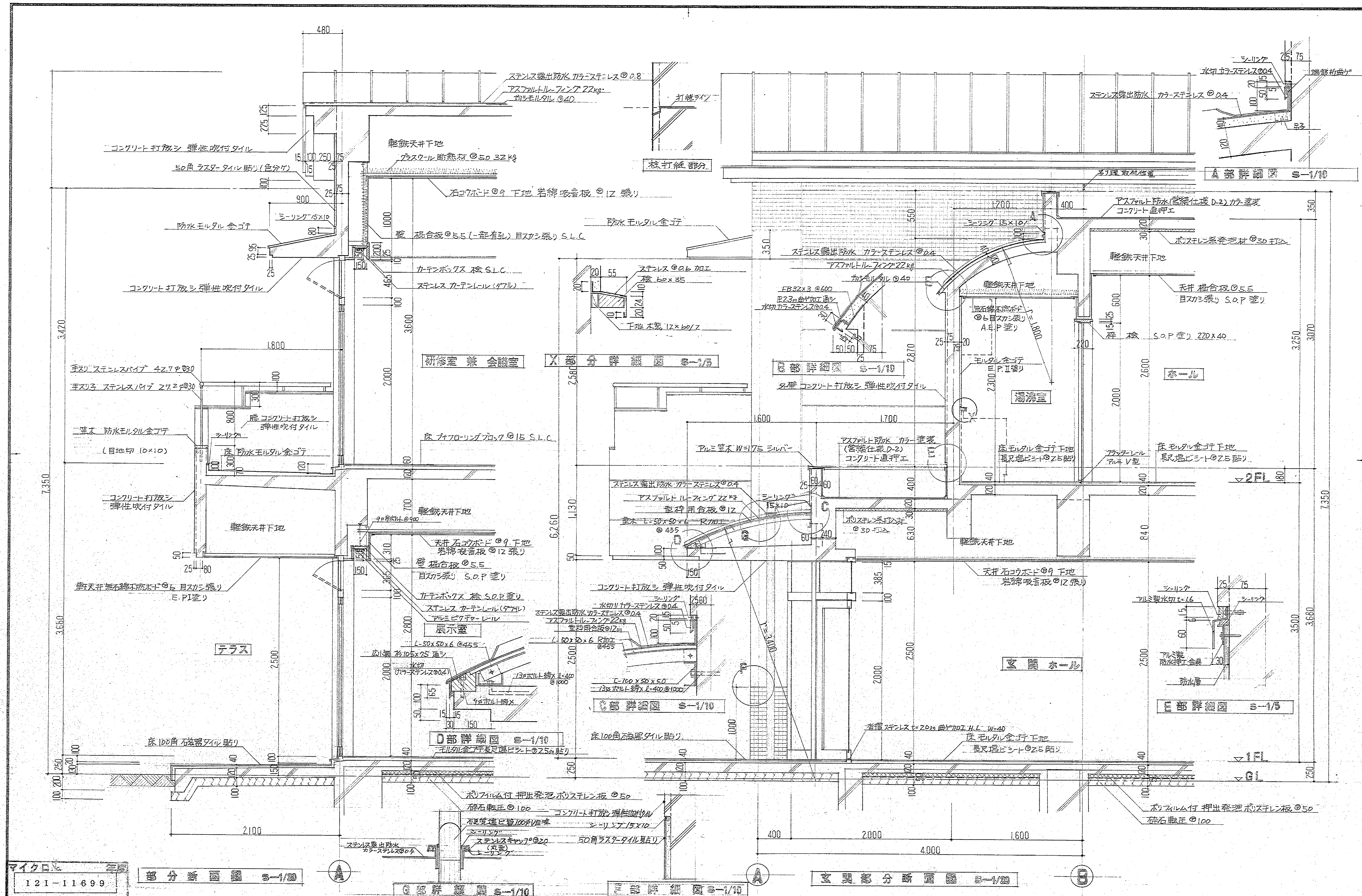
西側立面図 S-1/100

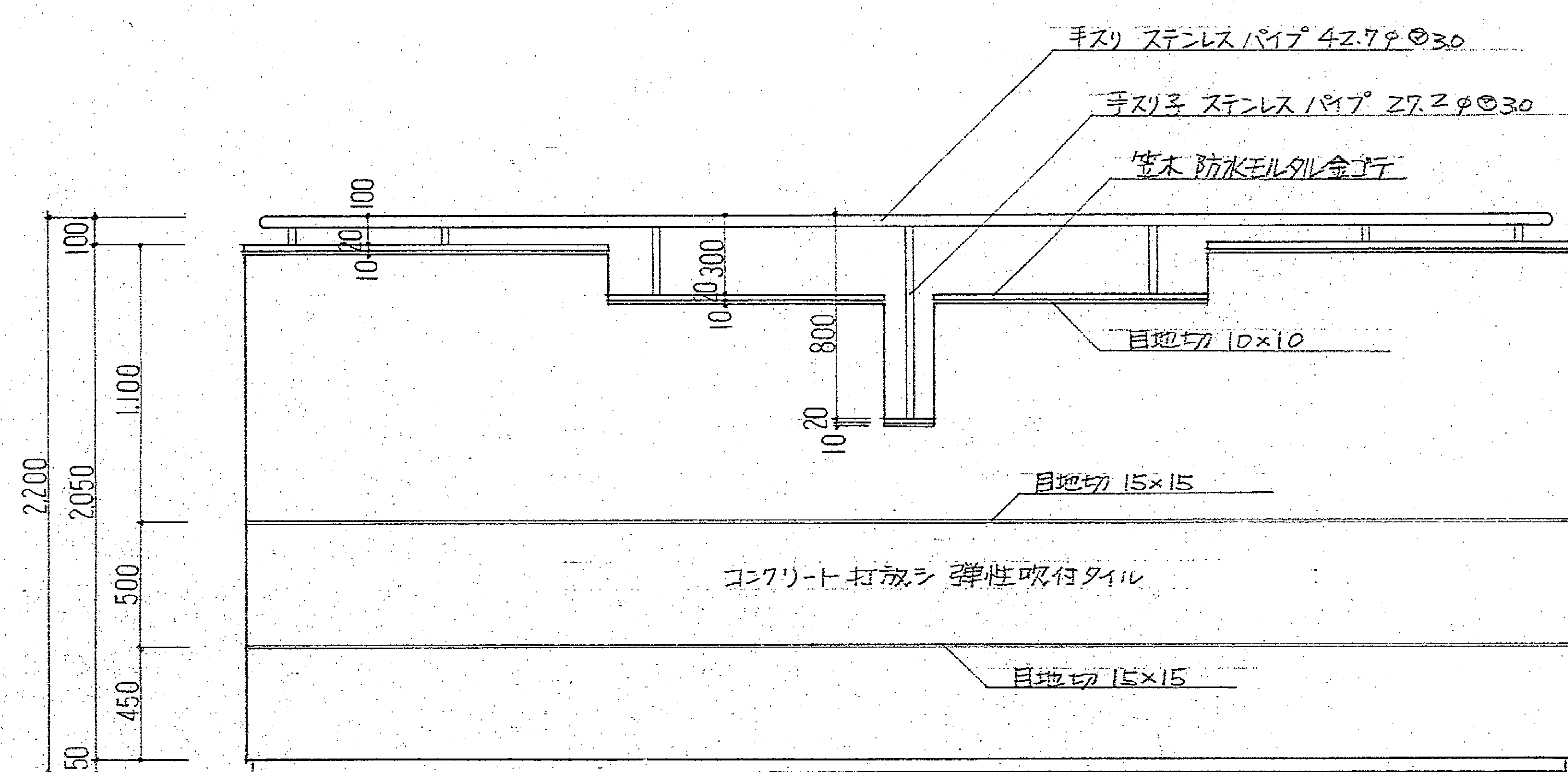
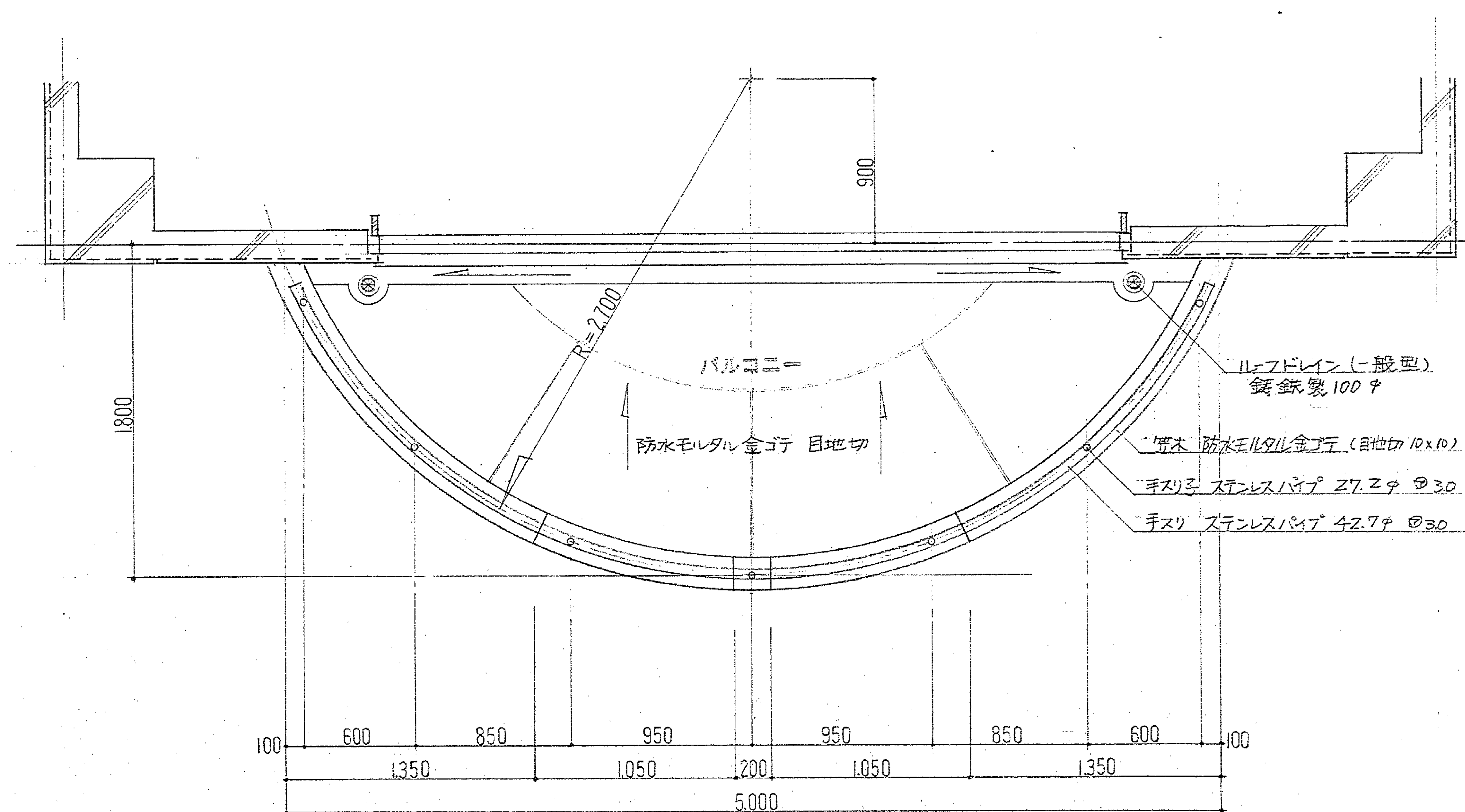
マイクログ
121-11697



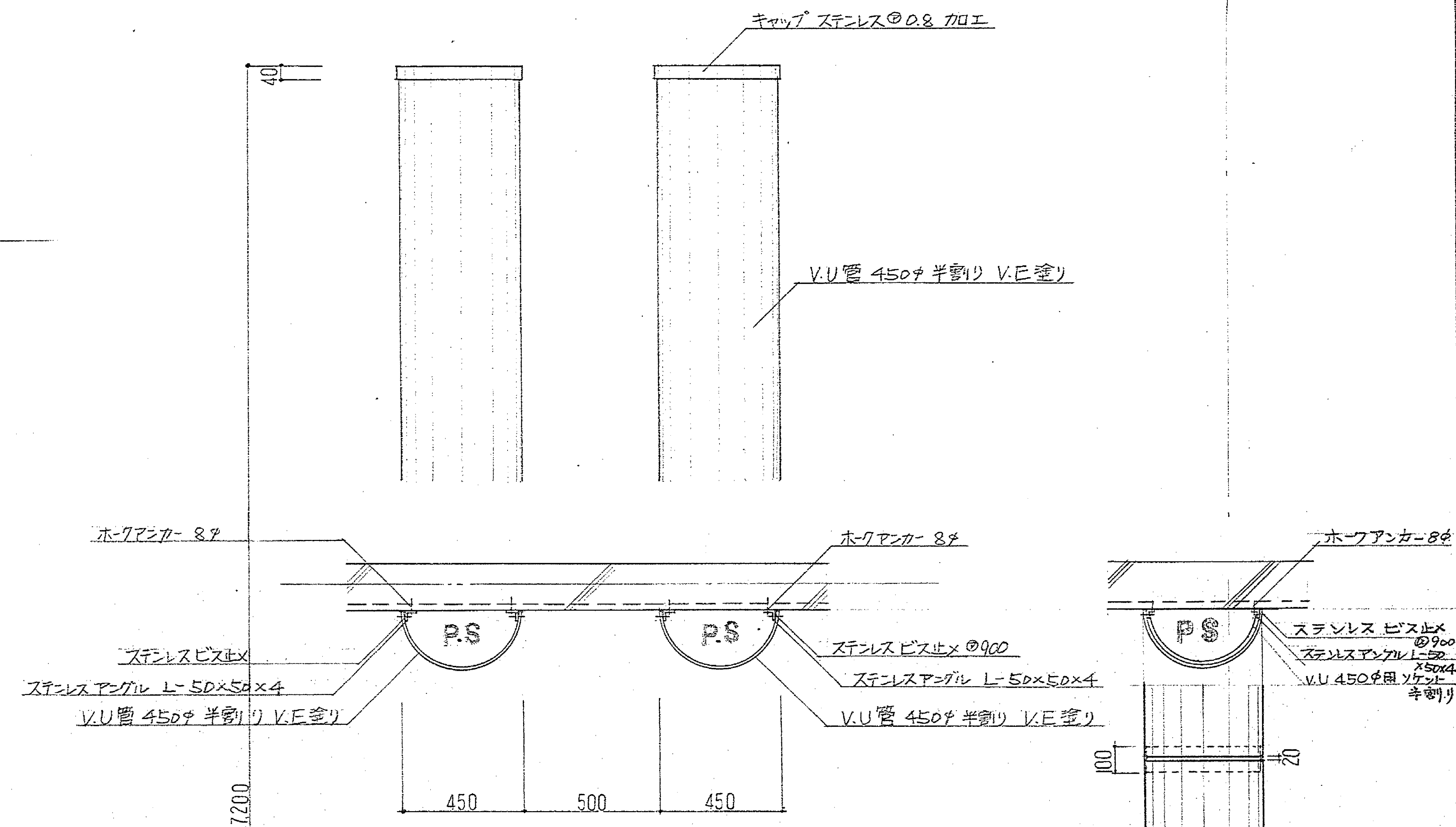
マイクログラフ
121-11698

1階展示室、2階研修室兼会議室、1.2階ホール 断面詳細図 S-1/30

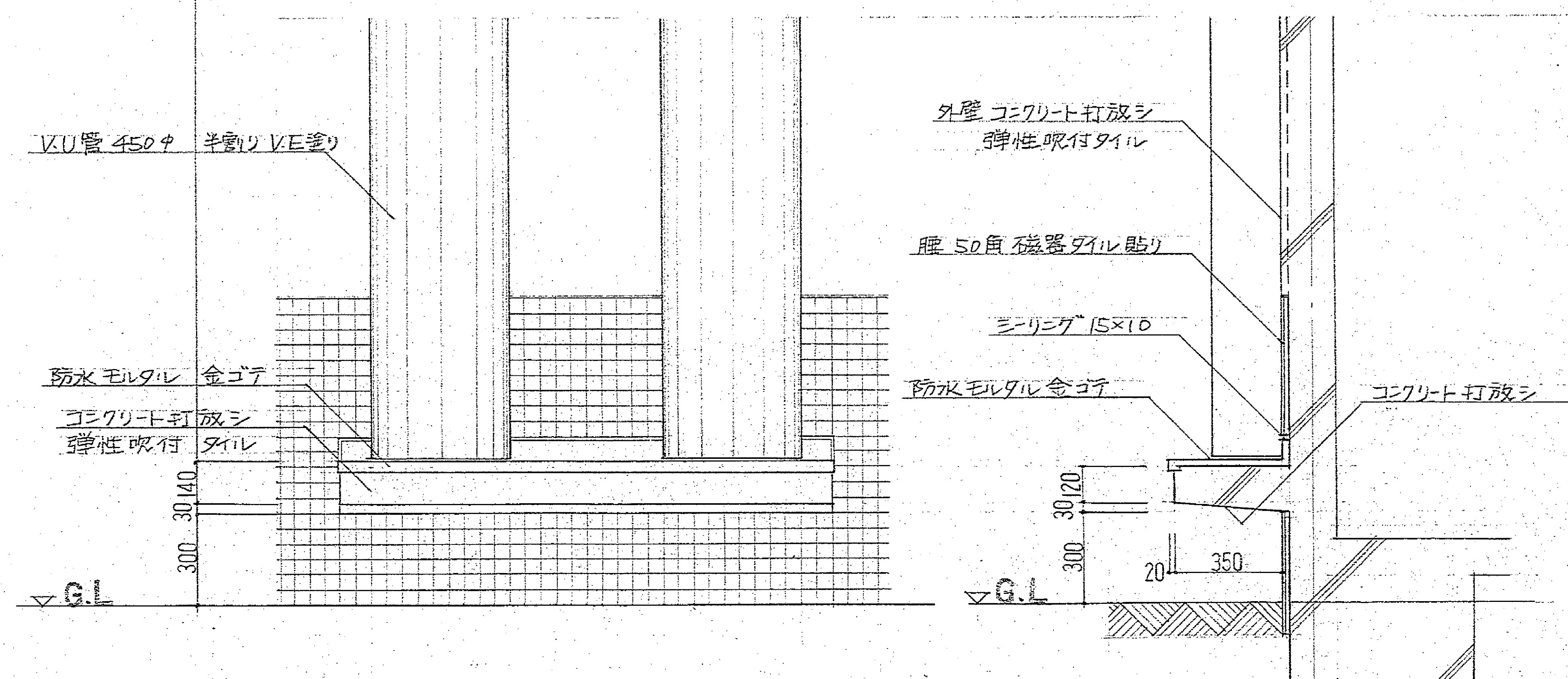




バルコニー 手すり 詳細図 S-1/20

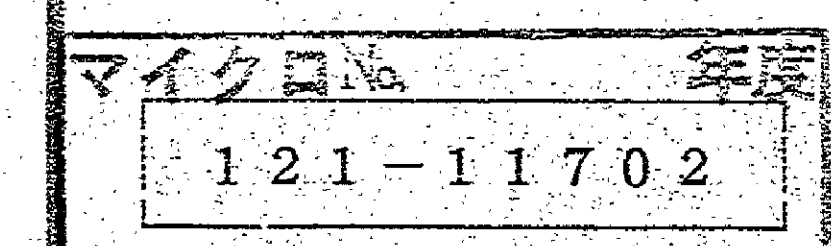


P.S. ジョイント詳細図 S-1/20



外壁 P.S. 詳細図 S-1/20

マイクログ 年度
121-11700



工事名

昭和63年度 動物愛護館建築工事

四 總 論

3-1/33

D.by

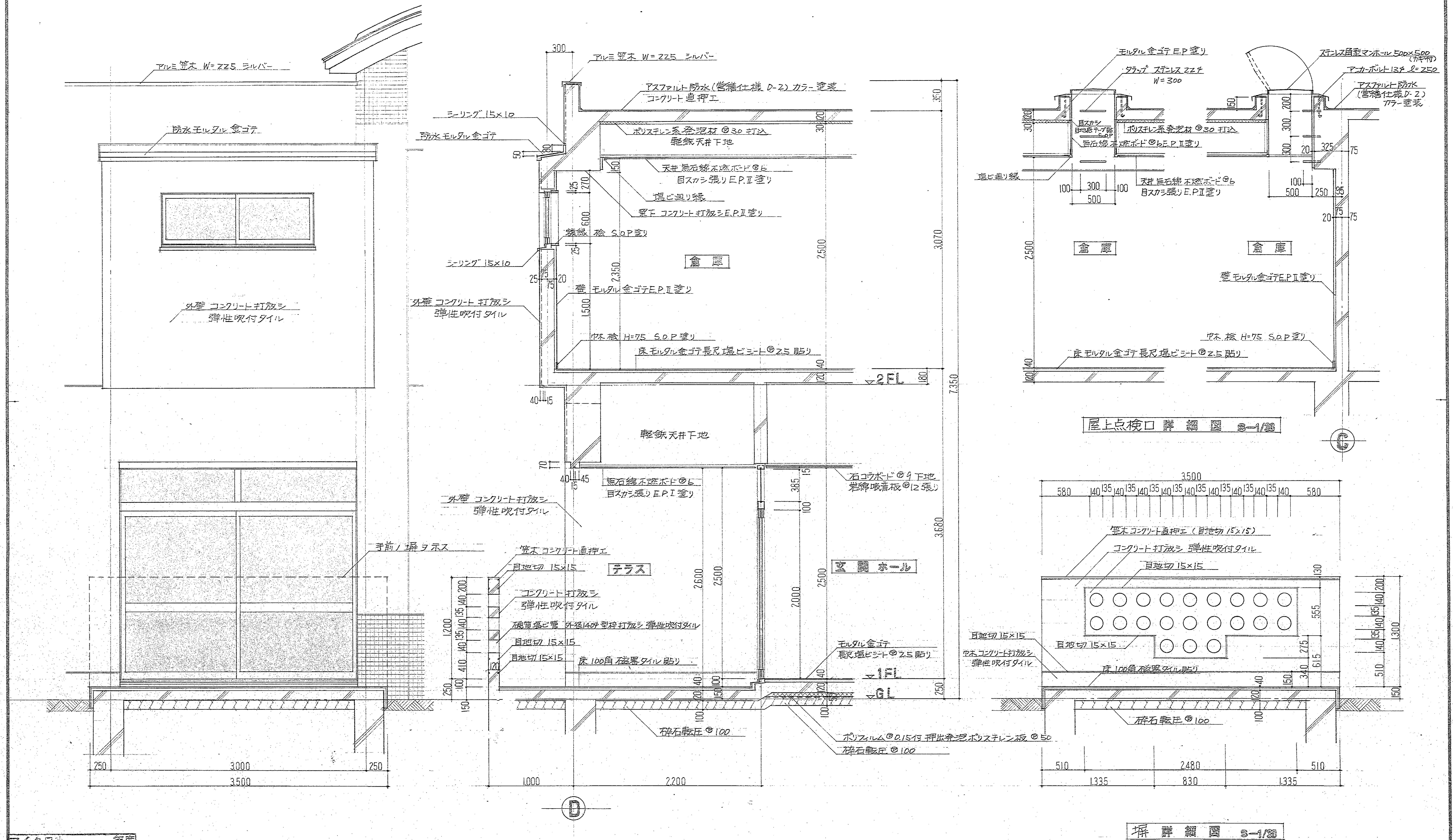
C by

DATE _____

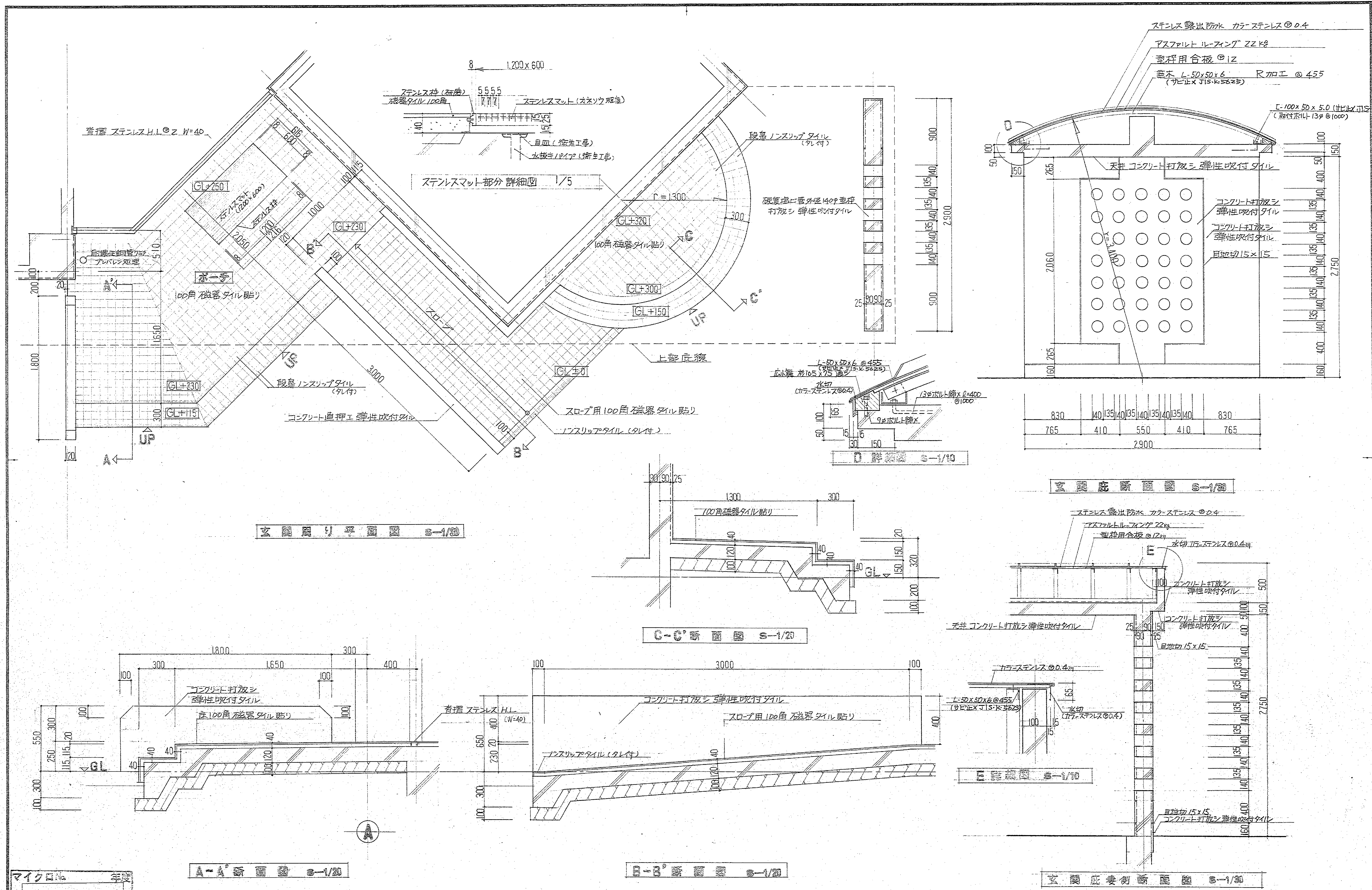
1級建築士事務所登録()1869
1級建築士登録 45165
鞍 智 勝 利

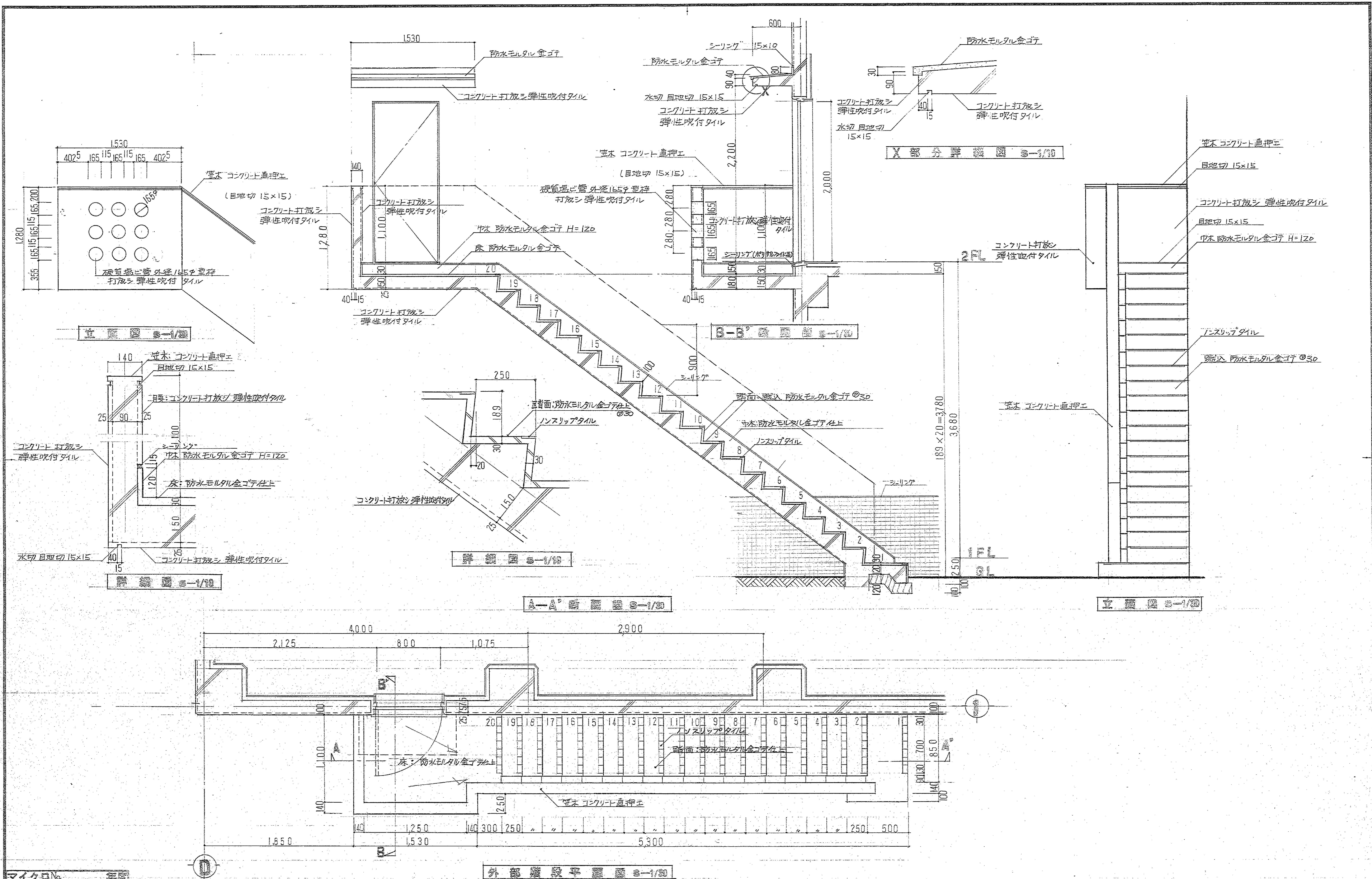
鞍智建築設計事務所
静岡市伝馬町10-14 TEL 55-4049 52-6887

N

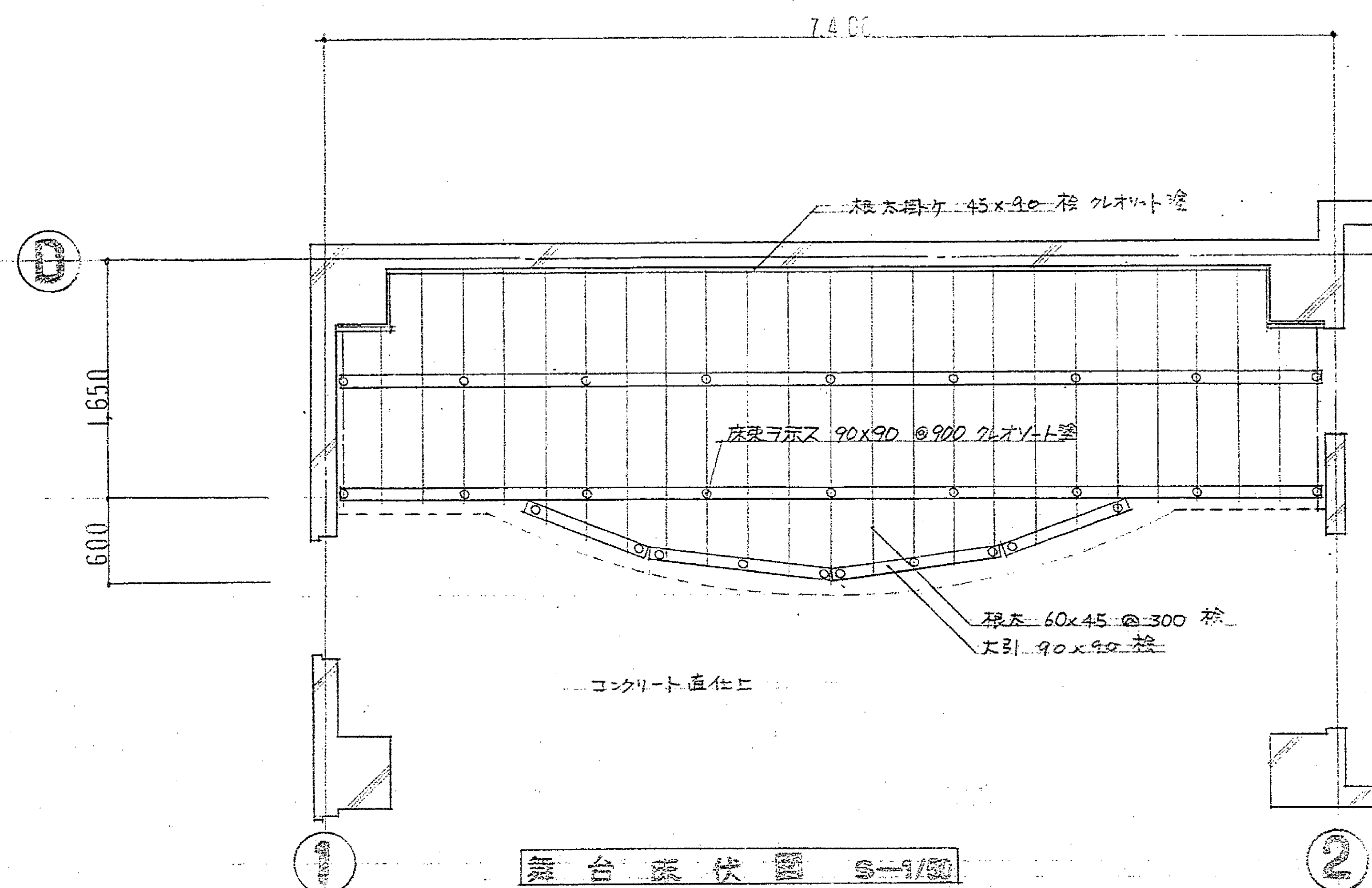


マイク目No. 年度
121-11703

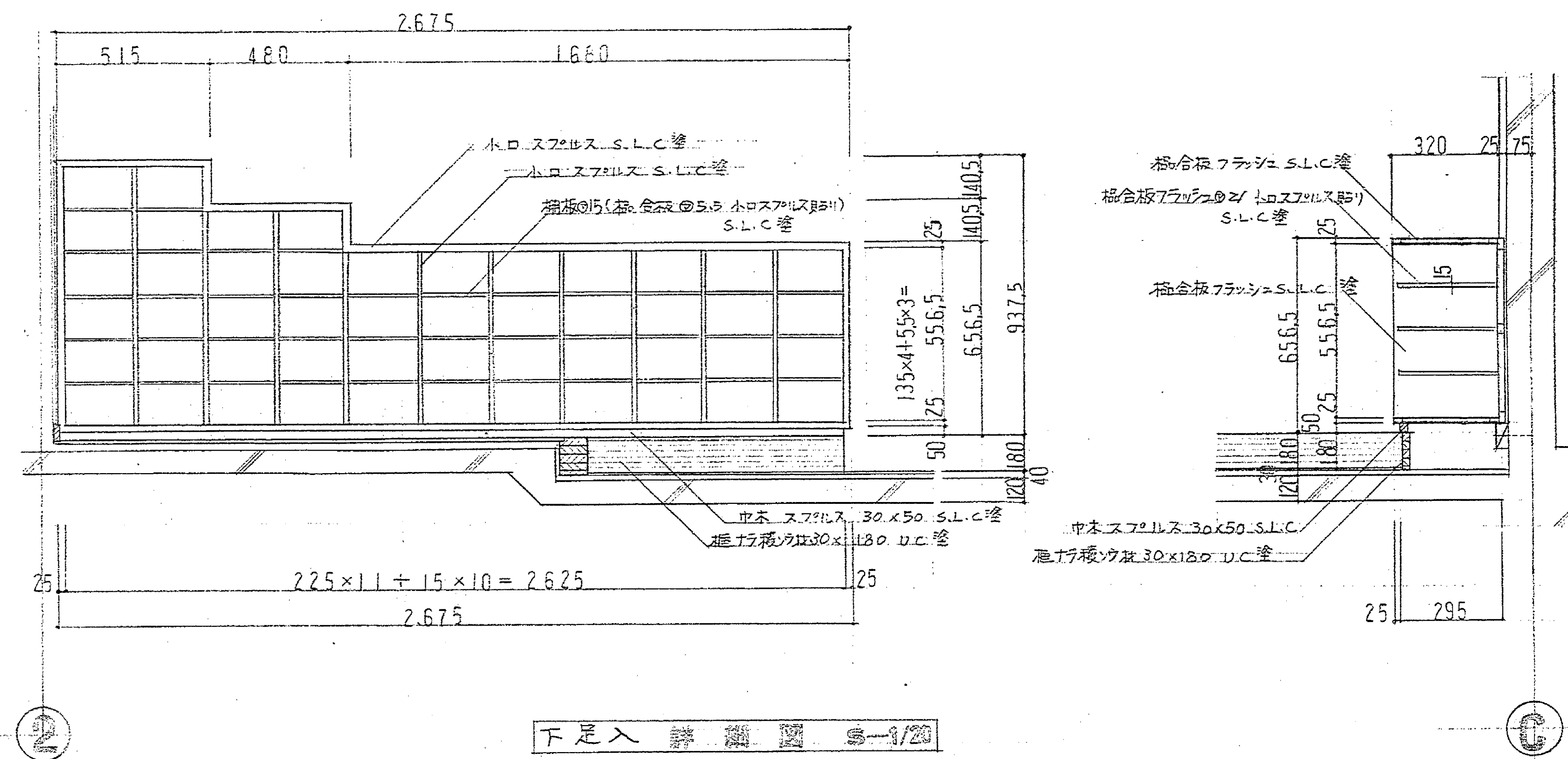




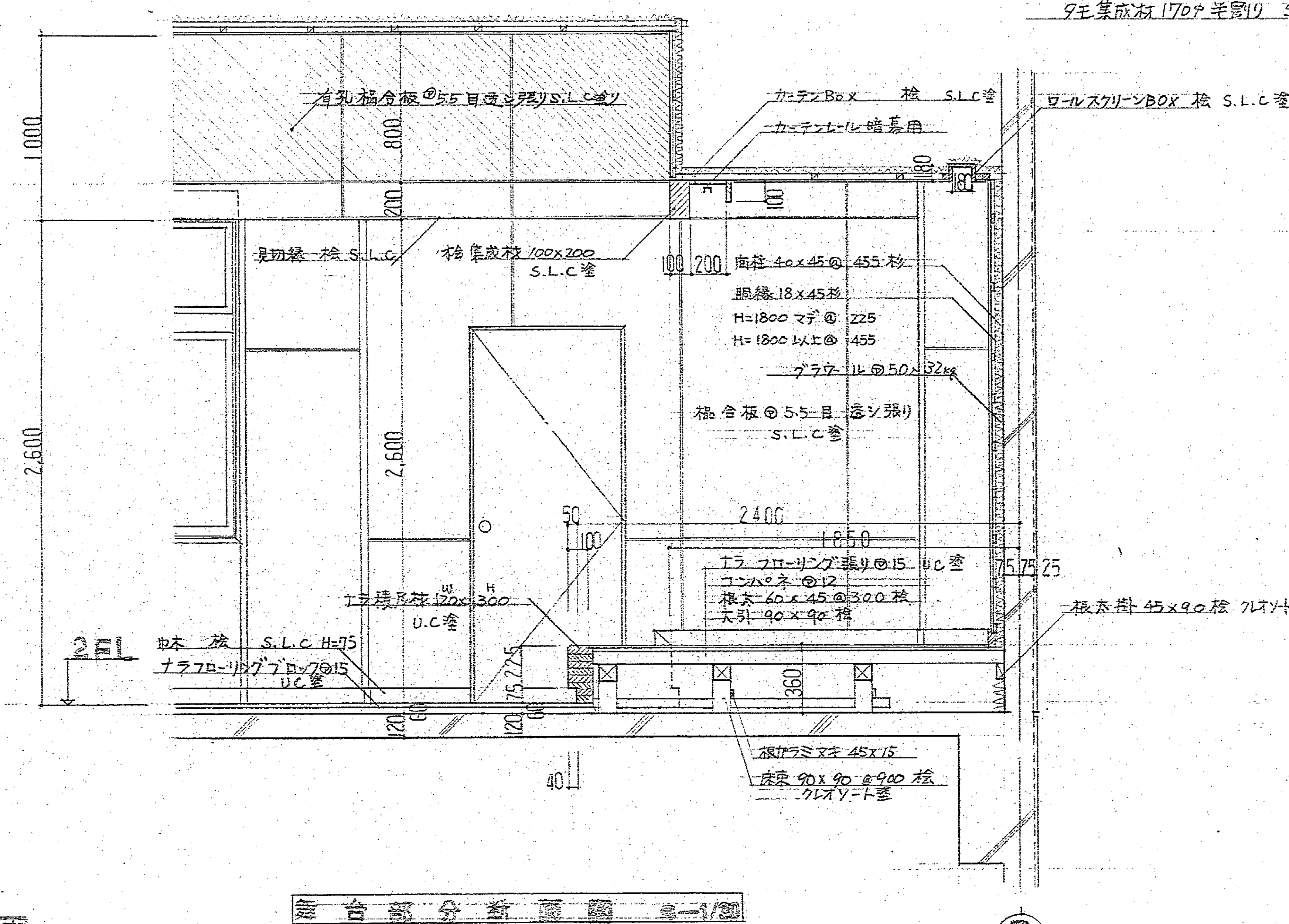
マイクログラフ
121-11705



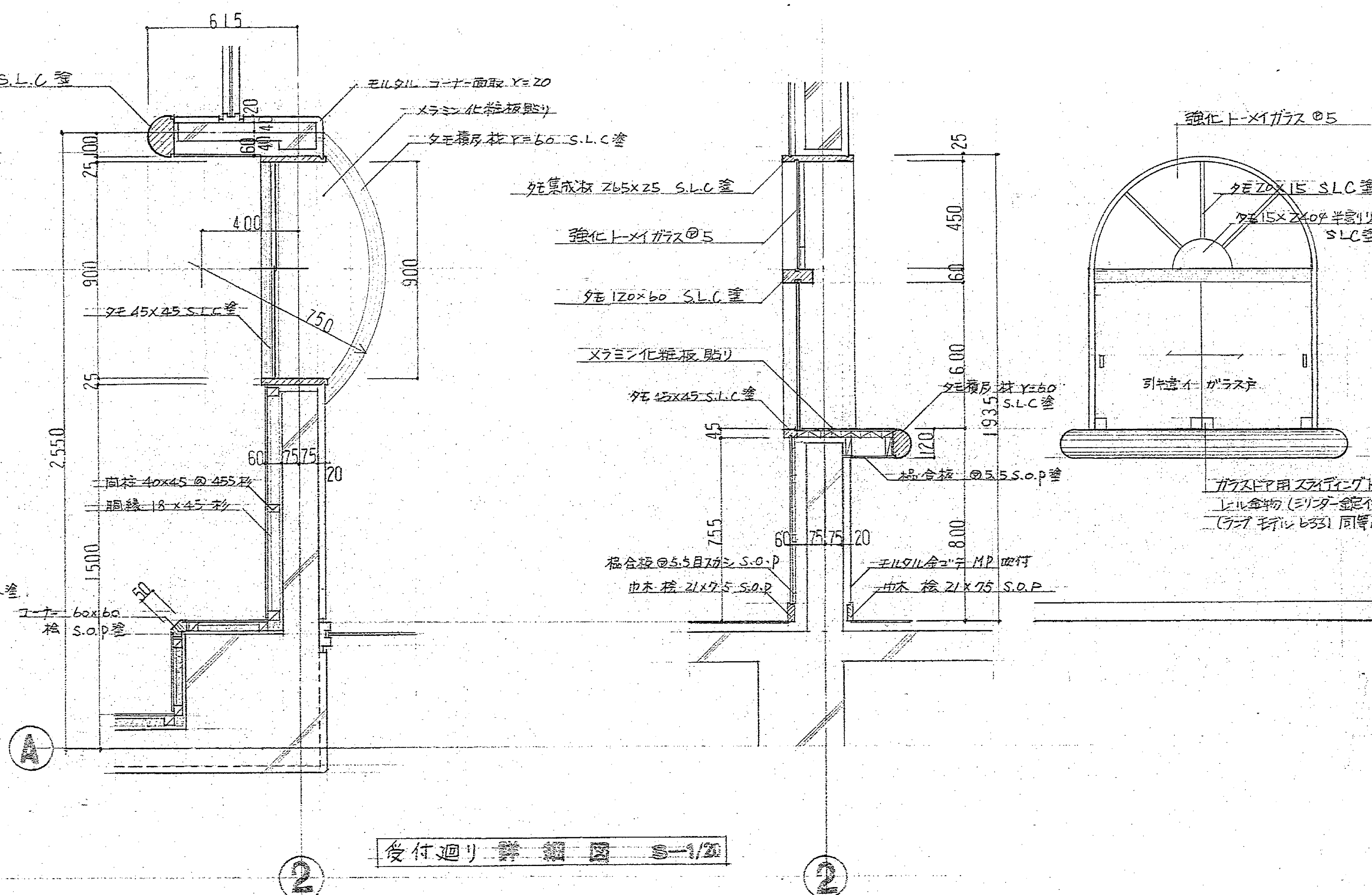
舞台立面図 S-1/20



下足入詳細図 S-1/20

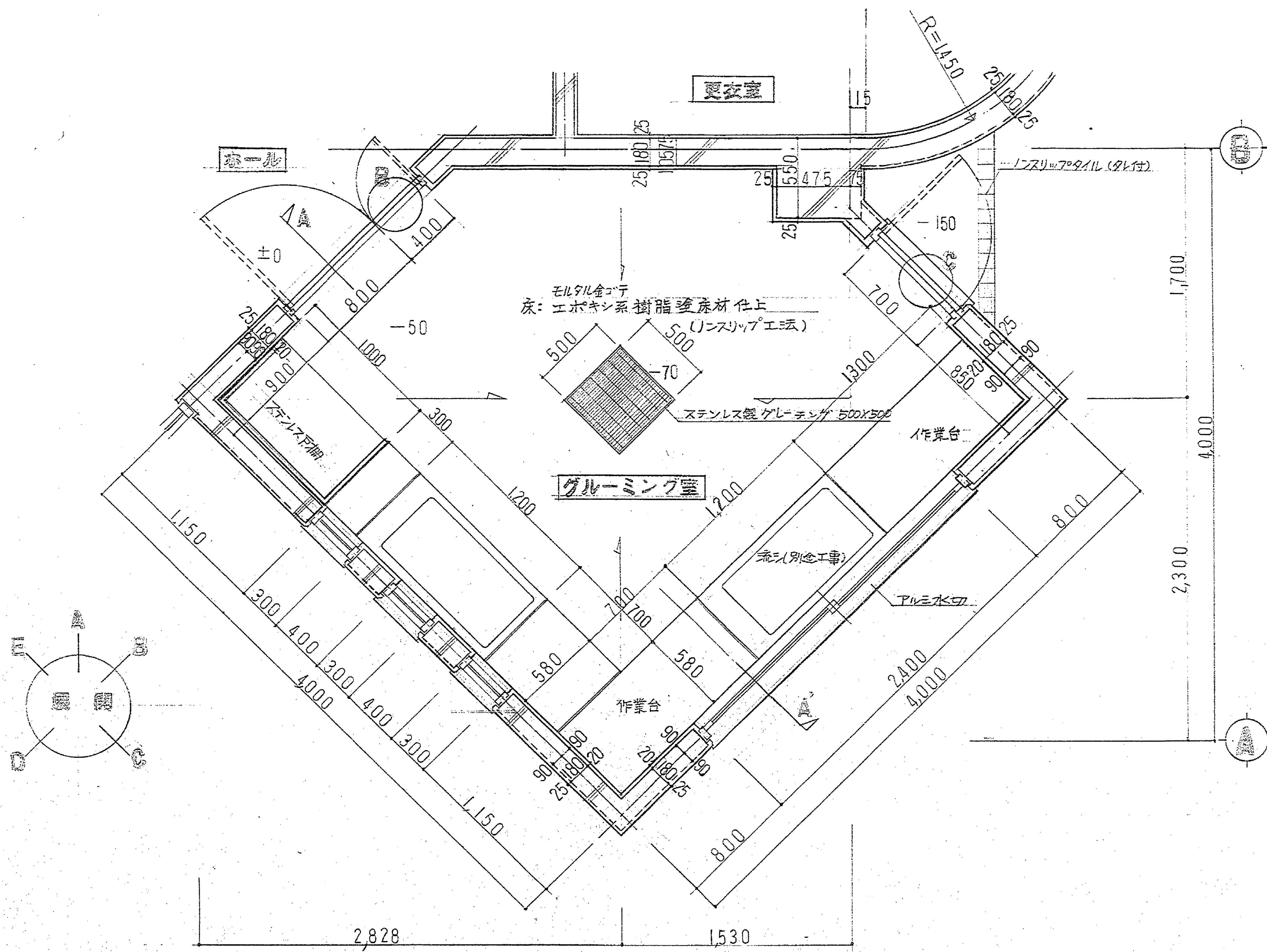


舞台部分断面図 S-1/20

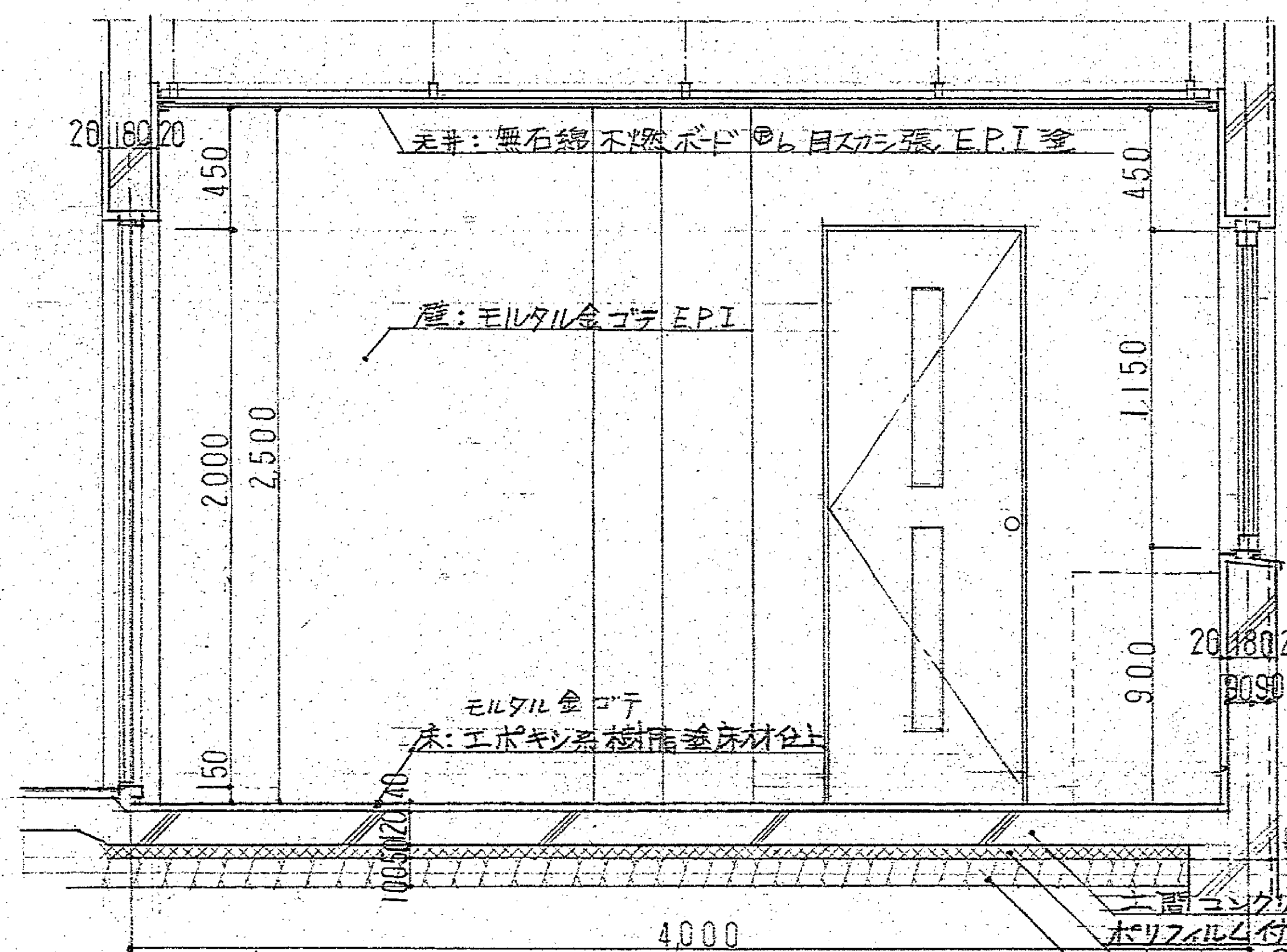


後付廻り詳細図 S-1/20

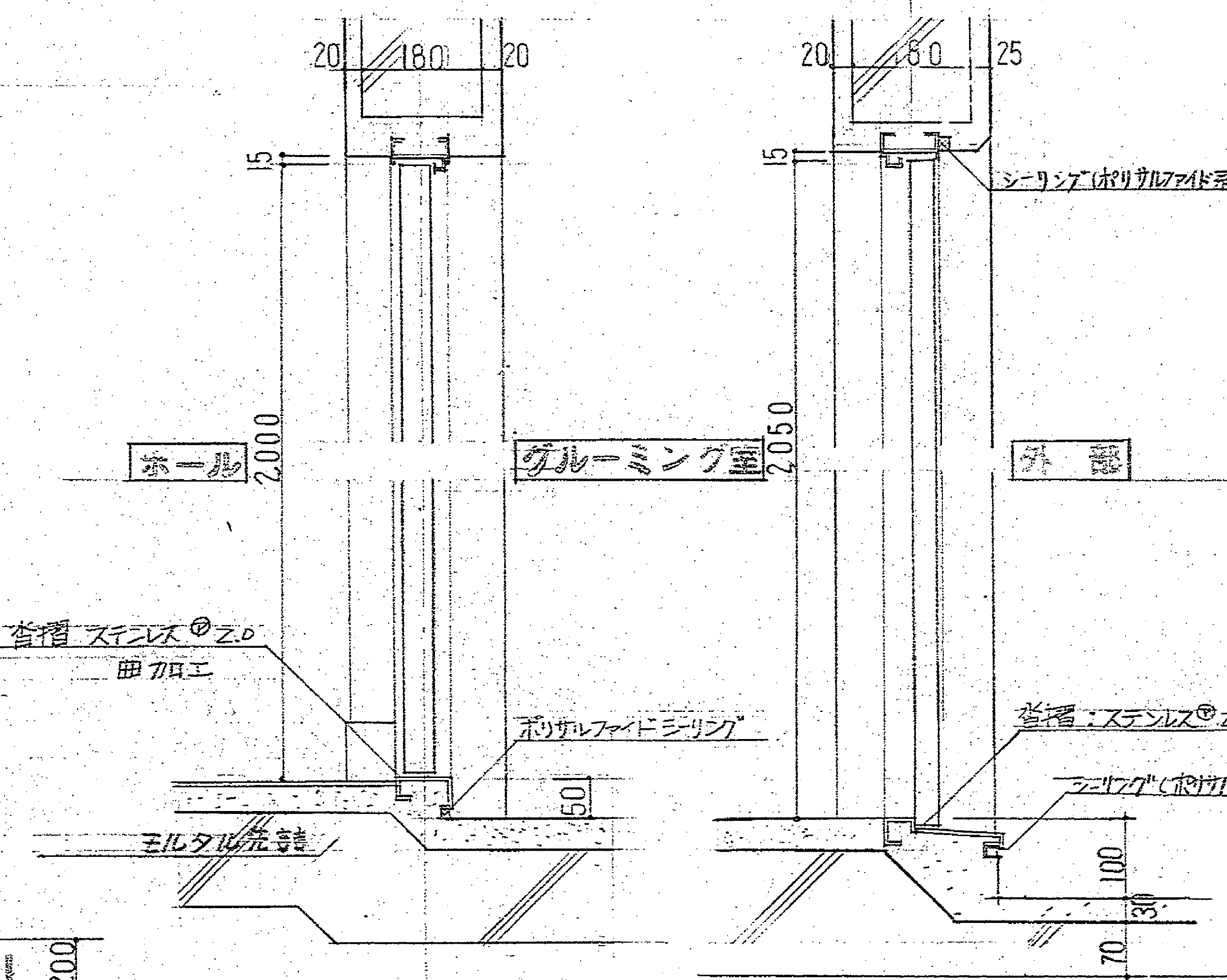
マイクログラ
121-11706



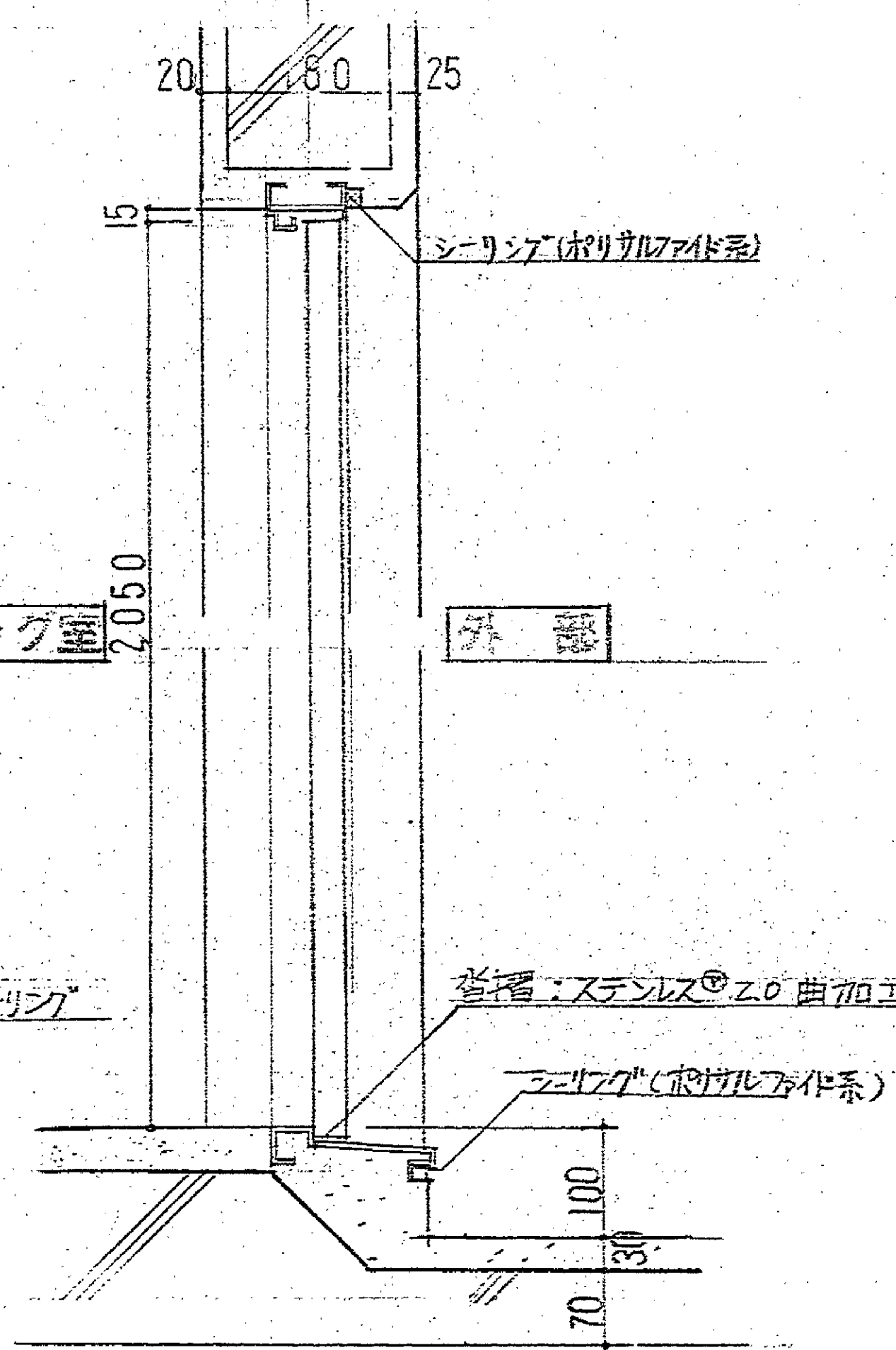
グルーミング室平面詳細図 S-1/20



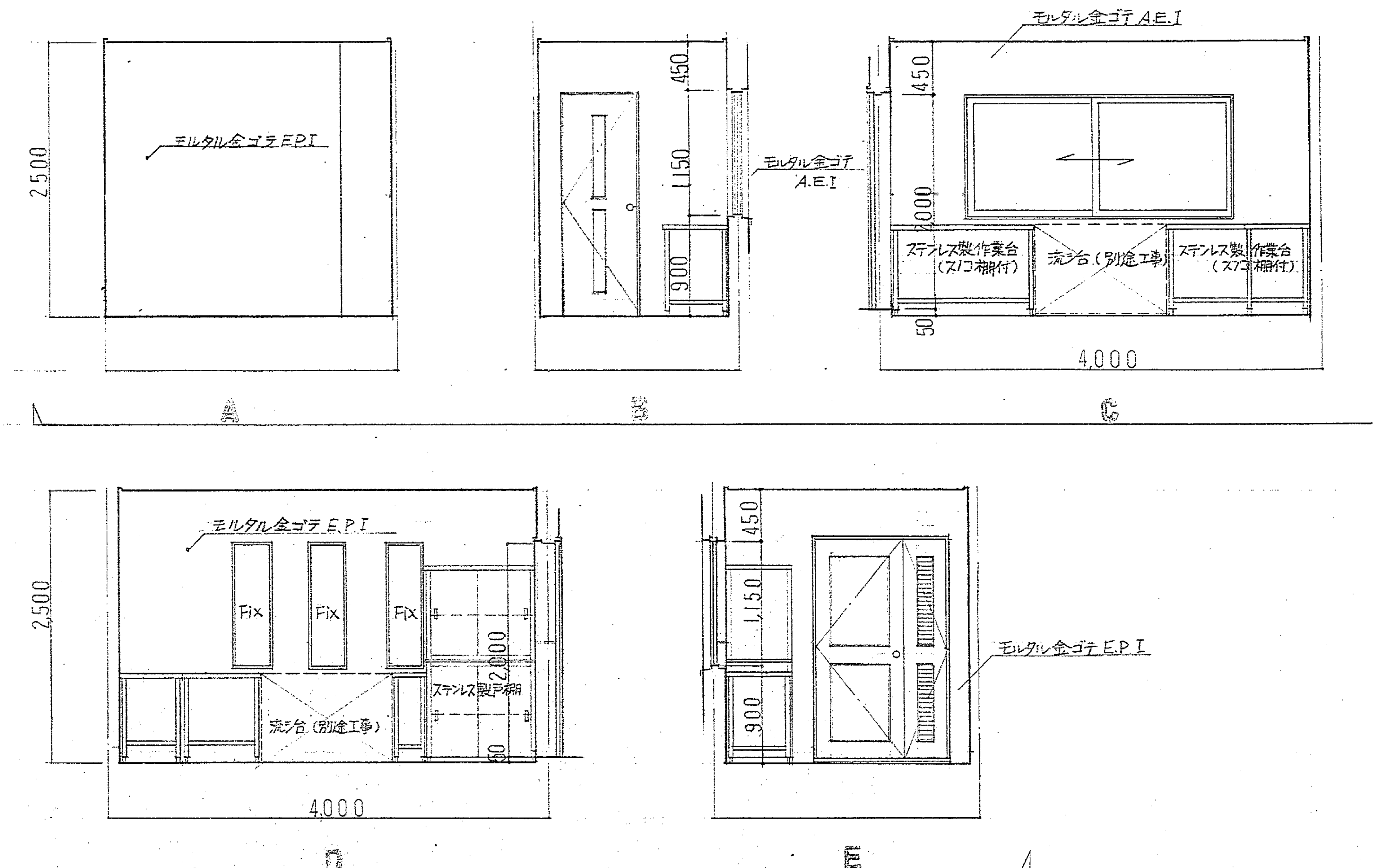
A-A断面図 S-1/20



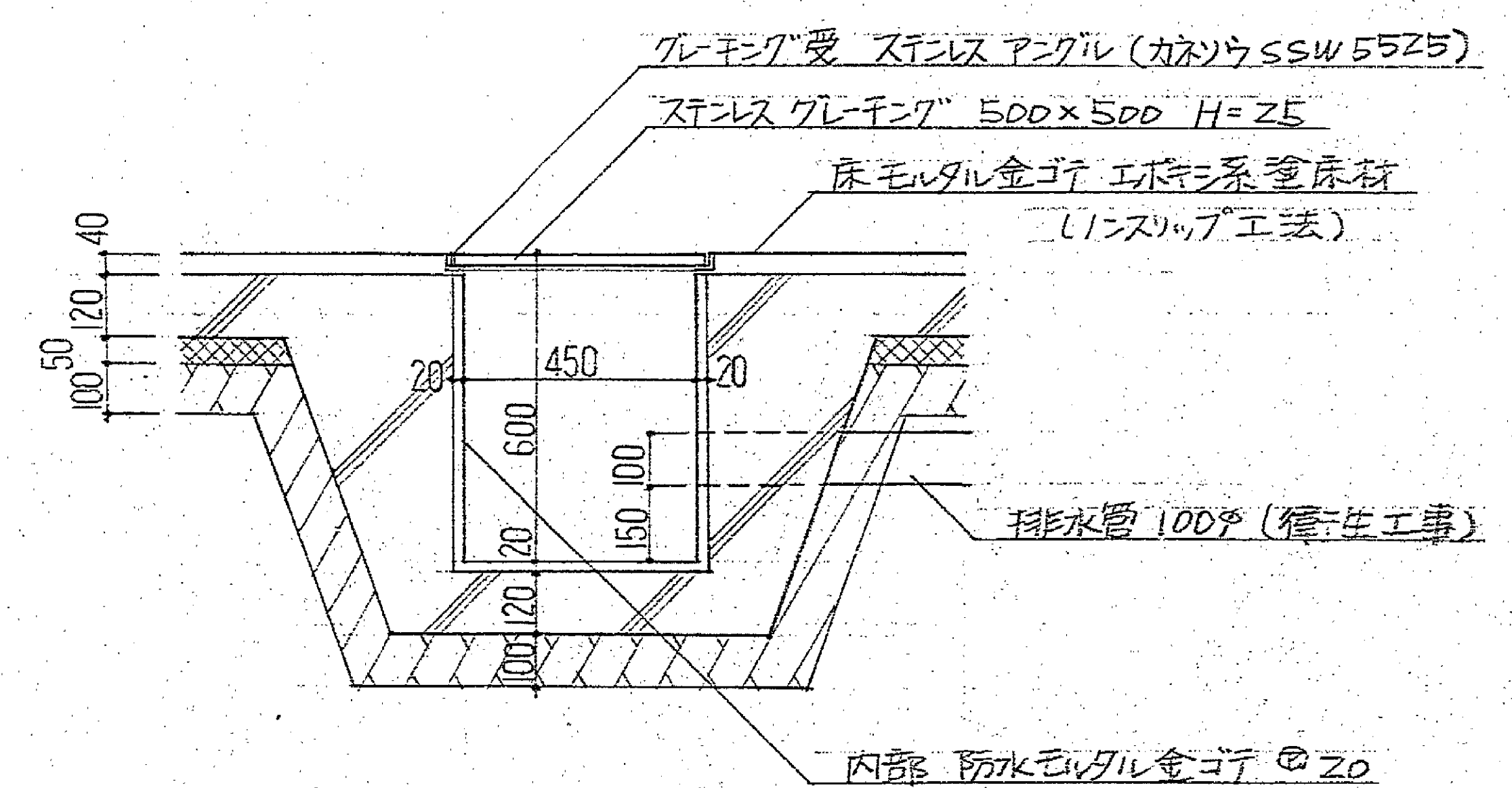
B断面図 S-1/10



C断面図 S-1/10

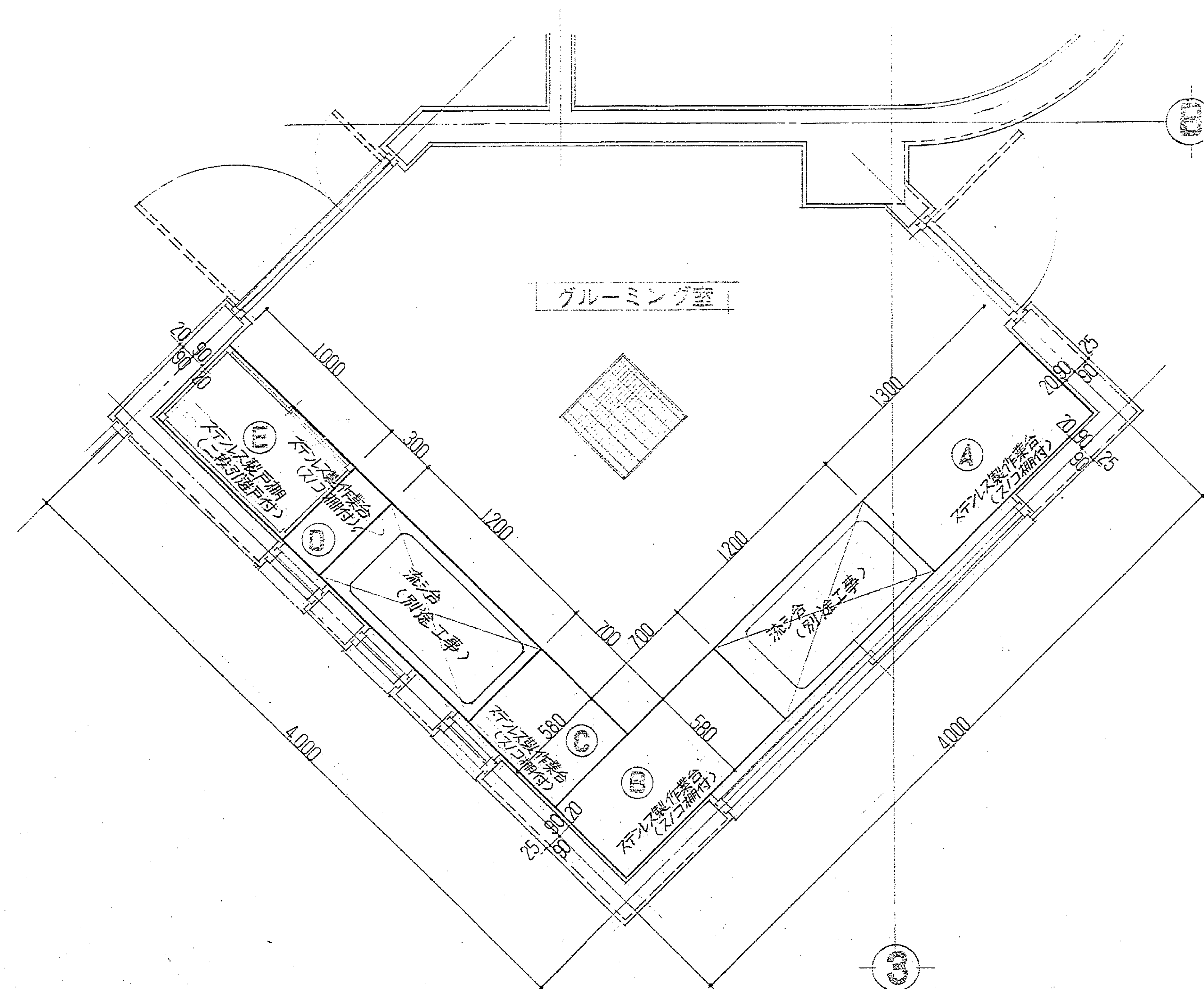


D断面図 S-1/20

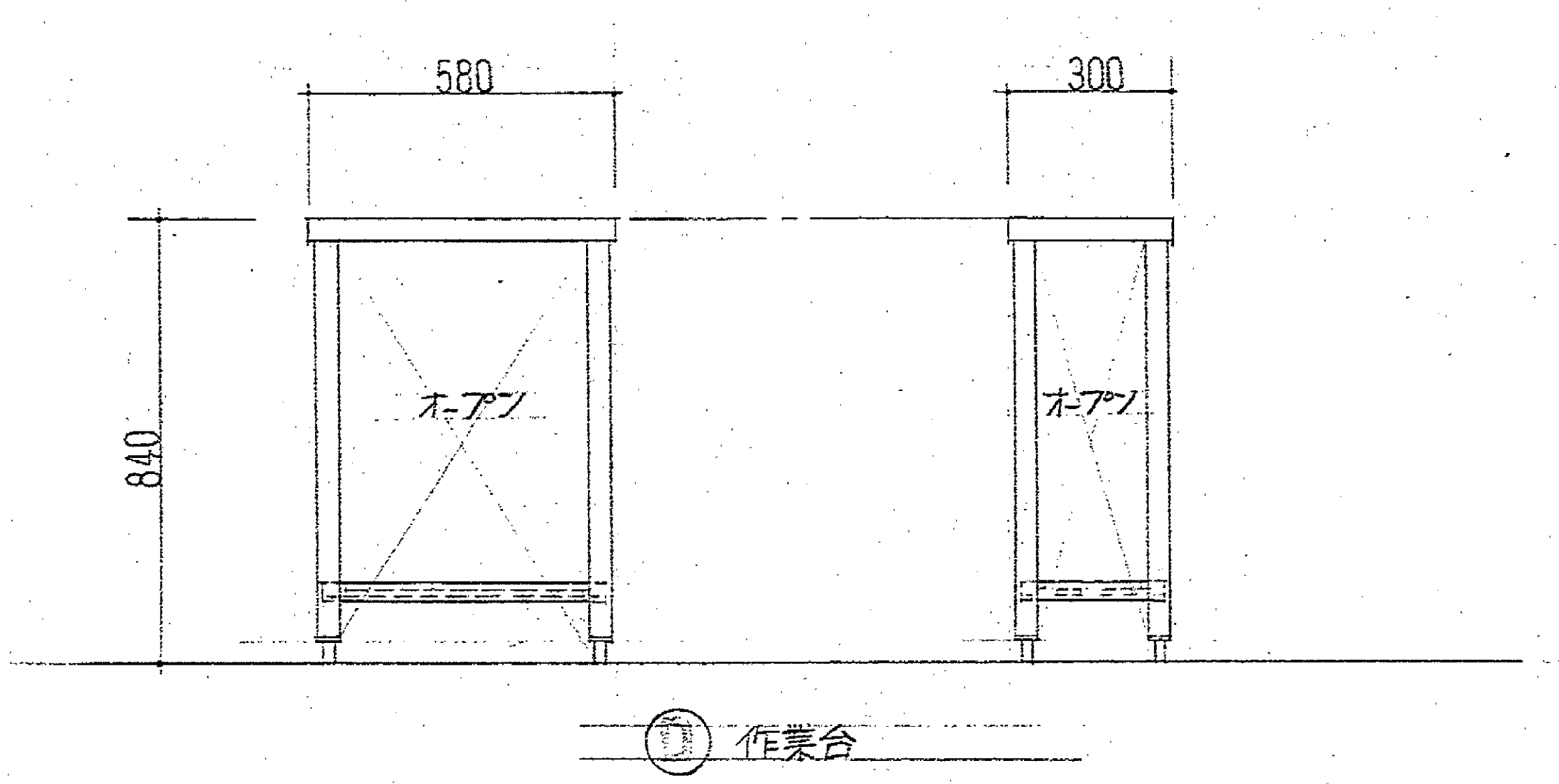
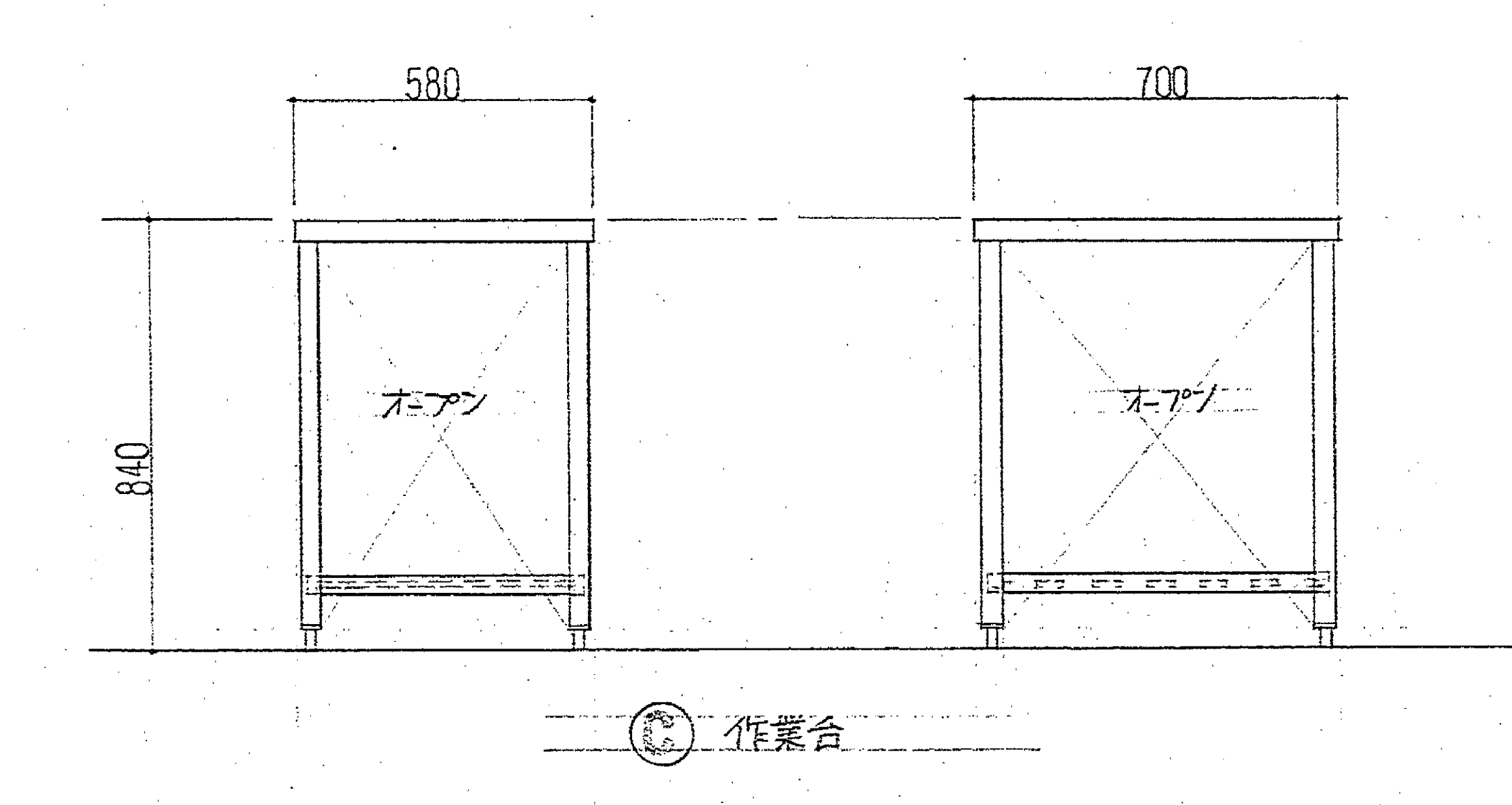
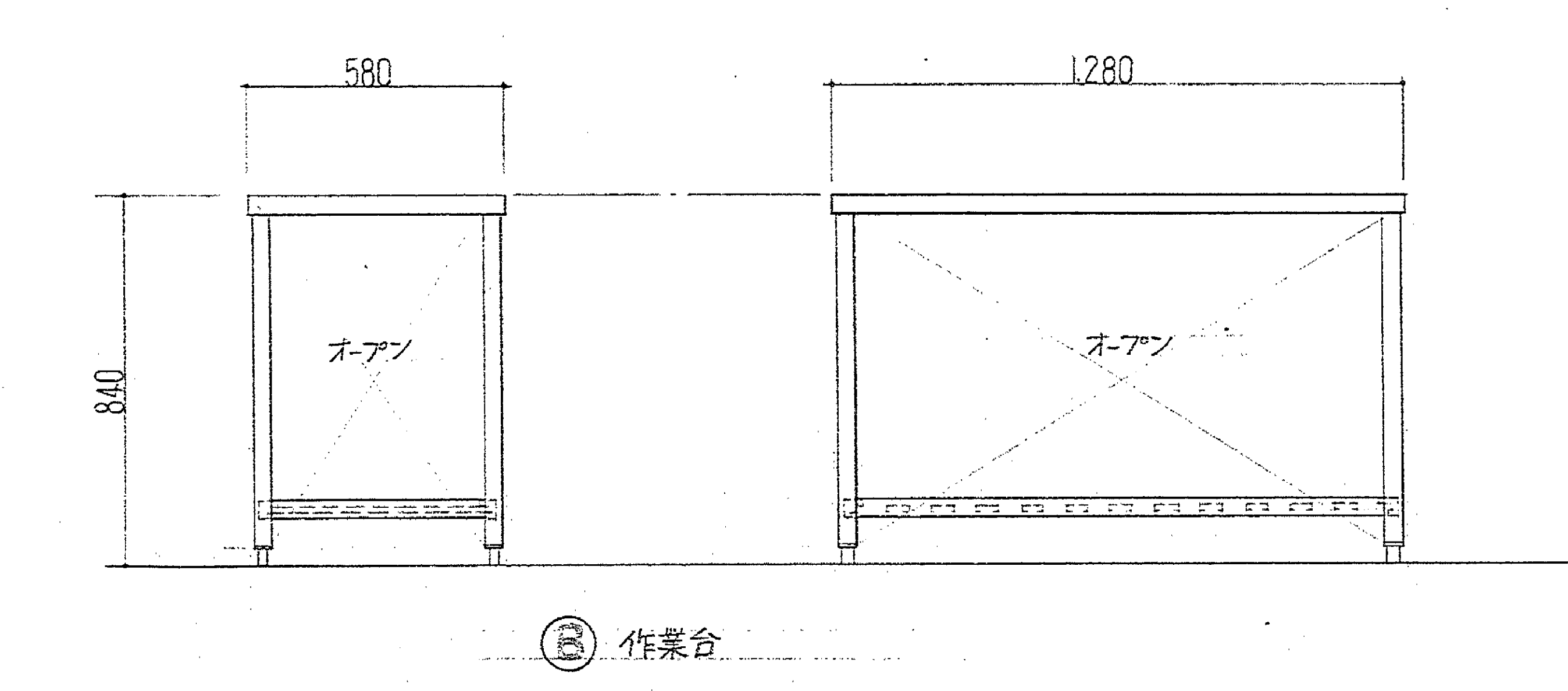
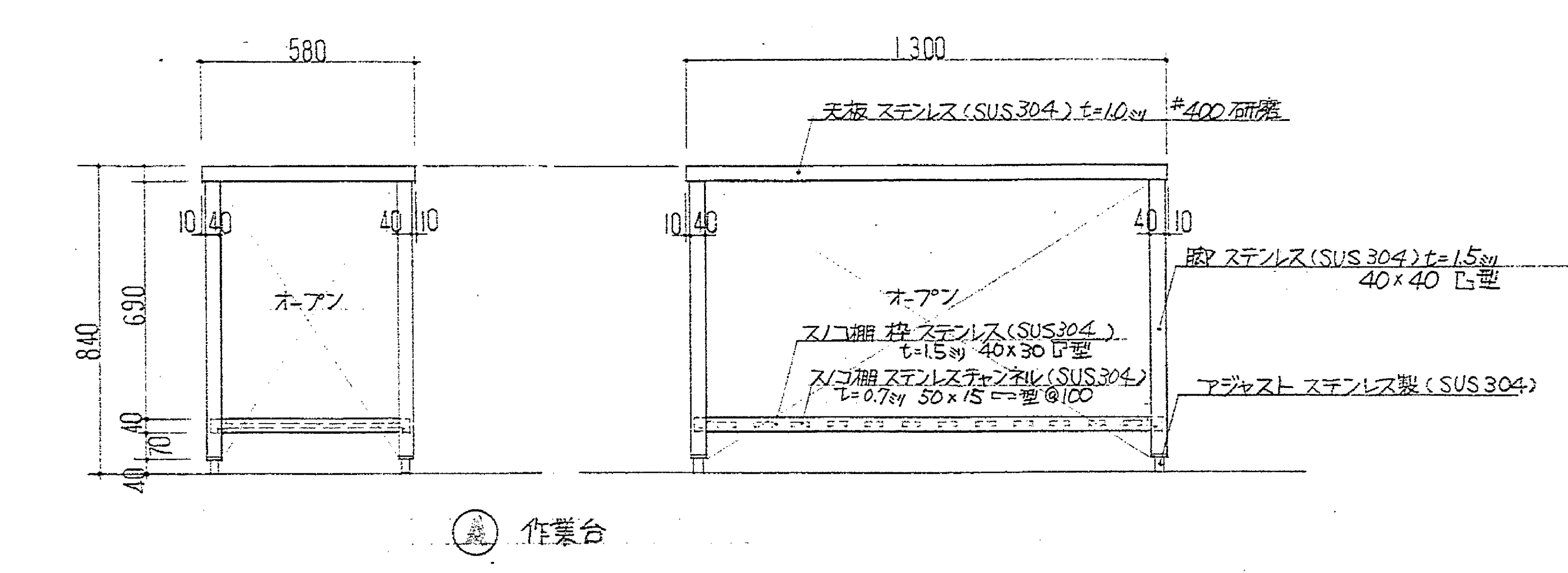
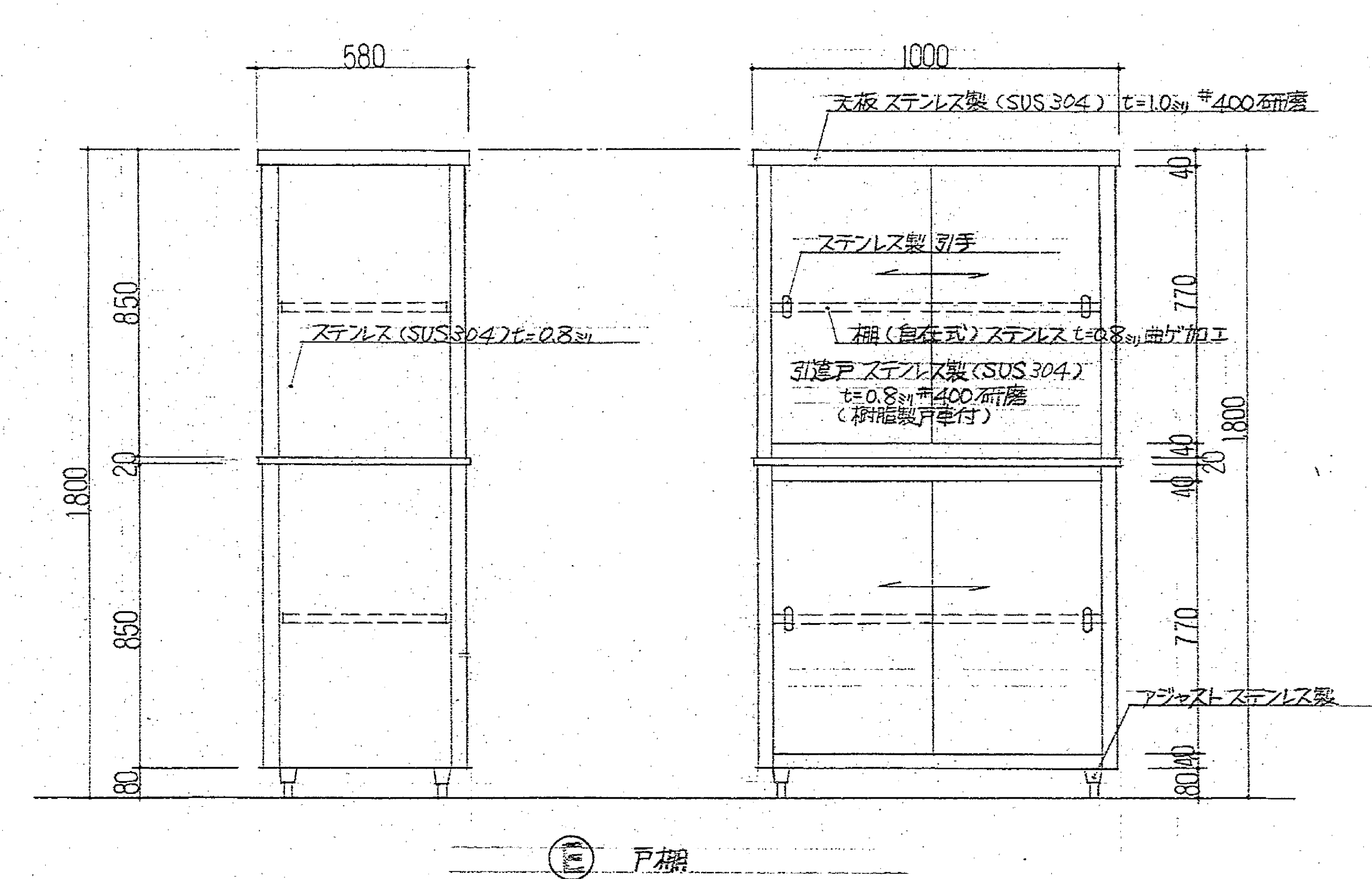


E断面図 S-1/20

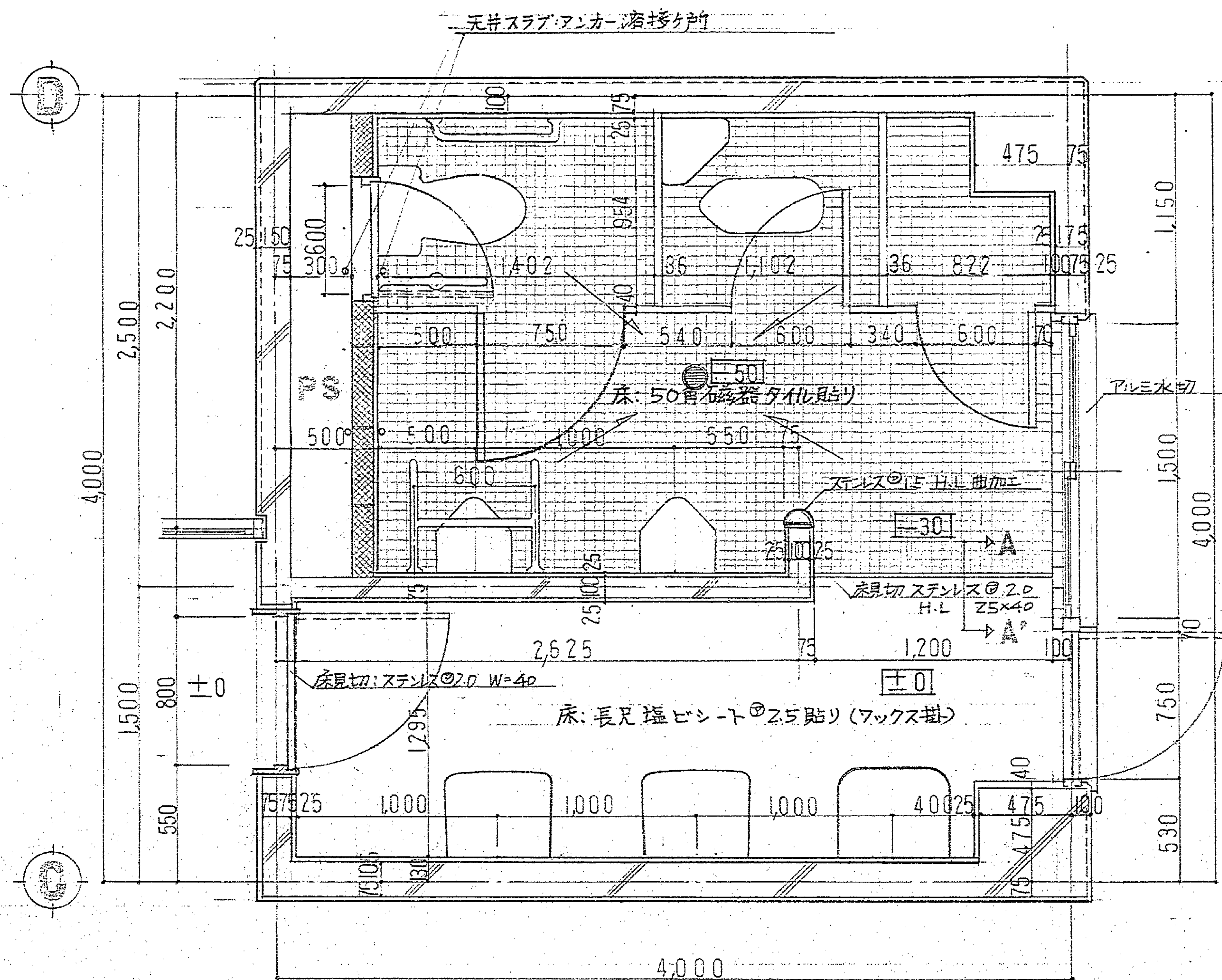
マイクログラフ
121-11707



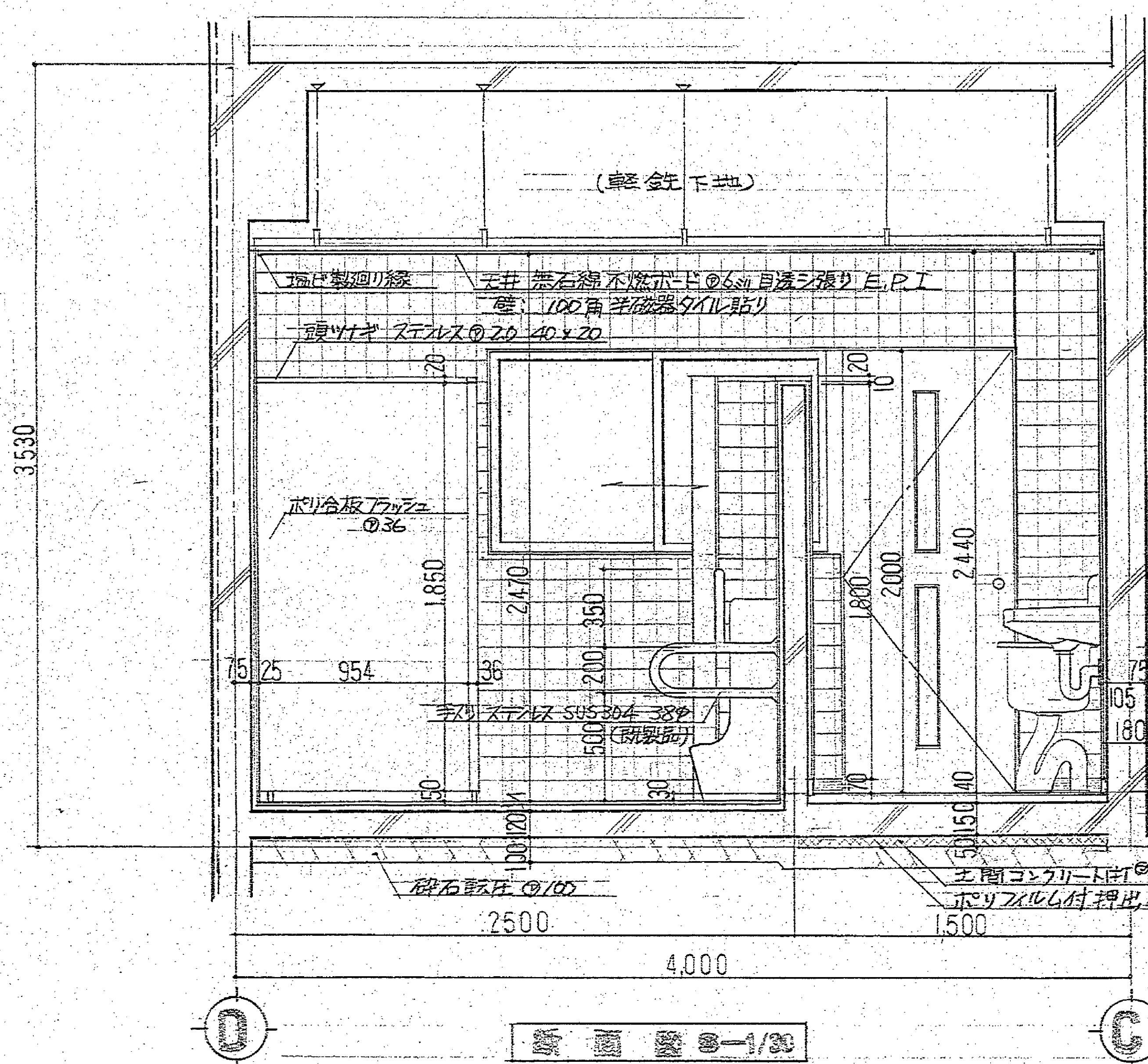
グルーミング室 作業台、戸棚配置図 S-1/30



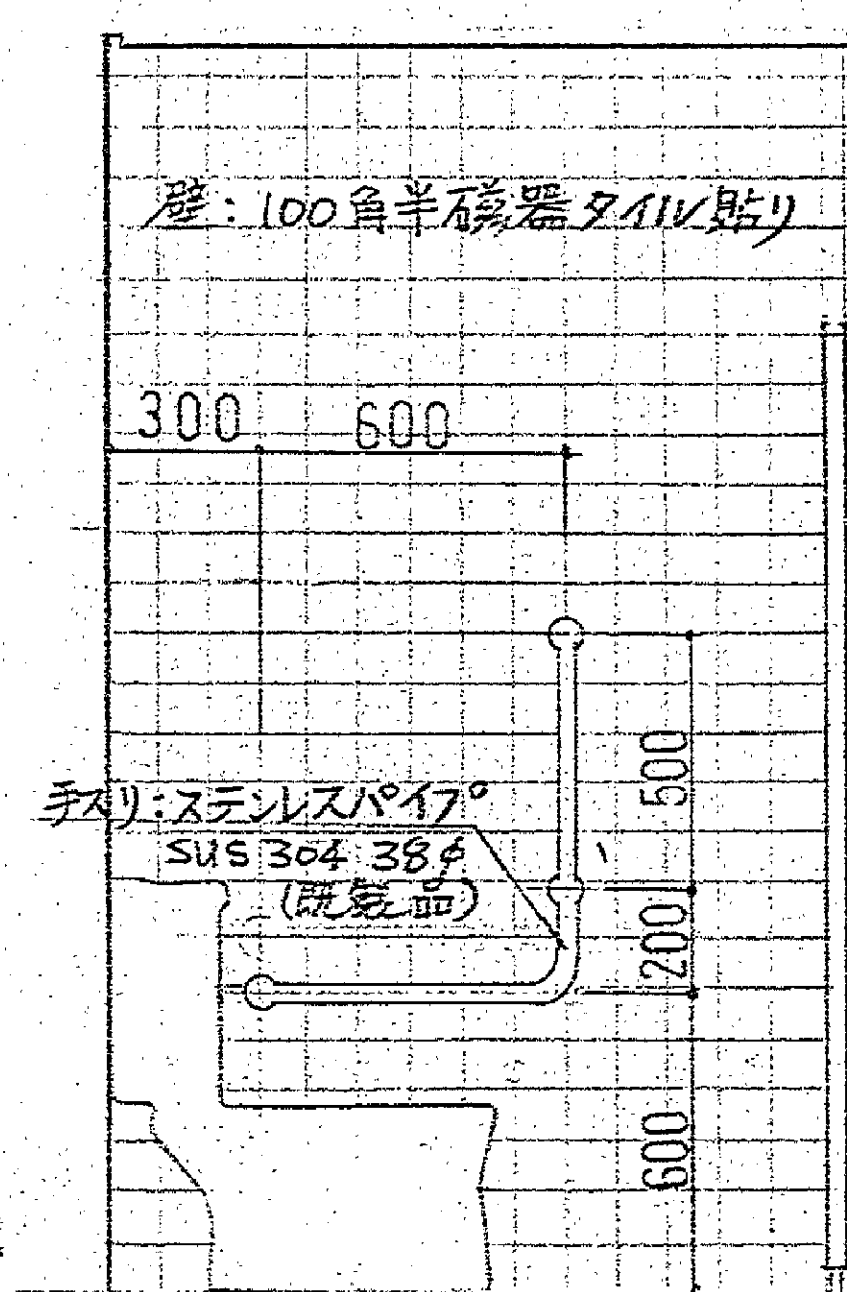
マイクログラフ No. 121-11708



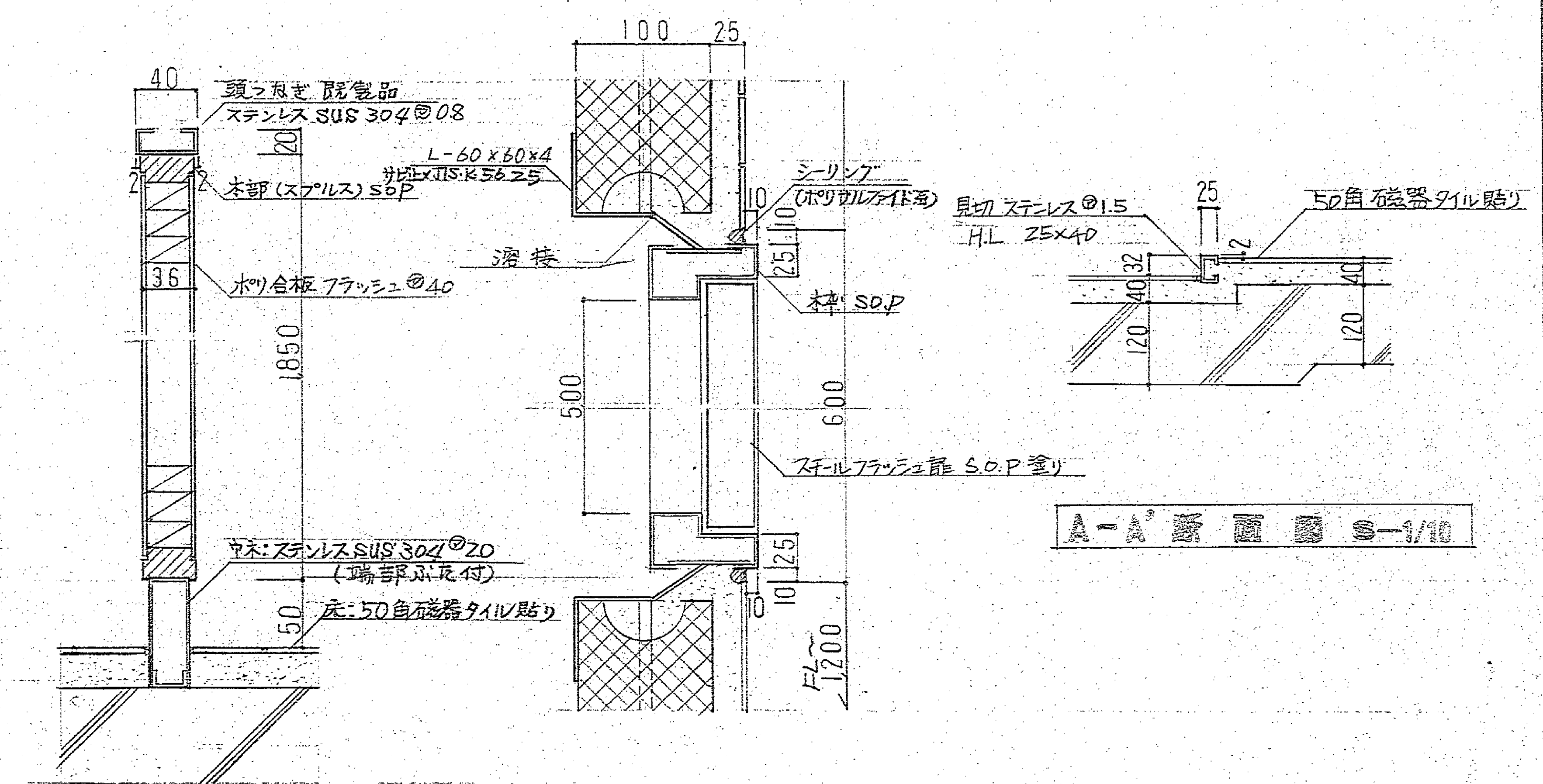
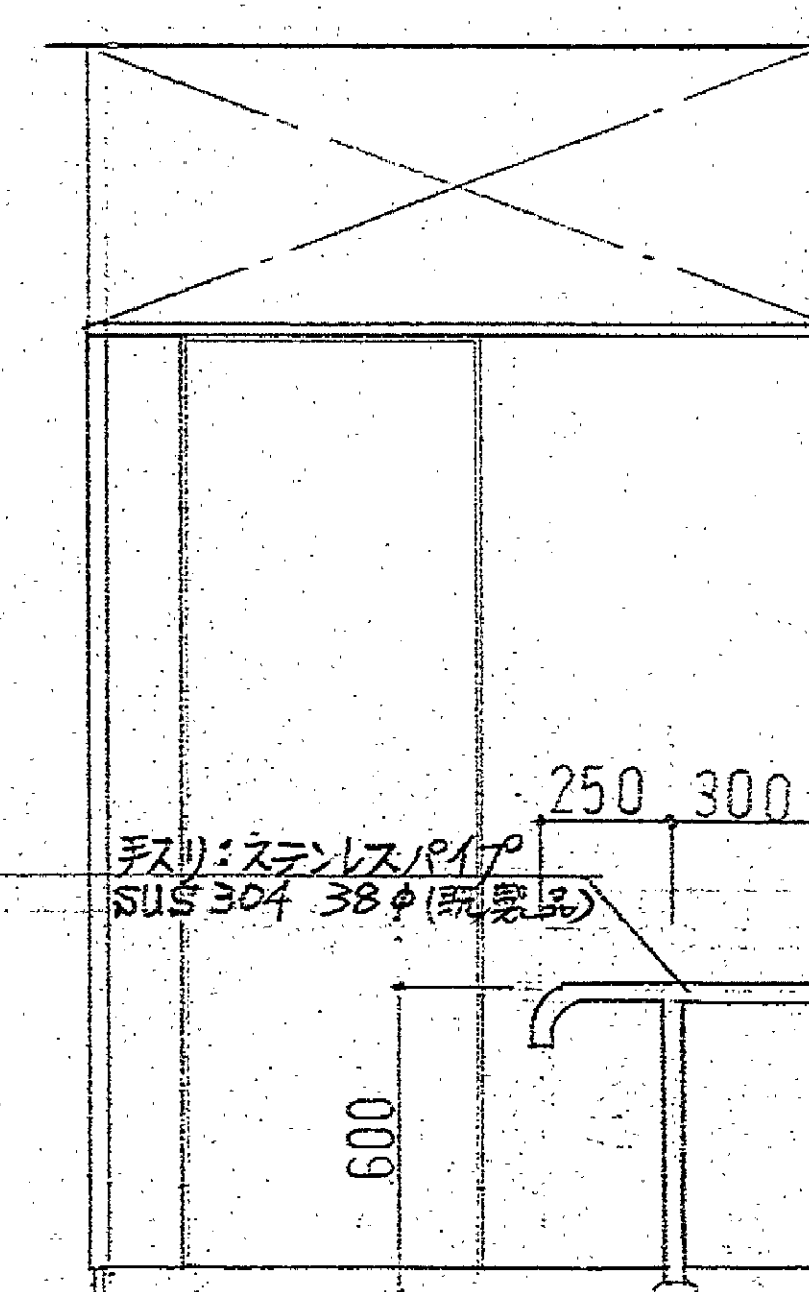
1F 洗面所・便所平面詳細図 S-1/3



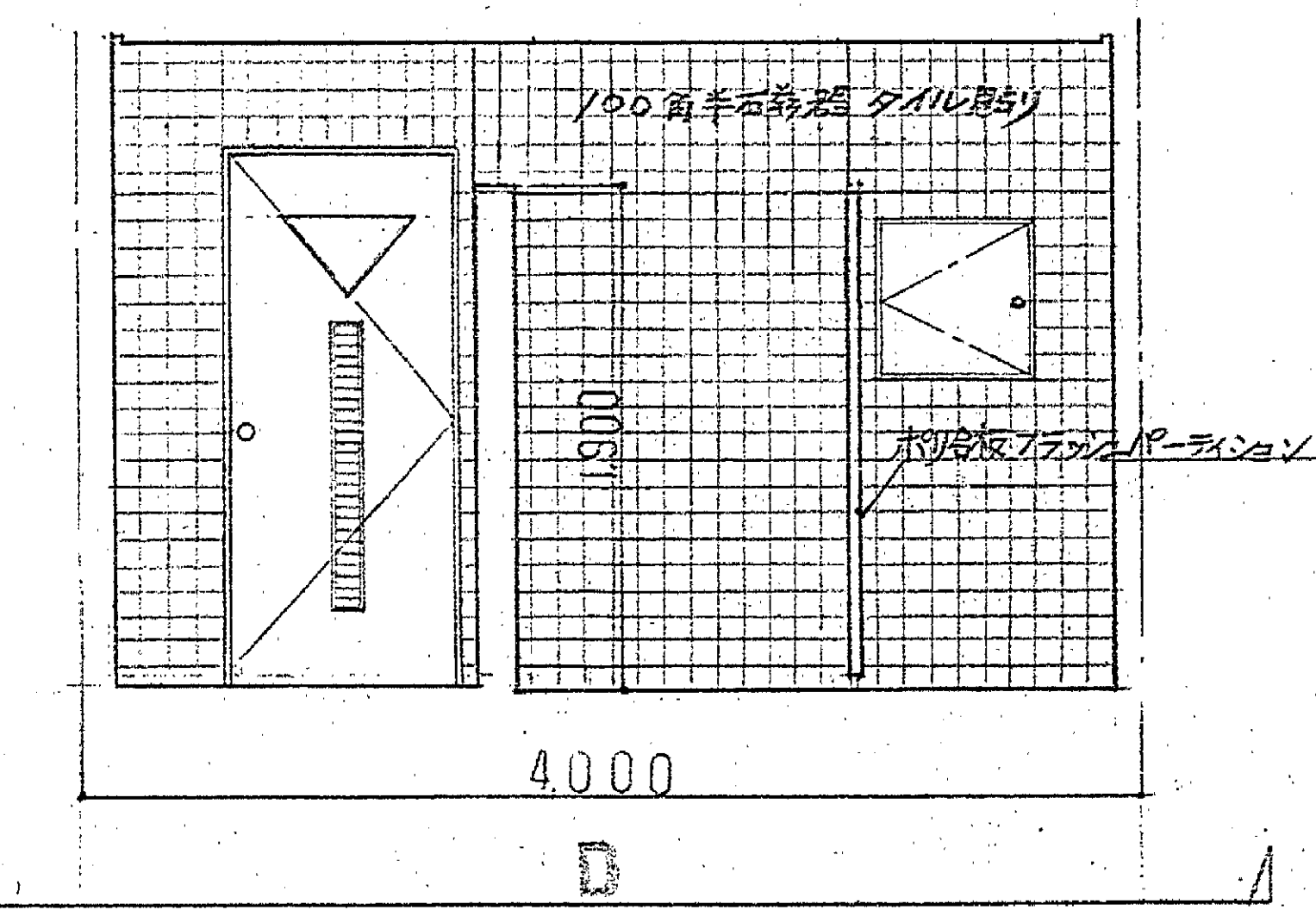
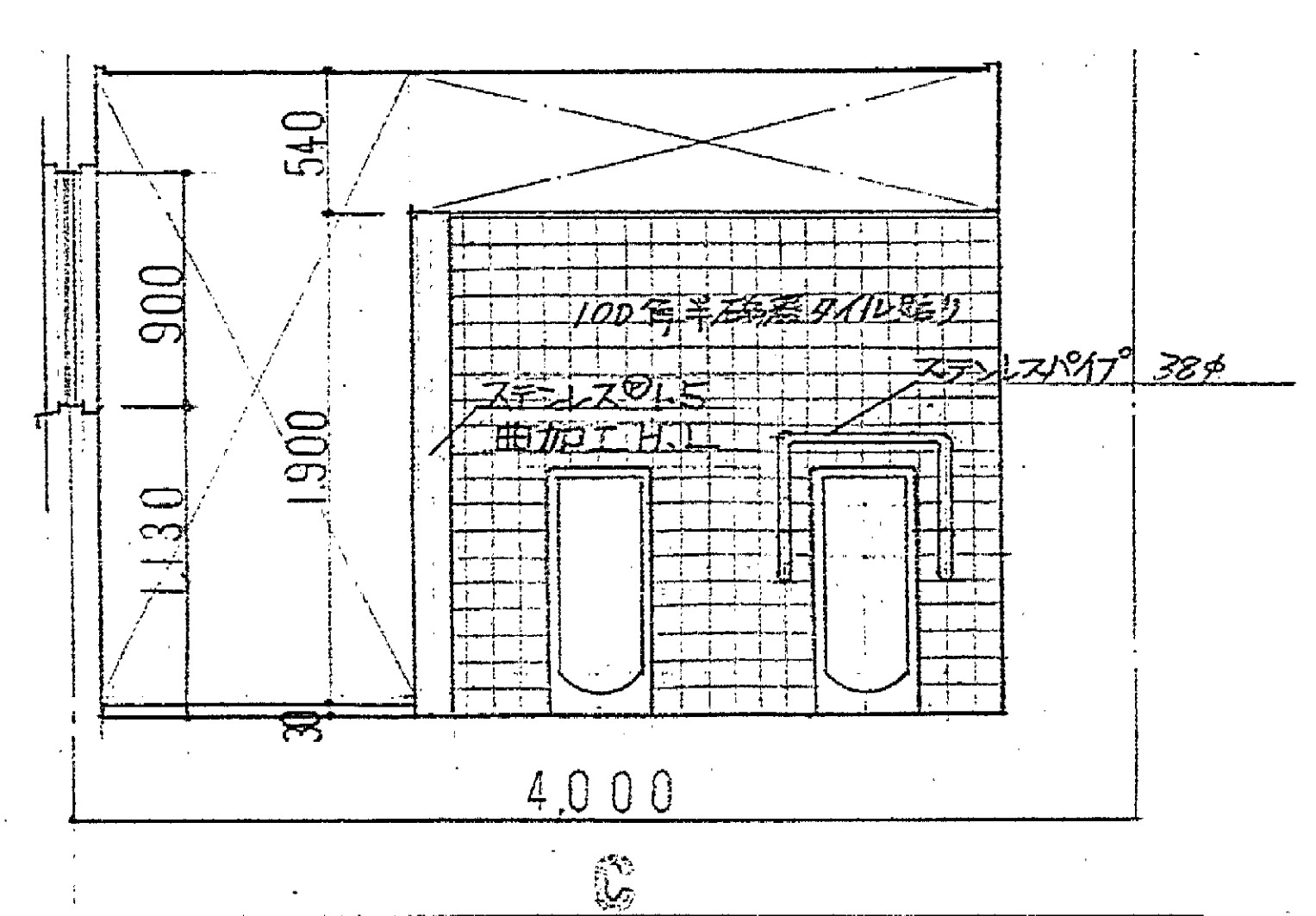
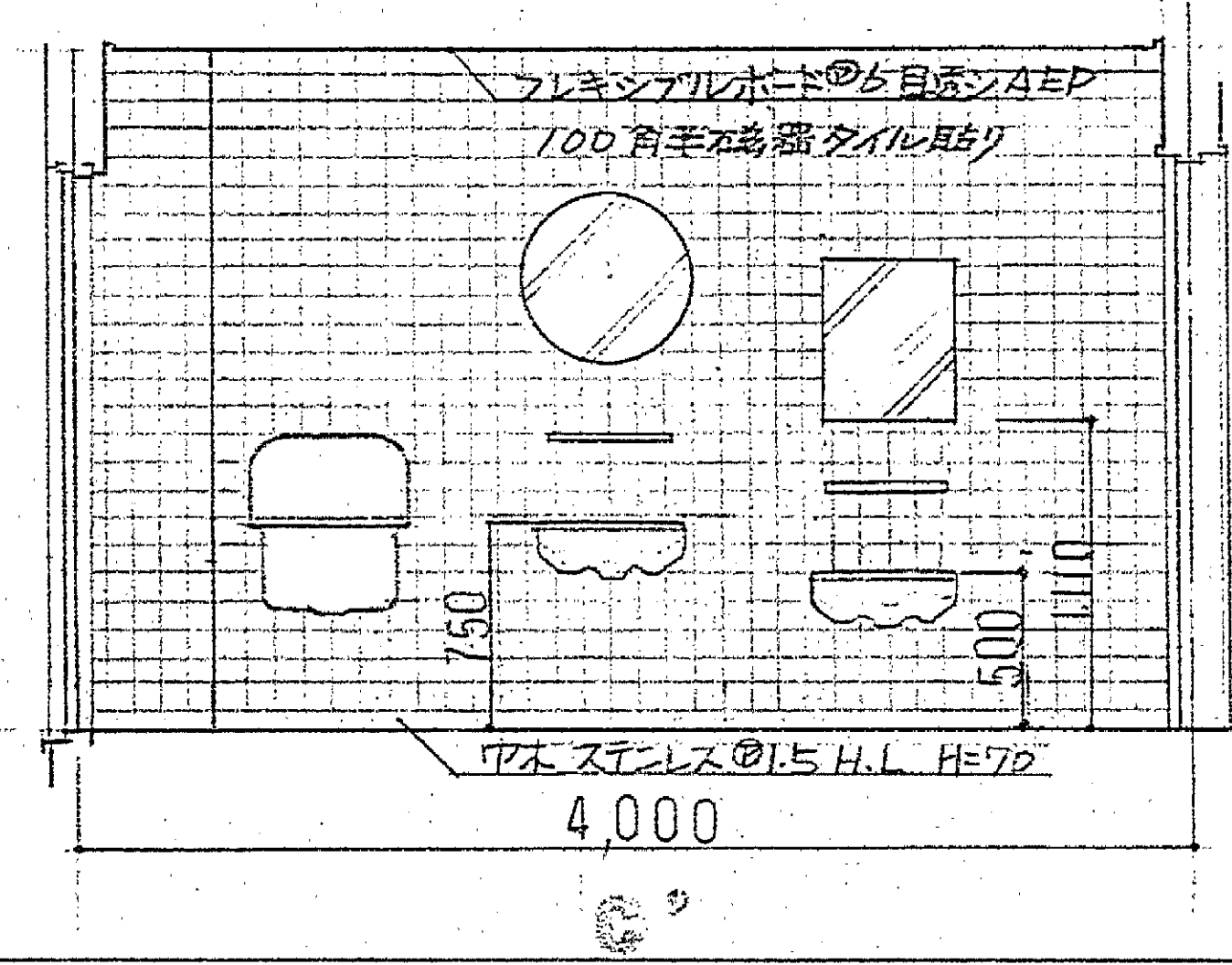
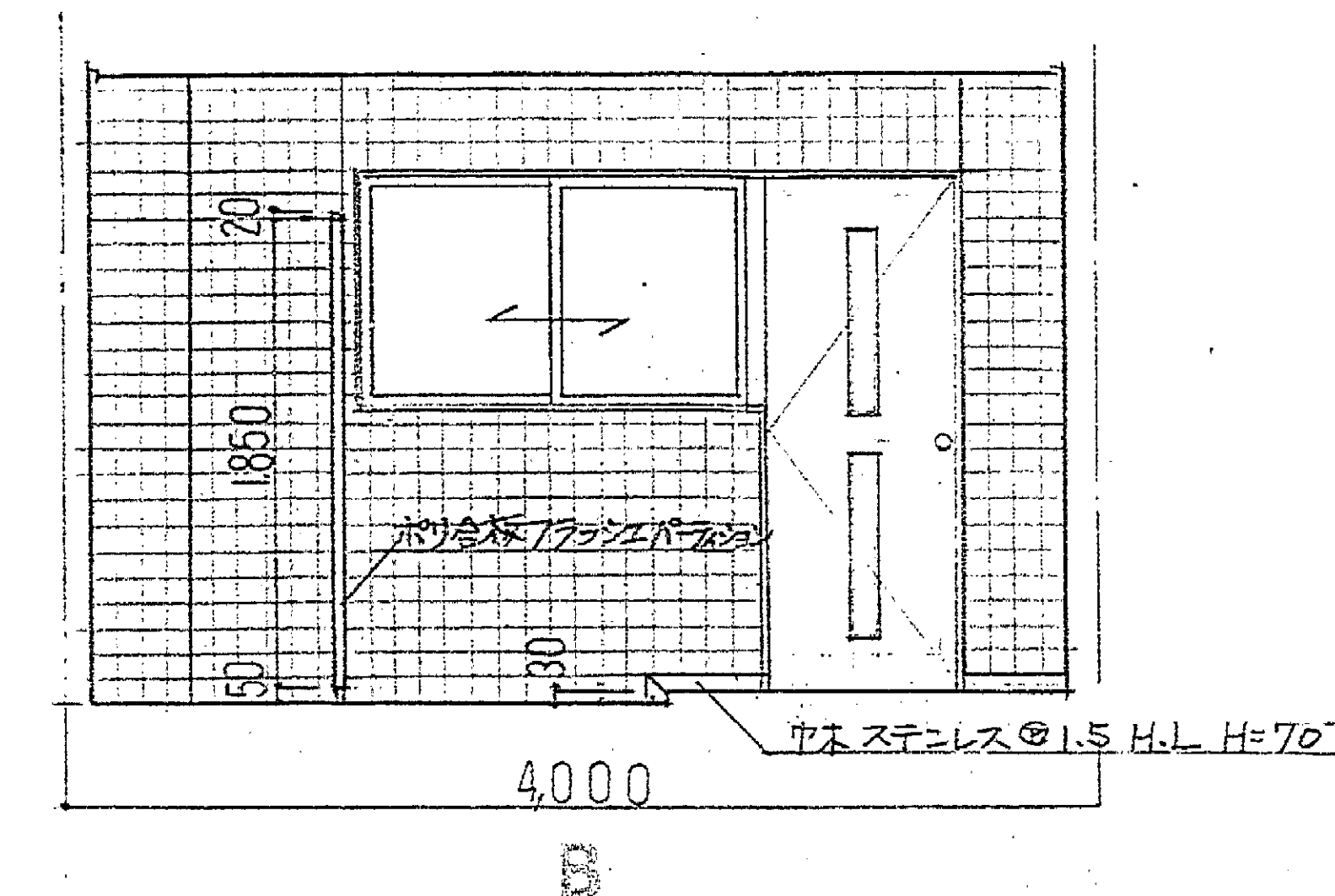
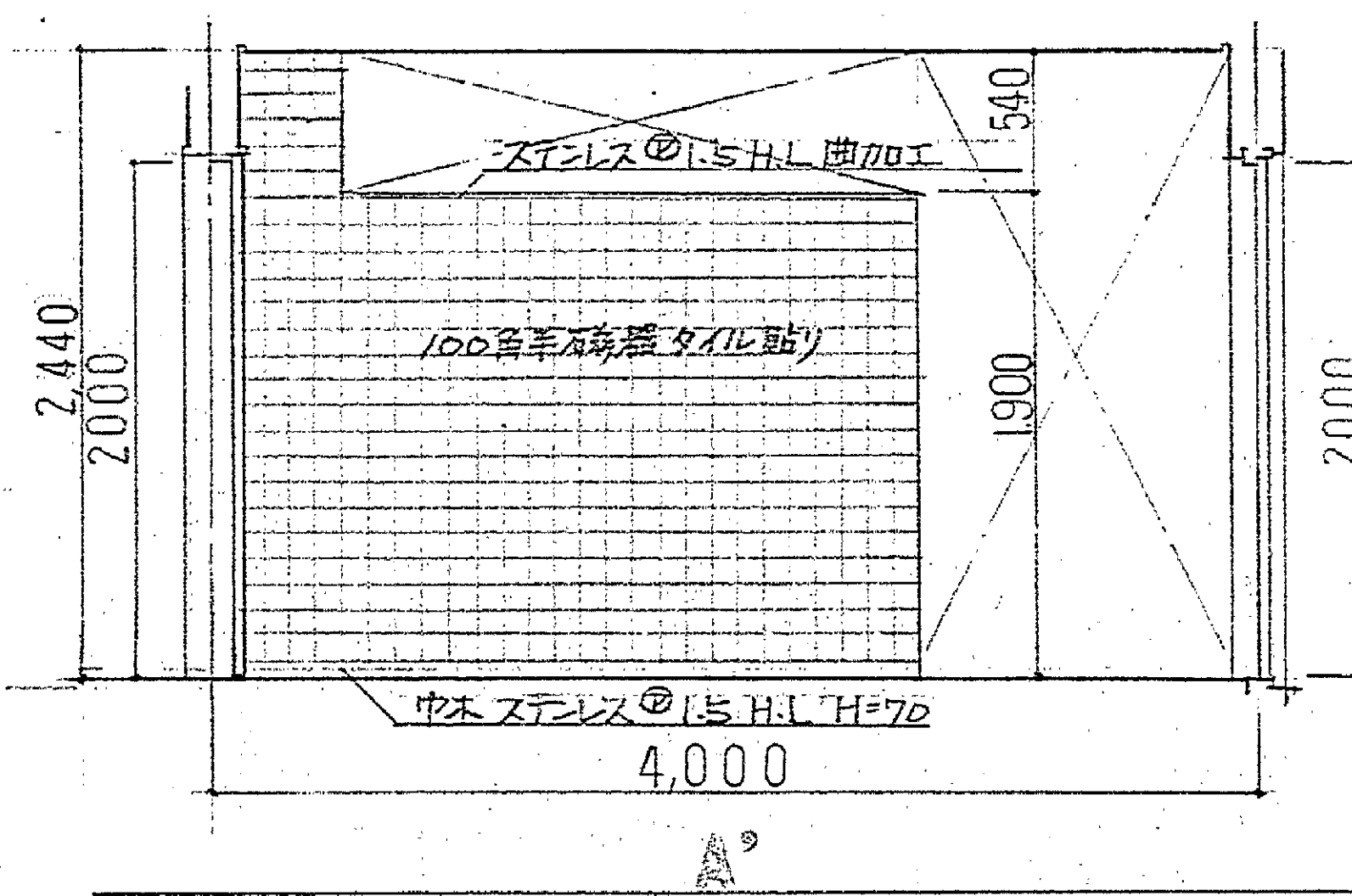
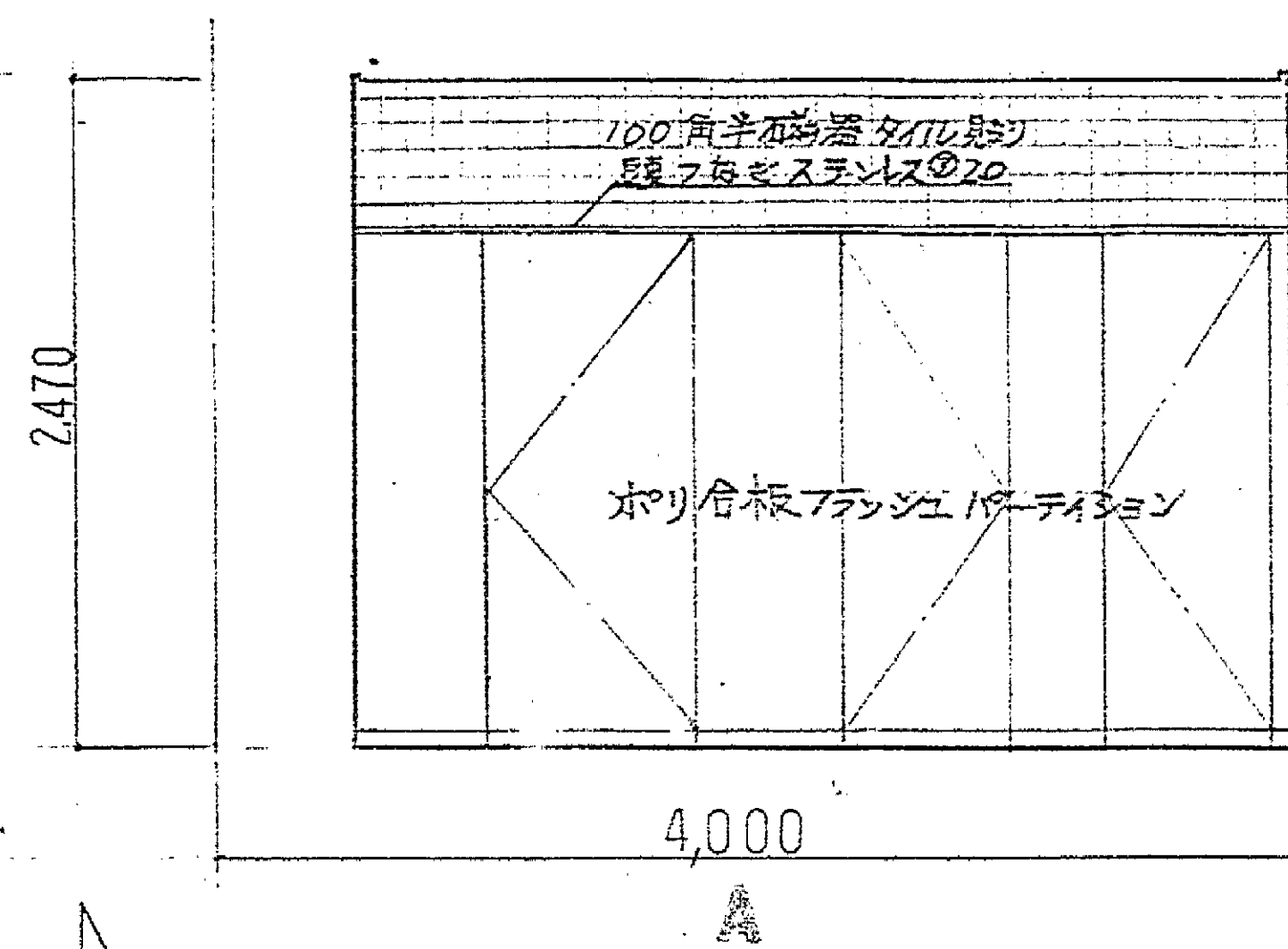
断面図 S-1/3



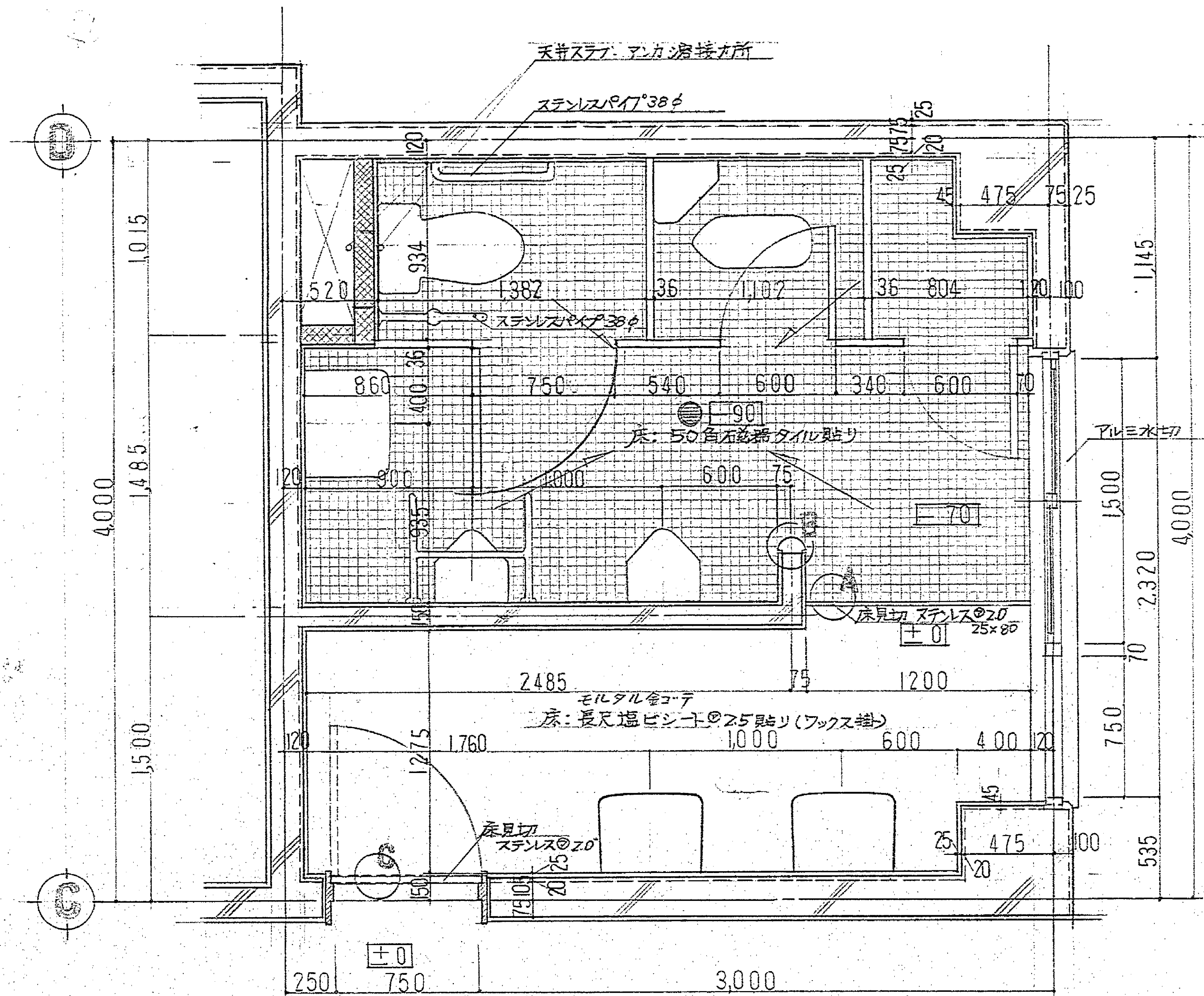
身障者用トイレ詳細図 S-1/3



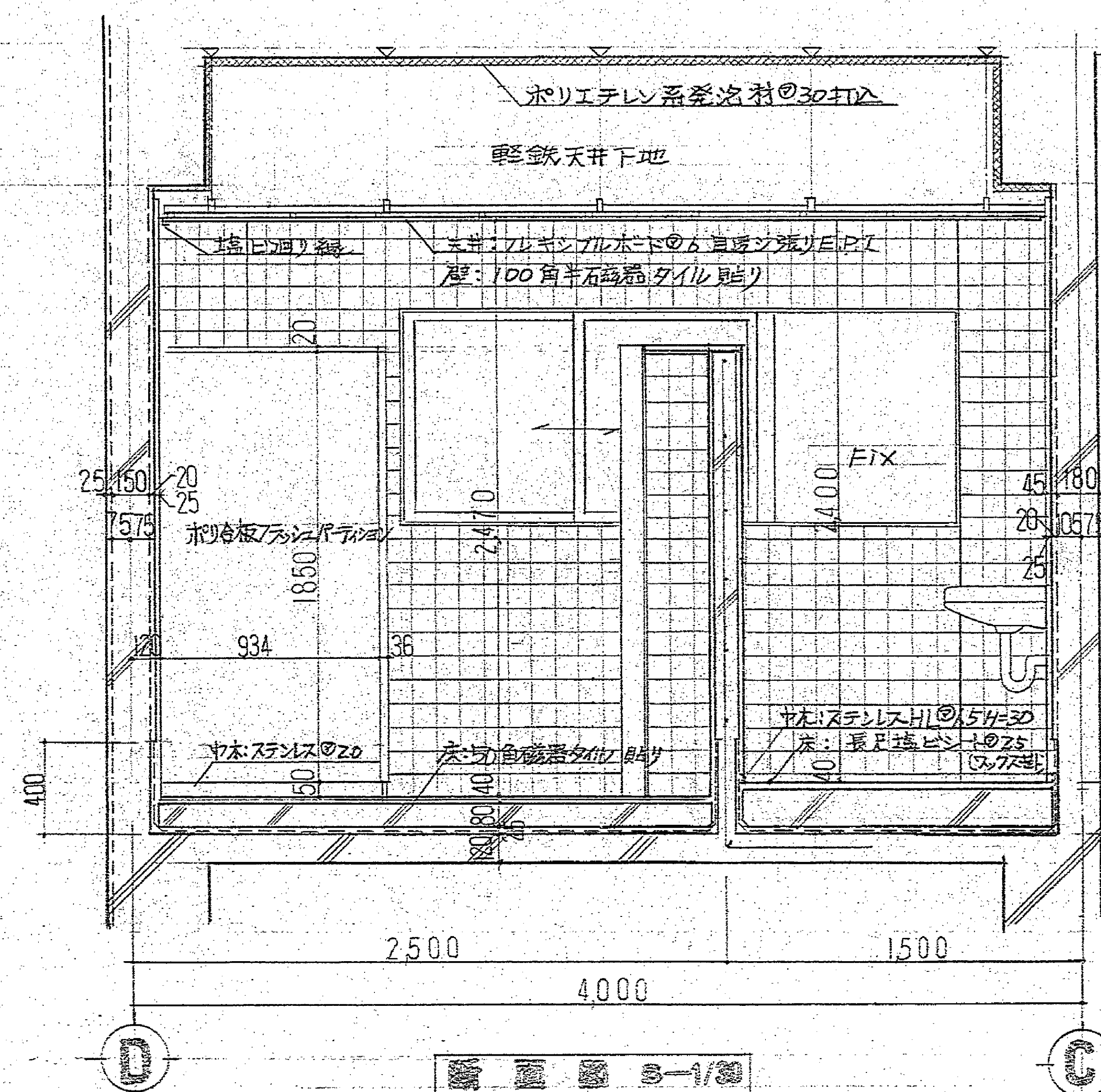
A-A' 断面図 S-1/10



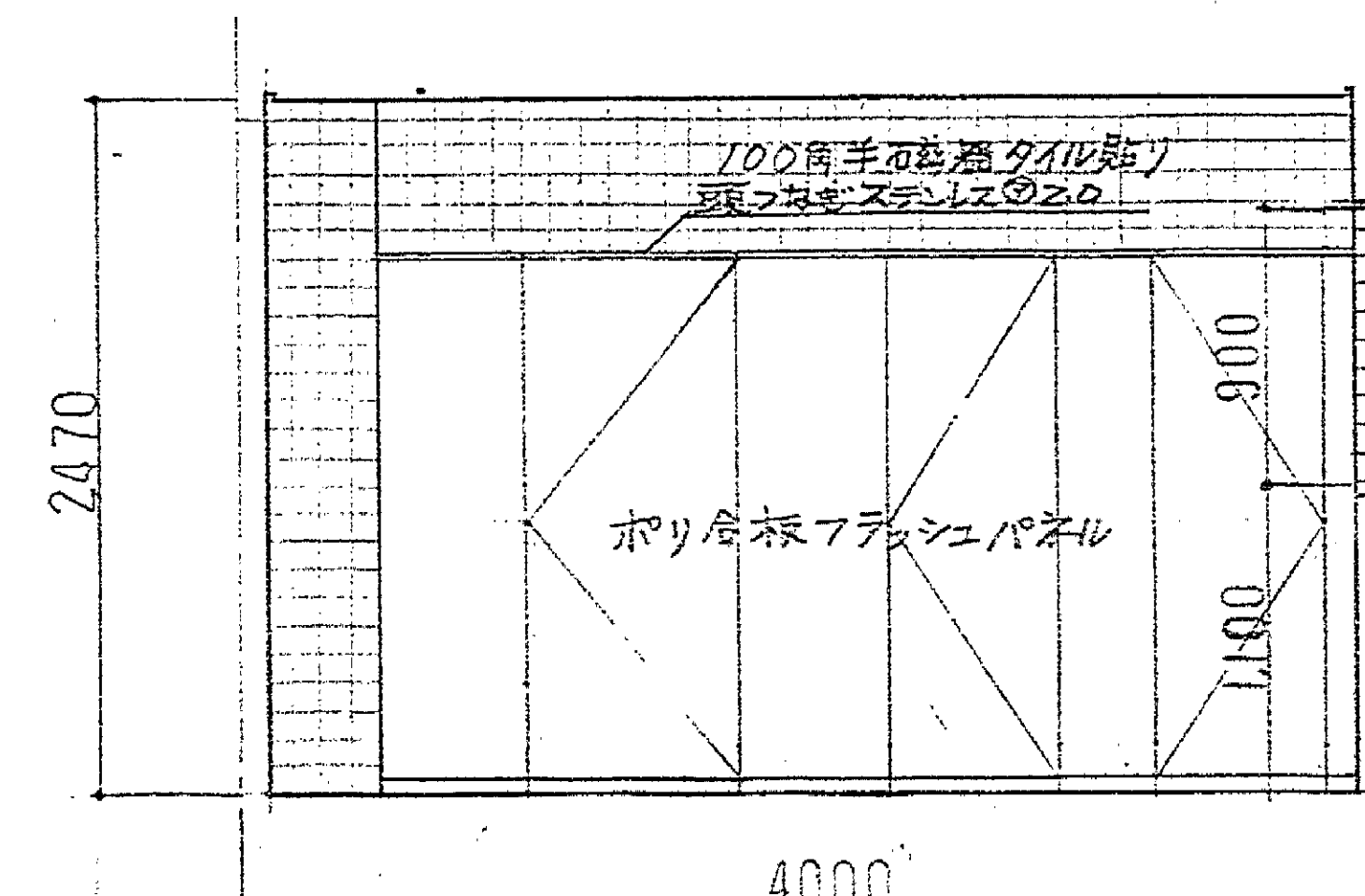
断面図 S-1/3



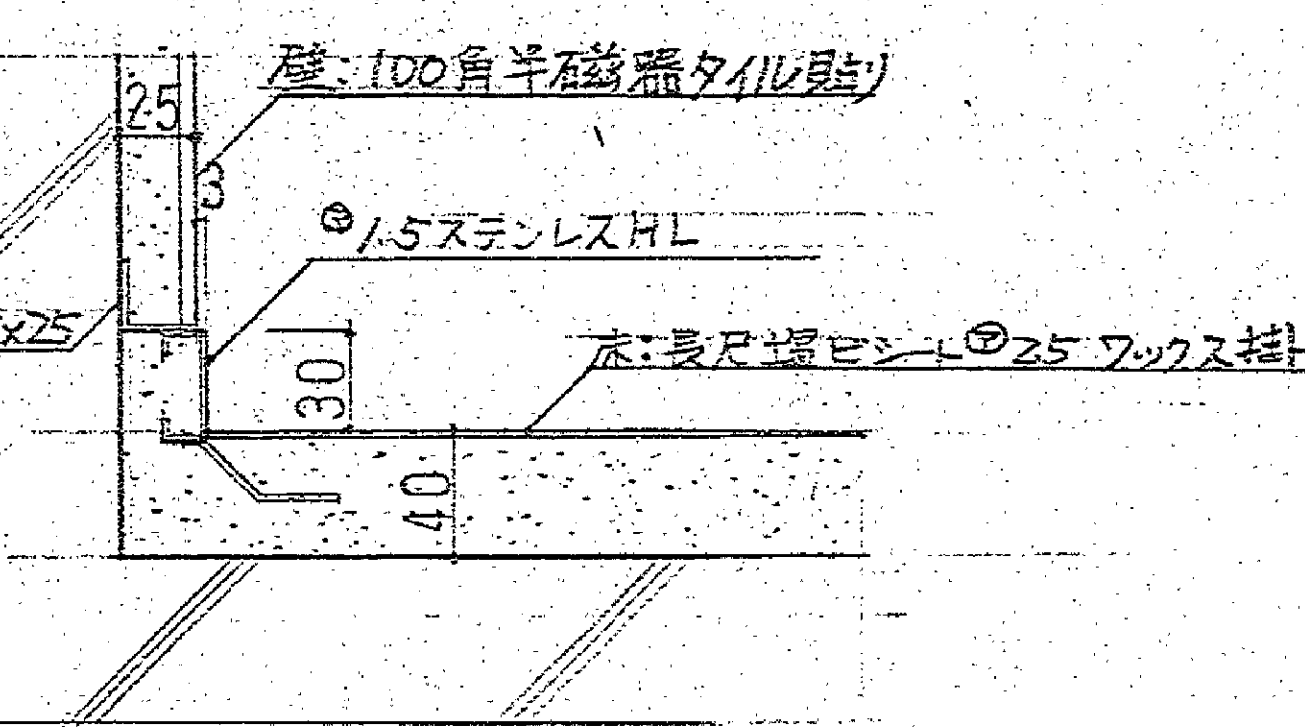
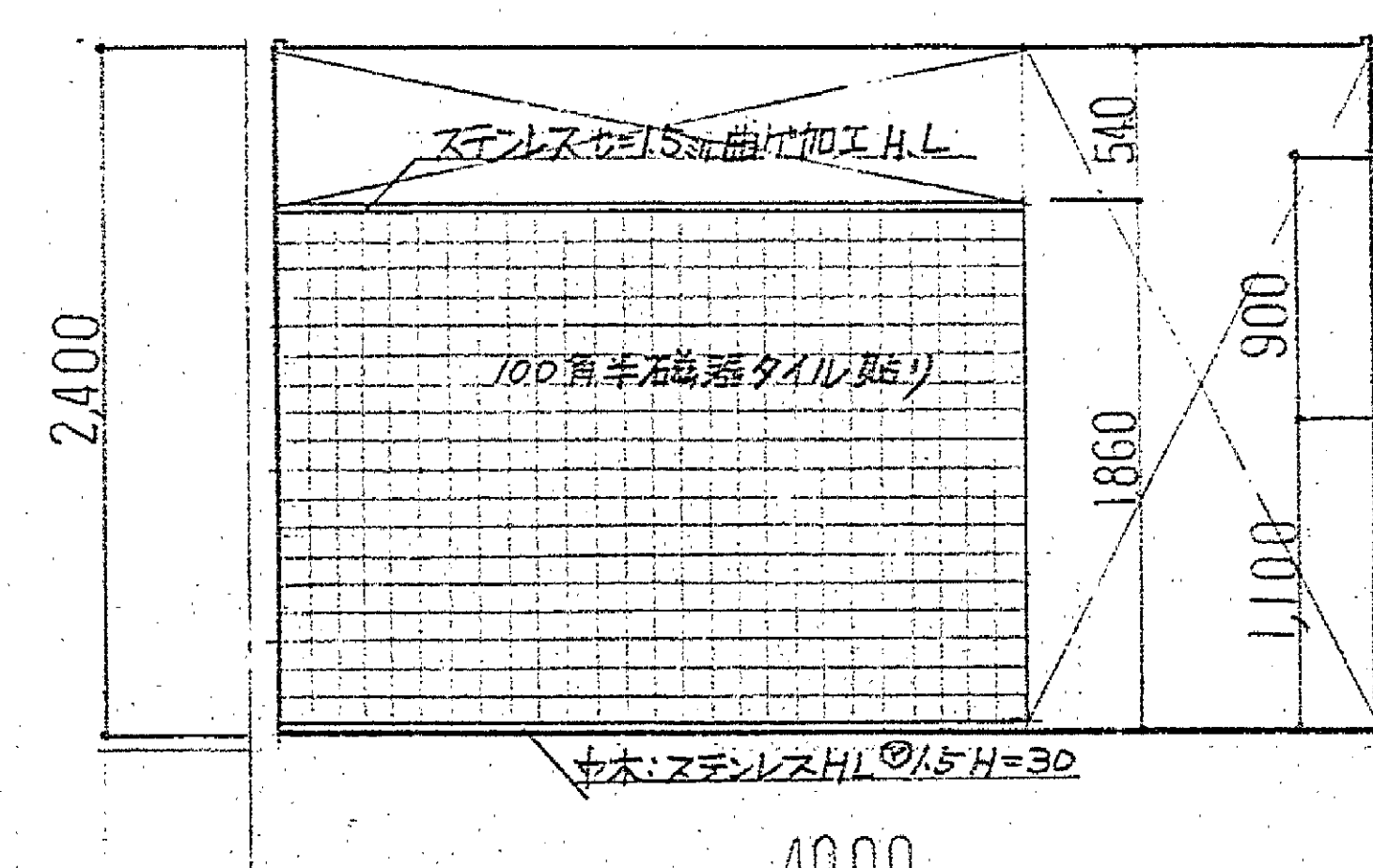
2階洗面所・便所平面詳細図 3-1/30



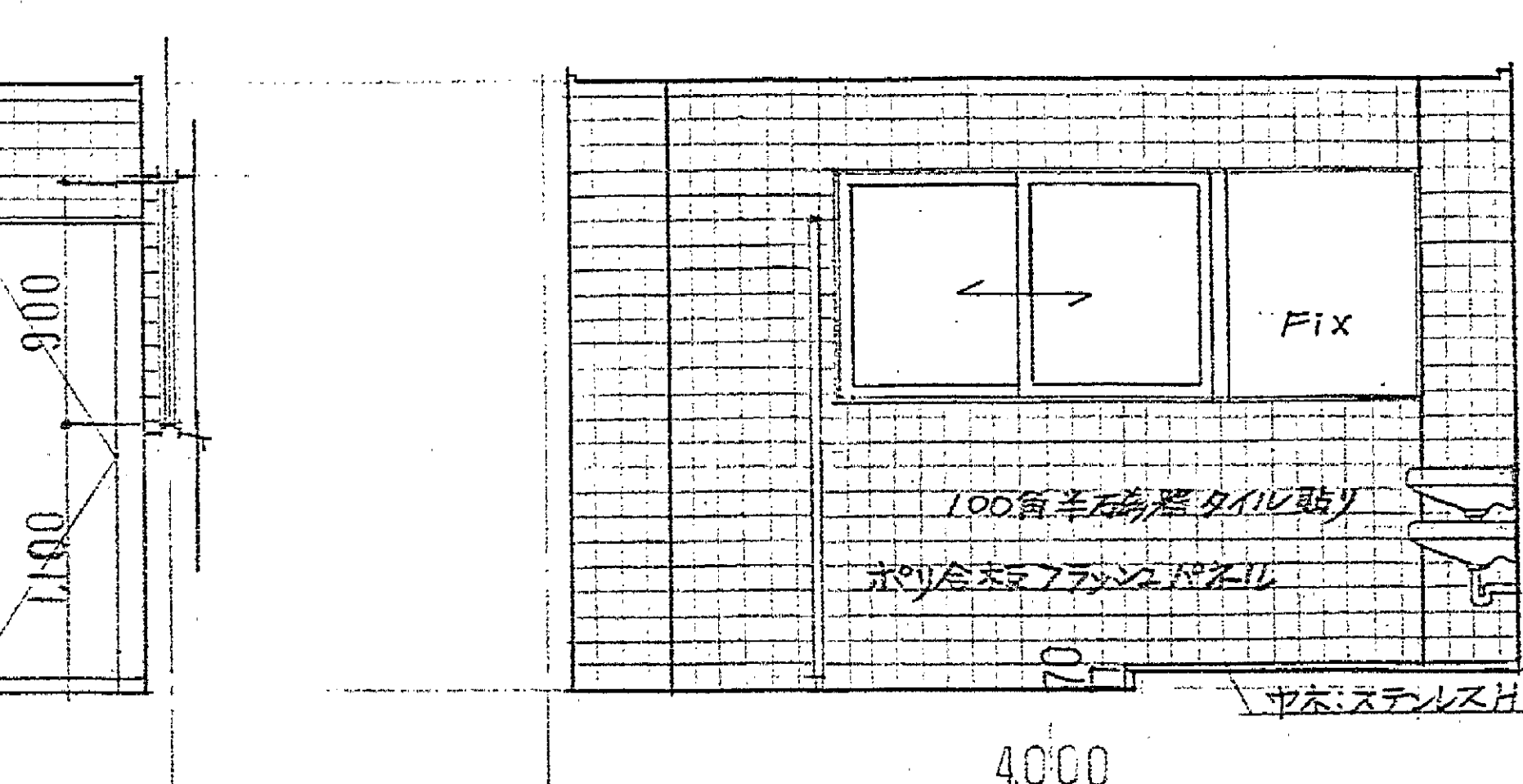
断面図 3-1/30



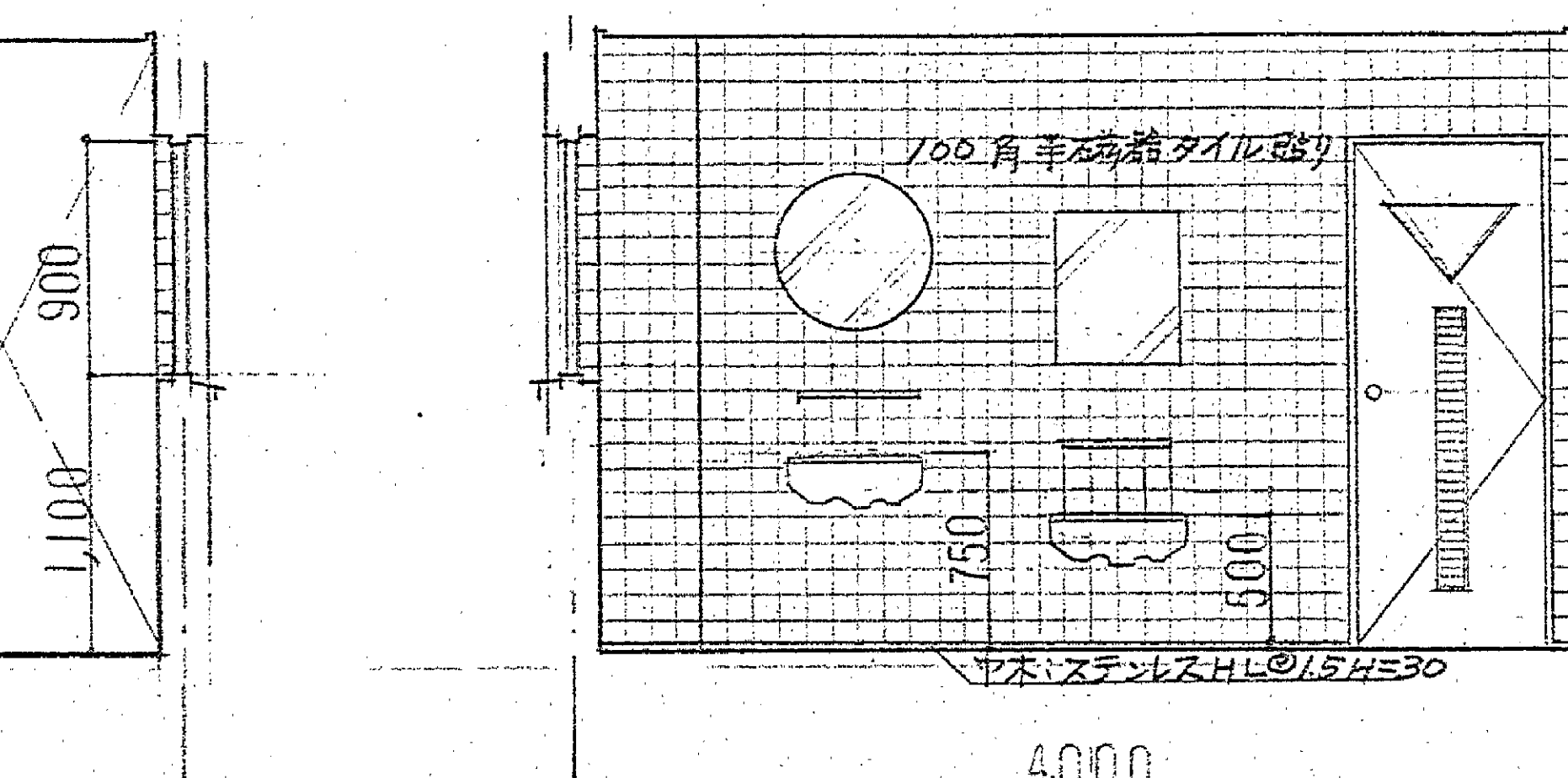
A 詳細図 3-1/30



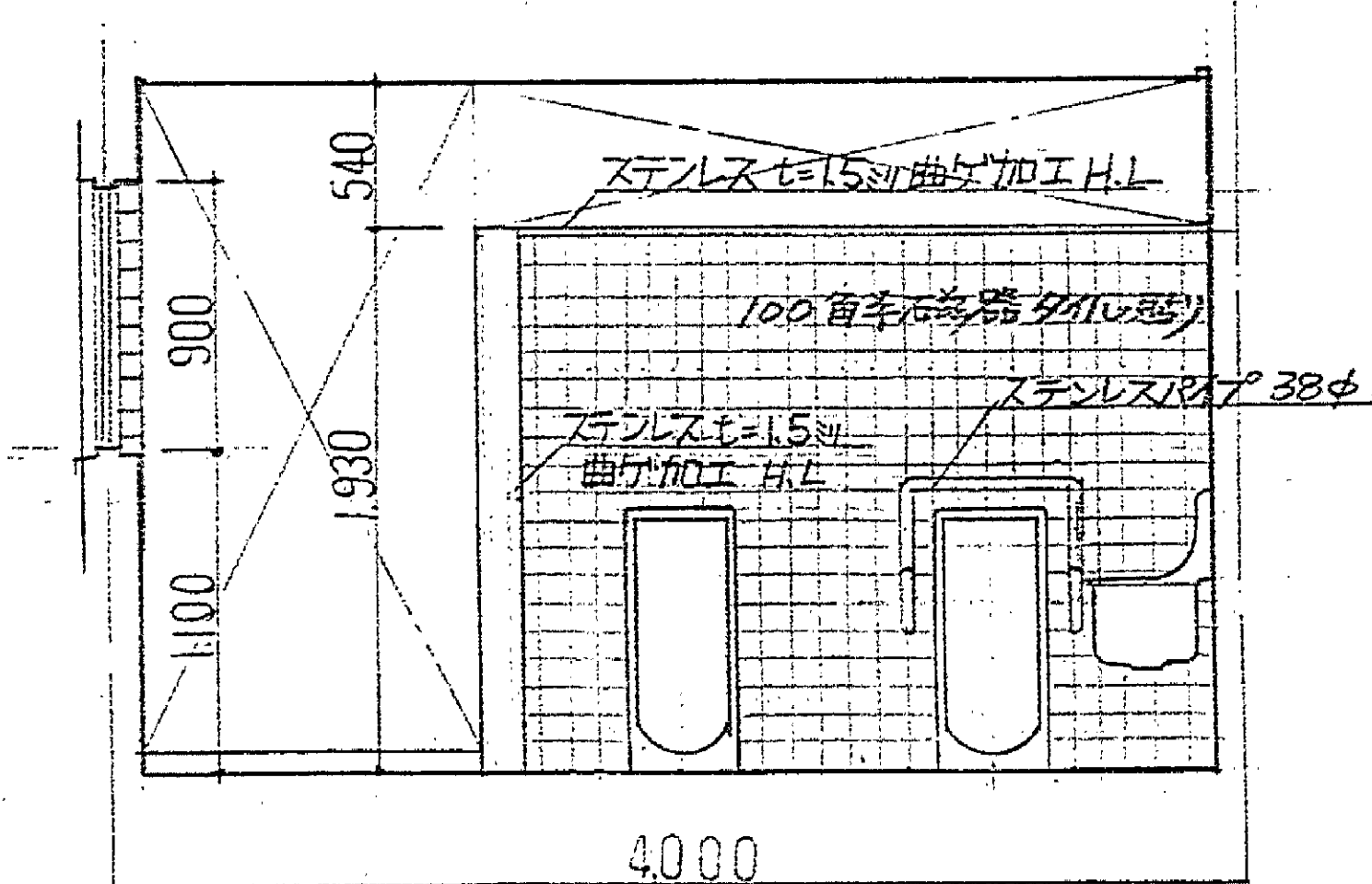
B 断面図 3-1/30



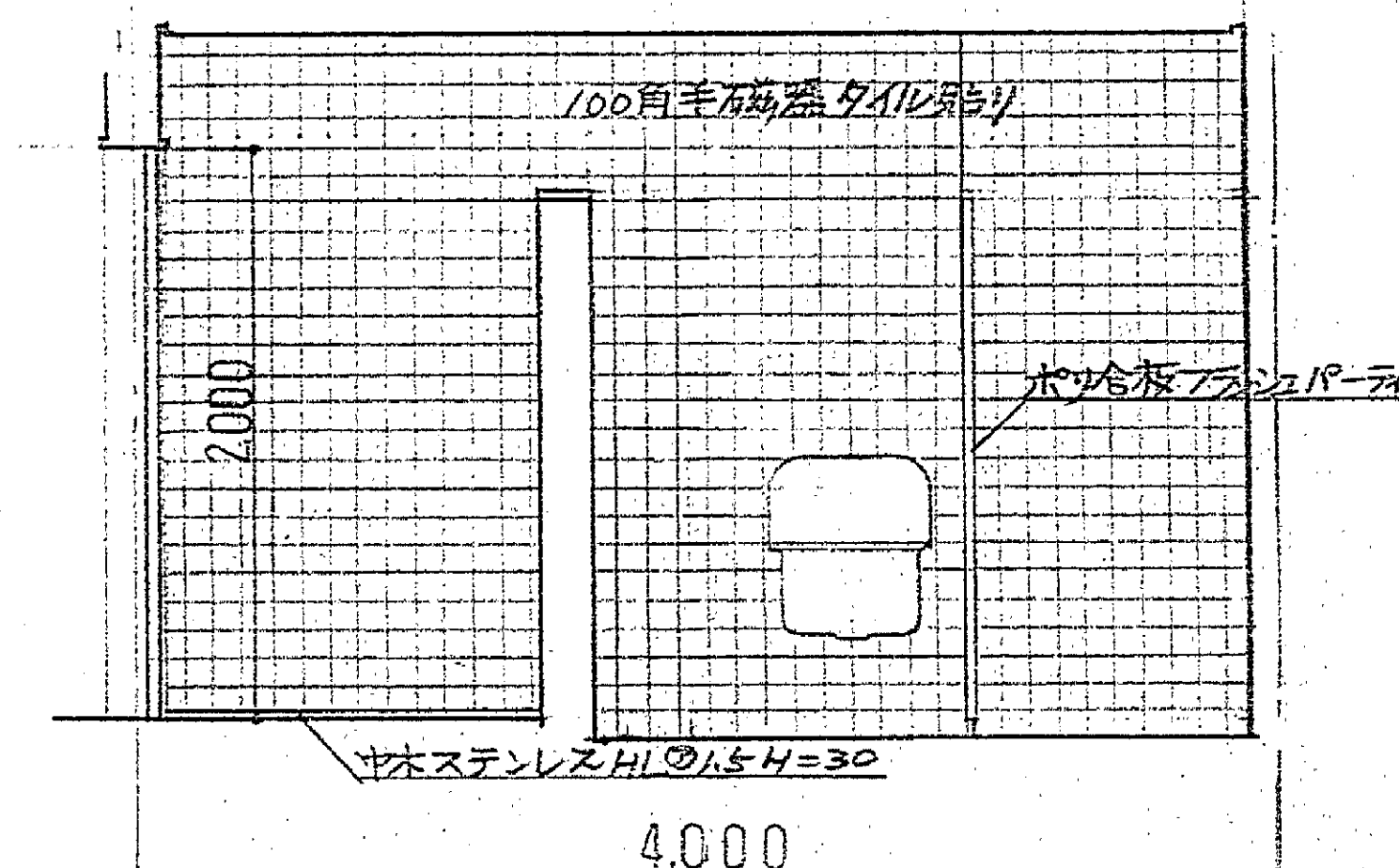
C 詳細図 3-1/30



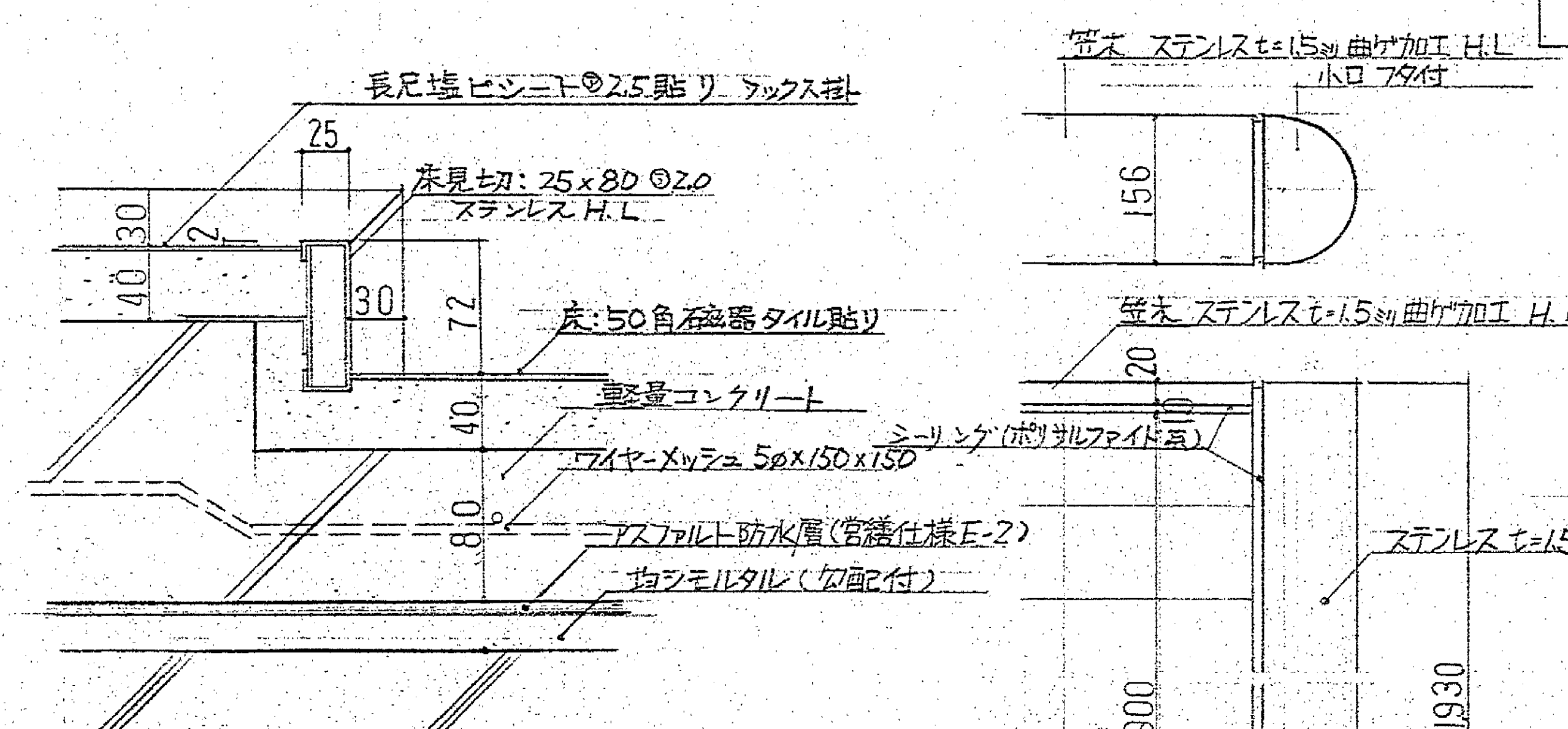
D 詳細図 3-1/30



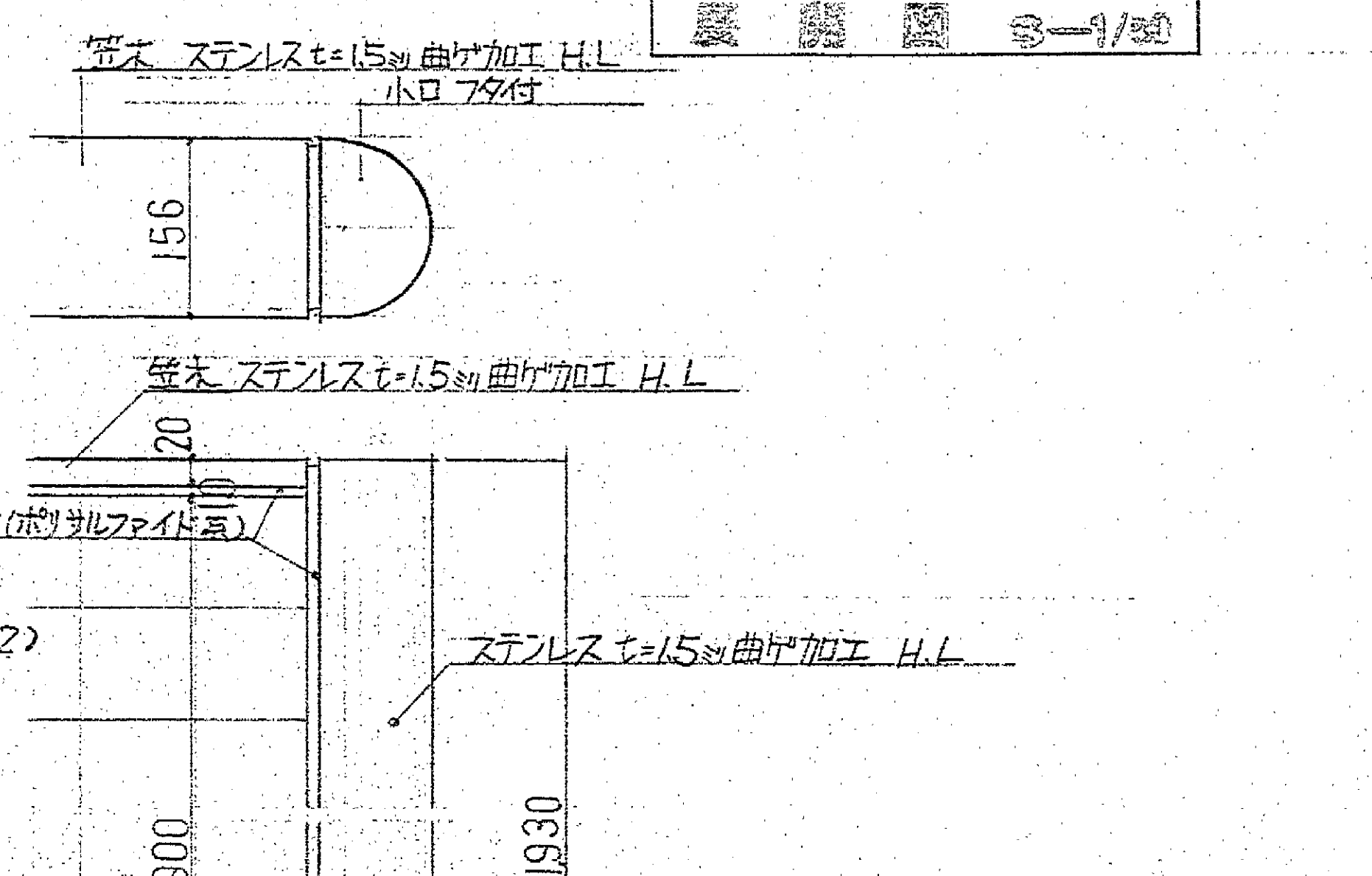
E 詳細図 3-1/30



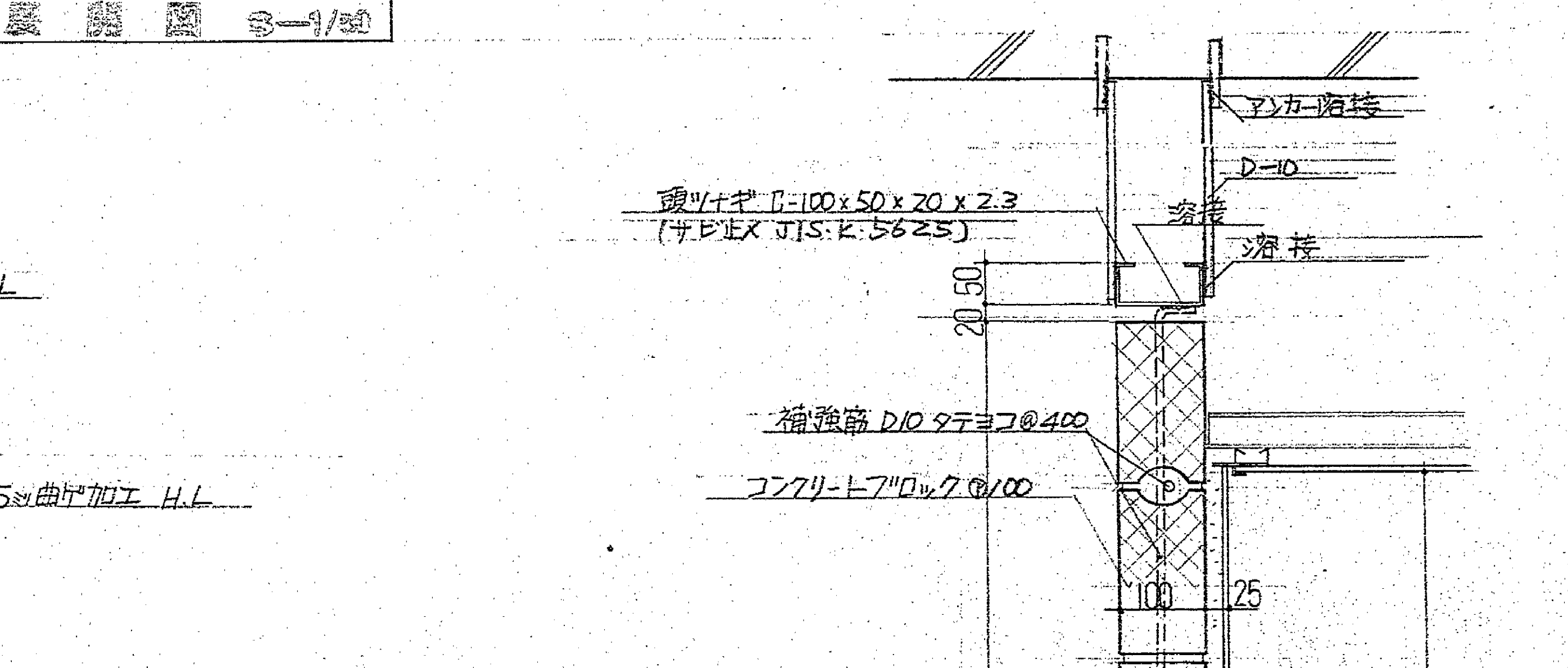
F 詳細図 3-1/30



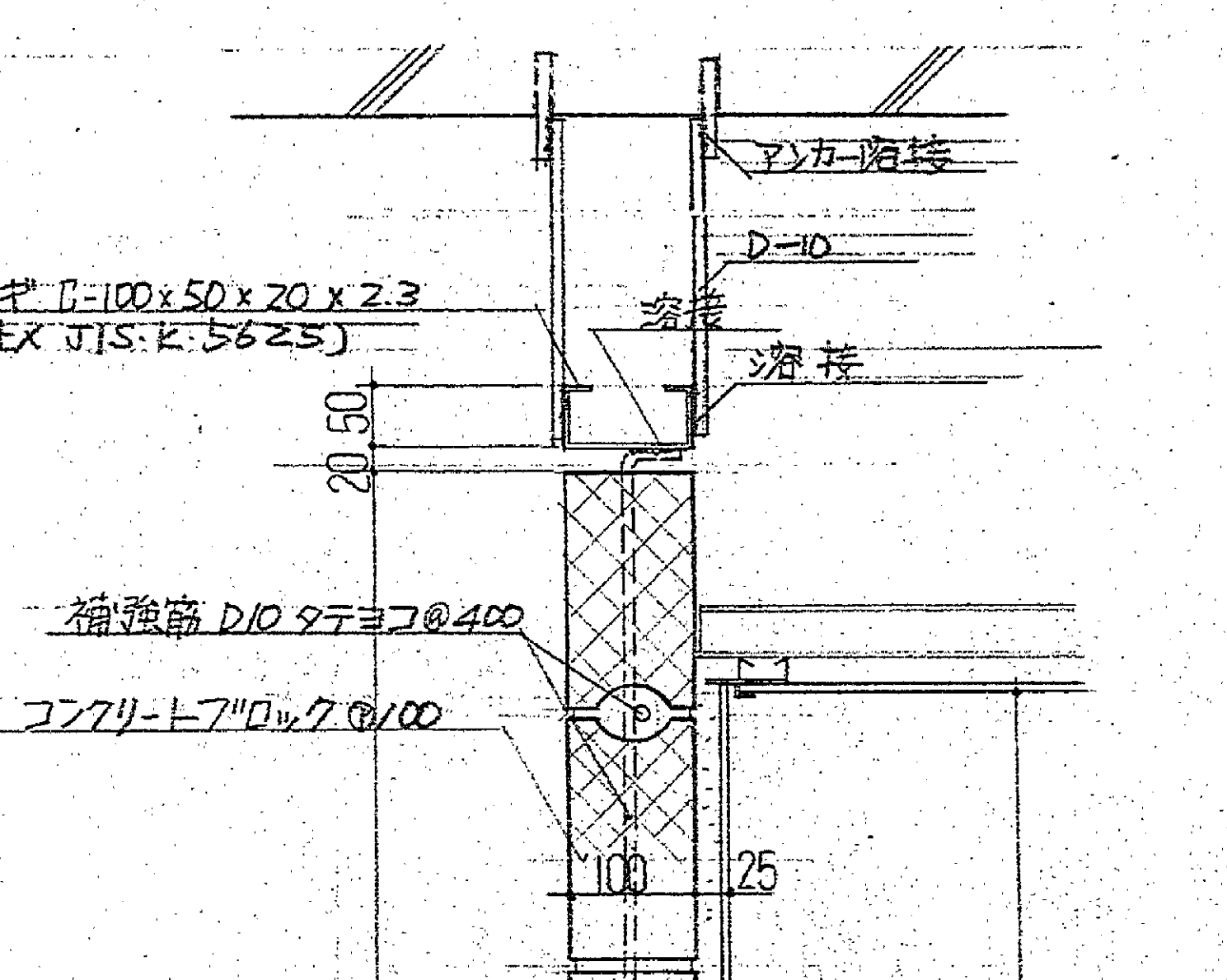
A 断面図 3-1/30



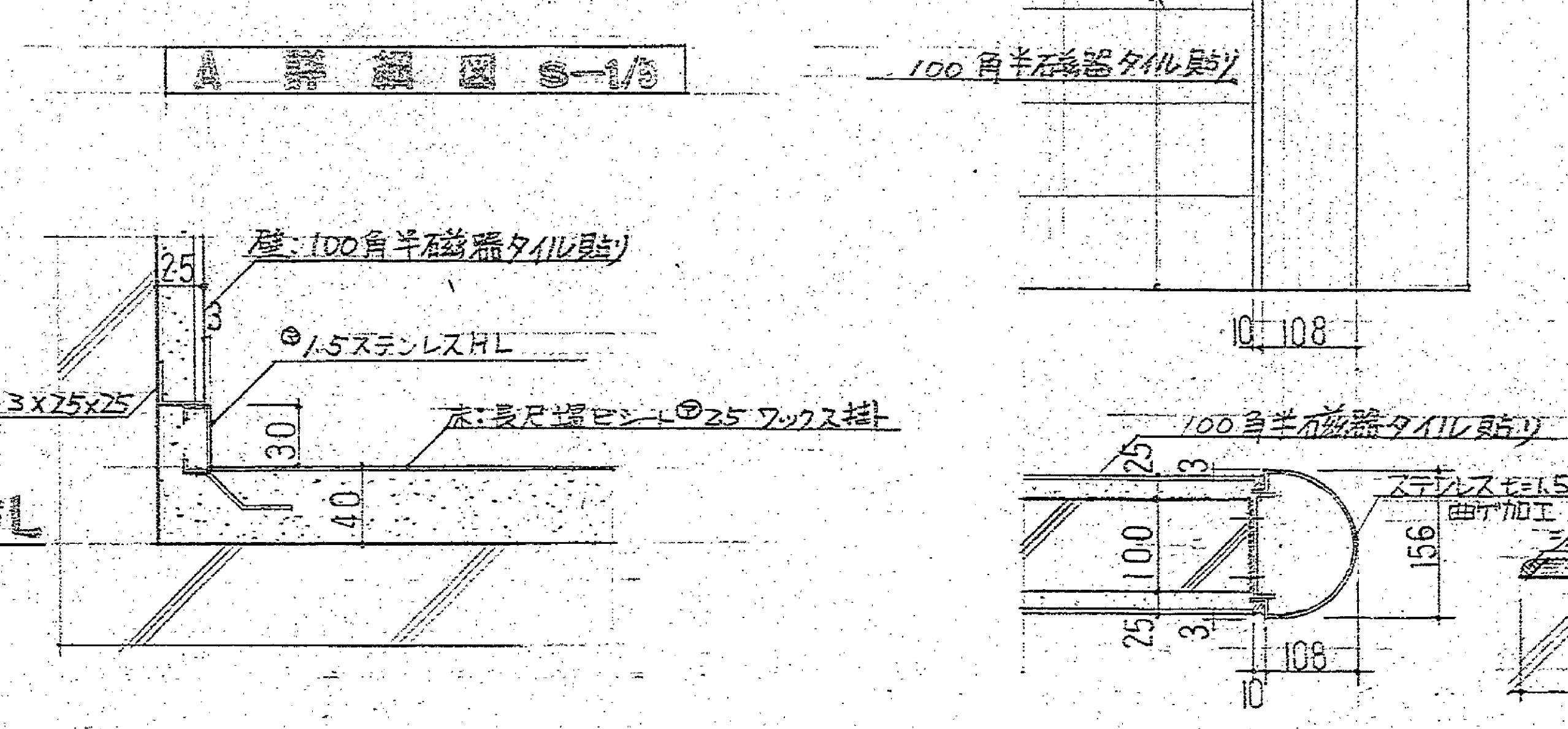
B 断面図 3-1/30



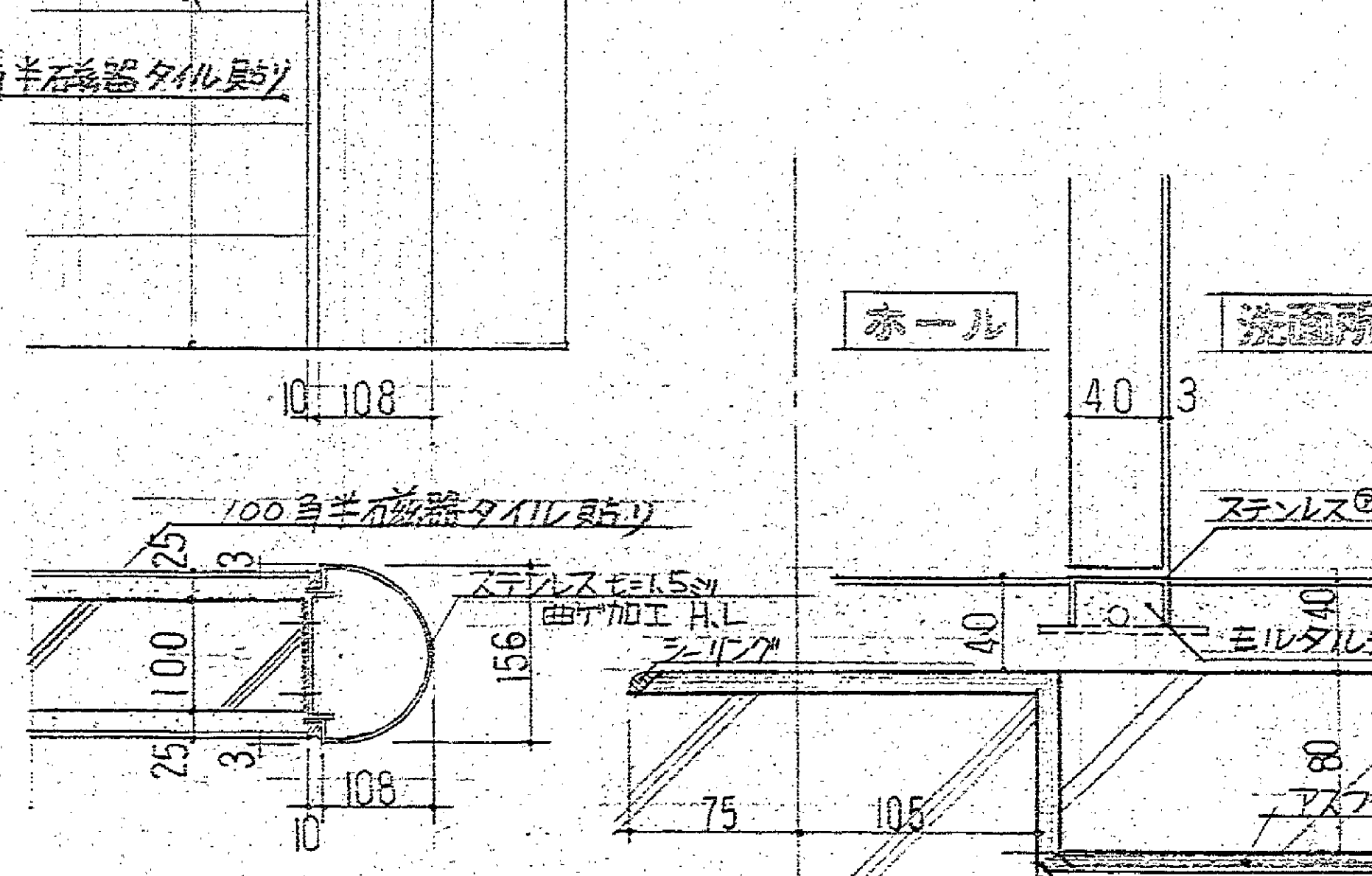
C 断面図 3-1/30



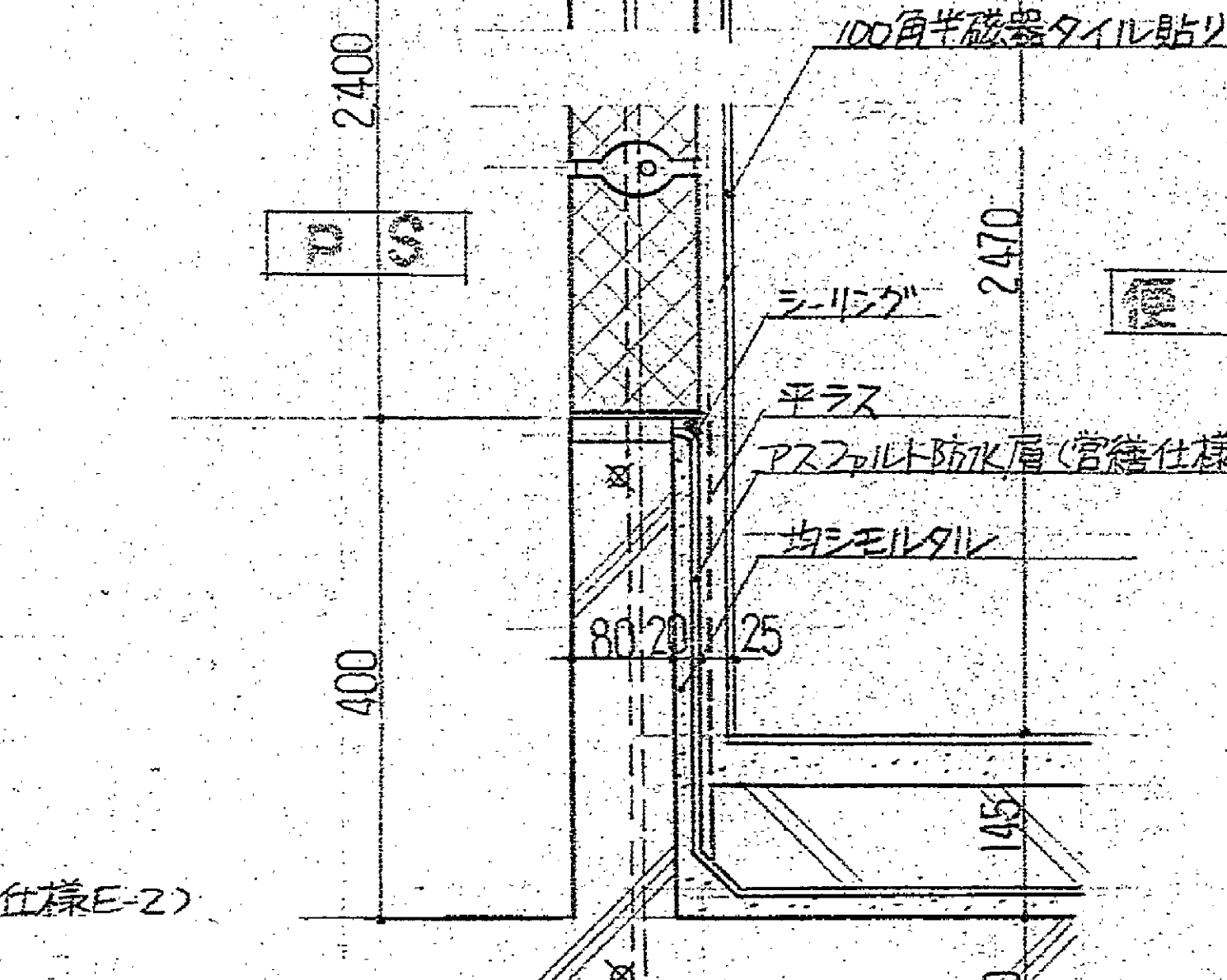
D 断面図 3-1/30



E 断面図 3-1/30



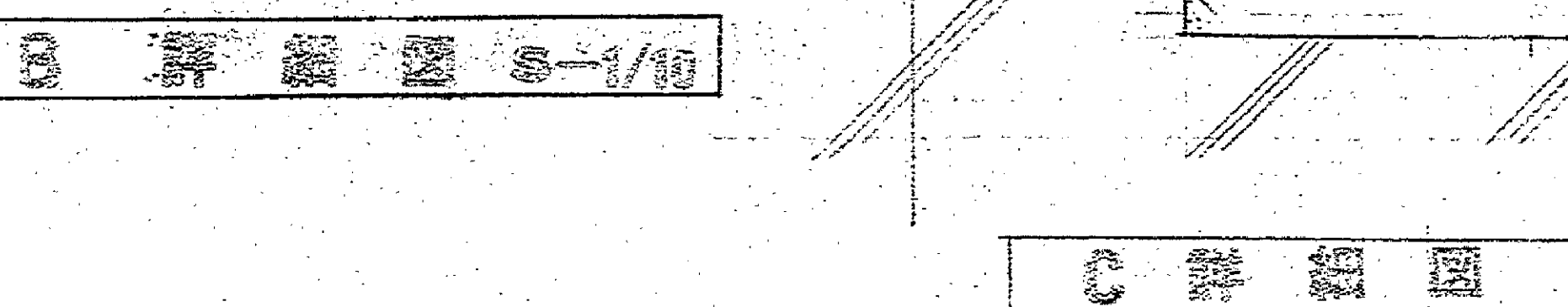
F 断面図 3-1/30



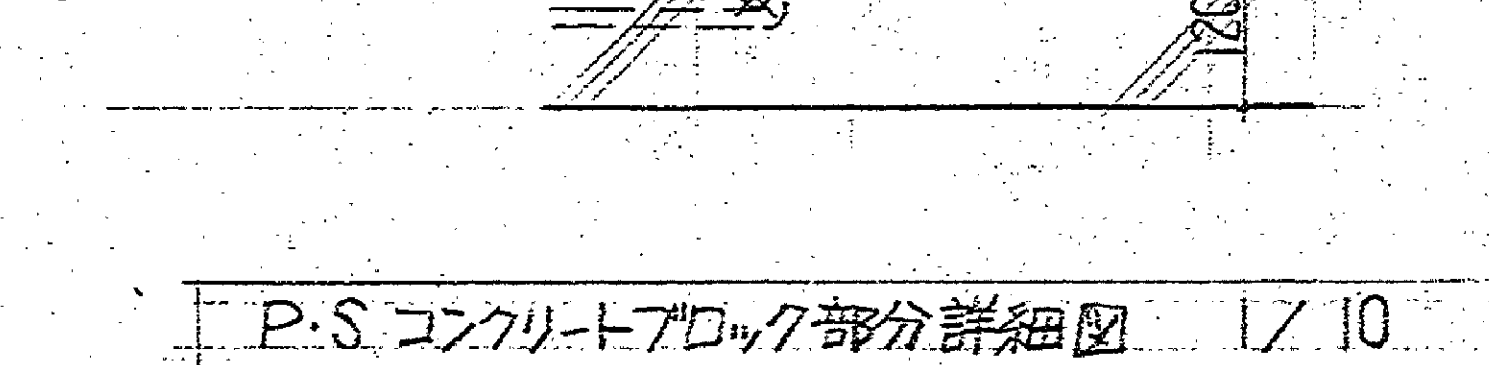
G 断面図 3-1/30



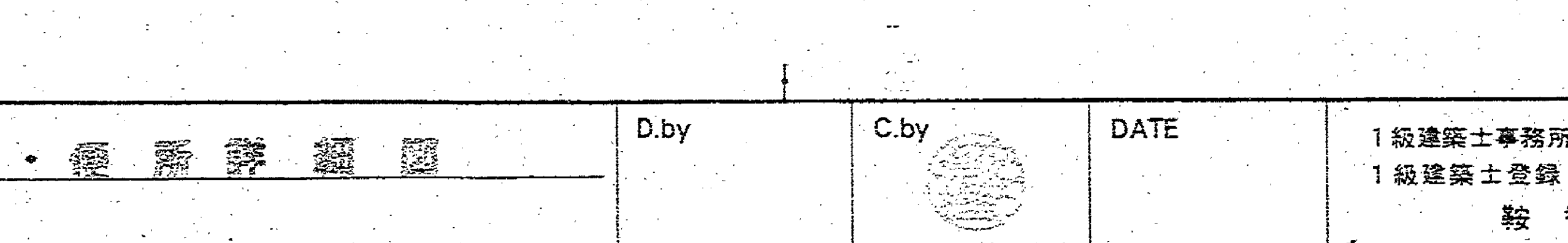
H 断面図 3-1/30



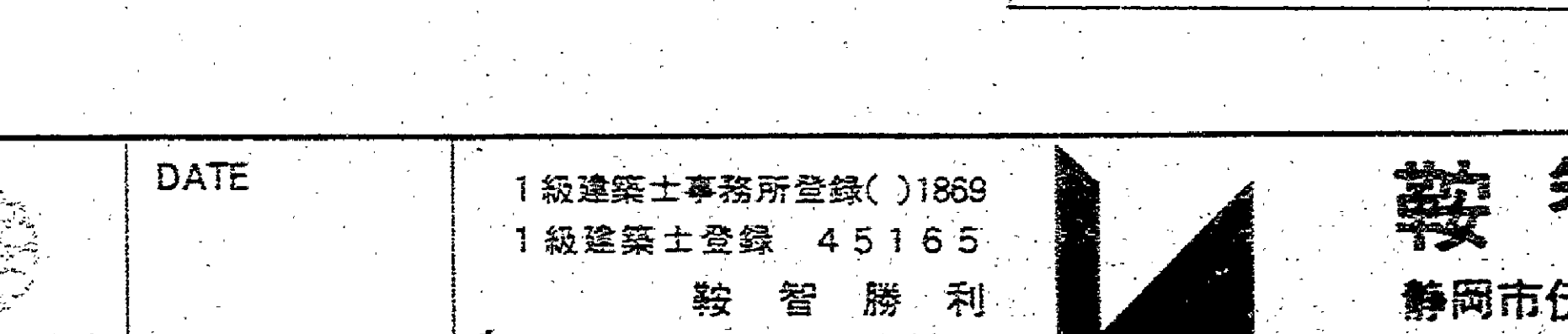
I 断面図 3-1/30



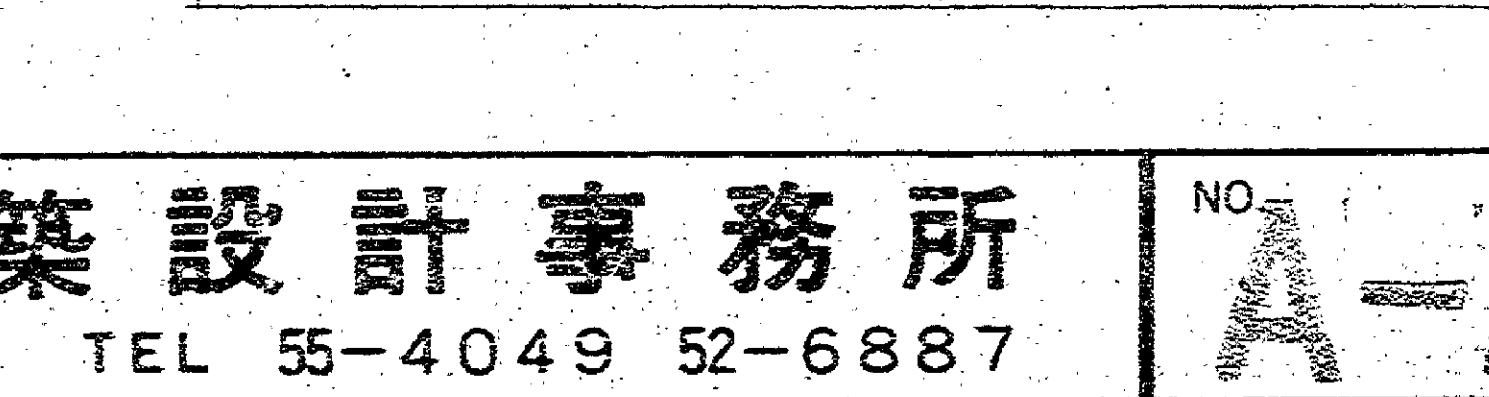
J 断面図 3-1/30



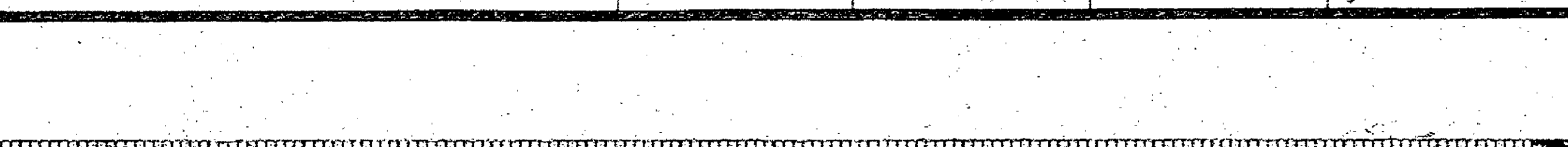
K 断面図 3-1/30



L 断面図 3-1/30



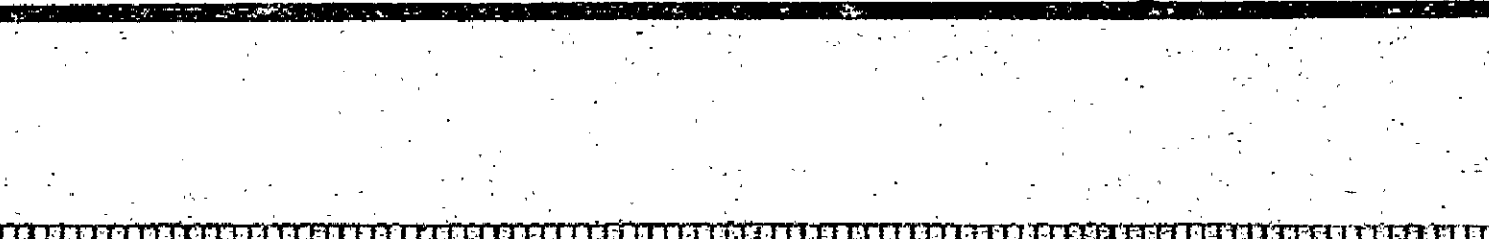
M 断面図 3-1/30



N 断面図 3-1/30



O 断面図 3-1/30



P 断面図 3-1/30

Q 断面図 3-1/30

R 断面図 3-1/30

S 断面図 3-1/30

T 断面図 3-1/30

U 断面図 3-1/30

V 断面図 3-1/30

W 断面図 3-1/30

X 断面図 3-1/30

Y 断面図 3-1/30

Z 断面図 3-1/30

AA 断面図 3-1/30

BB 断面図 3-1/30

CC 断面図 3-1/30

DD 断面図 3-1/30

EE 断面図 3-1/30

FF 断面図 3-1/30

GG 断面図 3-1/30

HH 断面図 3-1/30

II 断面図 3-1/30

JJ 断面図 3-1/30

KK 断面図 3-1/30

LL 断面図 3-1/30

MM 断面図 3-1/30

NN 断面図 3-1/30

OO 断面図 3-1/30

PP 断面図 3-1/30

QQ 断面図 3-1/30

RR 断面図 3-1/30

SS 断面図 3-1/30

TT 断面図 3-1/30

UU 断面図 3-1/30

VV 断面図 3-1/30

WW 断面図 3-1/30

XX 断面図 3-1/30

YY 断面図 3-1/30

ZZ 断面図 3-1/30

AAA 断面図 3-1/30

BBB 断面図 3-1/30

CCC 断面図 3-1/30

DDD 断面図 3-1/30

EEE 断面図 3-1/30

FFF 断面図 3-1/30

GGG 断面図 3-1/30

HHH 断面図 3-1/30

III 断面図 3-1/30

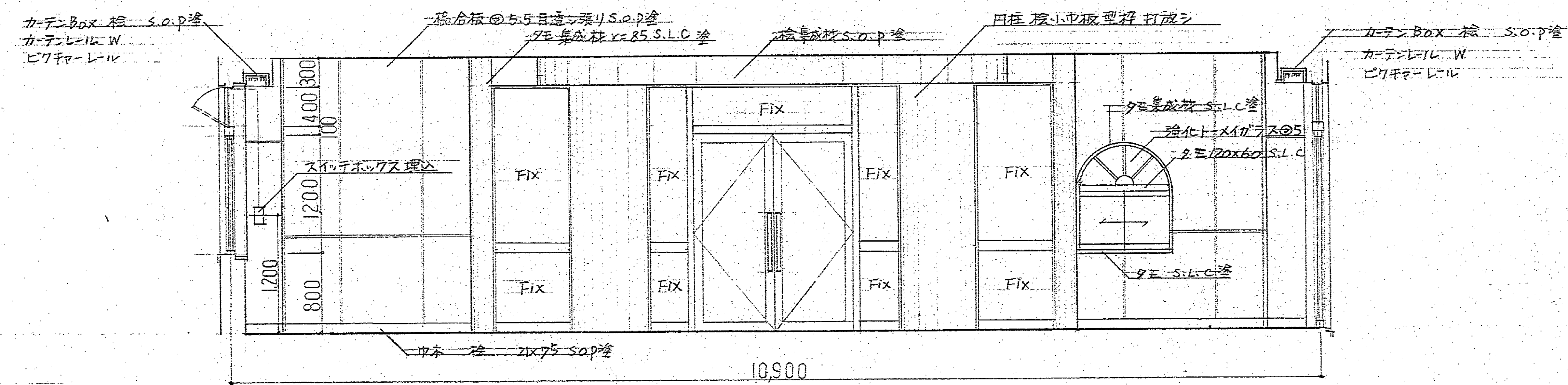
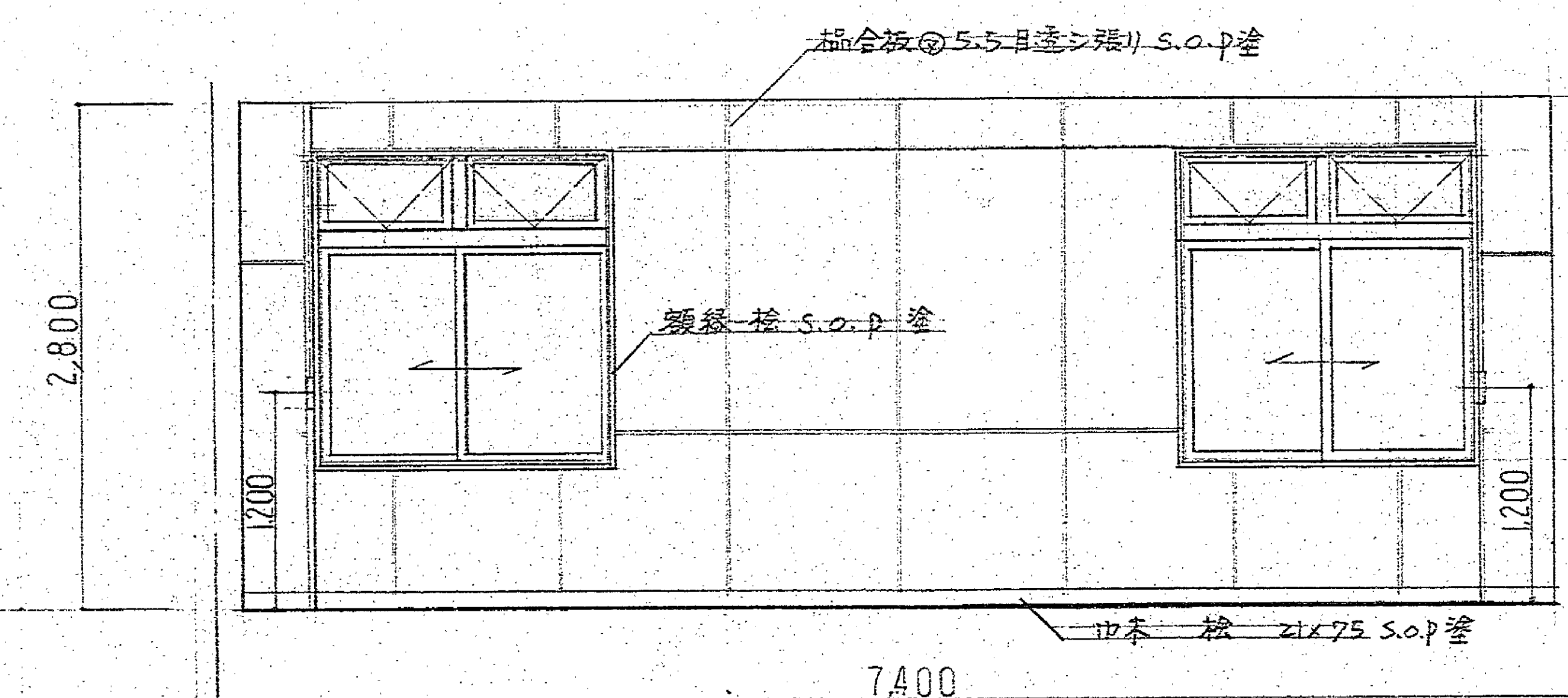
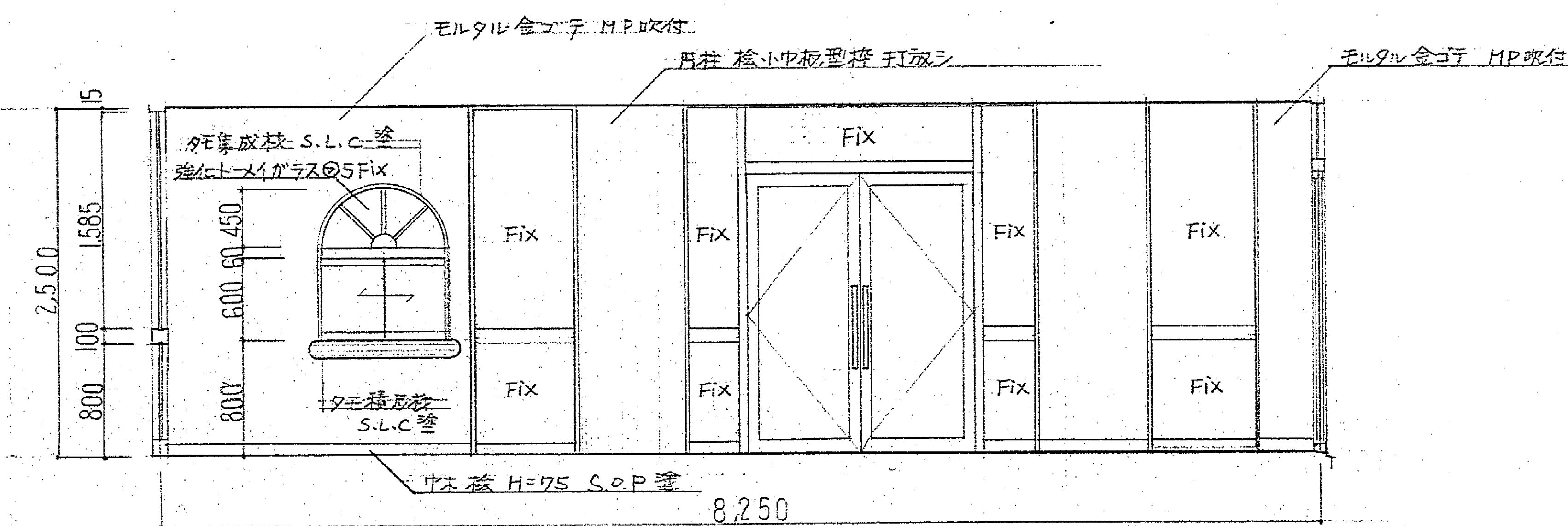
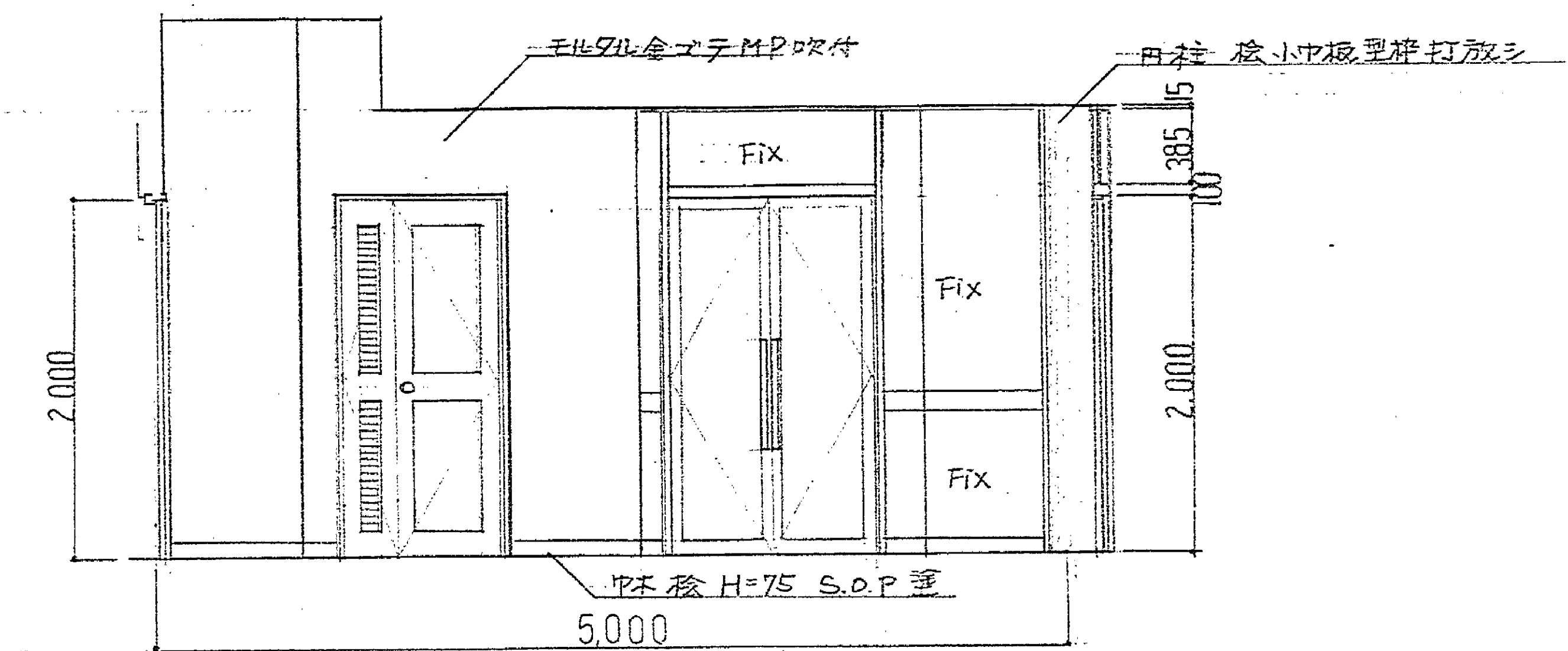
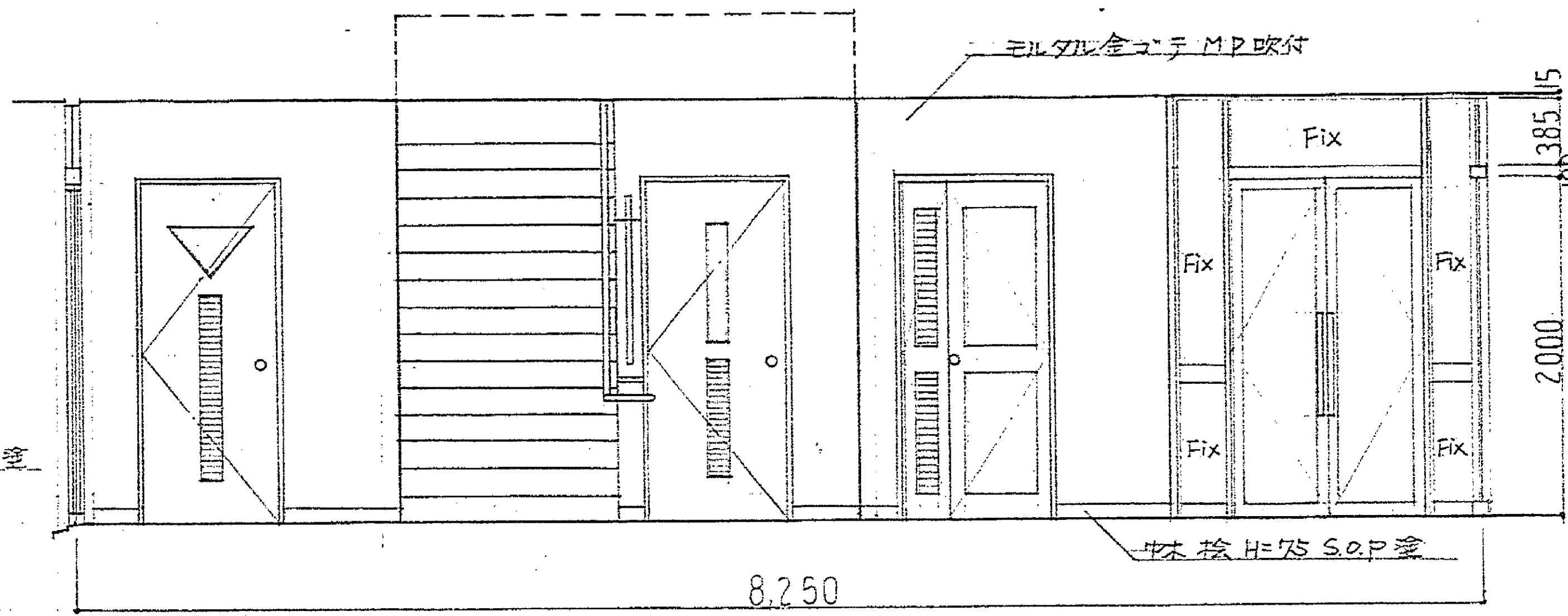
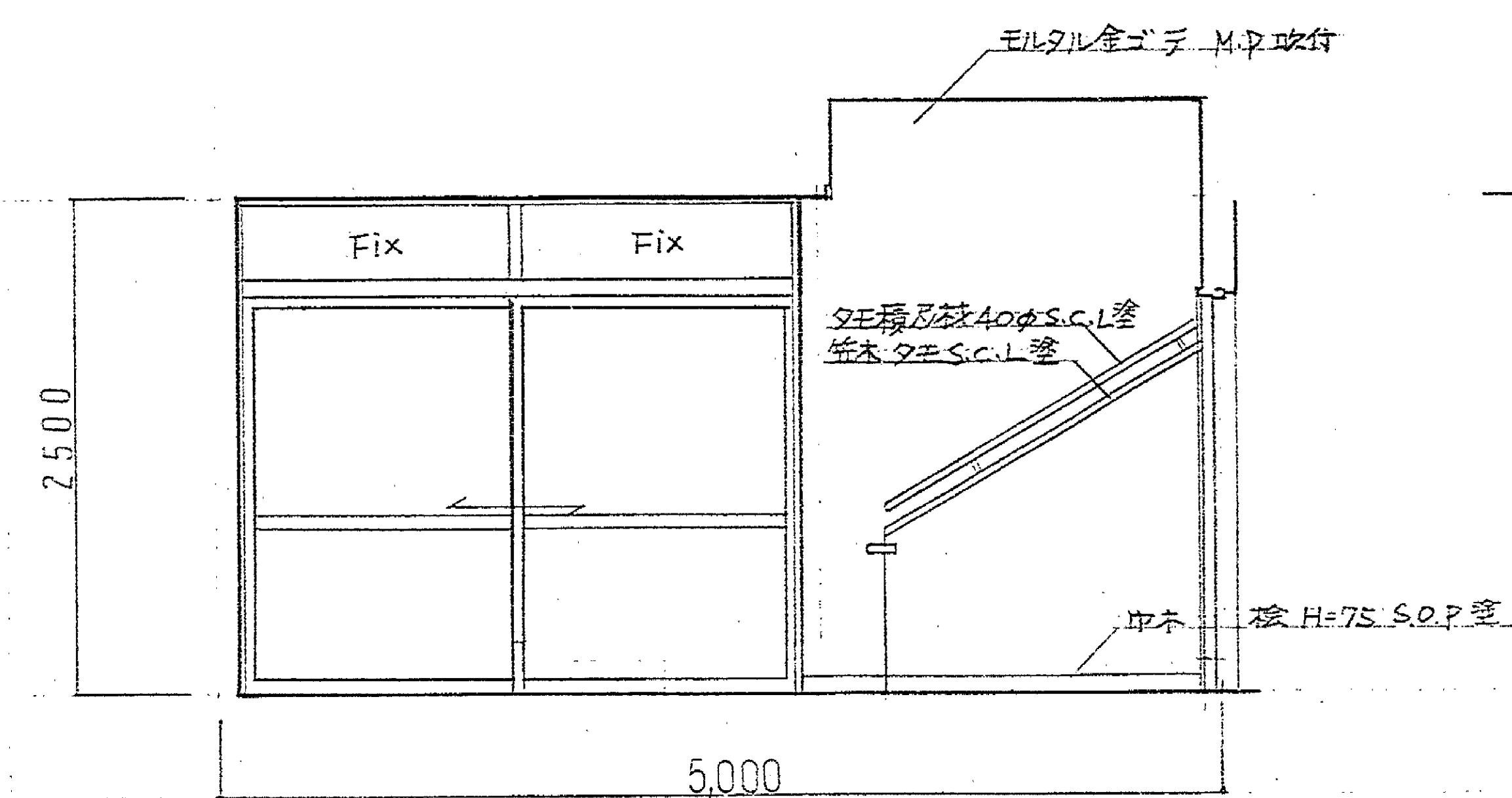
JJJ 断面図 3-1/30

KKK 断面図 3-1/30

LLL 断面図 3-1/30

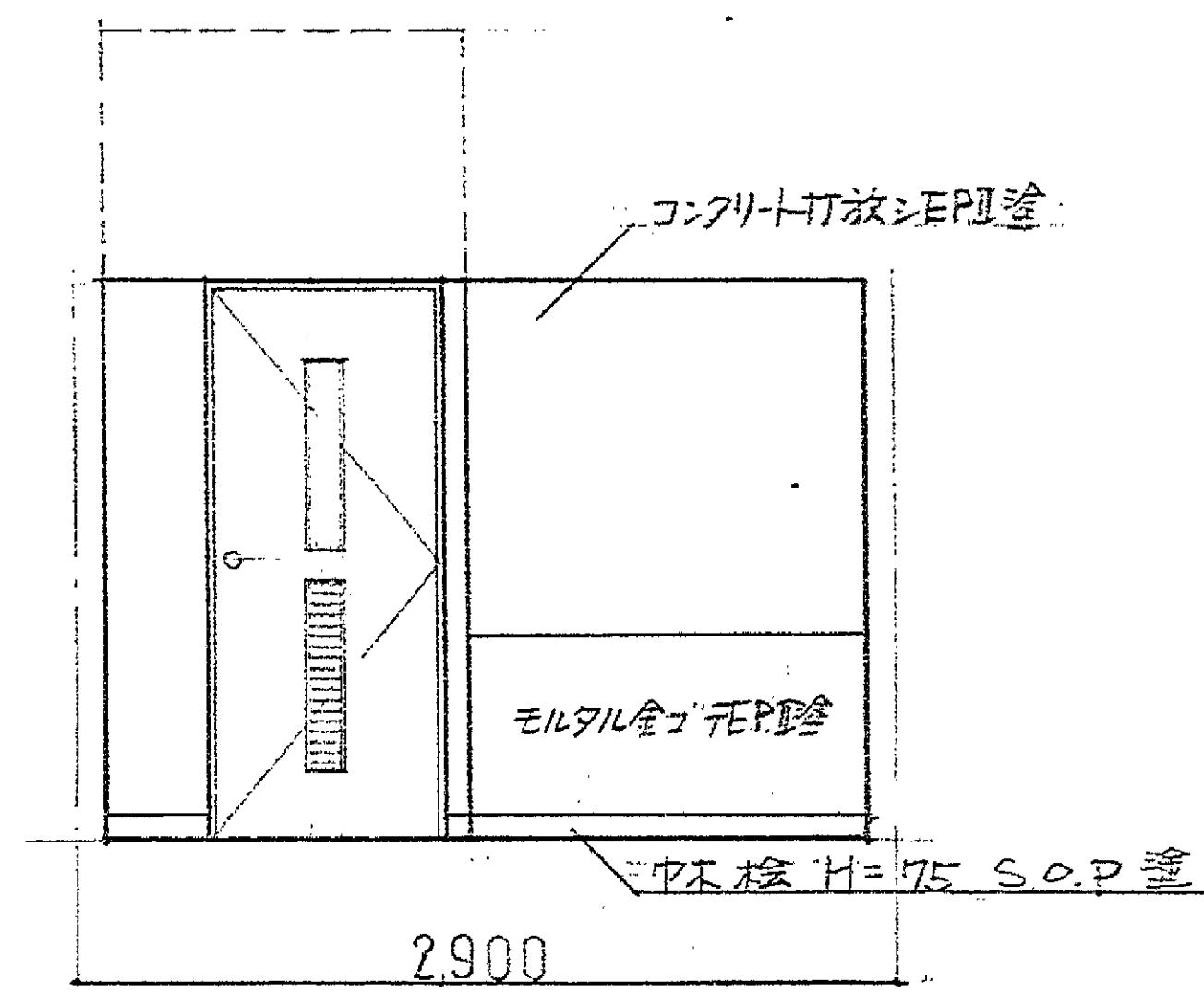
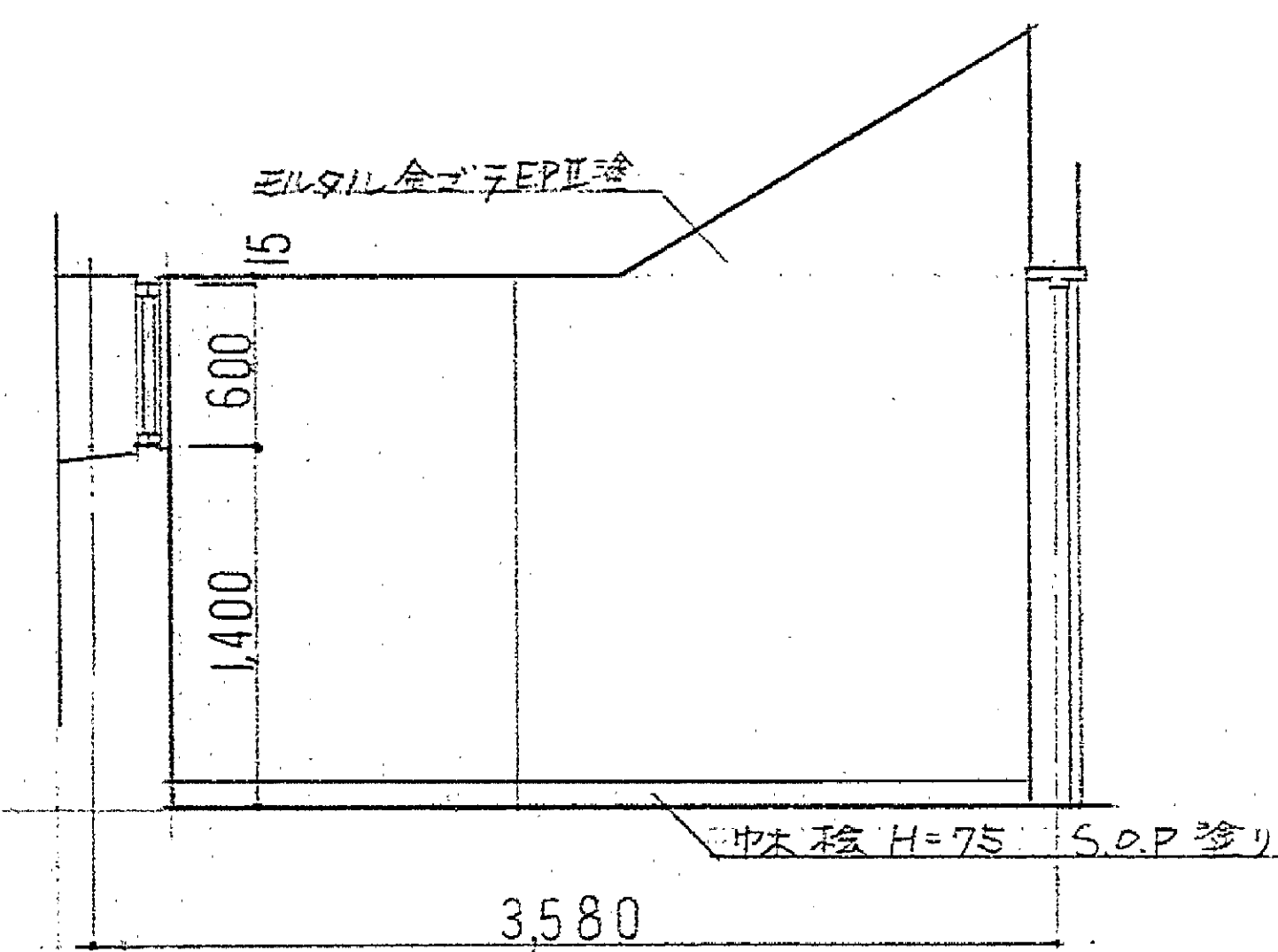
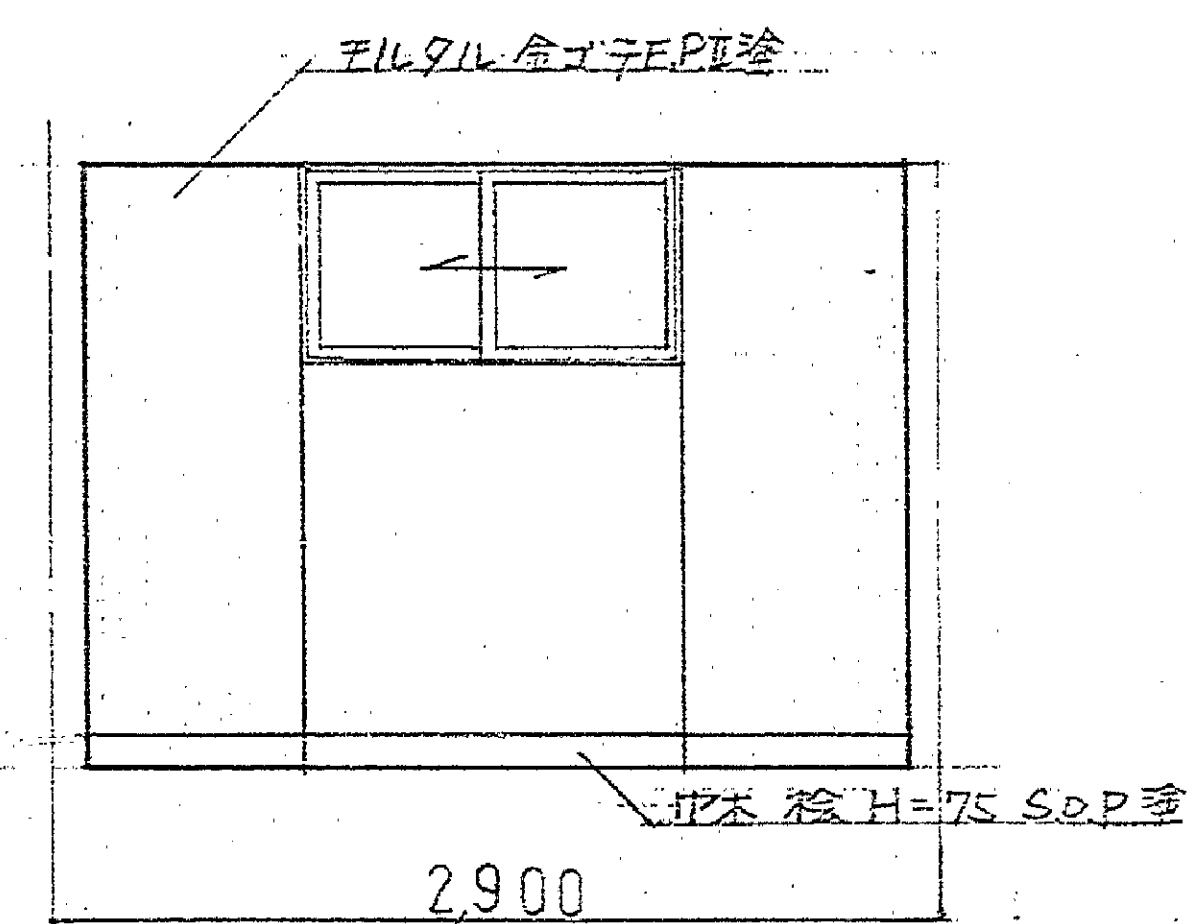
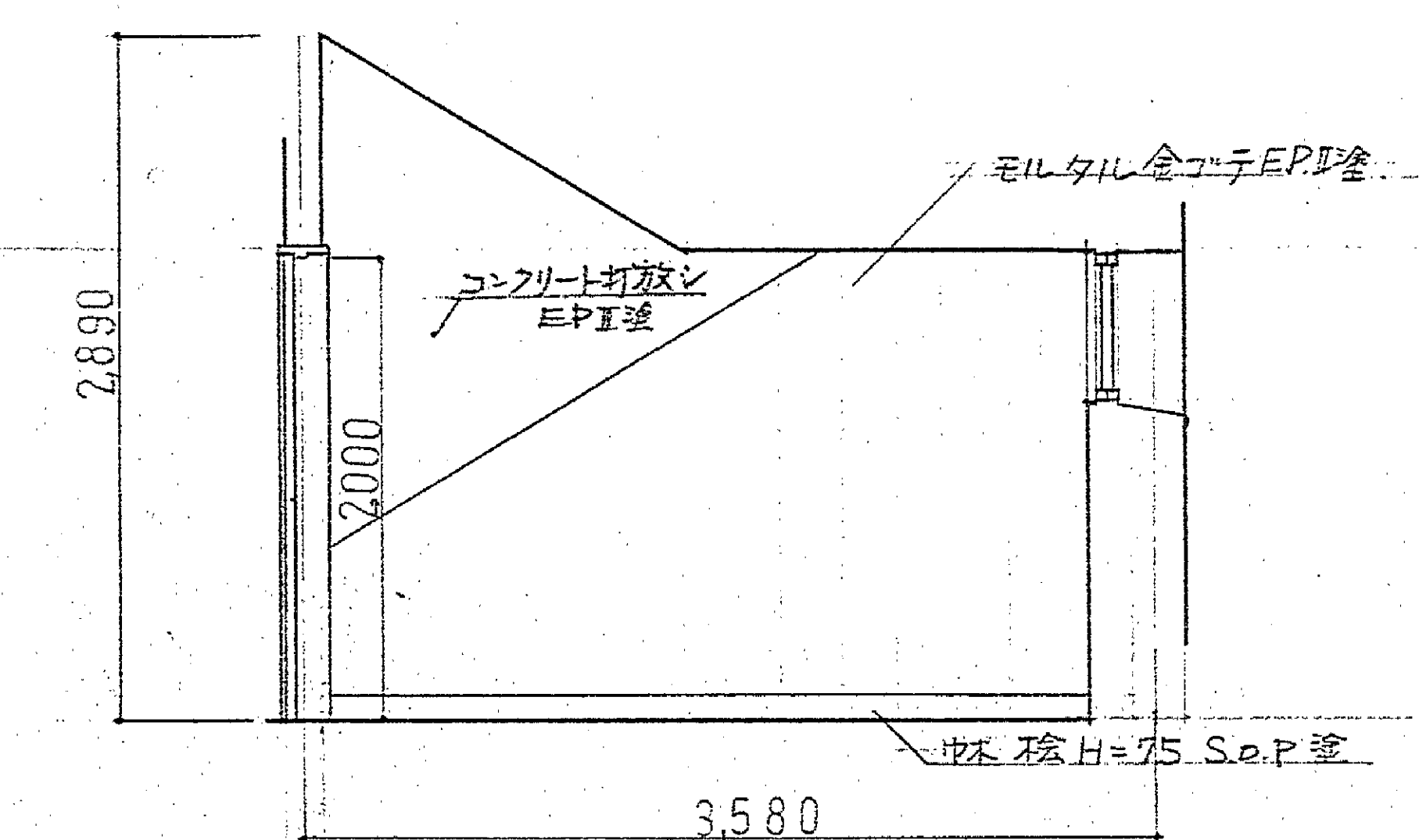
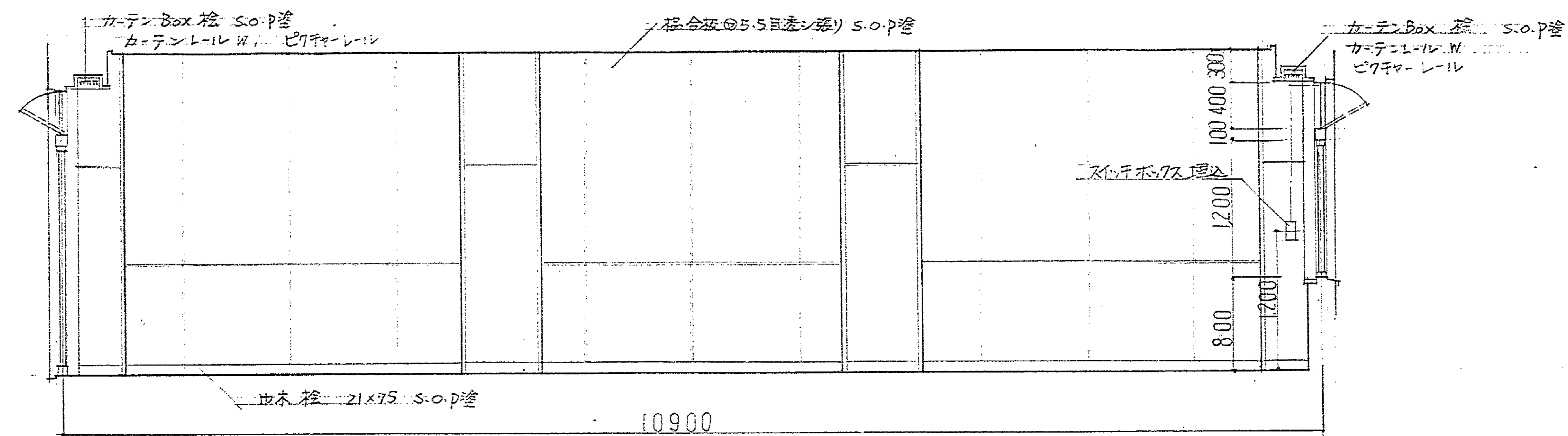
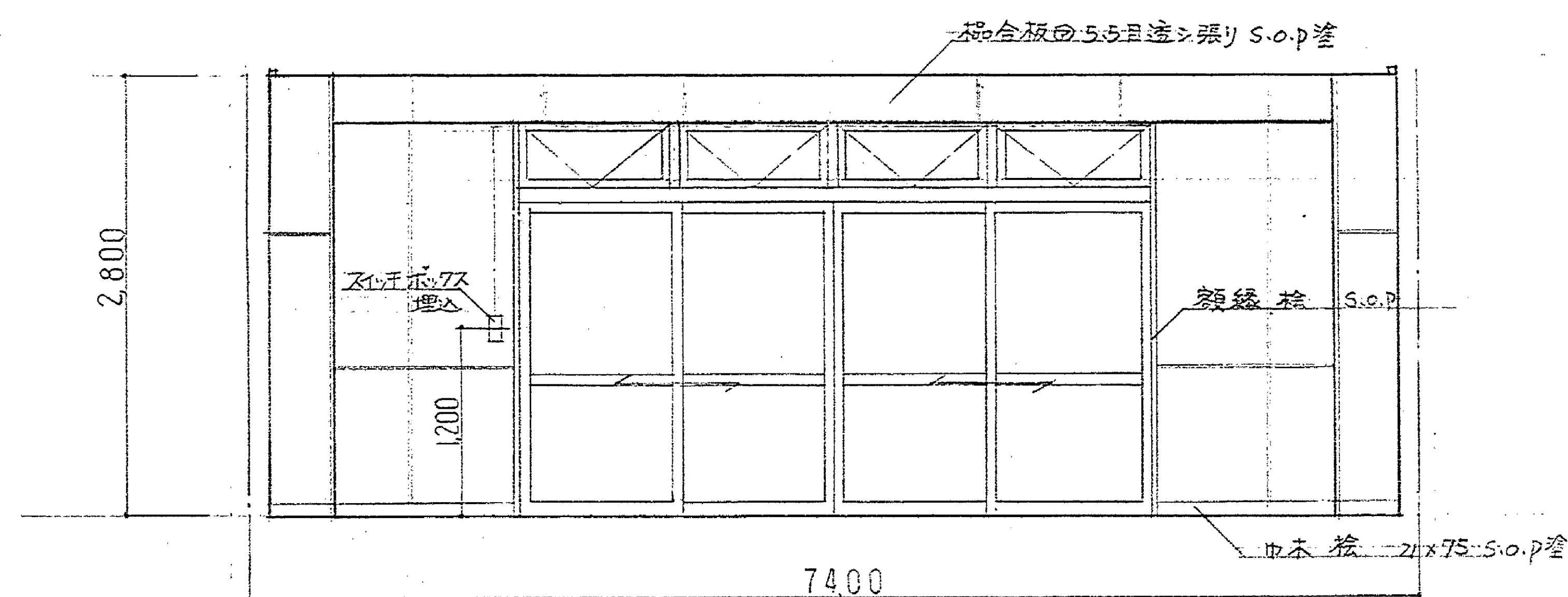
MMM 断面図 3-1/30

NNN 断面図 3-1/30

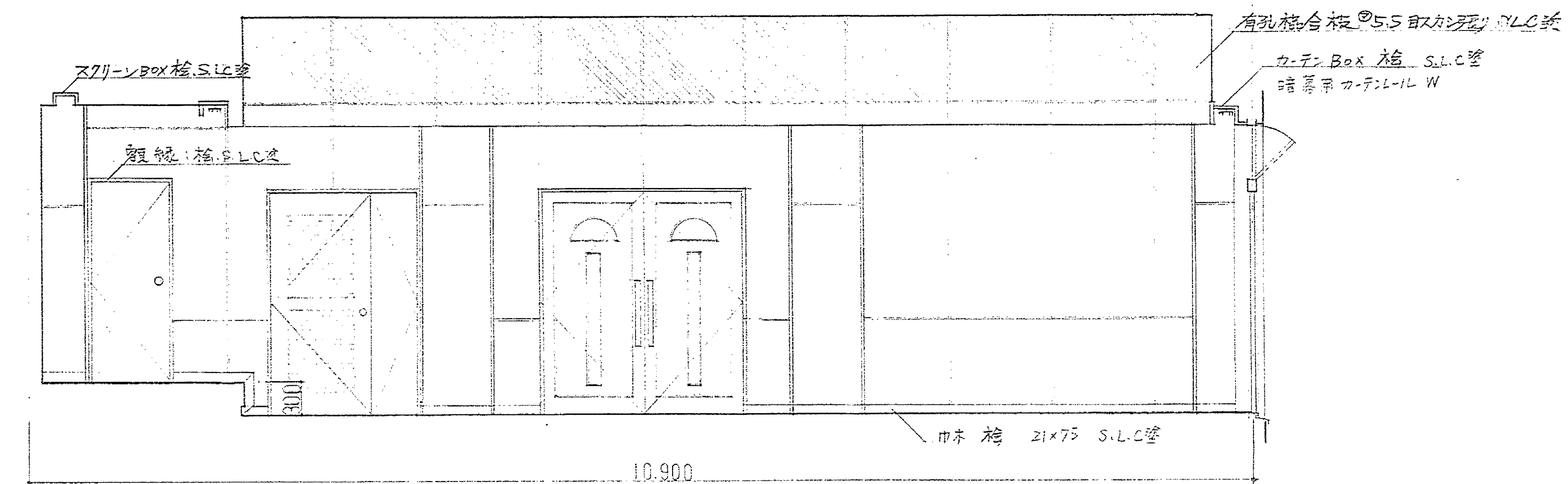
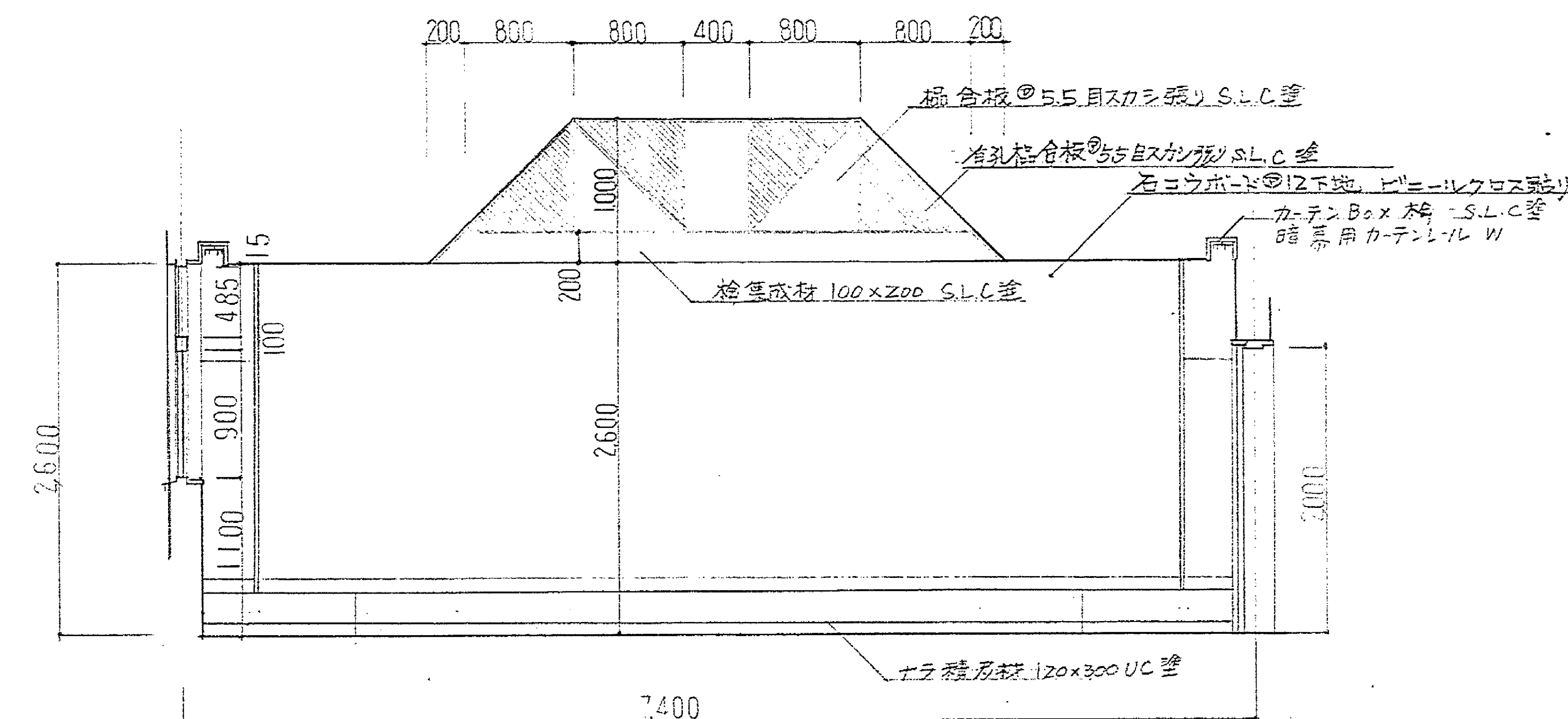


展示室

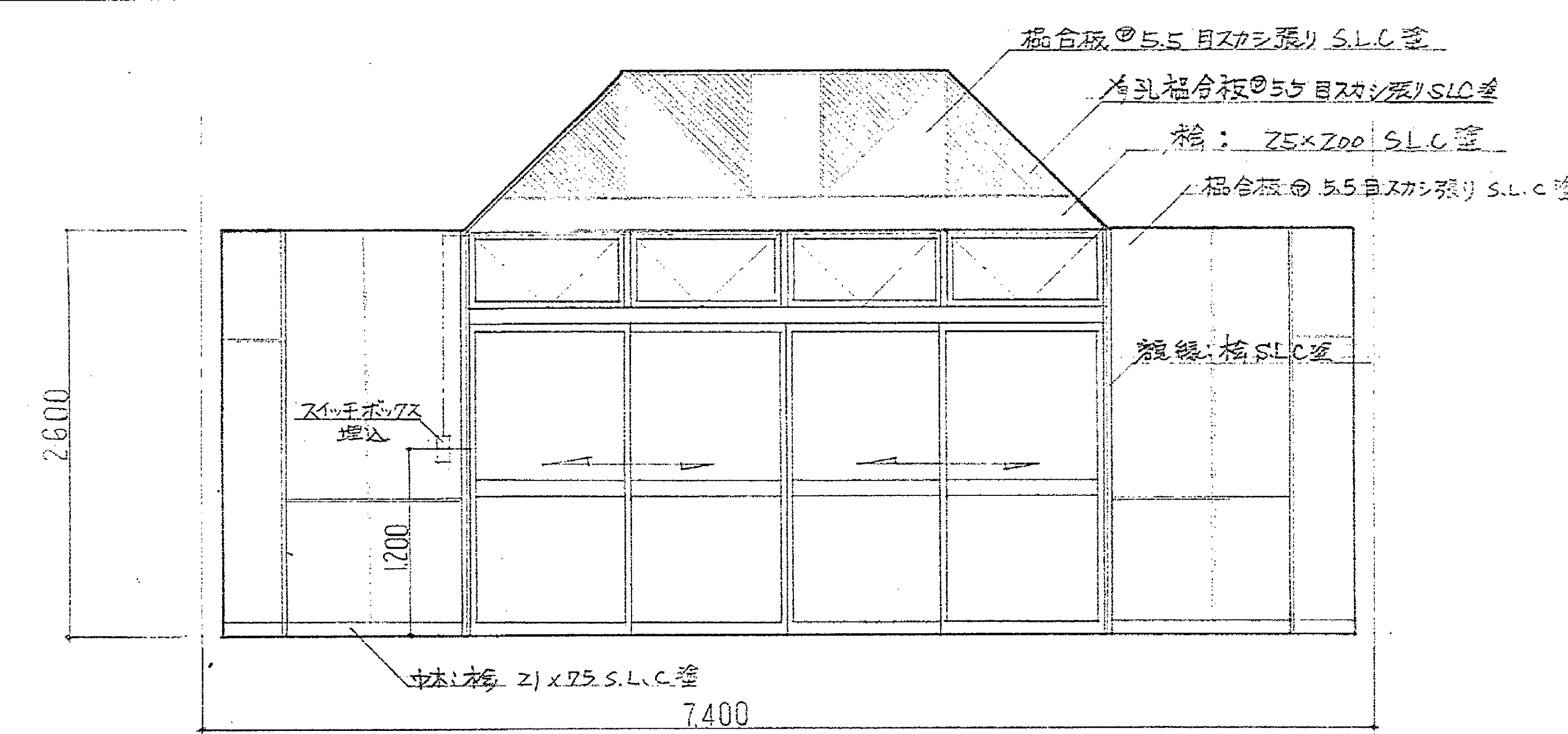
マイクログ 121-11711



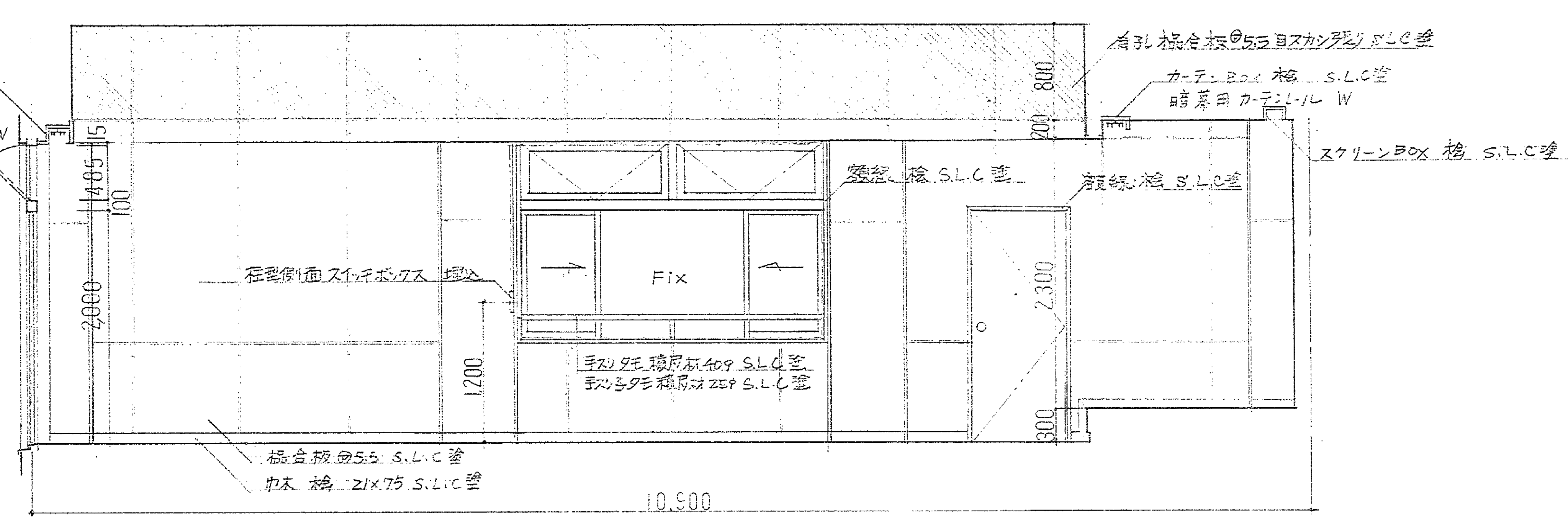
マイクログラフ
121-11712



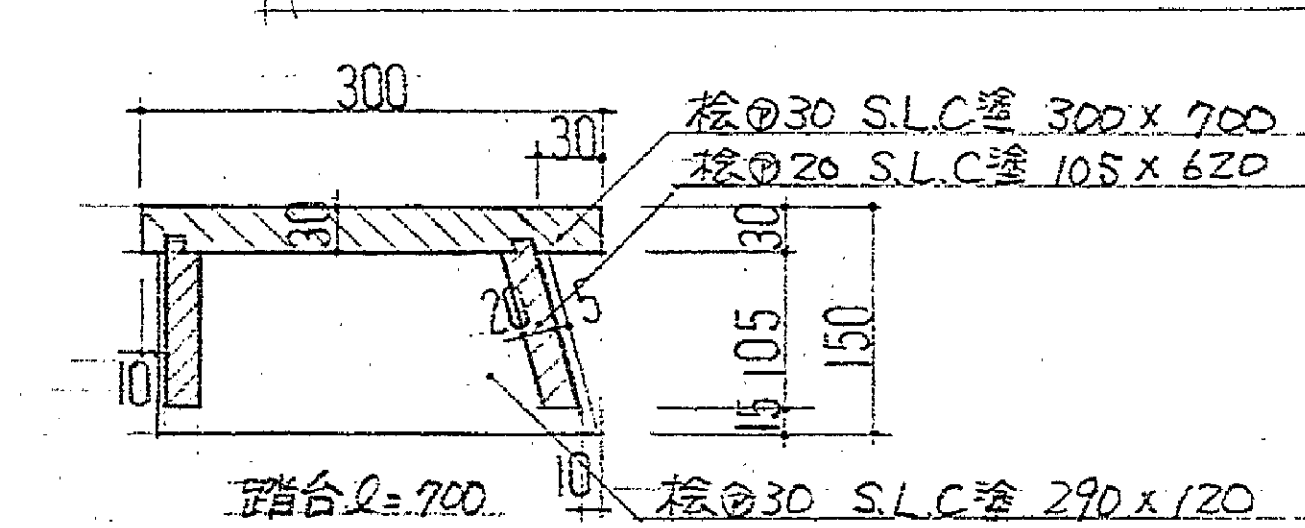
研修室 兼 会議室



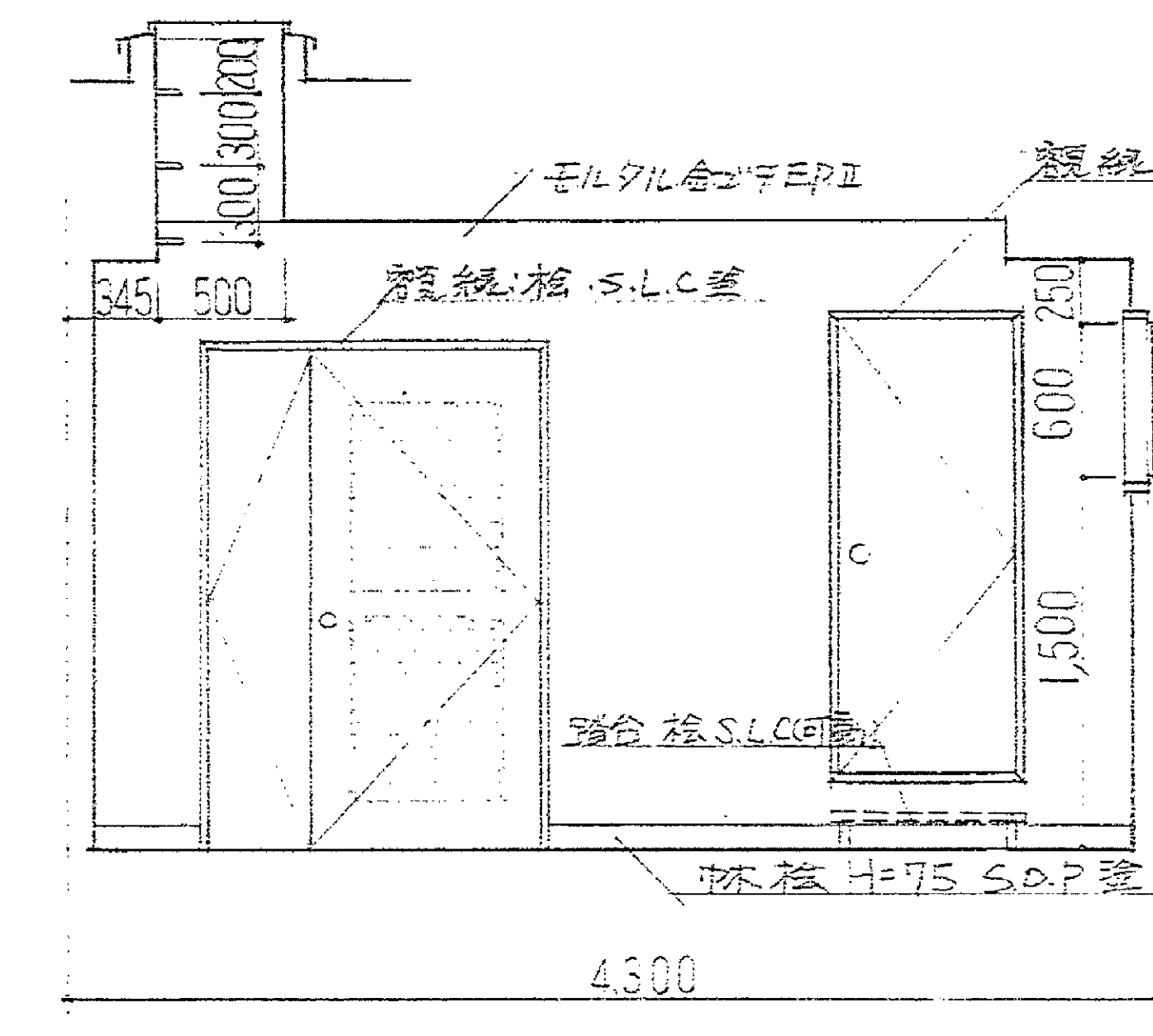
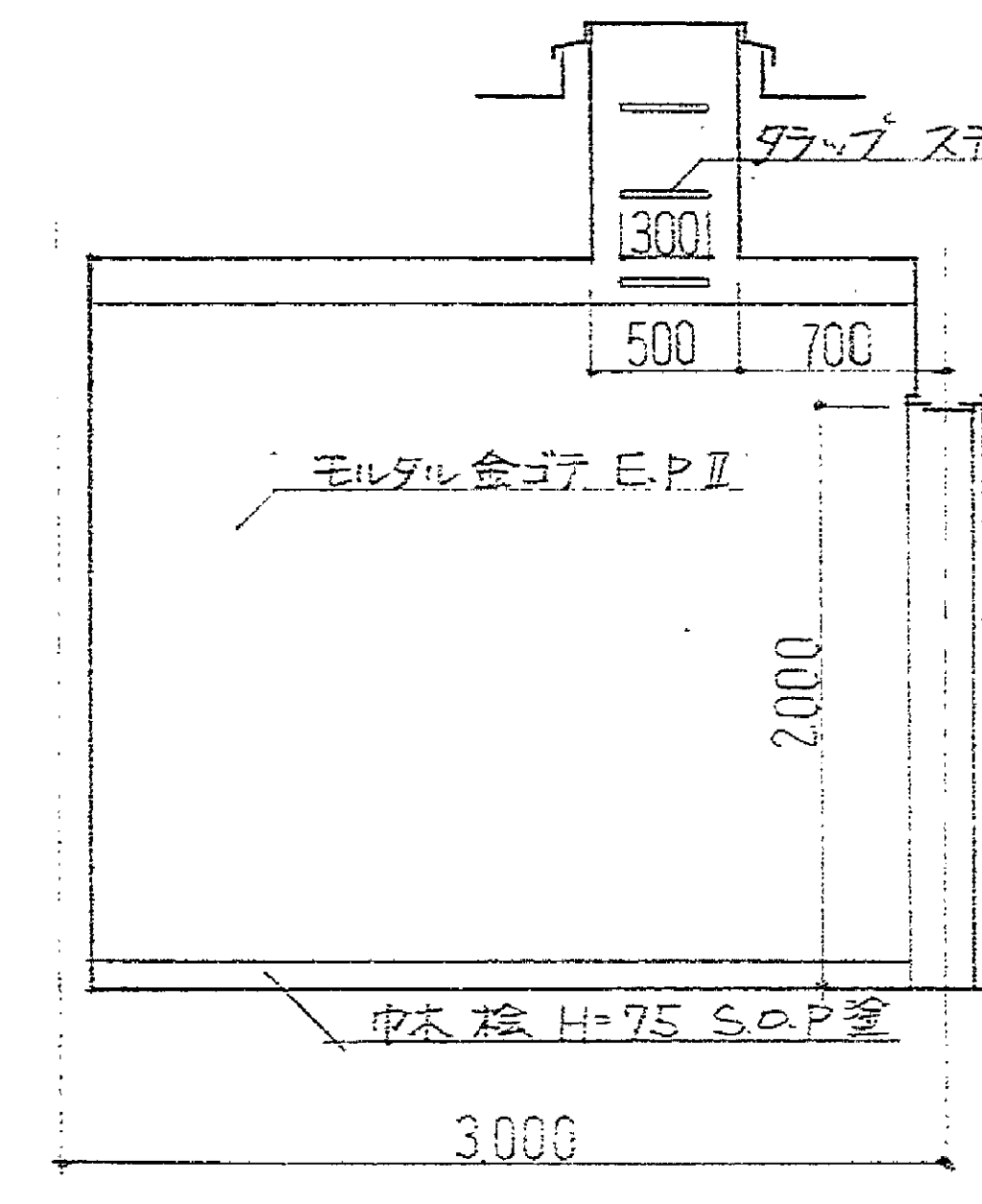
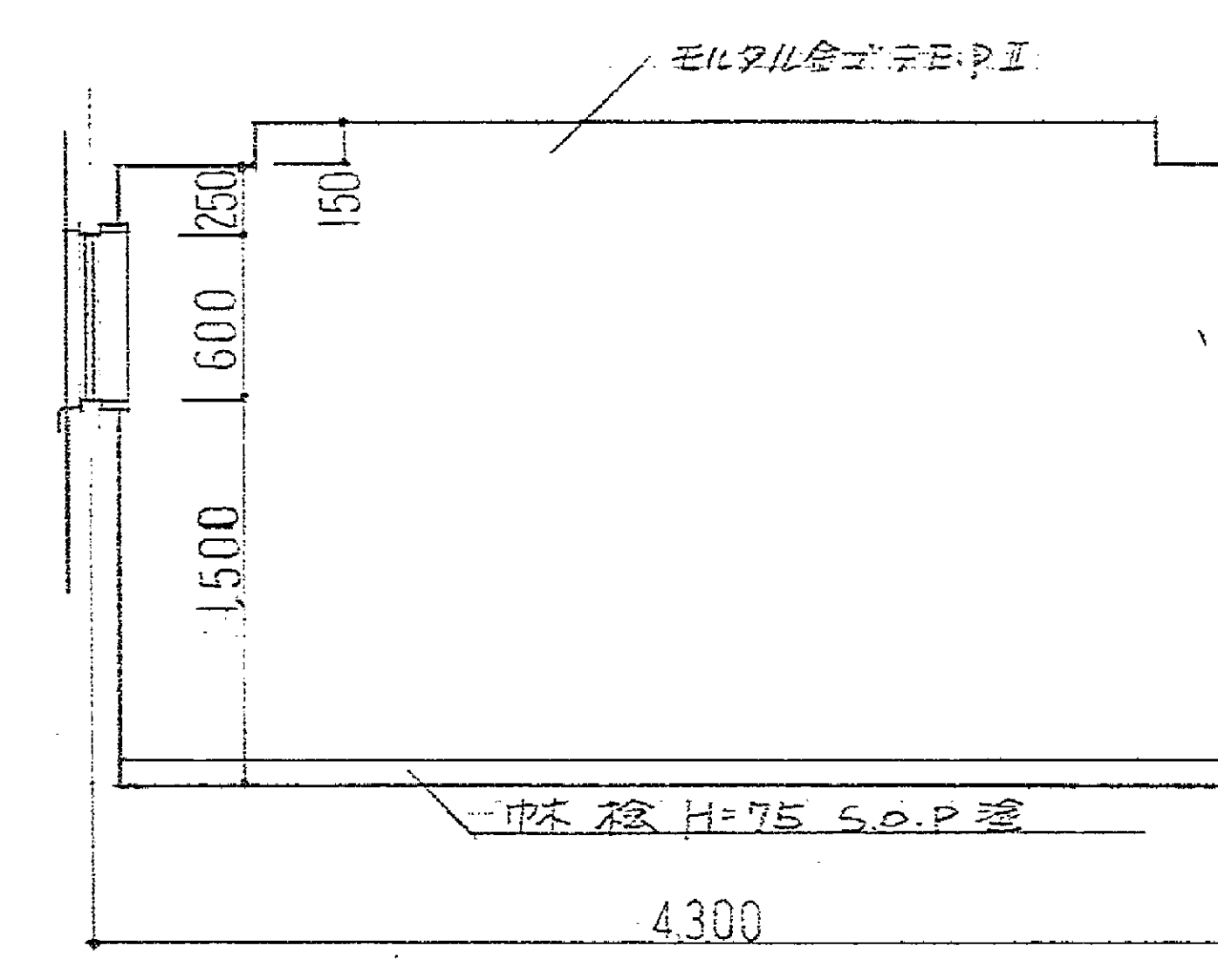
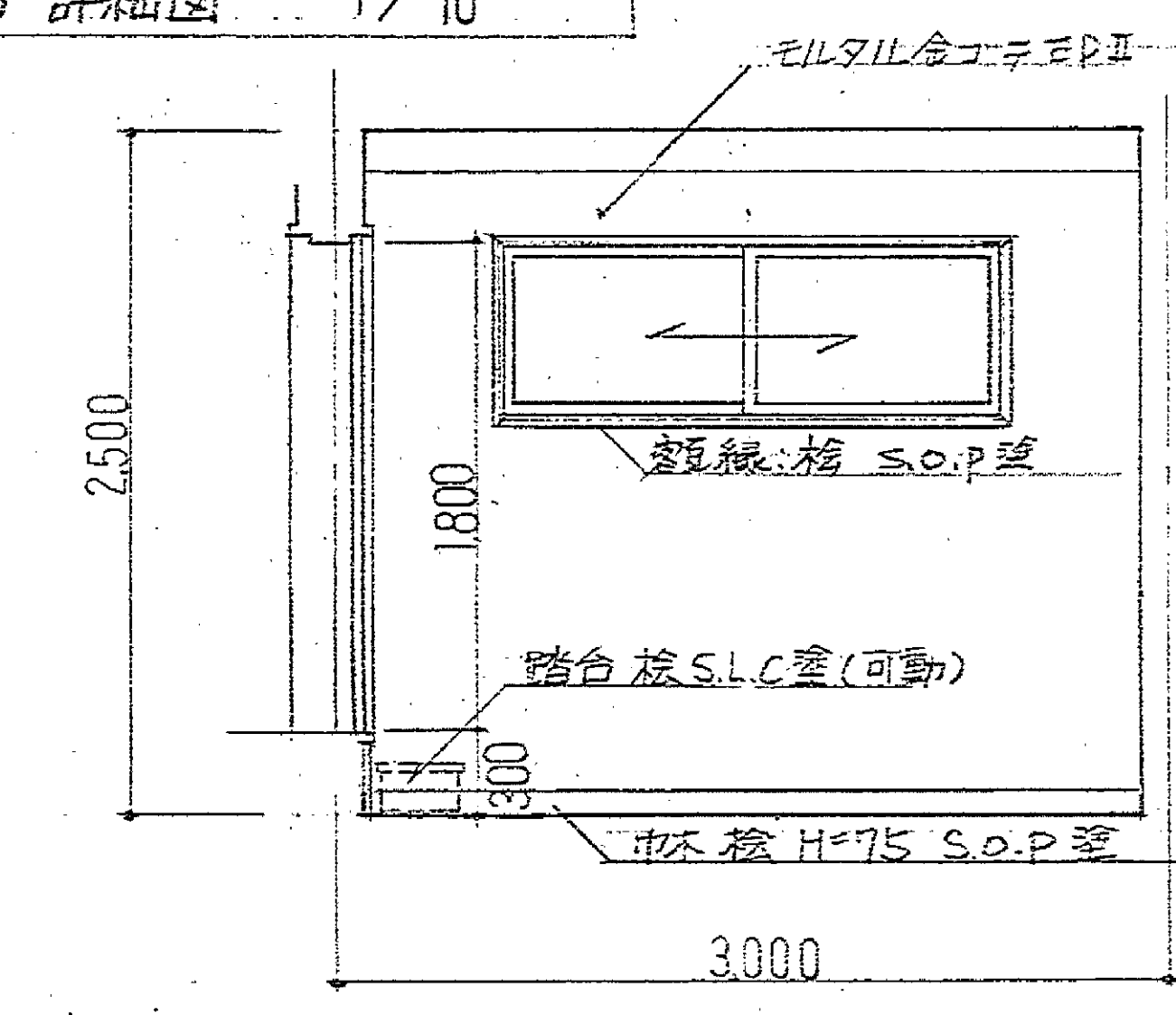
カーテンボックス S.L.C 造
暗幕用カーテンレール W



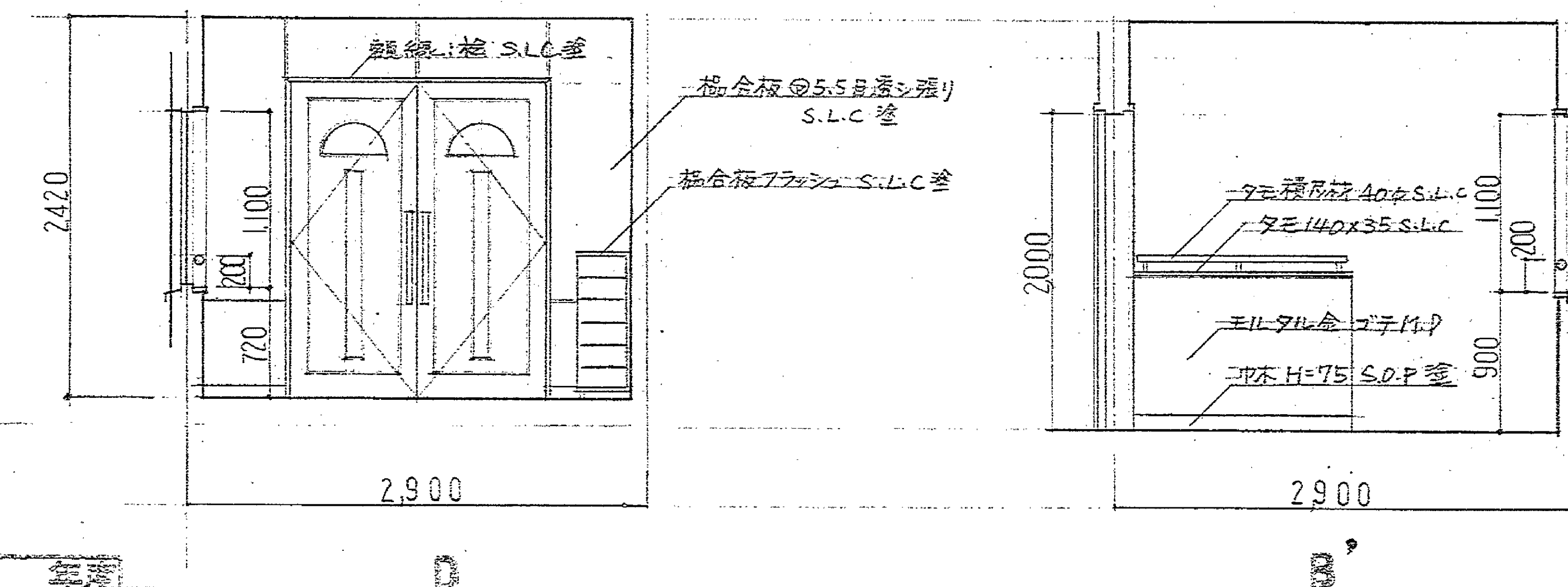
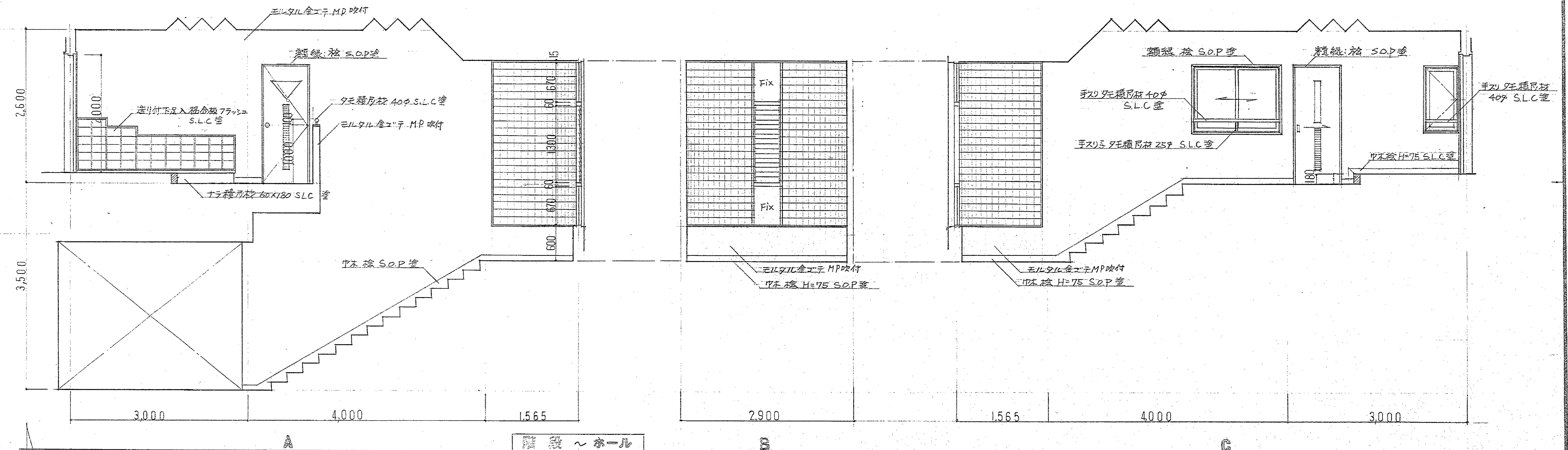
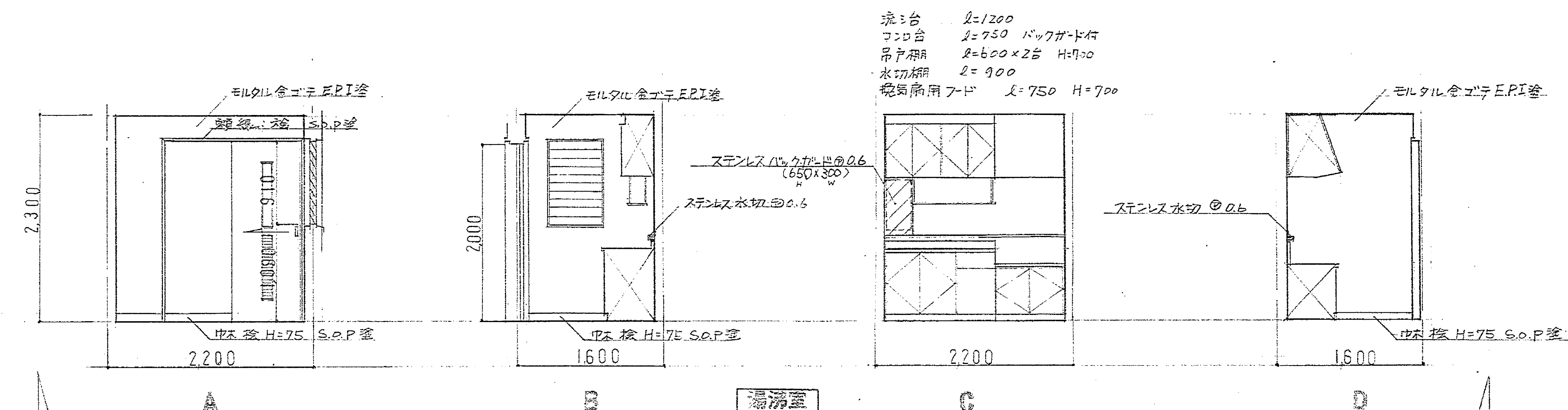
研修室 兼 会議室



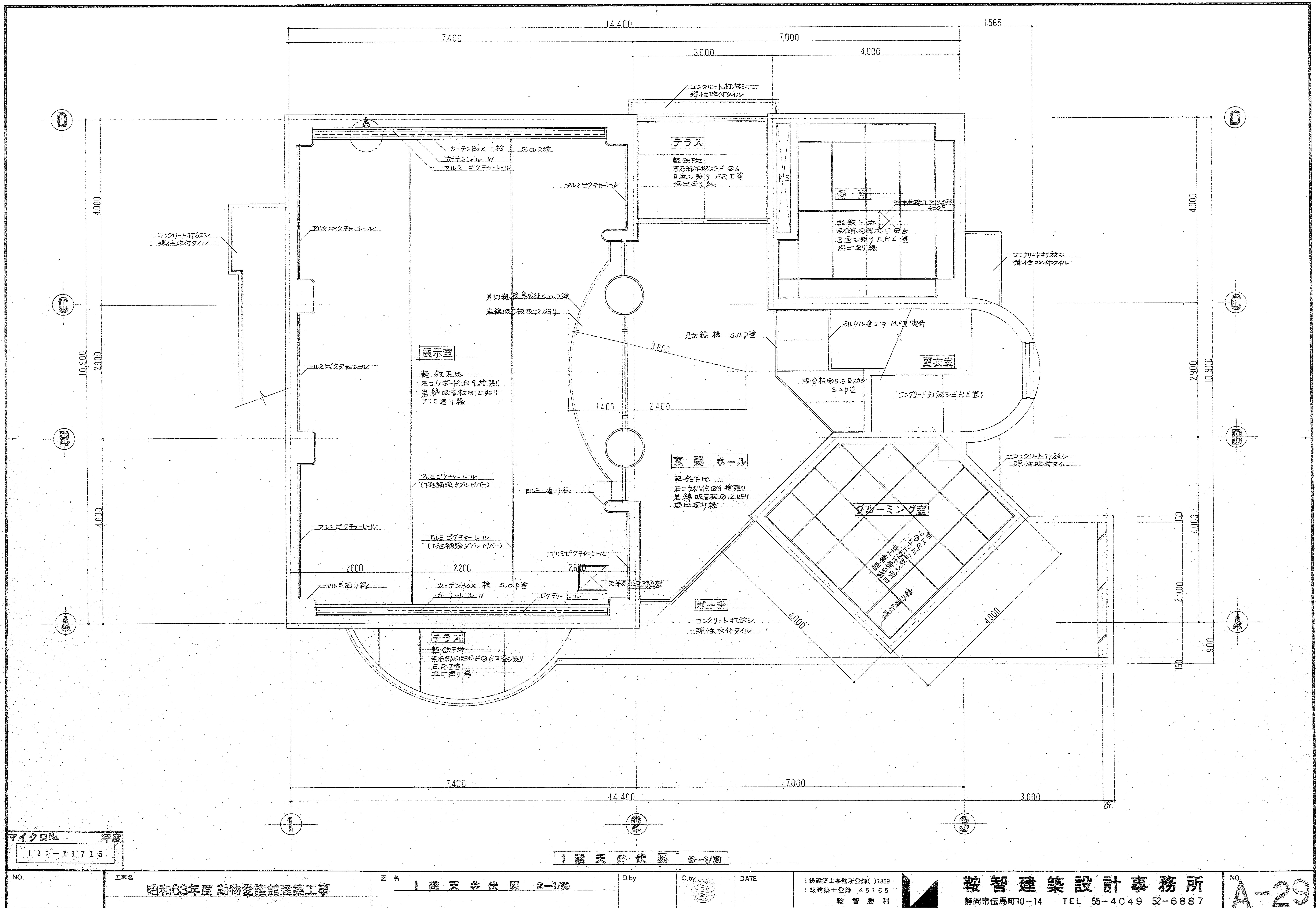
踏台 詳細図 1/10



マイクログラフ 年度
121-11713

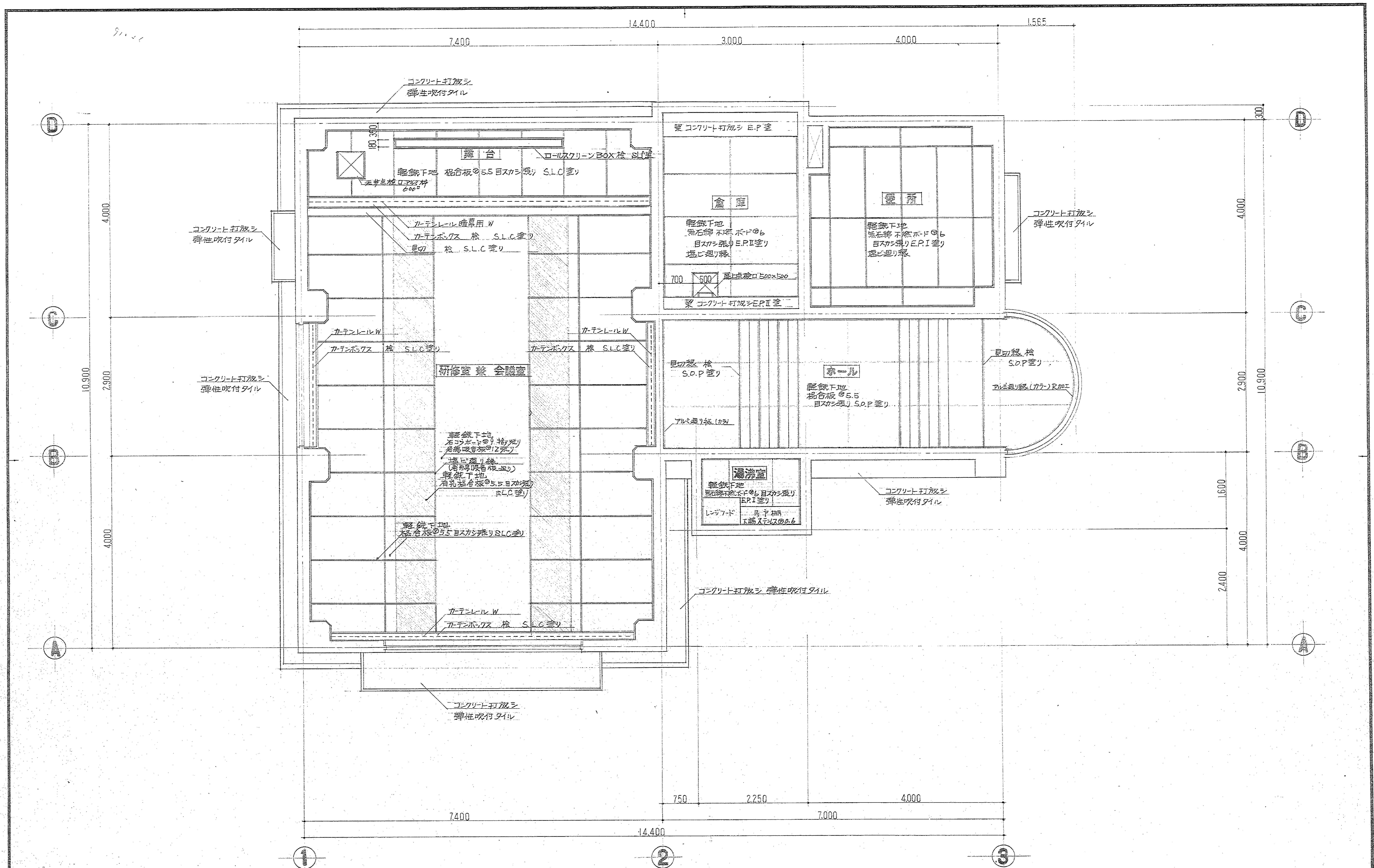


マイクログ
121-11714



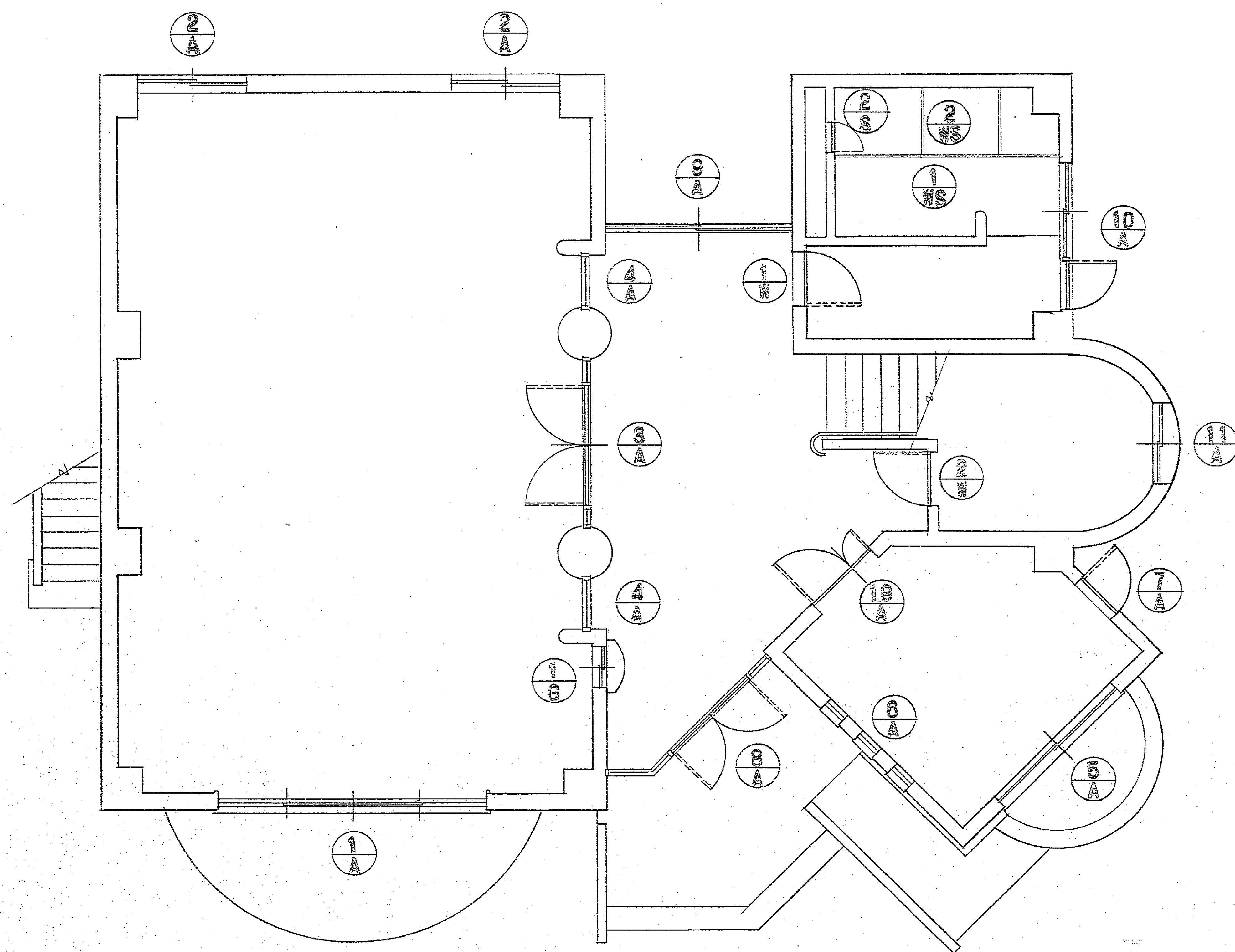
マイクログラフ
121-11715

1 階天井伏図 S-1/30

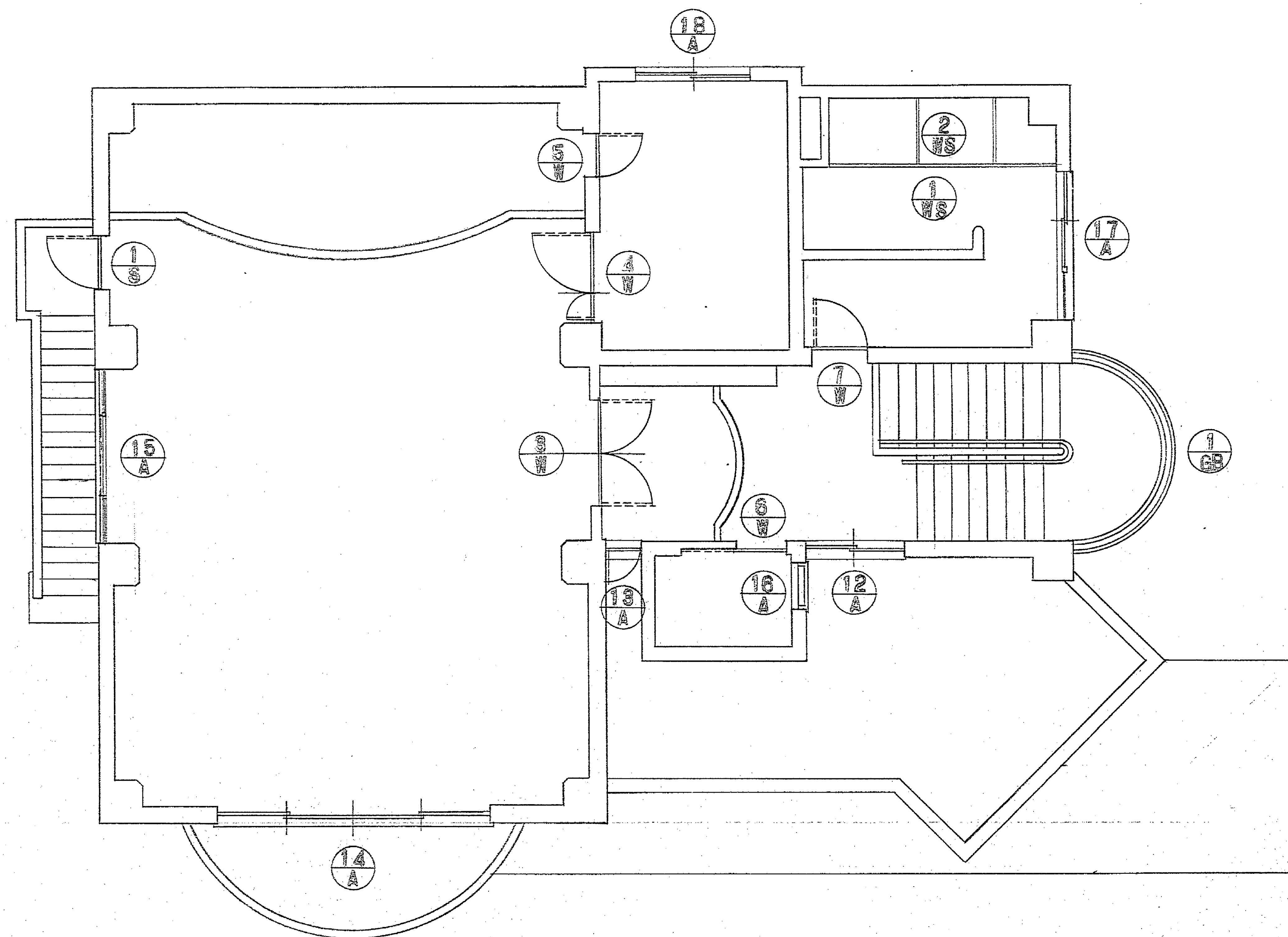


マイクログラフ
121-11716

2階天井伏図 3-1/50



1 階 建 具 符 号 図

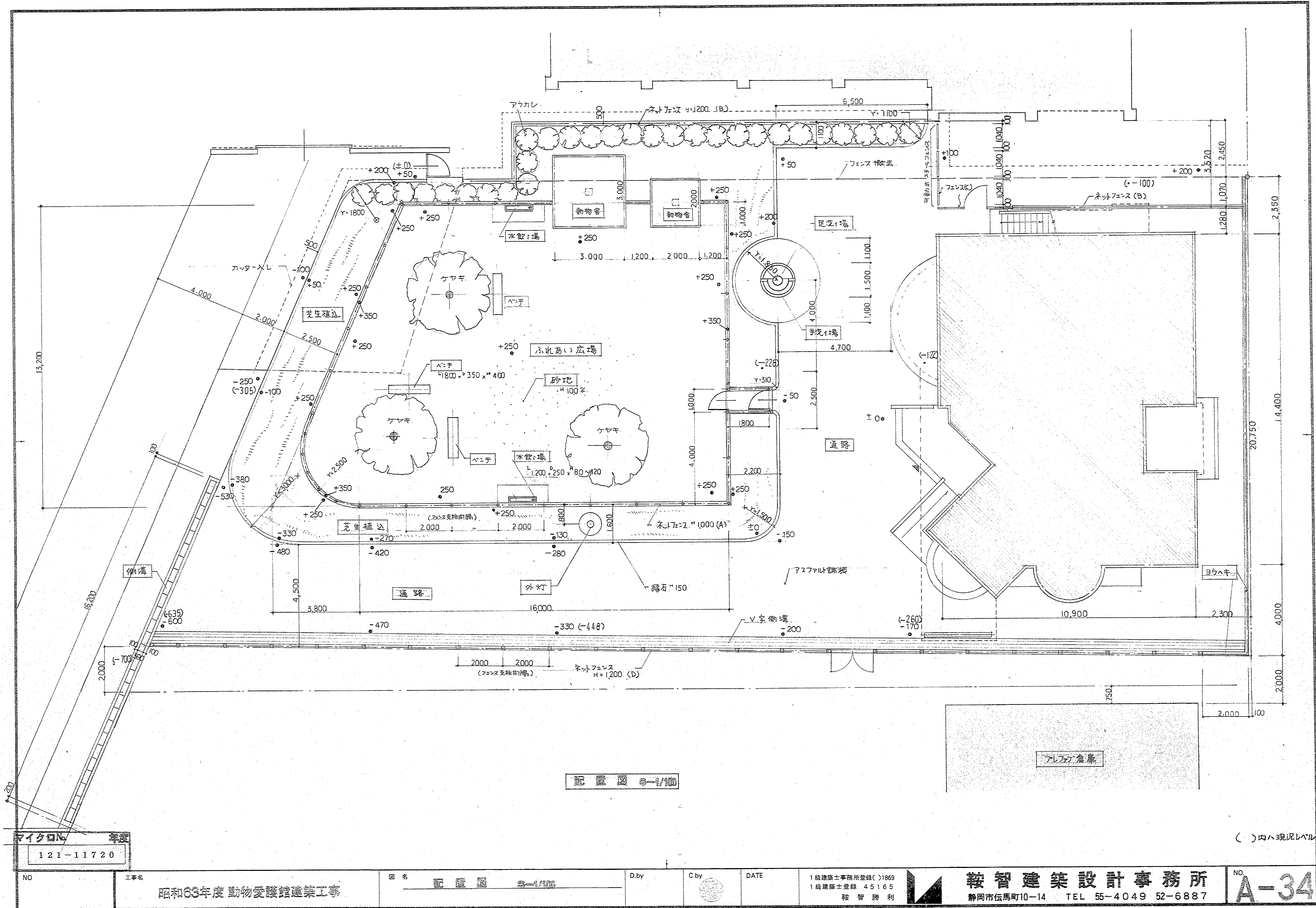


2 階 建 具 符 号 図

マイクログ 年度
121-11717

形状					
名称	外側シランマ付 4本建引違い戸	外側シランマ付 引違い窓	ハメ殺シ付 両開キ戸	ハメ殺シ窓	引違い窓
場所	1階 展示室	同 左	同 左	同 左	ブルーミング室
仕上	アルミ電解発色	同 左	同 左	同 左	同 左
硝子	強化透明ガラス ⑤	同 左	同 左	同 左	同 左
附属金具	オペレーター、クレセント、アングルピース、下枠ステンレス、ステンレス水切	オペレーター、クレセント、アングルピース、アルミ水切	ドアハンドル(ユニオンGS640 アルミブラック程度)、シリンダー錠、ネオスイングヒンジ(ストッパー付)×4枚		クレセント、アルミ水切
見込数量	見込 100 数量 1	見込 70 数量 2	見込 70 数量 1	見込 70 数量 2	見込 70 数量 1
備考	ガラス押エ 全テ シリコンシーリング		ガラス押エハ全テ シリコンシーリング	ガラス押エ シリコンシーリング	
形状					
名称	ハメ殺シ窓	片開キ戸	ハメ殺シ窓付 両開キ戸	ハメ殺シシランマ付 引違い戸	引違い窓付 片開キ戸
場所	ブルーミング室	同 左	玄関ホール	同 左	1階 便所
仕上	アルミ電解発色	アルミパネルフラッシュ(電解発色)	アルミ電解発色	同 左	アルミパネルフラッシュ(電解発色)
硝子	強化透明ガラス ⑤	強化型ガラス ④	強化透明ガラス ⑤	同 左	強化型ガラス ④
附属金具	アルミ水切 他一式	本締付モロック(シリンダー+サムターン)、ステンレス水切、ドアチャック(ストッパー付) 他一式	フロアヒンジ、シリンダー錠、ステンレス水切 ①.5 W=40、ドアハンドル(ユニオンGS640 アルミブラック程度)	クレセント、ステンレス水切	本締付モロック(シリンダー+サムターン)、クレセント、ステンレス水切、ドアチャック(ストッパー付)、ステンレス水切
見込数量	見込 70 数量 3	見込 70 数量 1	見込 70 数量 1	見込 100 数量 1	見込 70 数量 1
備考	ガラス押エ シリコンシーリング	ガラス・パネル押エ シリコンシーリング	ガラス押エ 全テ シリコンシーリング	同 左	ドアパネル・ガラス押エ シリコンシーリング
形状					
名称	引違い窓	同 左	片開キ窓	外側シランマ付 4本建引違い戸	外側シランマ付 片引キ窓
場所	更衣室	2階 ホール	同 左	研修室 兼 会議室	同 左
仕上	アルミ電解発色	同 左	同 左	同 左	同 左
硝子	強化型ガラス ④	強化透明ガラス ⑤	同 左	強化透明ガラス ⑤	同 左
附属金具	クレセント	クレセント、アングルピース、アルミ水切	クレモン錠、ステンレスJ番 102mm×2枚、アオリ止メ、アルミ水切、アングルピース	オペレーター、クレセント、アングルピース、下枠ステンレス、ステンレス水切	オペレーター、クレセント、アングルピース、アルミ水切
見込数量	見込 70 数量 1	見込 70 数量 1	見込 70 数量 1	見込 100 数量 1	見込 70 数量 1
備考				ガラス押エ 全テ シリコンシーリング	FIX部分 ガラス押エ シリコンシーリング

形状						
名称	ガラスルーバー	ハ横窓付 引違窓	引違窓	片開キ戸	同 左	Fixガラスルーバー付 ガラスブロック (1450 R)
場所	湯沸室	Z階 便所	Z階 倉庫	研修室 兼 会議室	1・Z階 便所	階段室
仕上	アルミ電解発色	同 左	同 左	ステンレスブラッシュ 外装 S.O.P 塗 内装 塩ビフィルム貼 (タテ700mm)	ステンレスブラッシュ S.O.P 塗	アルミ電解発色
硝子	網入り透明ガラス ⑥8	強化型ガラス ④	同 左			ガラスブロック: ポイントブロンズ 115×115, ガラスルーバー網入り透明ガラス ⑥8, Fix: 強化透明ガラス ⑥5
附属金具	アルミ水切	クレセント, アルミ水切	クレセント, アンクルピス, アルミ水切	ワンタッチ非常用装置付 本錠錠, ステンレス鋼線 ステンレス鋼線 127mm×3mm, フック付 (2ヶ所)	軸受けヒンジ, 平面ハンドル (シングル錠付)	
見込数量	見込 70 数量 1	見込 70 数量 1	見込 70 数量 1	見込 86 数量 1	見込 86 数量 1	見込 100 数量 1
備考	固定網戸 (サランネット・グレー)	Fix部分 ガラス押エ シリコンシーリング		ステンレス管 ②0 H.L		Fix部分 ガラス押エ シリコンシーリング, ガラスブロック 目地 ポリサルファイドシーリング
形状						
名称	親子開キ戸	引違イ ガラス戸	片開キ戸	片開キ戸	両開キ戸	親子開キ戸
場所	プレミング室	展示室	1階 便所	更衣室	研修室 兼 会議室	Z階 倉庫
仕上	アルミ電解発色		極合板 フラッシュ S.O.P 塗 細線 ステンレス 6mm S.O.P 塗	同 左	極合板 S.L.C 塗 極合板 フラッシュ S.L.C 塗	極合板 フラッシュ S.L.C 塗 細線 ステンレス 6mm S.L.C 塗
硝子	強化透明ガラス ⑤	同 左	強化型ガラス ④	同 左	同 左	強化透明ガラス ④
附属金具	オートスイングヒンジ (ストッパー付) × 4 枚 本錠付 モノロック (シンダー)・フック付	ガラス引金物一式 (クランプ 6mm×3mm 同製品) 引金引手	本錠付 モノロック (シンダー) オートスイングヒンジ (ストッパー付) × 2 枚	オートスイングヒンジ (ストッパー付) × 2 枚 本錠付 モノロック (シンダー + サムターン)・フック付	オートスイングヒンジ (ストッパー付) × 4 枚 ハンドル (シンダー 45mm 程度)	ステンレス T 管 12mm×6mm 4 枚, フック付 (ストッパー付) 本錠付 モノロック (シンダー + サムターン)・フック付
見込数量	見込 70 数量 1	見込 数量 1	見込 36 数量 1	見込 36 数量 1	見込 36 数量 1	見込 36 数量 1
備考	ガラス押エ シリコンシーリング		ガラス押エ シリコンシーリング	ガラス押エ シリコンシーリング	同 左	
形状						
名称	片開キ戸	片開キ戸		トイラス スクリーン	同 左	
場所	湯沸室	Z階 便所		1・Z階 便所	同 左	
仕上	極合板 フラッシュ S.O.P 塗 細線 ステンレス 6mm S.O.P 塗	同 左		同 左	同 左	
硝子	型ガラス ④	同 左				
附属金具	ワンタッチ非常用装置付 本錠錠, ステンレス鋼線 ワンタッチ非常用装置付 本錠錠, ステンレス鋼線 127mm×3mm, フック付 (2ヶ所)	本錠付 モノロック (シンダー) オートスイングヒンジ (ストッパー付) × 2 枚		ステンレスラバリーヒンジ × 3 セット ステンレスラバリーヒンジ × 3 箇所, ステンレスラバリーヒンジ × 3 箇所	ステンレスラバリーヒンジ × 2 箇所	
見込数量	見込 36 数量 1	見込 36 数量 1		見込 36 数量 2	見込 36 数量 4	
備考	ガラス押エ シリコンシーリング	同 左		ステンレスラバリーヒンジ 3ヶ所 1ヶ所ハ表示錠トスル		



マイクログラフ
121-11720

昭和63年度 動物愛護館建築工事

図名 配置図 S-1/100

D.by

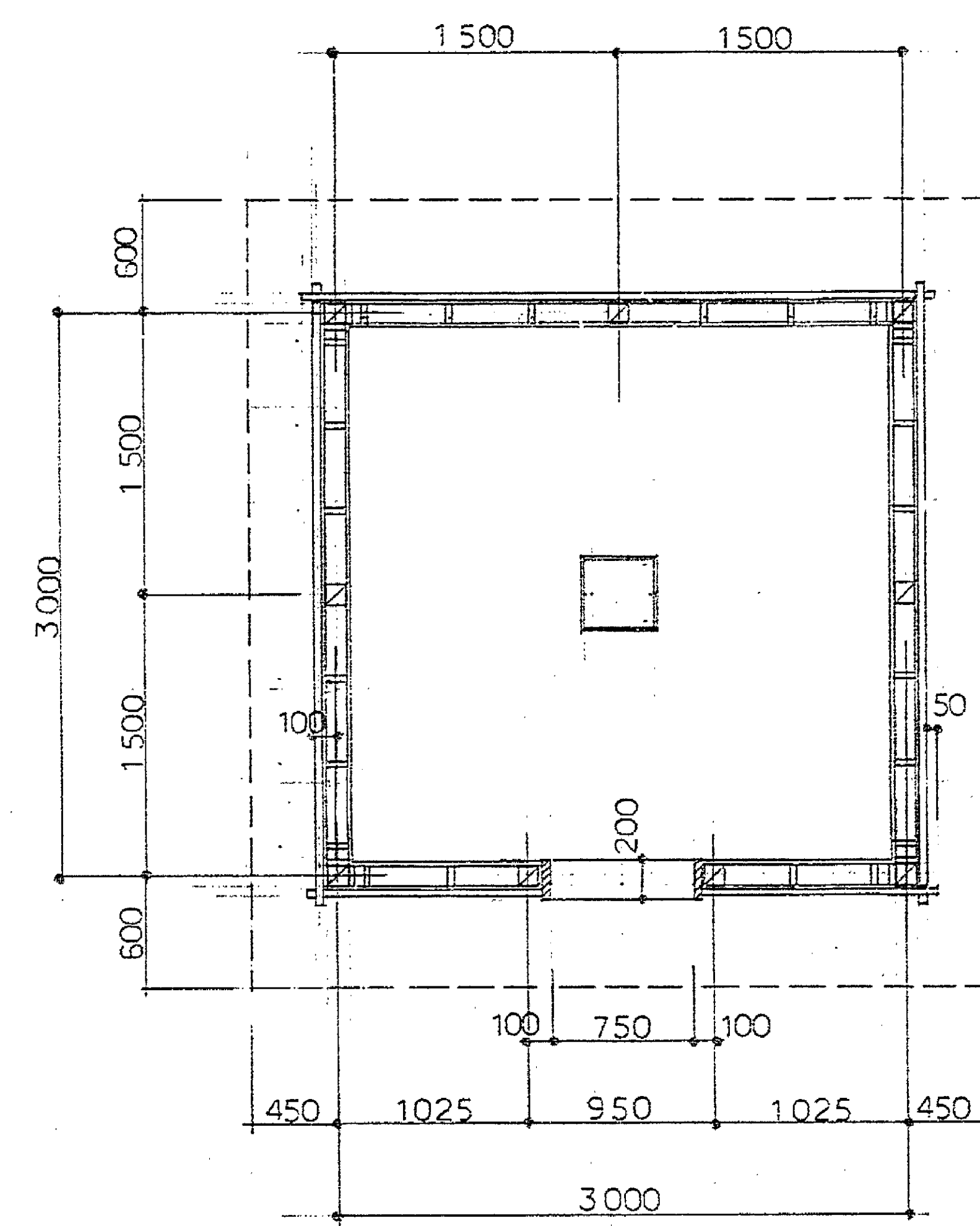
C.by

DATE

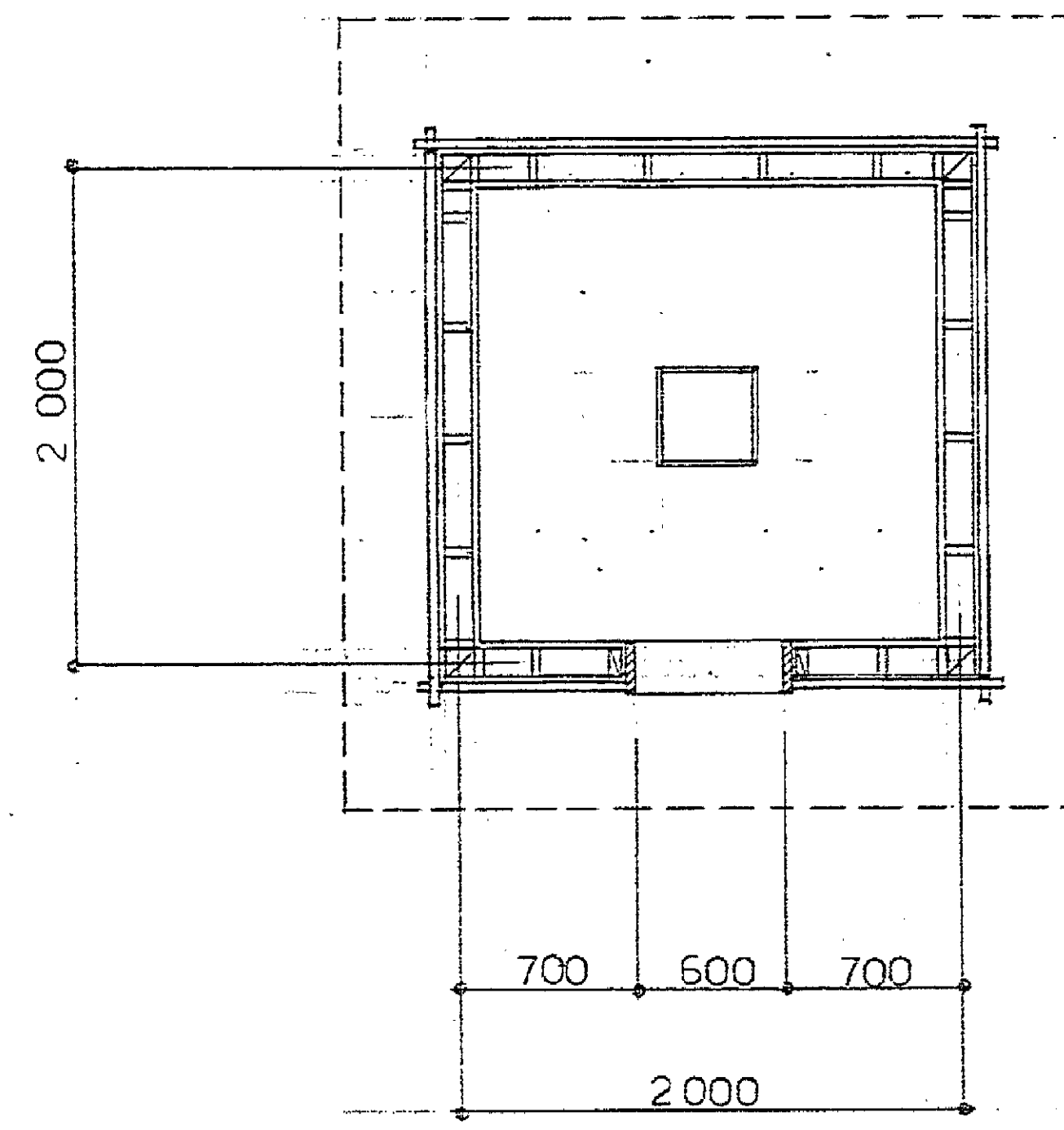
1級建築士事務所登録()1869
1級建築士登録 45165
鞍智 勝利

鞍智建築設計事務所
静岡市伝馬町10-14 TEL 55-4049 52-6887

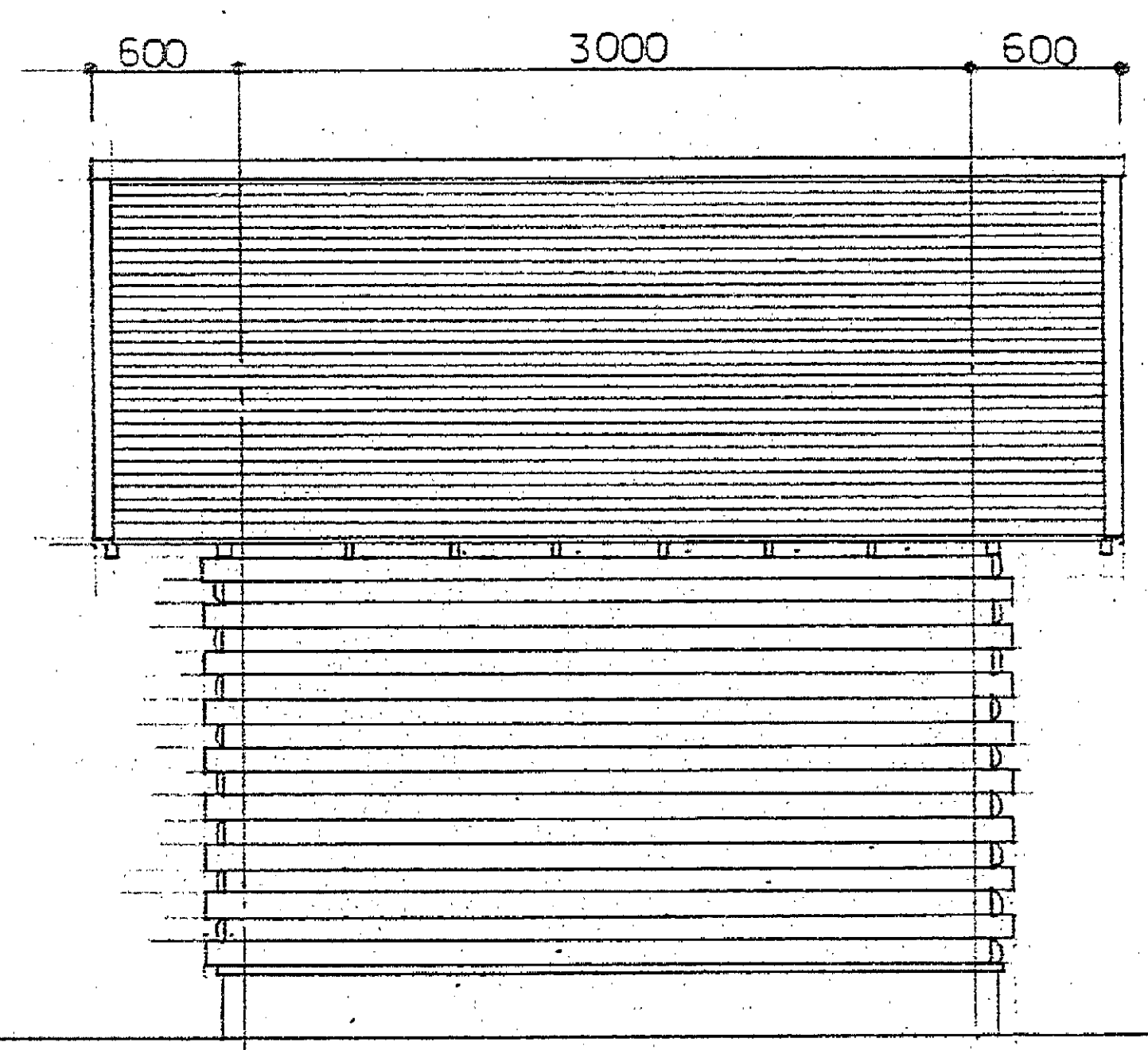
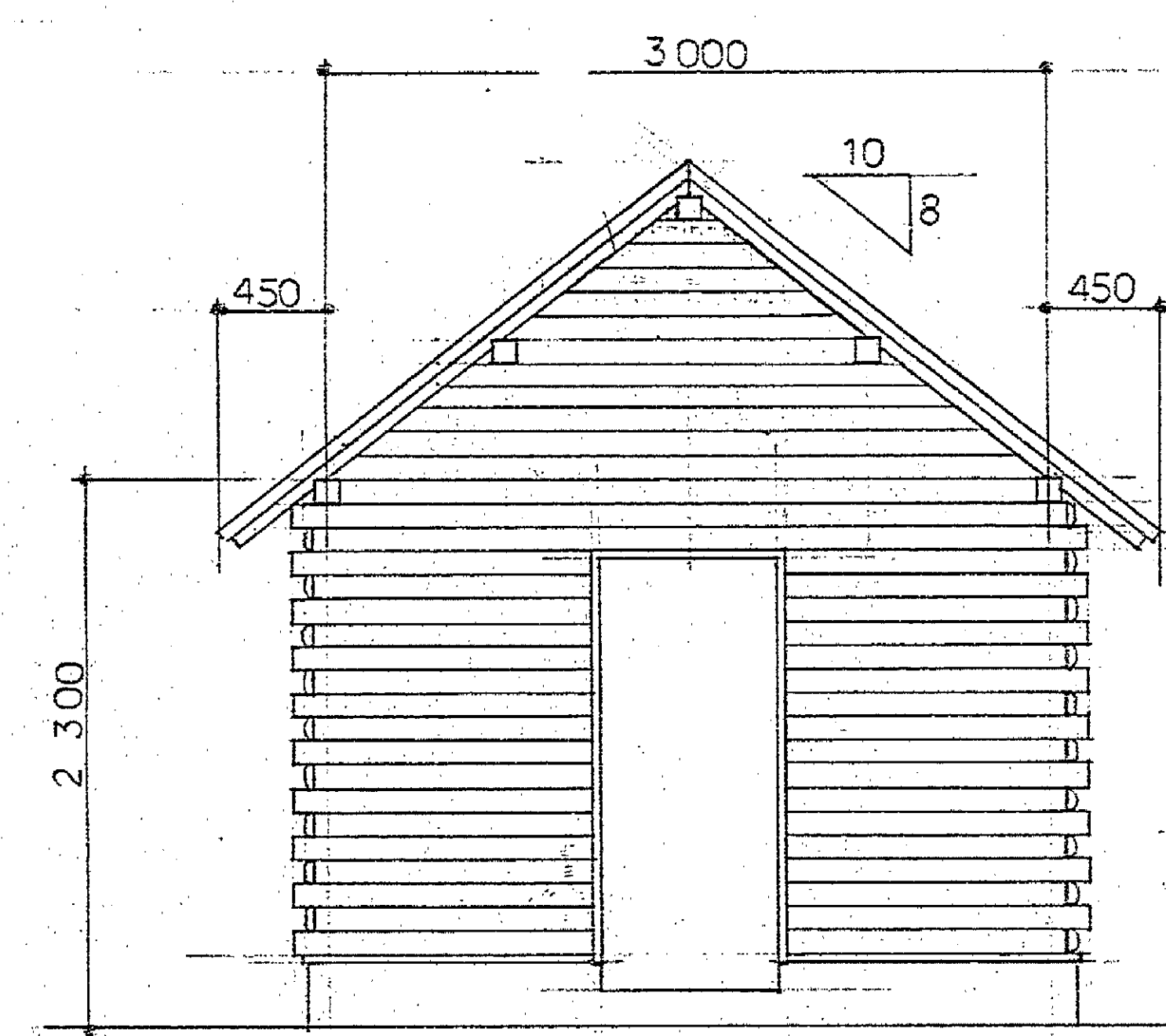
NO. A-34



動物舎(A)平面図 1/50

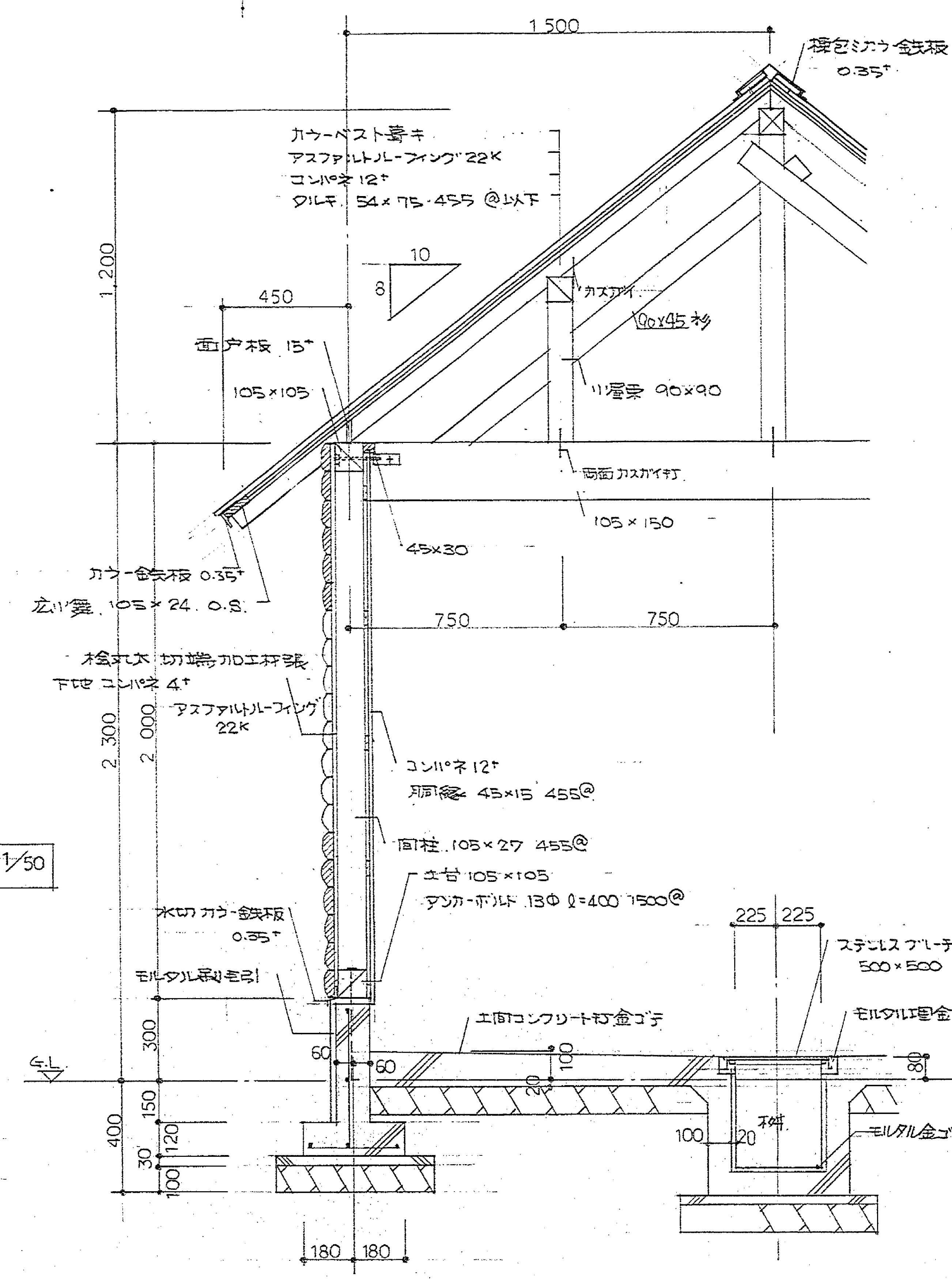
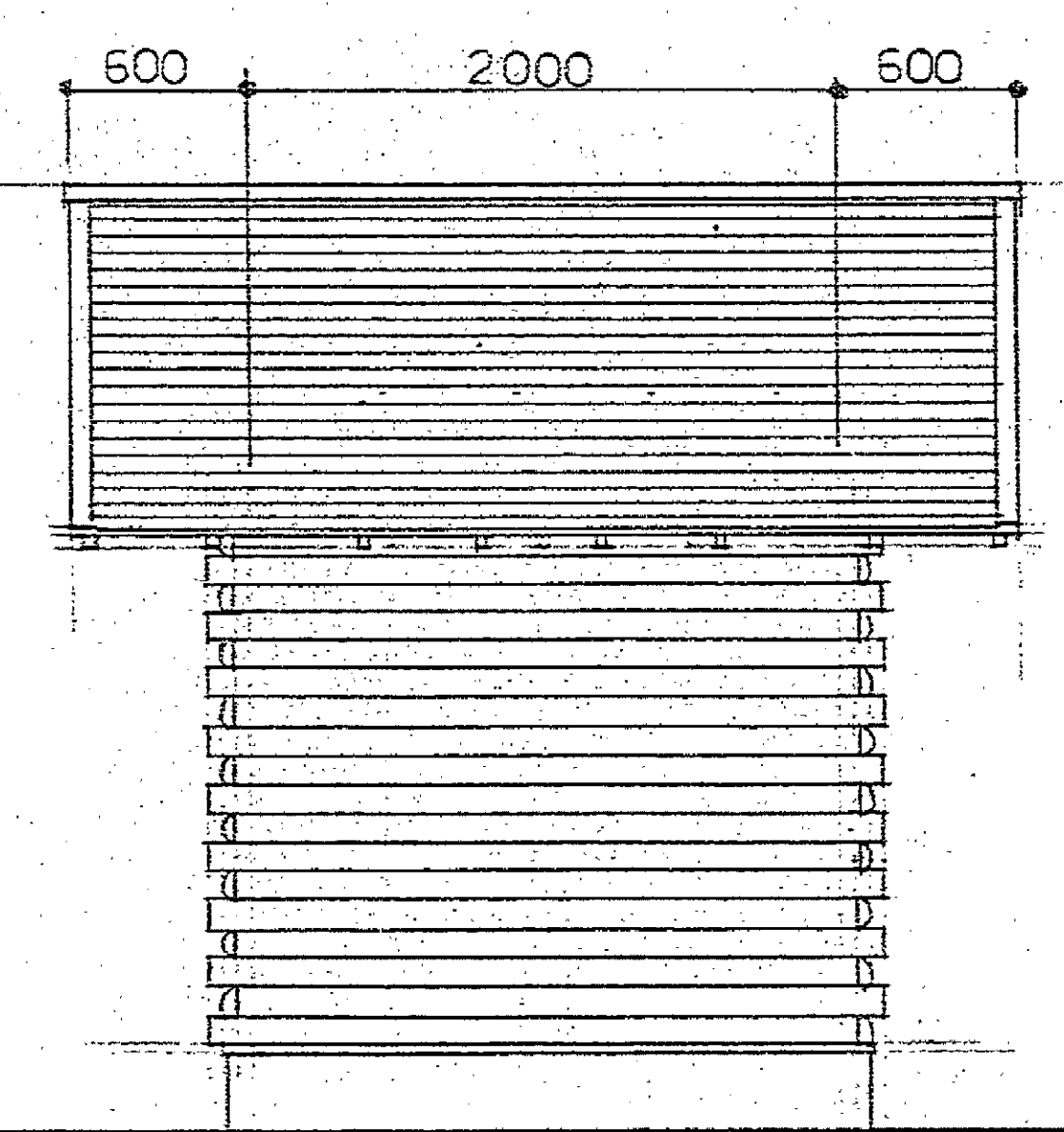
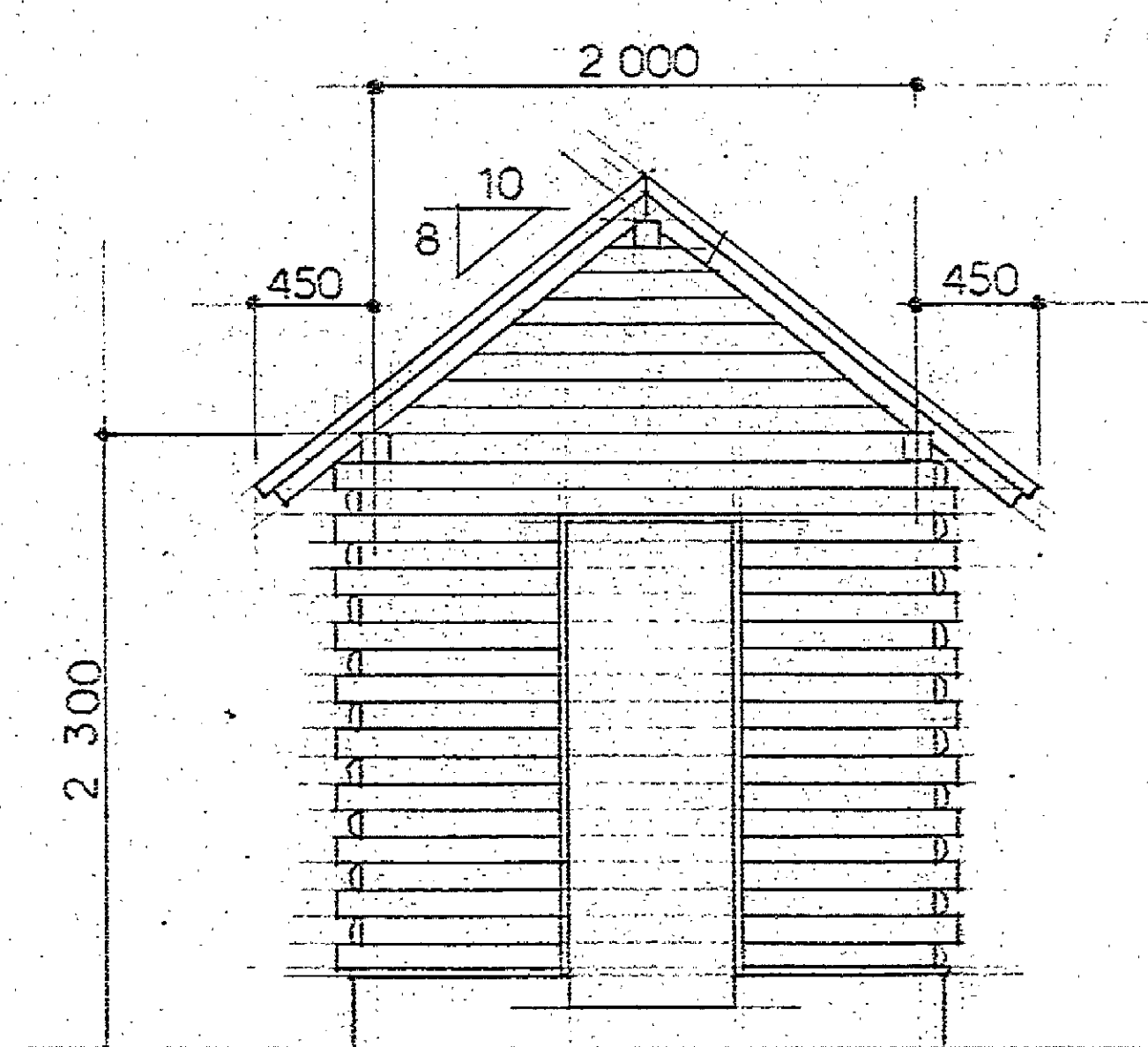


動物舎(B)平面図 1/50

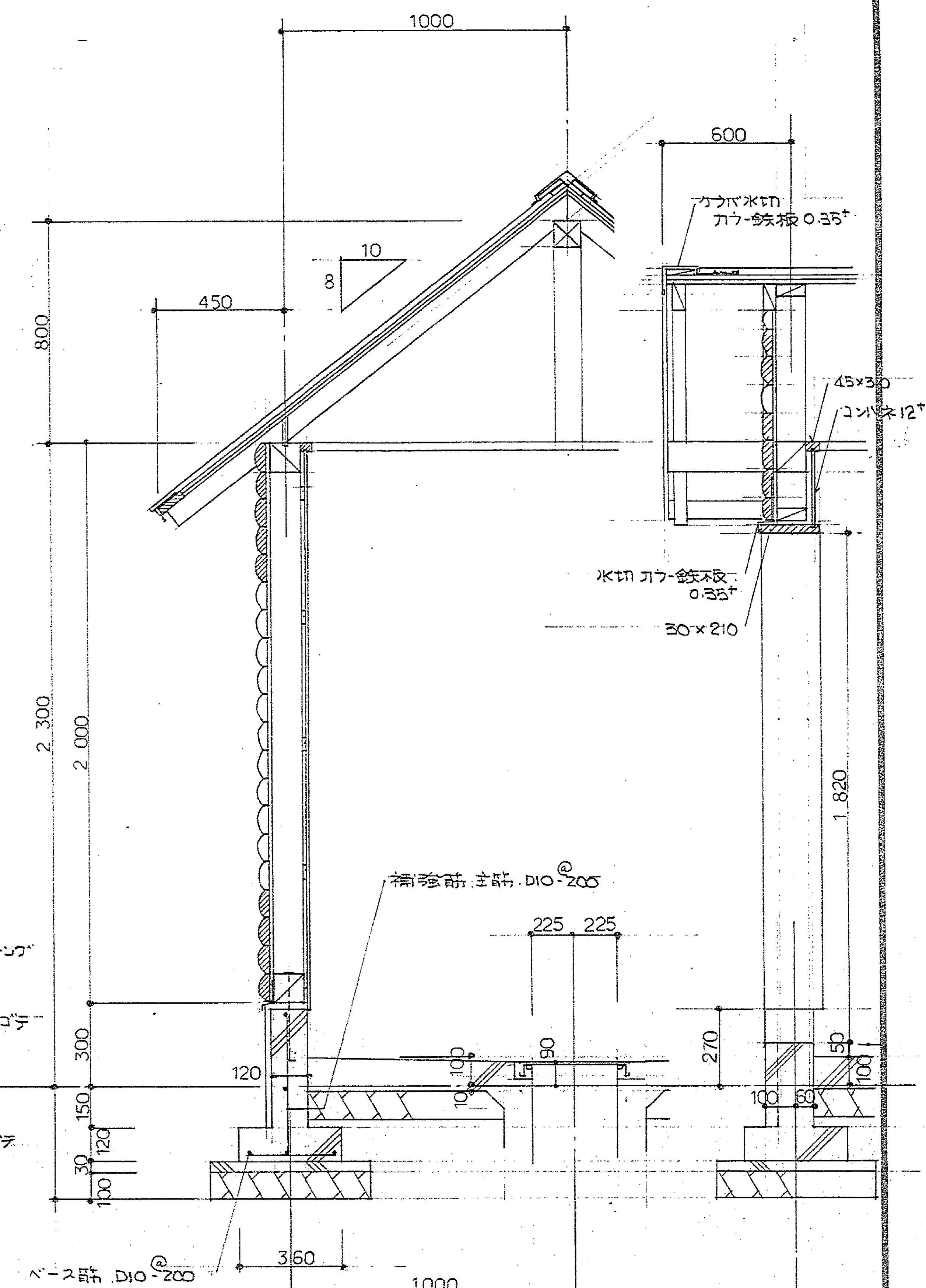


動物舎(A) 1/20

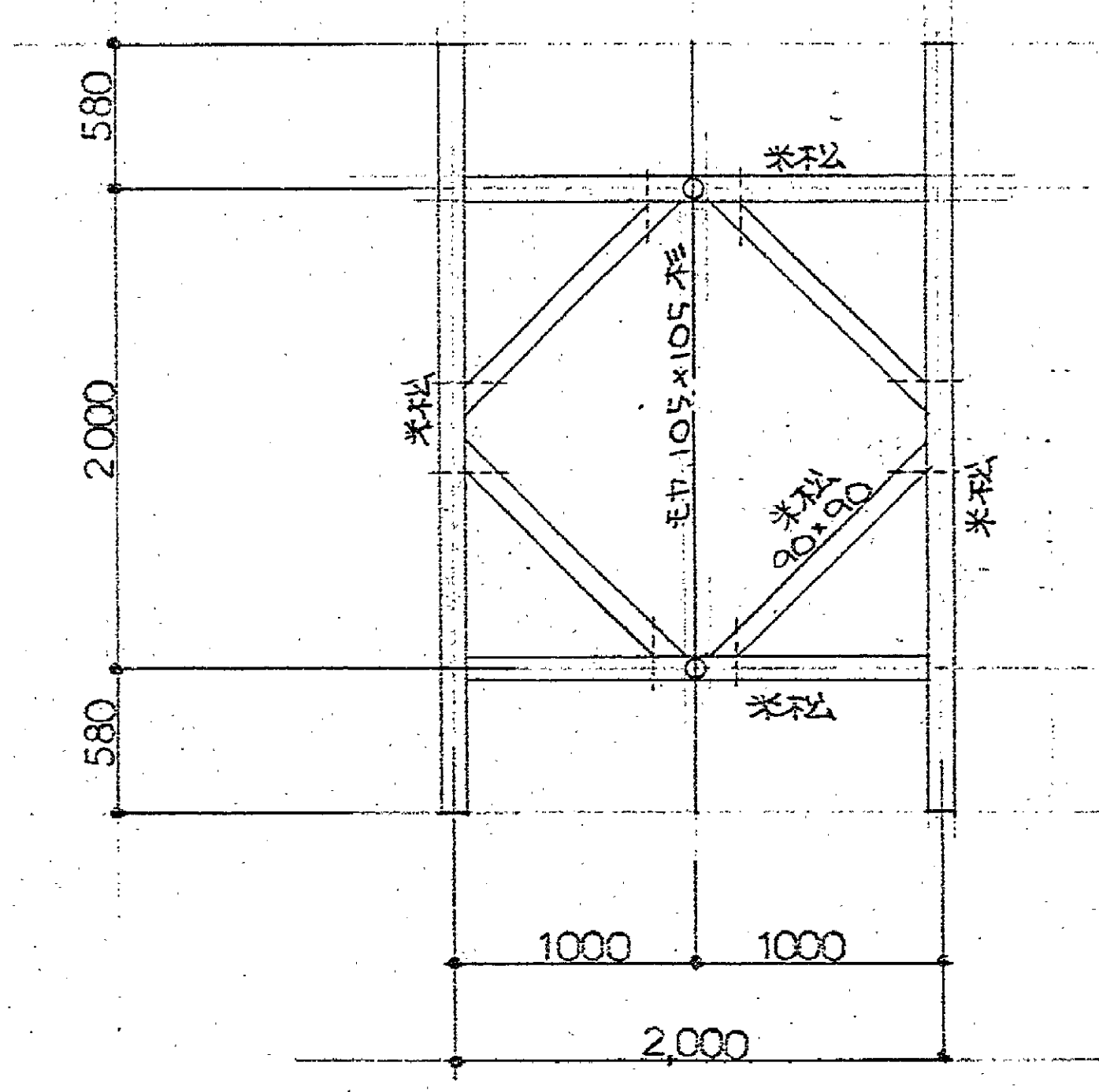
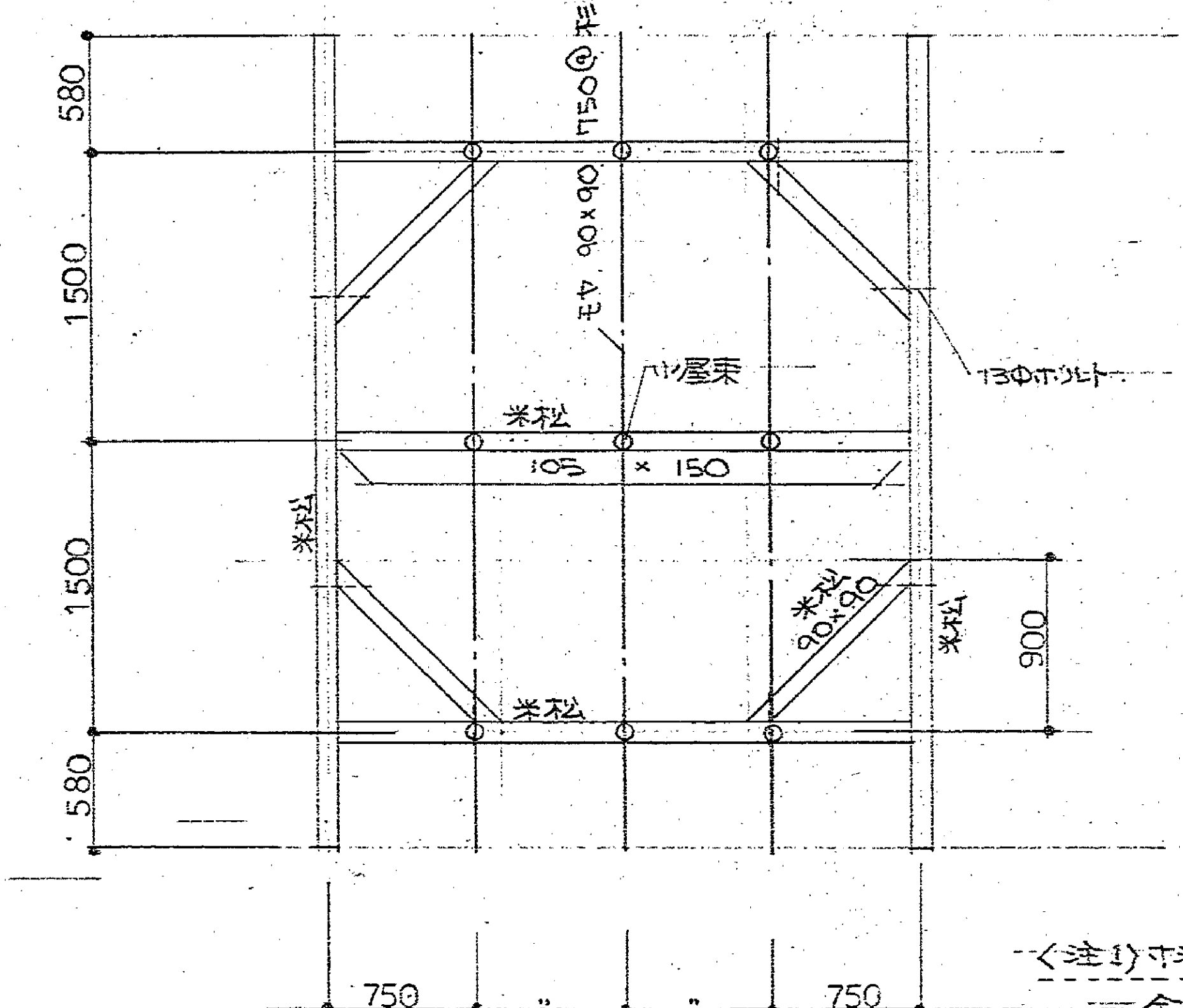
動物舎(B) 1/20



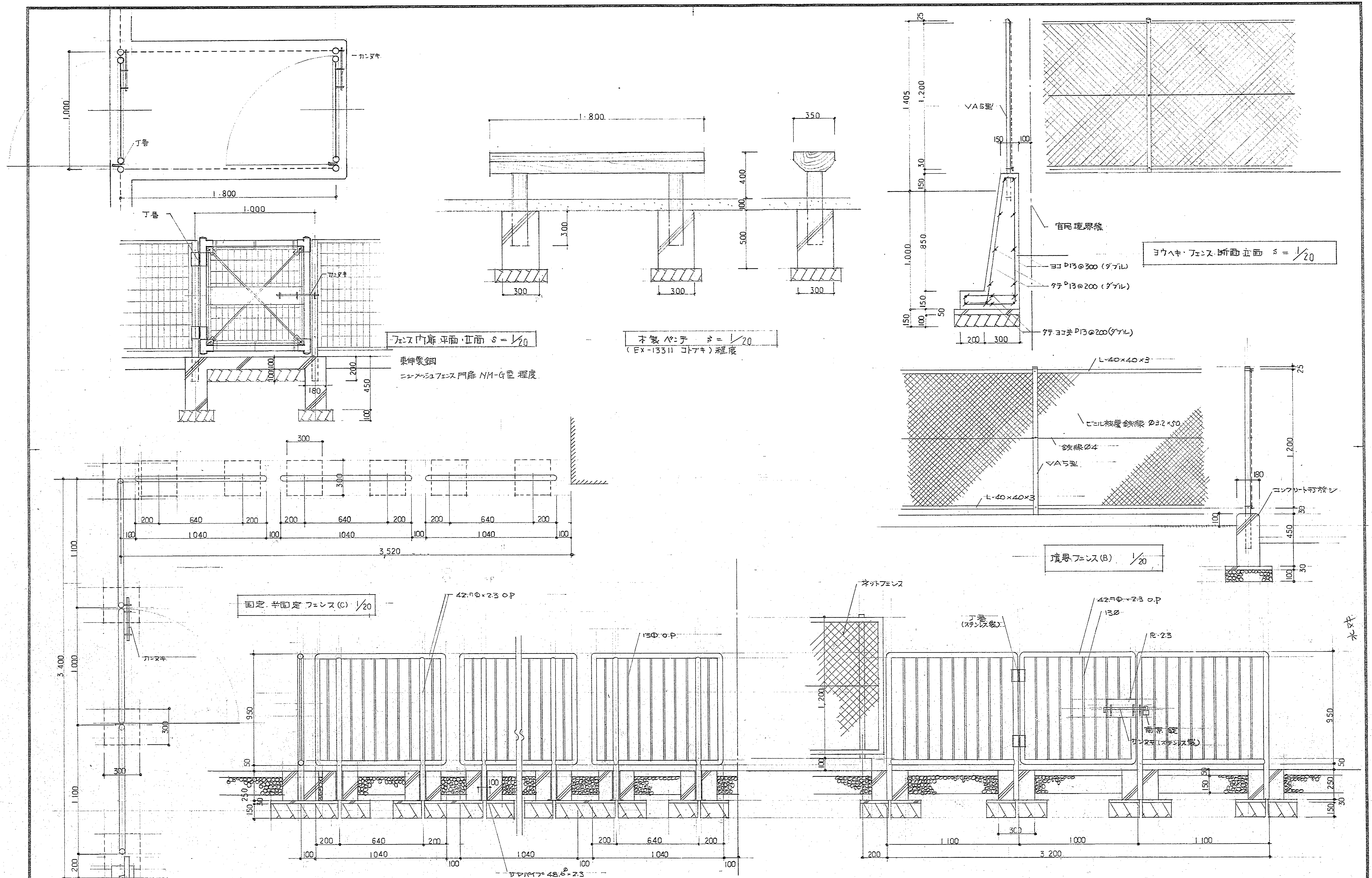
A棟1/50

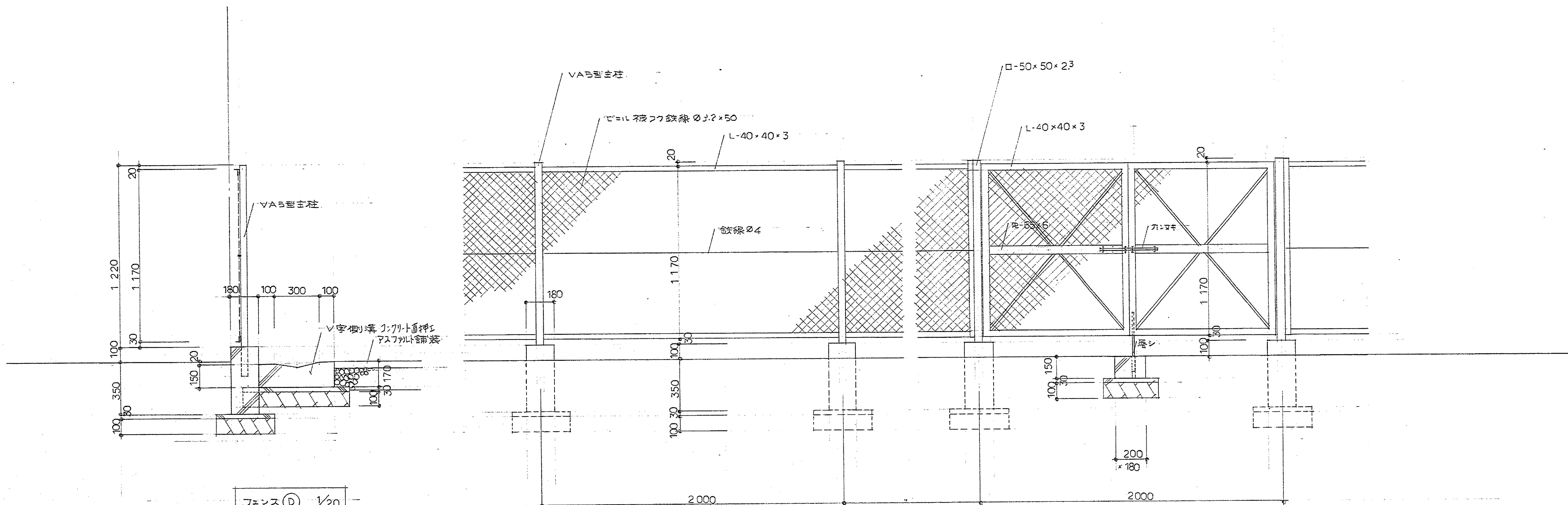


B棟1/50



工台	材
柱	杉
梁	米松
火打	杉
リ屋梁	杉
モヤ	杉
タリキ	杉
間柱	杉
胴縁	杉





フェンス① 1/20

マイクログラフ
121-11724

NO 工事名

昭和63年度 動物愛護館建築工事

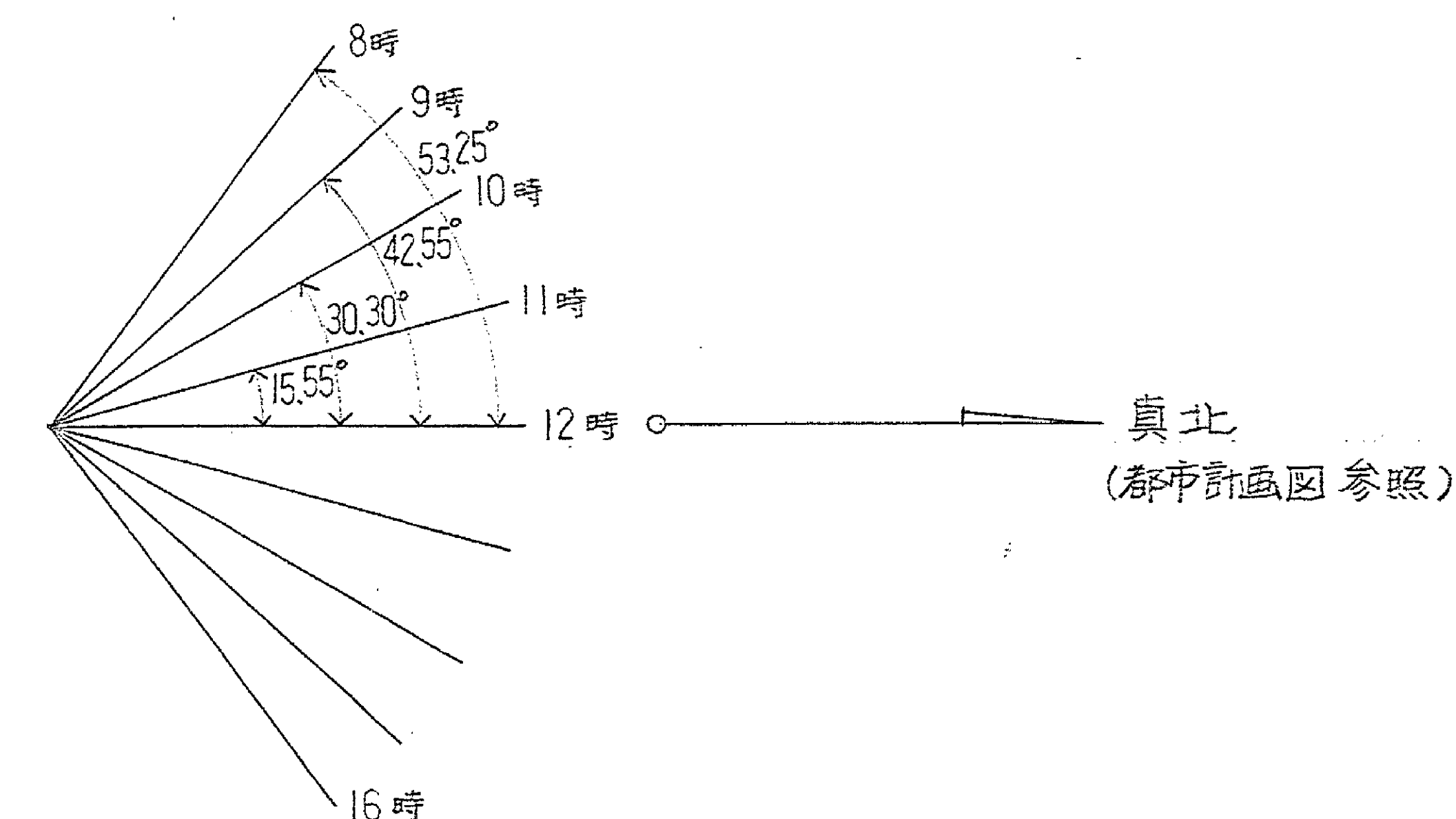
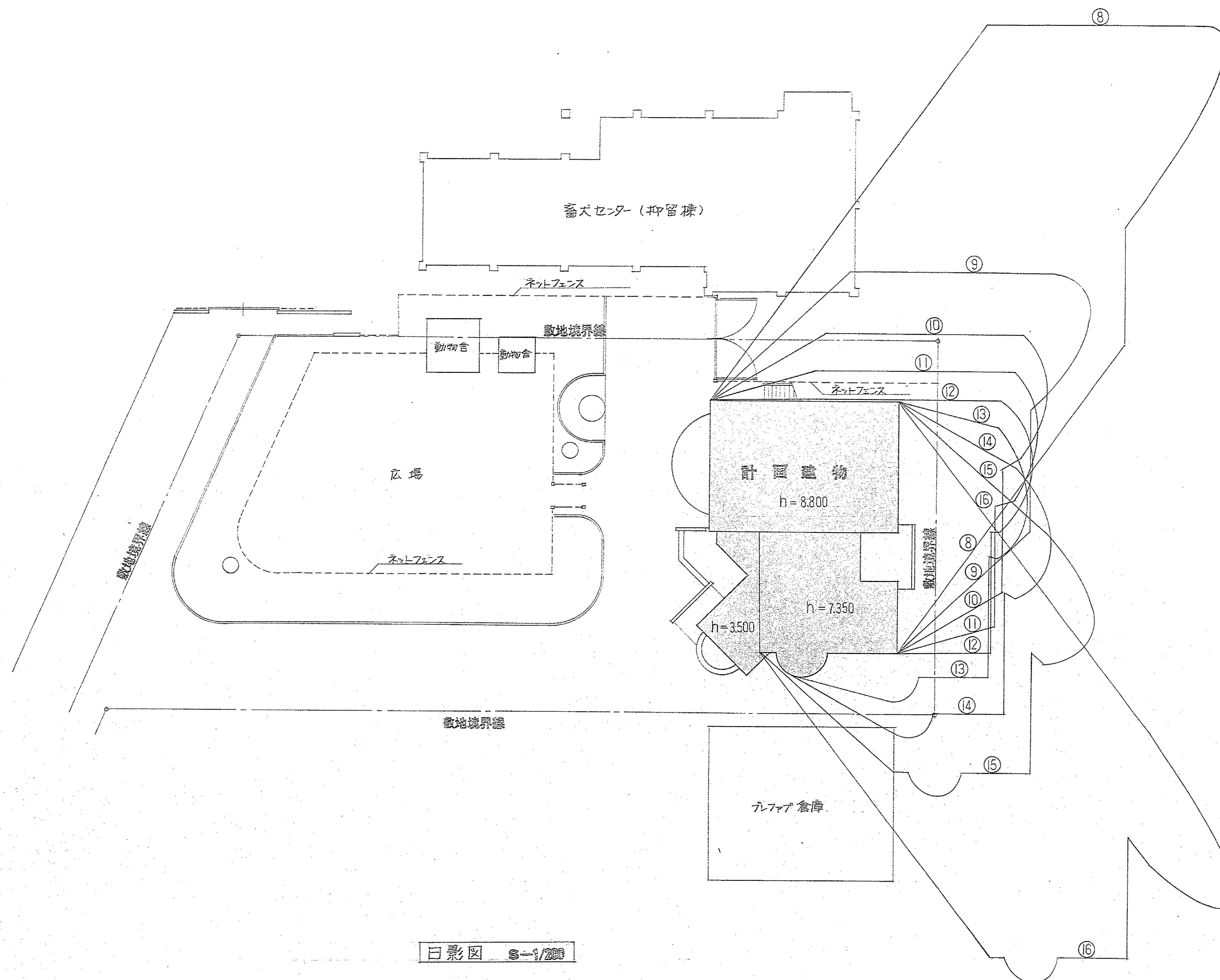
図名 フェンス① 詳細図 S-1/2

D.by C.by DATE

1級建築士事務所登録()1869
1級建築士登録 45165
鞍智勝利

鞍智建築設計事務所
静岡市伝馬町10-14 TEL 55-4049 52-6887

NO. A-38



日照データ (真太陽時)

	8(16)時	9(15)時	10(14)時	11(13)時	12時
方位角	53度25分	42度55分	30度30分	15度55分	0
高度角	8度30分	17度40分	25度01分	29度53分	31度35分
倍率	6.69	3.14	2.14	1.74	1.63

北緯 34度 58分 . 東経 138度 24分

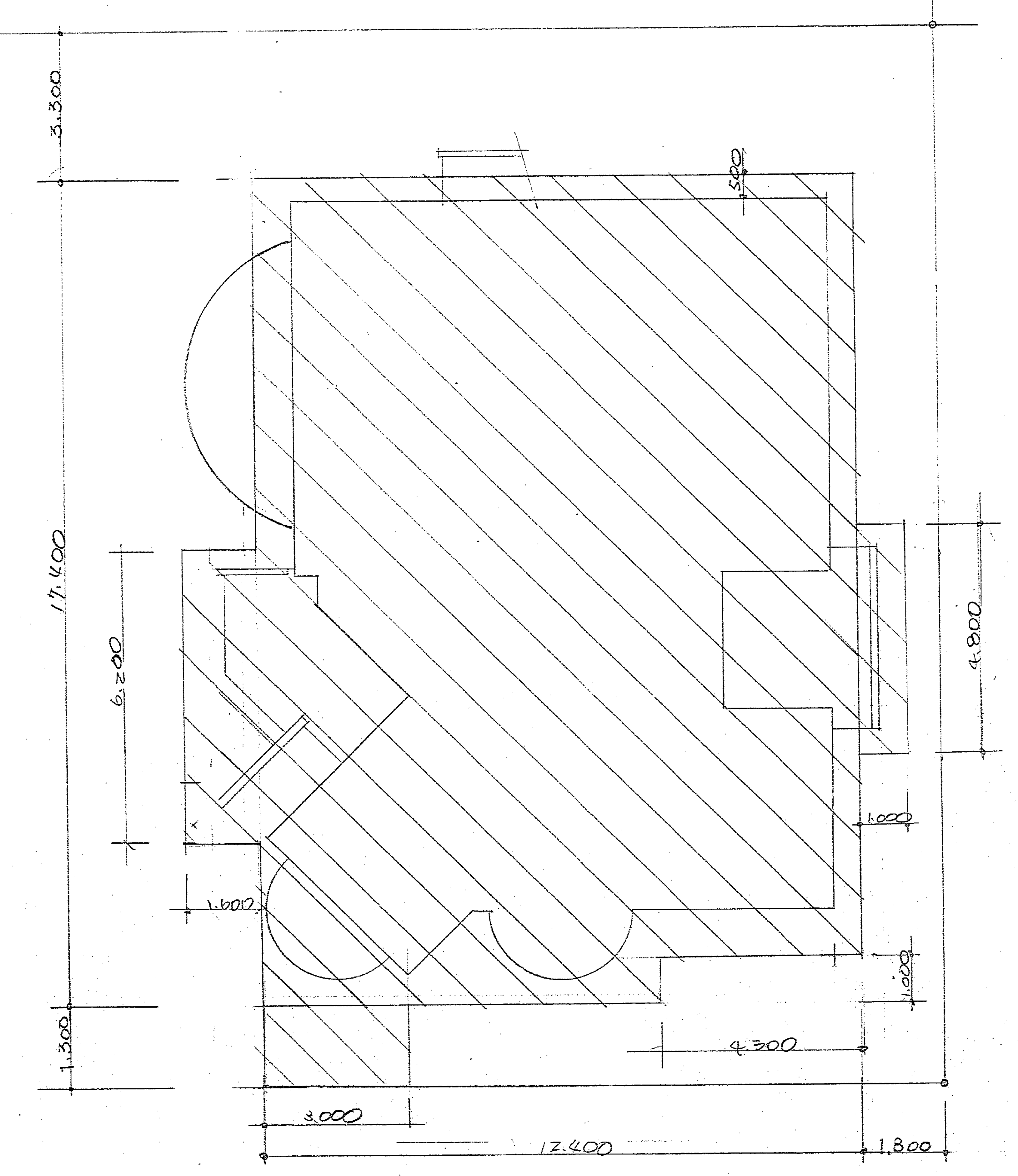
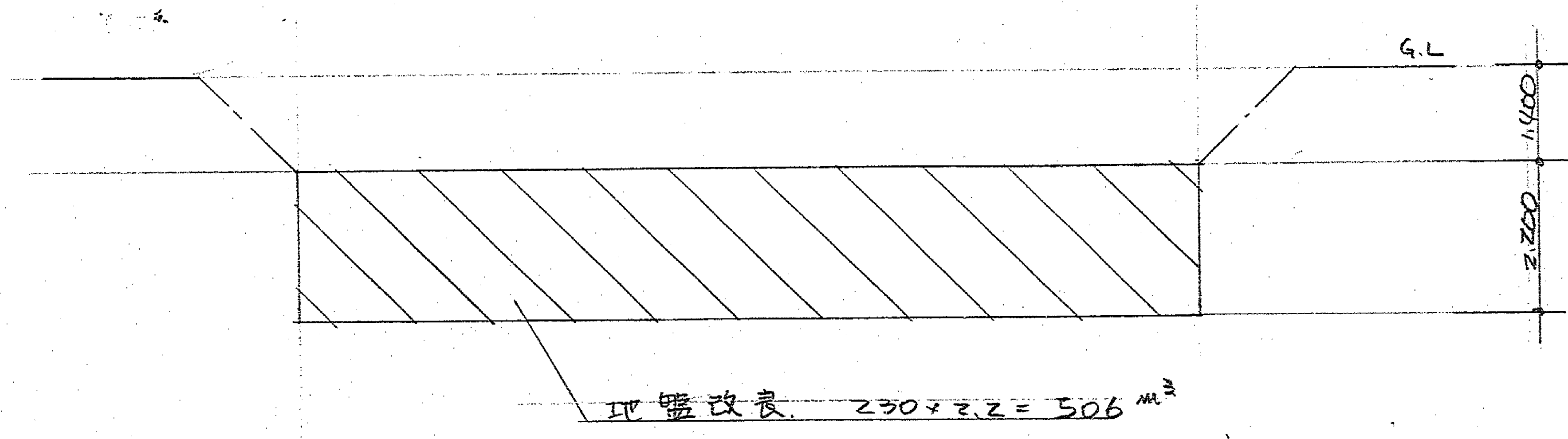
日影図 S-1/200

測定面 : GL + 4.000

マイクロNo. 121-11725

工事仕様 参考仕様 <地耐力 $f_c = 15 \text{ t/m}^2$ (長期)>

1. 改良工	CS-10 (日本セメント)	180 kg/m^3
100 m^2 当り		
アサリクリンセメント	2.2 m^3 CS-10	18.0 t
ノーワブルセメント	PBT-200	5.84 H
バックホー	440.7 t 7.2	5.84 H
J.型ブルドーザー	D20 t 7.2	0.4 H
3T コンバイン		0.4 H
普通作業員		3.0 人



C-2

鉄筋コンクリート構造配筋基準図〔1〕

- 〔1〕 1 共通事項
2 鉄筋の折曲げ
3 鉄筋の継手・定着の長さ
4 主筋の相互のあきと隣接継手の位置
5 鉄筋の最小かぶり厚さ
6 基礎・地中ばり
- 〔2〕 7 柱
8 梁
9 大ばり
10 あばり筋
- 〔3〕 11 小ばり・片持ばり・段違ばり
12 スラブ
13 壁
14 階 段
15 補 強
16 雑配筋要領
17 コンクリートブロック間仕切壁
18 ガス圧接
19 壁式鉄筋コンクリート構造

1. 共通事項

A 適用範囲

- この基準は鉄筋コンクリート造の配筋について規定する。
- 図面、特記仕様書に記載してある事項以外はこの基準による。
- 使用鉄筋は原則として異形鉄筋 JIS G 8112 の規格品とし、溶接金網は JIS G 8551 の規格品とする。
- 特に設計者の指示のある場合には、その指示に従うものとする。

B 凡 例

記 号

- d ……鉄筋の直径（異形鉄筋では呼び名に用いた数値、丸鋼では径）
ho ……柱の内のり高さ。
lo ……有効スパン。
L₁ ……継手及びL₂、L₃を除く定着長さ（壁は特記による）
L₂ ……異形鉄筋で割裂破壊の恐れのない箇所の定着長さ。
L₃ ……小ばり及びスラブの下端筋の定着長さ（基礎耐圧版、これを受ける小ばりなどは除く）
— ……継手位置を示す。
— ……余長を示す。

C 鉄 筋 の 表 示

1 鉄 筋 の 表 示 記 号

表示記号	異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋径	丸 鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ

- この配筋基準図は主に異形鉄筋で表示してあるが、特記で丸鋼と指定されている場合は、その径を上表鉄筋径欄該当の径に読み替えるものとする。
- 上記の表示記号を使用しない場合は特記による。
- 上記の表示記号は、この配筋基準図には適用しない。

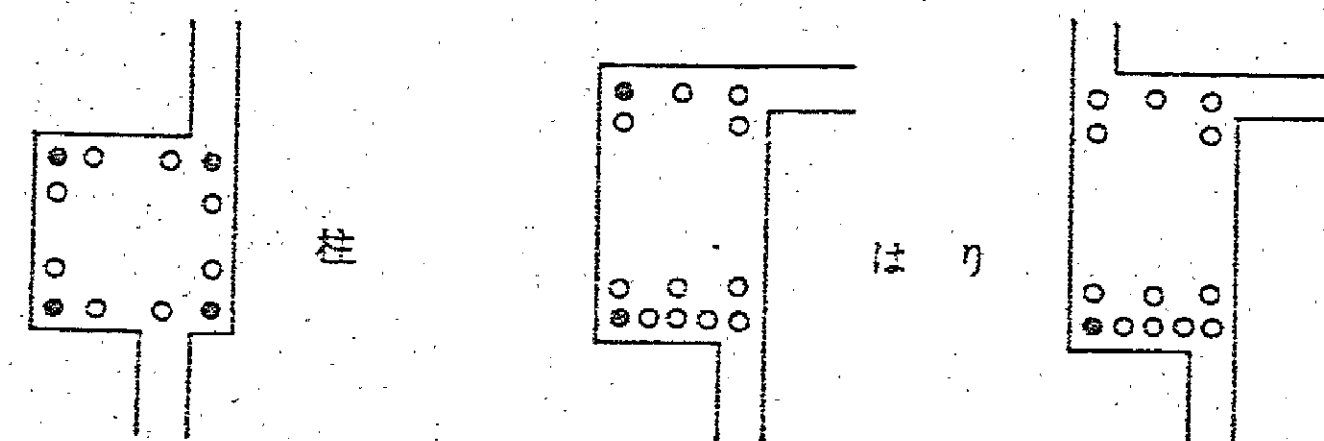
2. 鉄筋の折曲げ

A 末端部

下記の末端部にフックをつける。

- 丸 鋼
- 異 形 鉄 筋

- 柱の隅隅にある主筋で、重ね継手及び最上階の柱頭にある場合。
- はり主筋の重ね継手が、はりの出隅及び下端の外側（下図の○）にある場合。ただし、基礎ばりを除く。



- 衝突の鉄筋。
- 帯筋、あばり筋及び隅止め筋。
- 単純ばりの支持端及び片持ちばり、片持ちスラブの上端筋の先端。
- くい基礎の基礎筋。
- その他本配筋基準図に記載する箇所。
- 設計者の指示した箇所。

マイクロ

121-11728

NO

工 事 名

昭和63年度 動物愛護館建築工事

図 名

D.by

C.by

DATE

1級建築士事務所登録()1869
1級建築士登録 45165
鞍 智 勝 利

鞍智建築設計事務所
〒同市佐馬町10-14 TEL 55-4049 52-6887

NO

C-3

末端部の折曲げの形状

曲げ 角度	折 曲 げ 図	すべてのコンクリート			使 用 箇 所
		SR 24 SD 24 SD 24 SD 24	SD 30 SD 35 SD 35 SD 35	SD 40	
180°		D 3d以上 L 11d以上	4d以上 12d以上	5d以上 14d以上	柱、はりの主筋及び基礎 のベース筋並びに壁 のD16をこひ以上の鉄筋
135°		D 3d以上 L 11d以上	4d以上 12d以上	5d以上 14d以上	13mm以下の鉄筋、並びにあば り筋、帯筋、スパイラル筋及 びスラブ筋
90°		D 3d以上 L 12d以上	4d以上 12d以上	—	T形及びL形はりのあばり筋
135° 90°		D 3d以上 L 8d以上	4d以上 8d以上	—	隅止め筋
		D 3d以上 L 9d以上	4d以上 10d以上	—	—

- (注) 1 Dは曲げ内法寸法
2 L, L'はフック部分の長さ

B 中間部

中間部の折曲げの形状

曲げ 角度	折 曲 げ 図	すべてのコンクリート		使 用 箇 所
		SR 24 SD 40	SD 30, SD 35 SD 40	
90° 以下		D 3d以上	4d以上	あばり筋、帯筋 スパイラル筋
		D 5d以上	5d以上	16mm以下のスラ ブ筋、壁筋
		D 6d以上	6d以上	上記以外の鉄筋 で、丸鋼は28mm 以下、異形鉄筋 はD25以下
		D 8d以上	8d以上	上記以外の鉄筋 で、丸鋼は32mm 以下、異形鉄筋 はD29以上D41 以下
		D —	10d以上	異形鉄筋 D51

3. 鉄筋の継手・定着の長さ

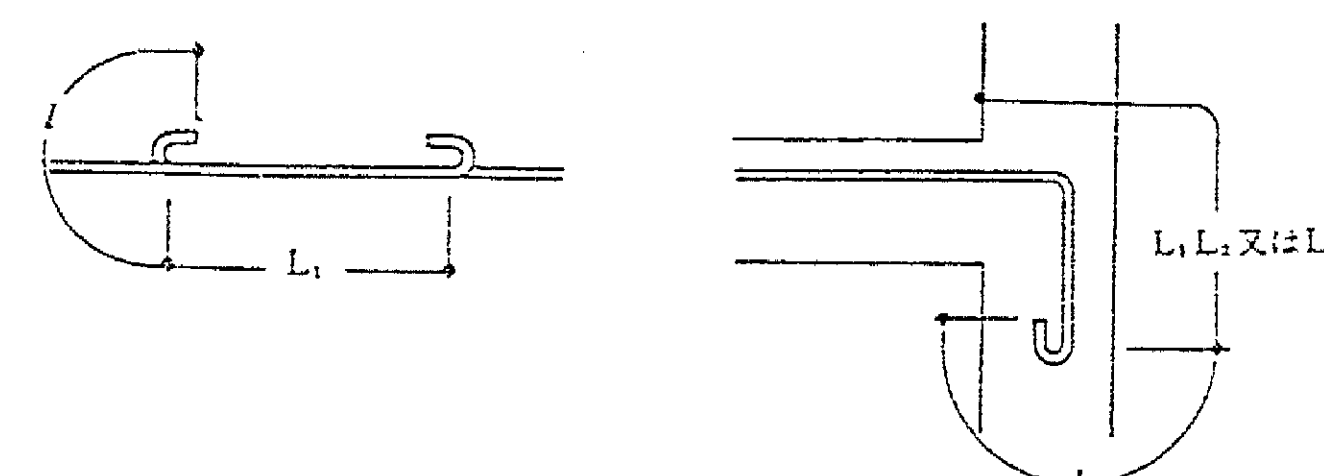
A F_c ≥ 210 (kg/cm²) の場合

()内は軽量コンクリートの場合を示す。

鉄 筋 の 種 別	設計基準 強 度 F _c (kg/cm ²)	フックなし						フックあり			
		L ₁		L ₂		L ₃		L ₁		L ₂	
		小ばり	スラブ	小ばり	スラブ	小ばり	スラブ	小ばり	スラブ	小ばり	スラブ
SR 24	210以上 270(240)以下	—	—	—	—	35d	35d	25d	150mm	—	—
SD 30 SD 35	210以上 270(240)以下	40d	35d	25d	10d かつ 150mm 以上	30d	25d	15d	—	—	—
SD 40	210以上 270(240)以下	45d	40d	25d	10d かつ 150mm 以上	35d	30d	15d	—	—	—

コンクリート設計基準強度 (F_c) が 180 kg/cm² の場合 L₁ 及び L₂ は上表の値に
5d を加えたもの、L₃ は上表の値とする。

- (注) 1 L₁: 継手並びに下記2.及び3.以外の定着長さ。
2 L₂: 異形鉄筋で、割裂破壊の恐れのない箇所の定着長さ。
3 L₃: 小ばり及びスラブの下端筋の定着長さ、ただし、基礎耐圧版
これを受ける小ばりなどは除く。
4 フックのある場合のL₁、L₂及びL₃には、図に示すようにフック部
分 l を含まない。



- 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは細い鉄筋の径による。
- 直径が28mm以上の丸鋼、D29以上の異形鉄筋は重ね継手を使用しない。

4. 主筋の相互のあきと隣接継手の位置

A 主筋の相互のあき

鉄筋のあきの最小値

	a' あ き
異形鉄筋	公称直径の1.7倍 粗骨材最大寸法の1.25倍 25mm
丸 鋼	鉄筋径の1.5倍 粗骨材最大寸法の1.25倍 25mm

鉄筋のあきは上表中最大のものの以上とする。

B 主筋の隣接継手の位置

フックのある場合 a ≥ 1.5d かつ a ≥ 25mm	
フックのない場合 a ≥ 1.5d かつ a ≥ 25mm	
ガス圧接の場合 a ≥ 400mm	
機械継手 a ≥ 400 mm	

5. 鉄筋の最小かぶり厚さ

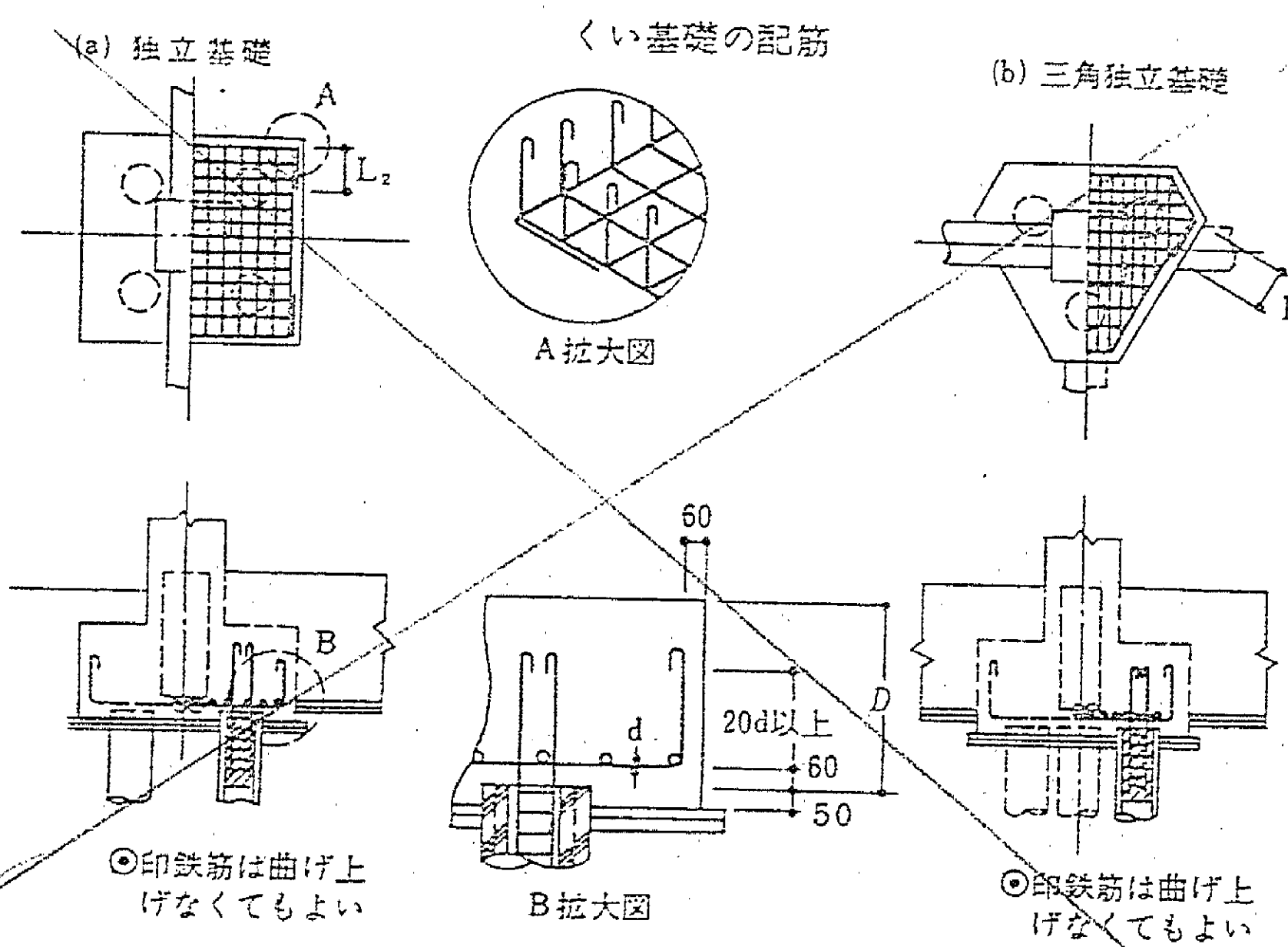
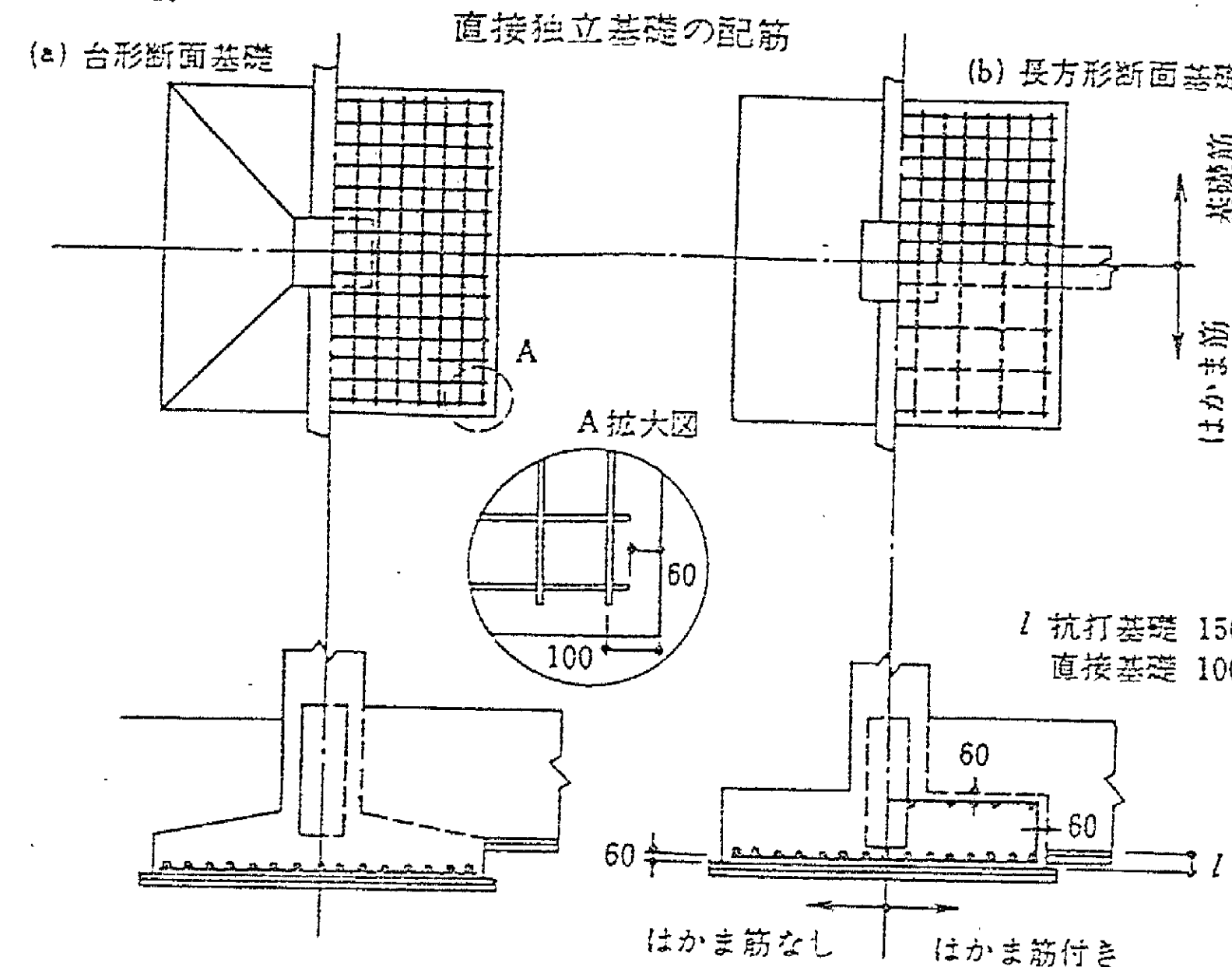
(単位 mm)

構 造 部 分 の 種 別	すべてのコンクリート	
	仕上がりあり	仕上がりなし
床スラブ、壁、 スラブ、耐力壁 以外の壁	20 (20)	30 (30)
土に接し ない部分	柱	屋 内 仕上がりあり 30 (30)(40)
	はり	仕上がりなし 30 (30)(40)
	耐力壁	屋 外 仕上がりあり 30 (30)(40)
		仕上がりなし 40 (40)(40)
土に接す る部分	基礎、擁壁	40 (40)
	柱、はり、床スラブ、耐力壁	40 (50)(50)
	基礎、擁壁、耐圧スラブ	60 (70)
煙突などで高熱を受ける部分	60	

- 軽量コンクリートの場合は()内の数値による。
- 仕上がりありとは、モルタル塗りなどの仕上がりのあるものとし、吹付塗装などの鉄筋の耐力上有効でない仕上げのものを除く。
- 床スラブ、はり、基礎及び擁壁で直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
- くい基礎の場合のかぶり厚さは、くい天端からとする。
- 大ばり、小ばり、柱のかぶり厚さは()内の寸法とする。

6. 基礎・地中ばり

A 基礎の配筋

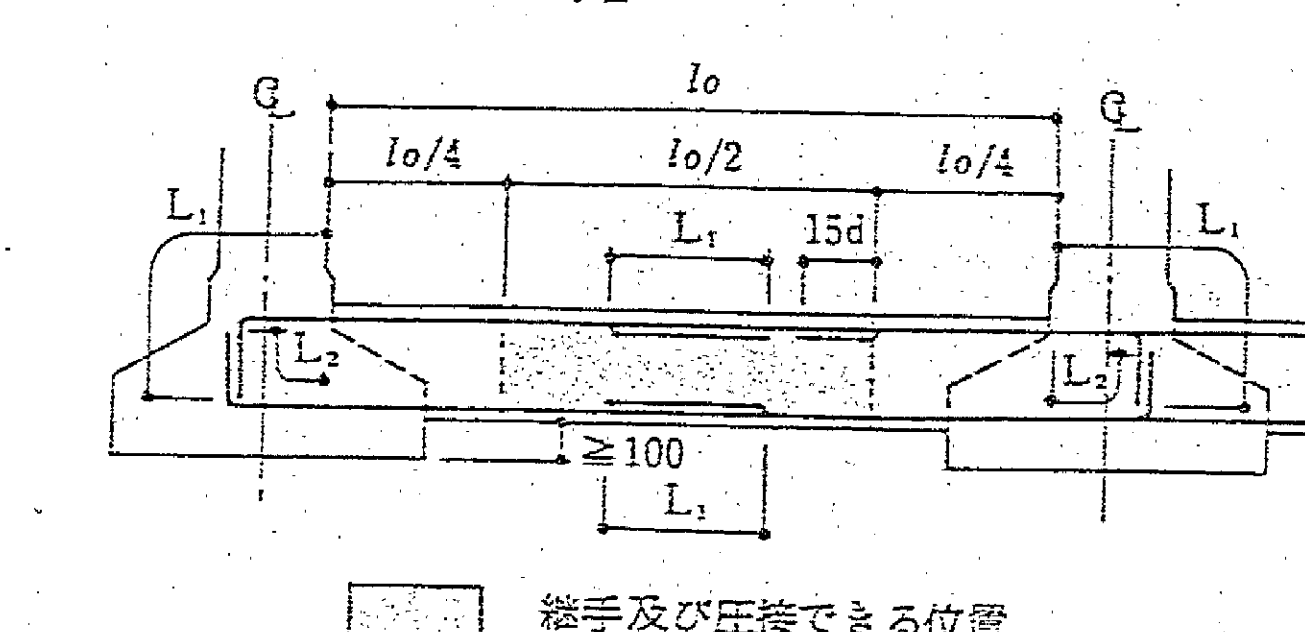


B 地中ばり筋の継手及び定着

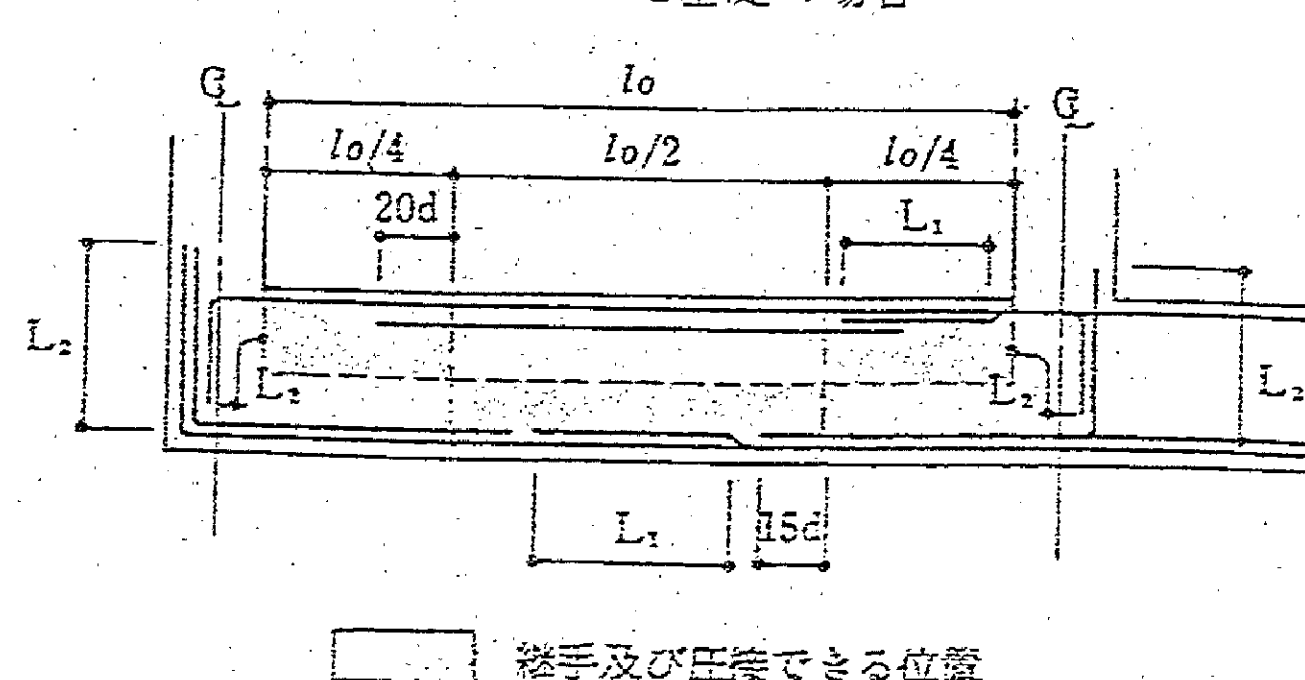
1 一般事項

- 独立基礎で地中ばりに床スラブがつく場合、及び下図2・3で図示のない事項は、大ばりの項による。
- 上端主筋の定着はやむを得ない場合、上向きとすることができる。
- はり筋を柱内に定着する場合は、柱の中心線を越えてから縦に降す。

2 異形鉄筋で独立基礎の場合

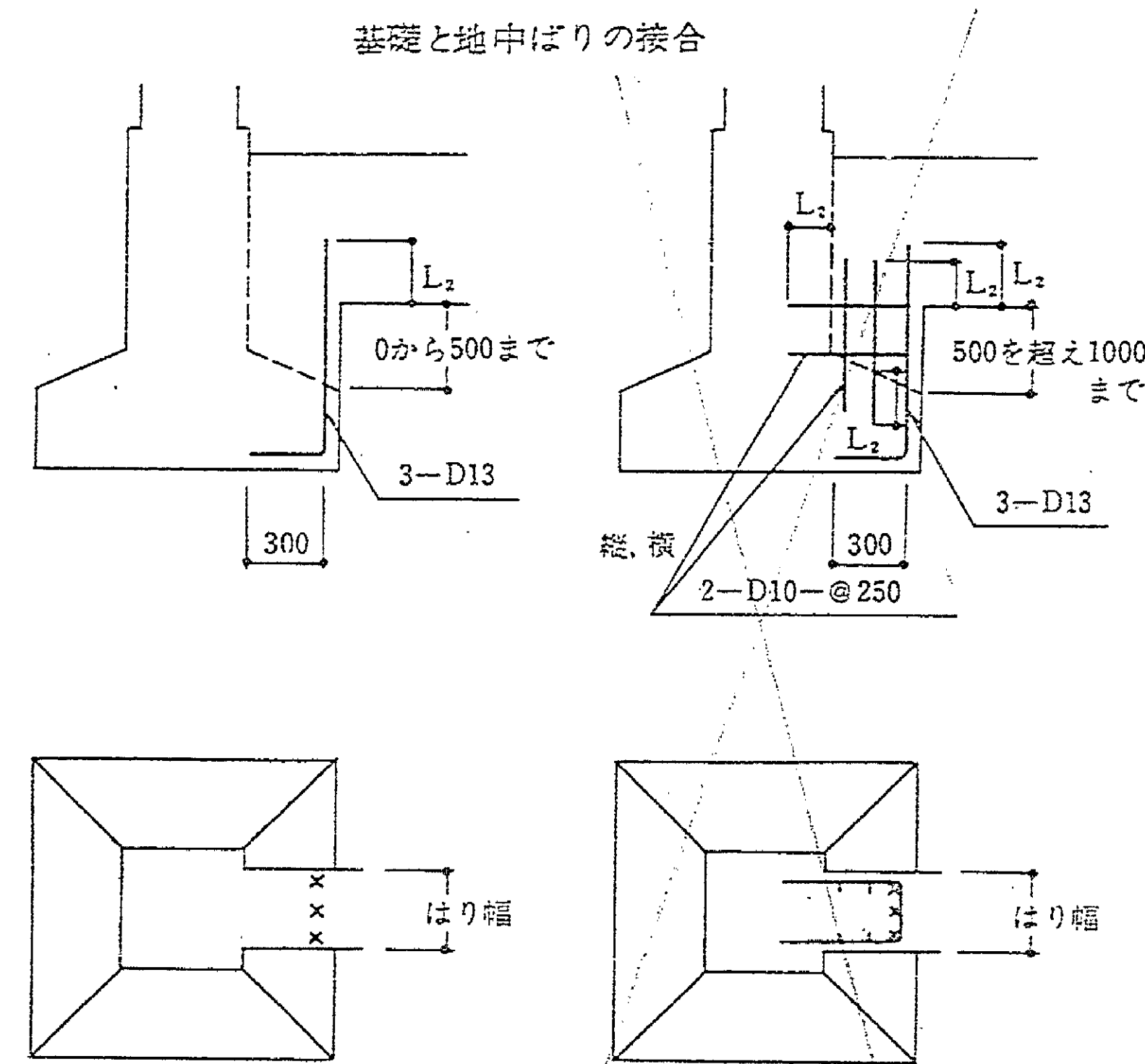


3 異形鉄筋で連続基礎及びべた基礎の場合



鉄筋コンクリート構造配筋基準図〔2〕

C 基礎接合部の補強



C あばら筋・腹筋及び幅止め筋

1. あばら筋

(1表)

	イ	ロ	ハ
上スラブ付き			
下スラブ付き			
スラブなし			
上・下スラブ付き			

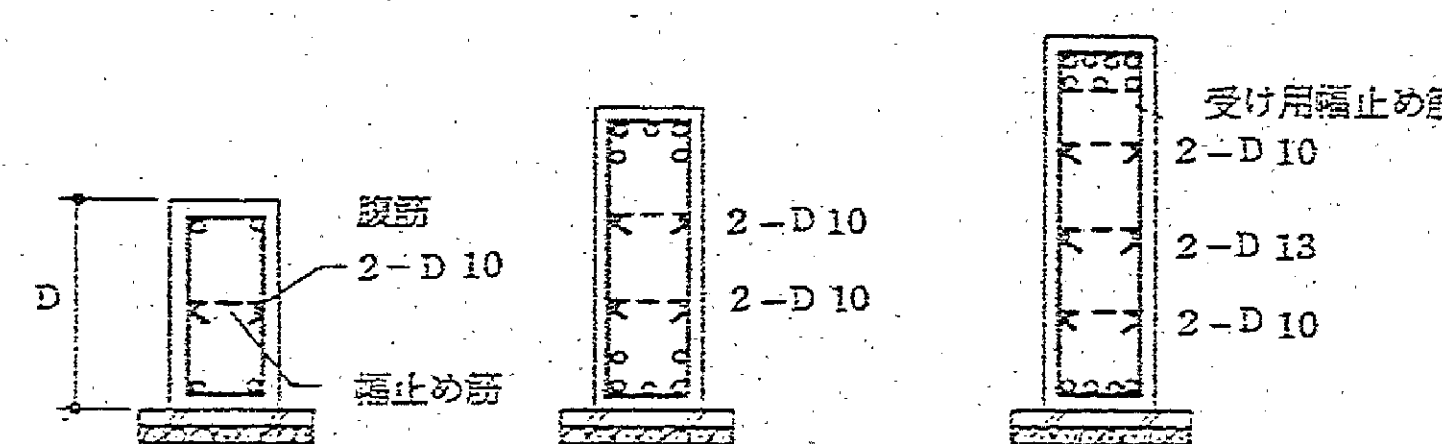
(1) あばら筋組立ての形及びフックの位置

- 形は1表イ)とする。ただし、梁高1500mm以上の場合はイ)とすることができ、やむをえずロ)を使用する場合は監督員の承認を得ること。
- フックの位置はイ)ロ)の場合は交互とする。
- スラブのコンクリートを後打ちとするときはスラブ付きの地中ばりとなさない。

(2) 副あばら筋は9大ばりの項による。

2. 腹筋及び幅止め筋

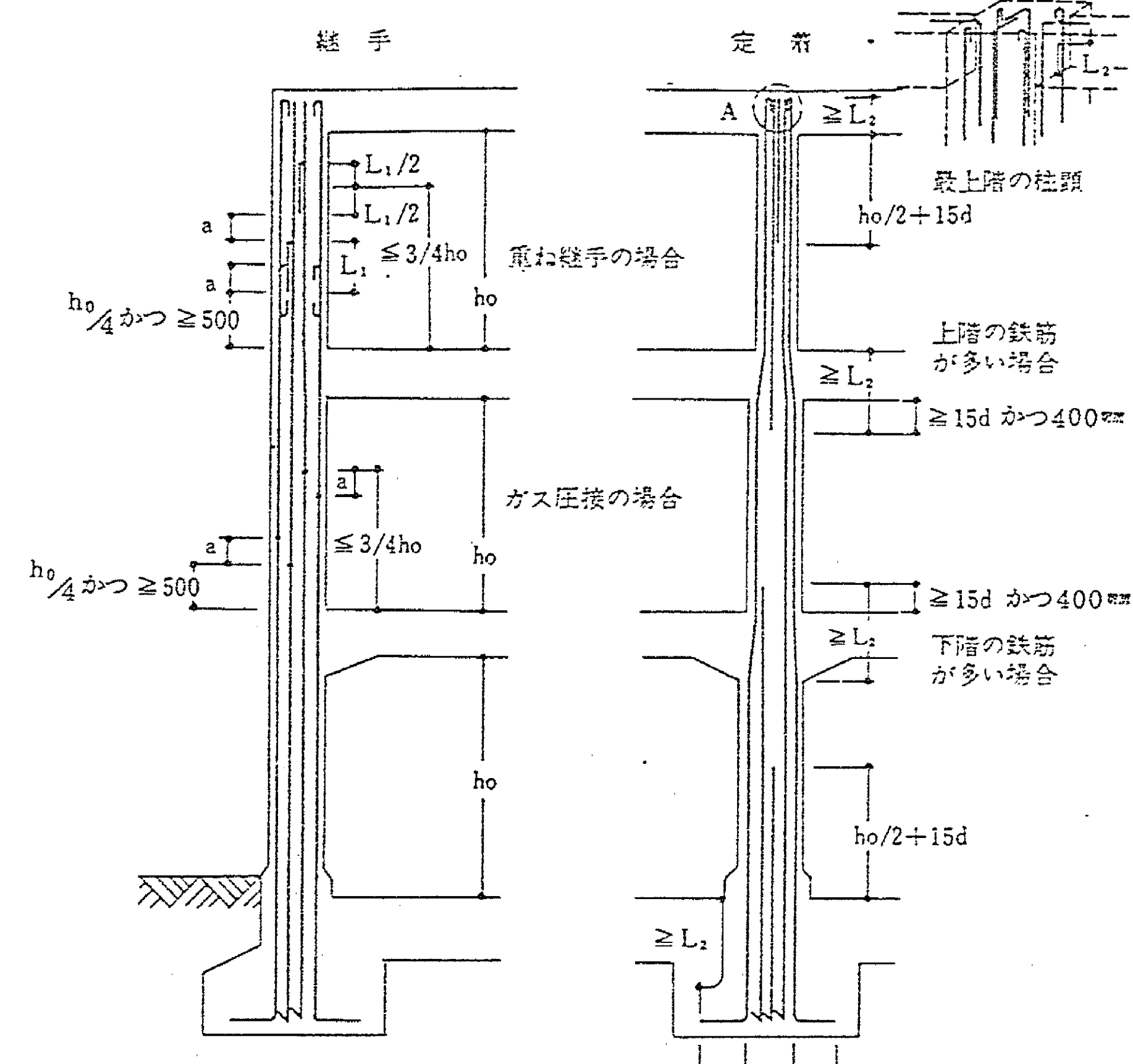
600mm ≤ D < 900mm 900mm ≤ D < 1200mm 1200mm ≤ D ≤ 1500mm



- D > 1500mmの場合は300以内で鋼筋を入れる。
- 幅止め筋はD10(9s) - 600mm以内とする。

7. 柱

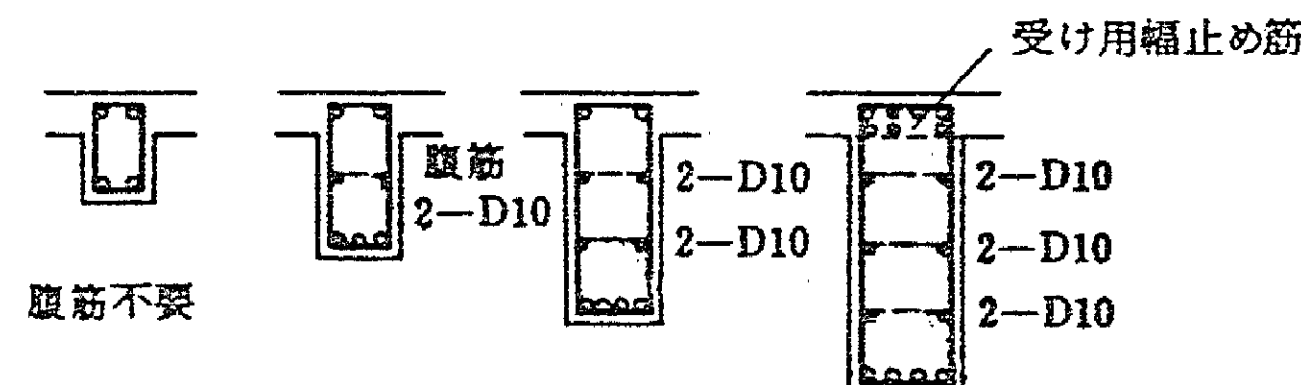
柱筋の継手及び定着



鉄筋コンクリート構造配筋基準図 〔3〕

C 腹筋および幅止め筋

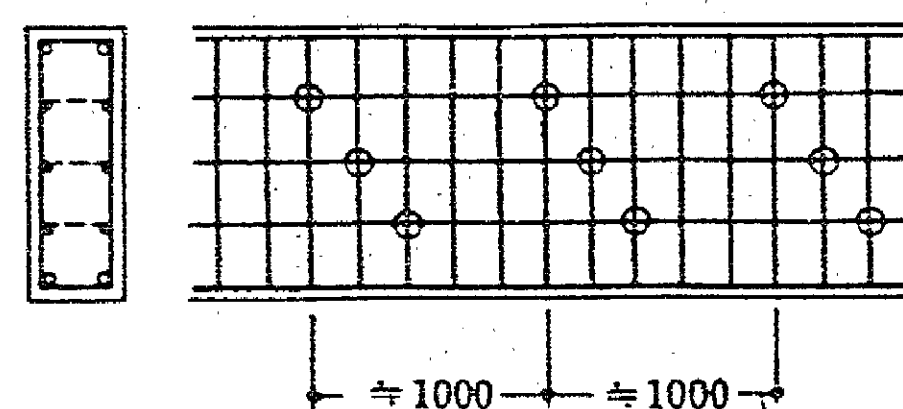
はりせい(D)と腹筋の関係	
はりせい(mm)	腹筋
$D < 600$	不 要
$600 \leq D < 900$	2-D10(1段)
$900 \leq D < 1200$	4-D10(2段)
$1200 \leq D < 1500$	6-D10(3段)



$D < 600$ $600 \leq D < 900$ $900 \leq D < 1200$ $1200 \leq D < 1500$

幅止め筋及び受け用幅止め筋は(D10又は9φ)→1000@程度とする。

腹筋が2段以上の場合の幅止め筋位置

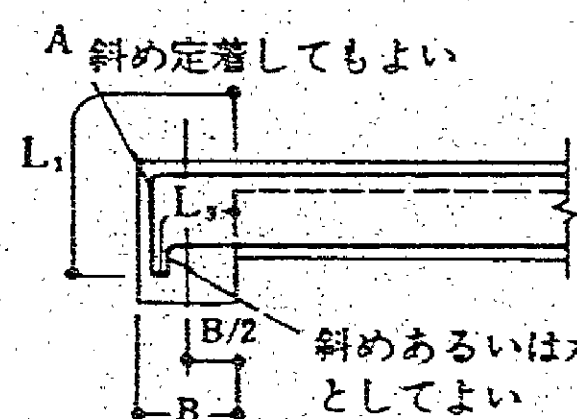
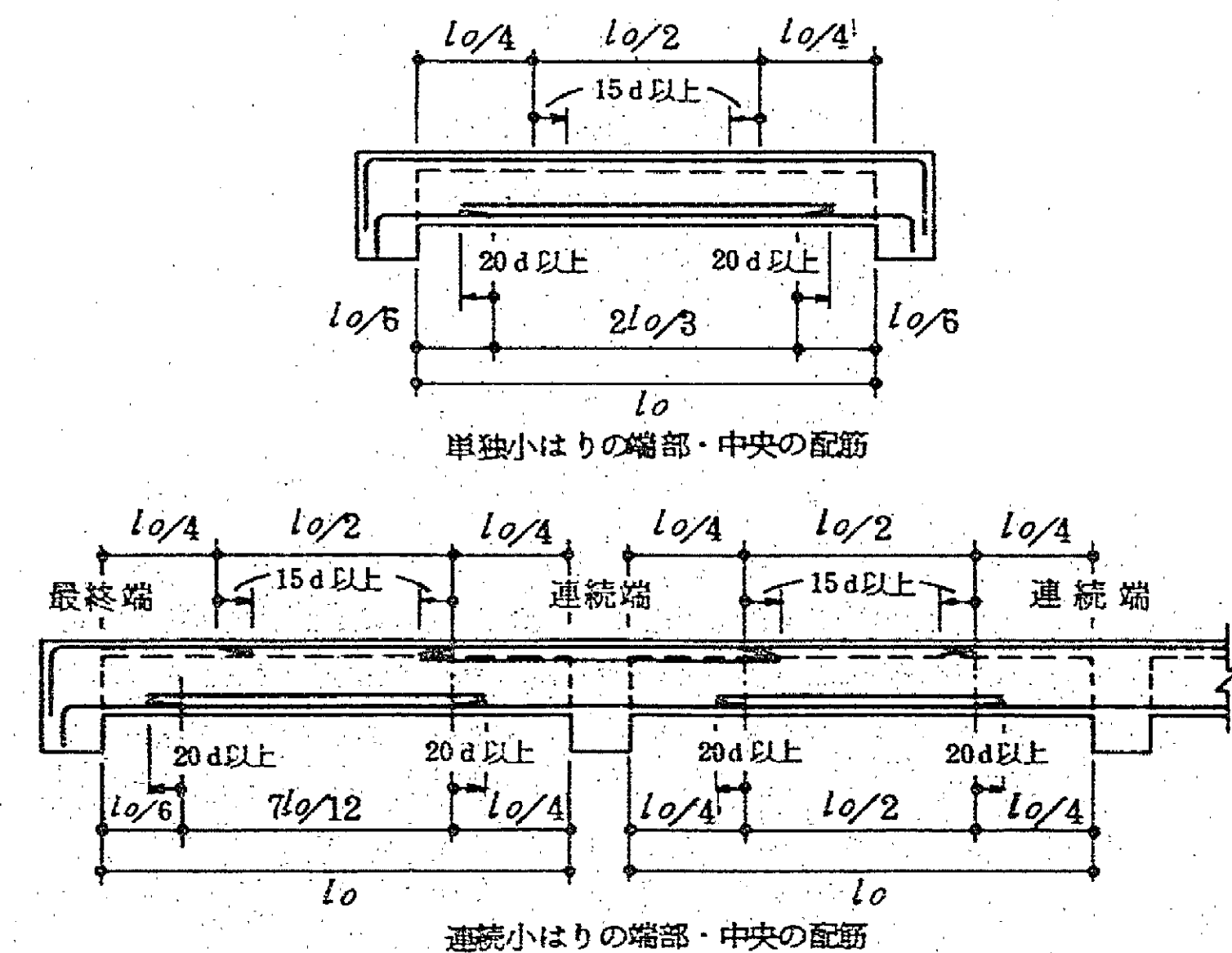


○印幅止め筋位置

(注) 腹筋が2段以上の場合は、幅止め筋は同一位置に設けず、乱にしたほうがよい。

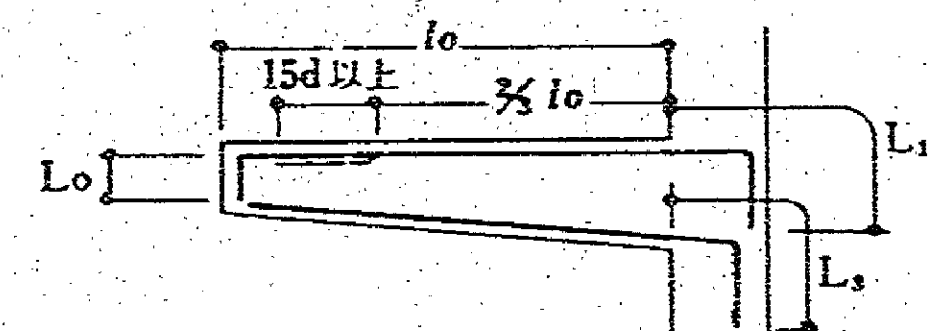
11. 小ばり・片持ちり・段違いばり

A 小ばり筋の継手及び定着



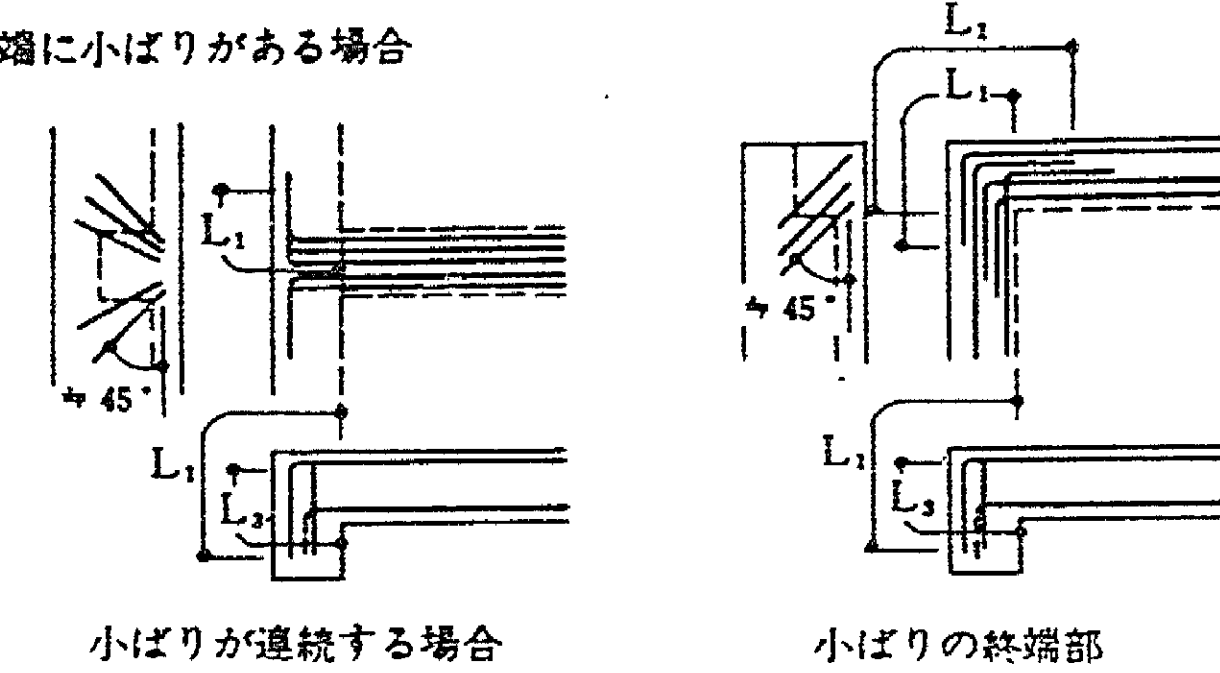
B 片持ちり筋の定着

1. 先端に小ばりのない場合



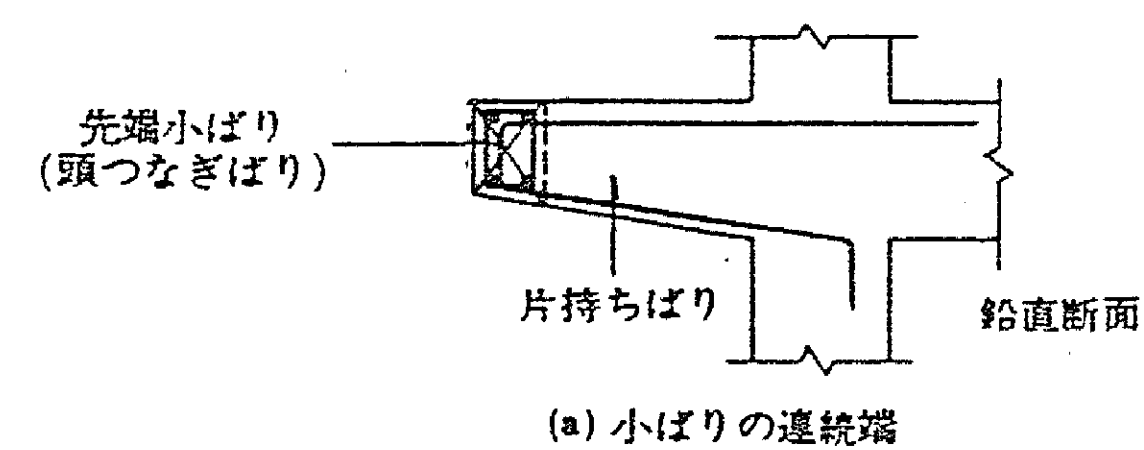
(注) 1. 図示のない事項は大ばりの項による。
2. 先端の折曲げ長さLoは、はりせいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
3. はり筋を引き通せない場合は、取合い部材に定着する。ただし、柱に取合う場合は、全数引き通せる場合でも上端筋は、20φ以上を柱に定着する。

2. 先端に小ばりがある場合

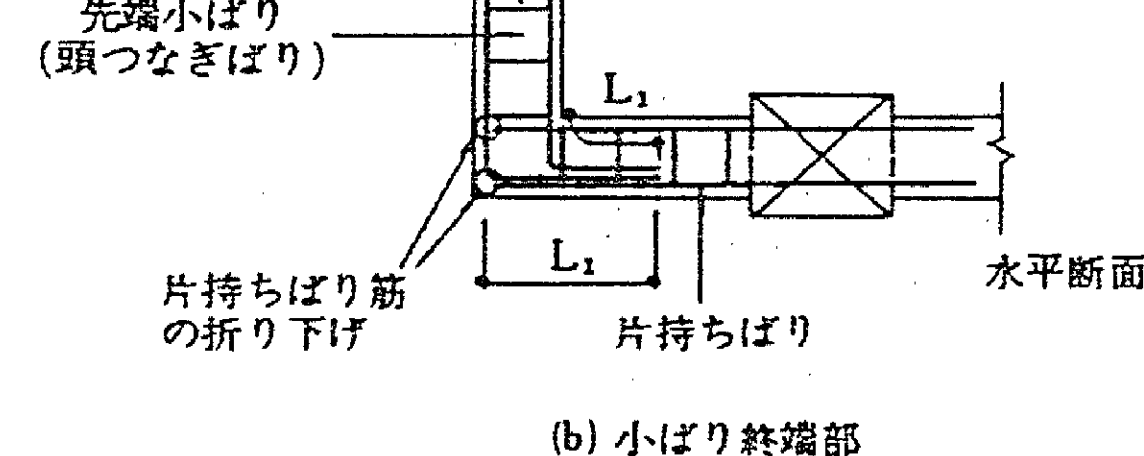


(注) 1. 図示のない事項は、先端に小ばりのない場合による。
2. 上端筋は、小ばり内に斜めに定着する。

片持ちり筋と先端小ばり

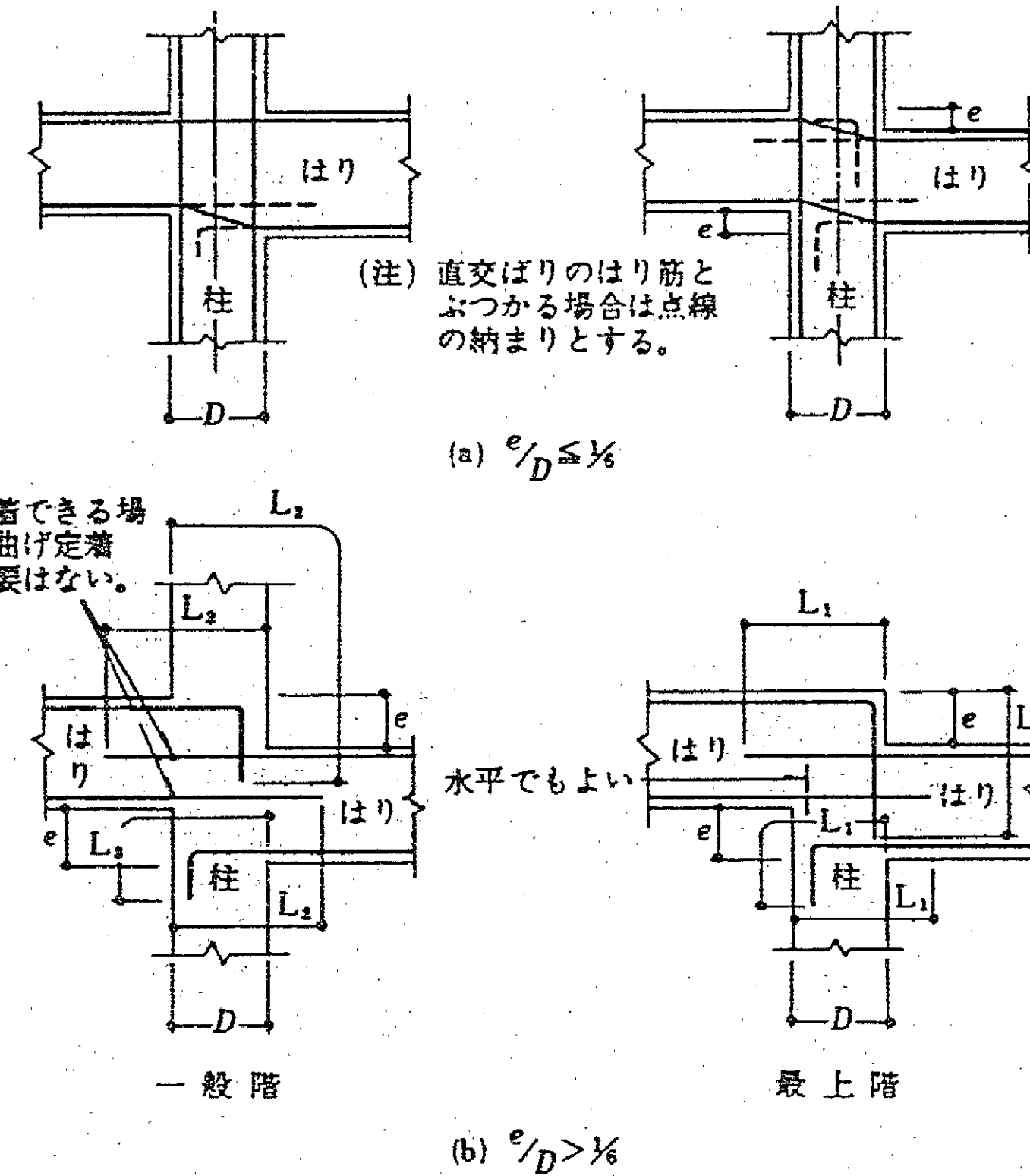


片持ちり筋の折下げ



C 段違いばり

段違いばりの配筋



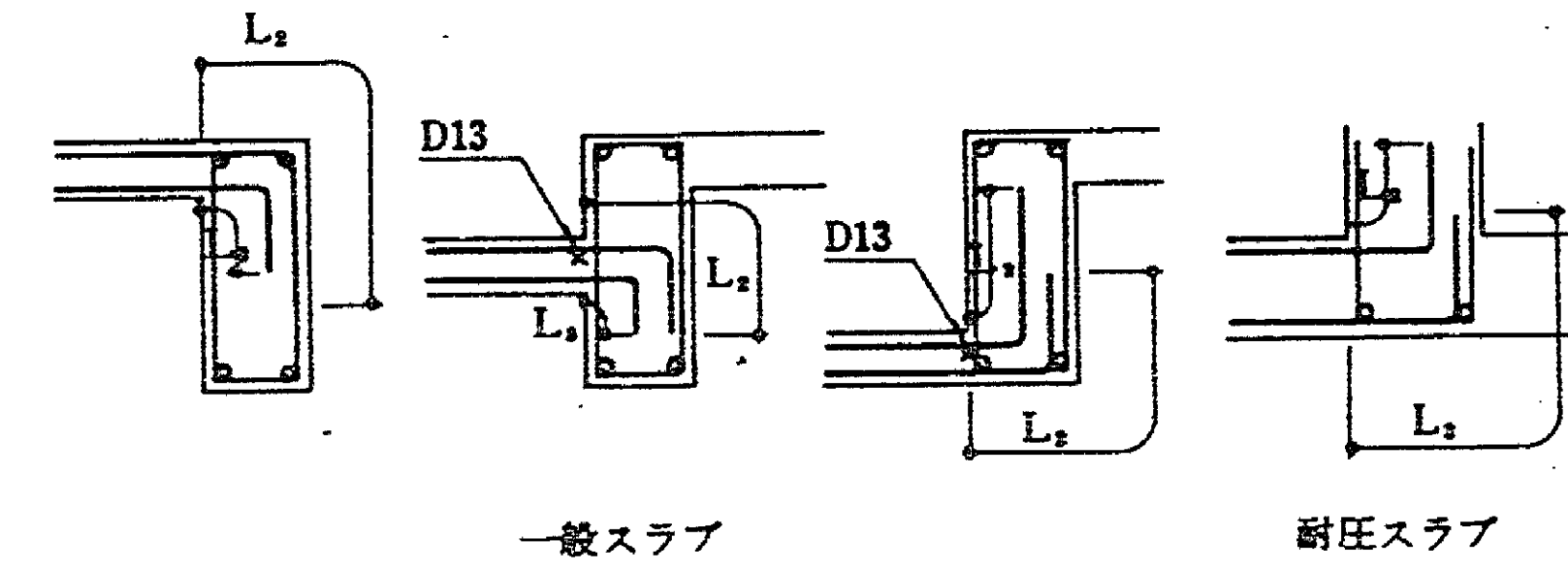
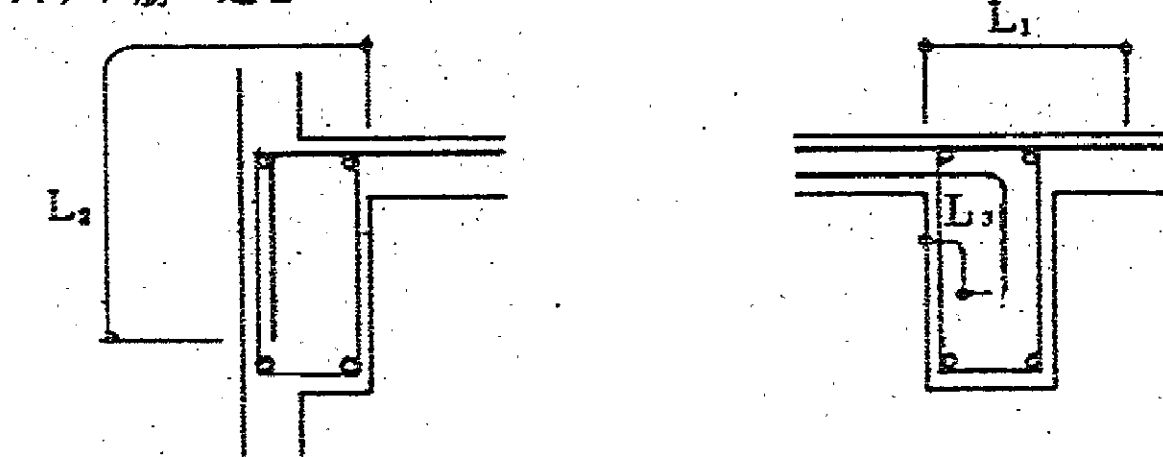
12. スラ ブ

A 一般事項

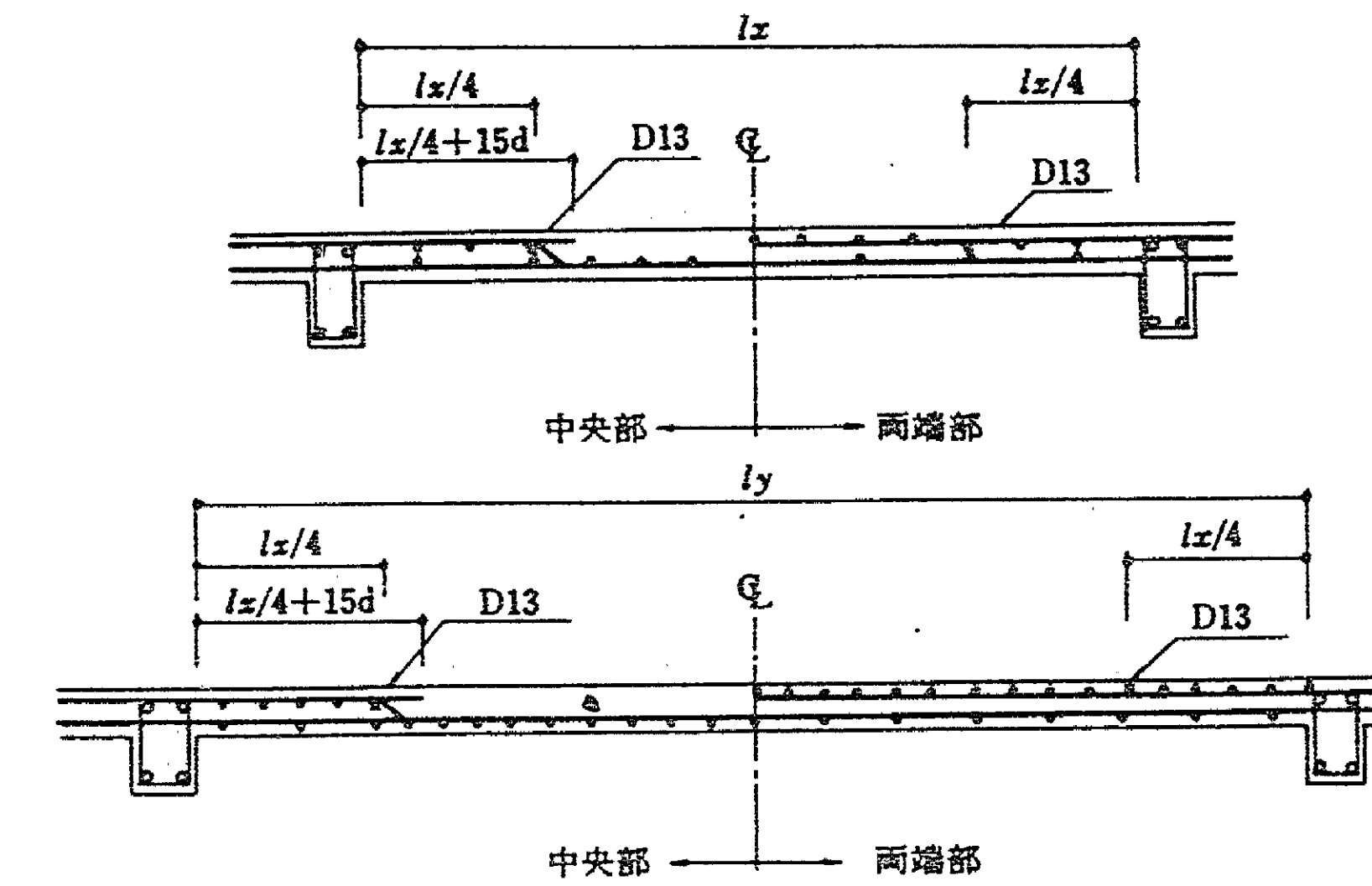
1. スラブの配筋種別及び厚さは特記による。
2. 鉄筋の継手の長さは、 L_1 とする。
3. パーサポートはコンクリートブロックを使用することもできる。

B 定着長さ及び受け筋

スラブ筋の定着

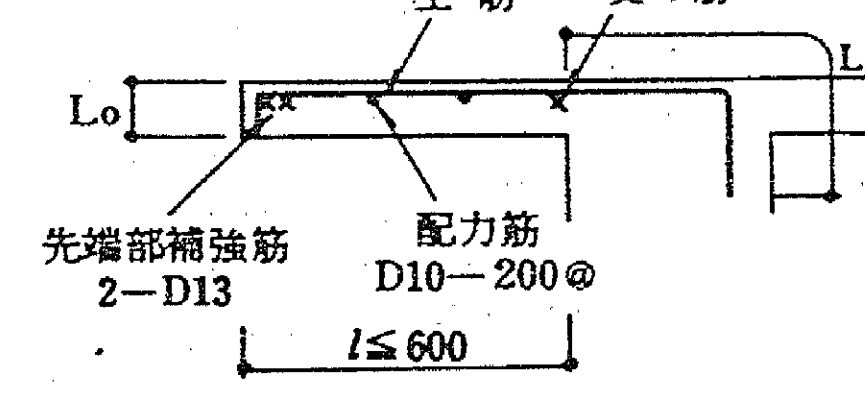


C 標準スラブの配筋



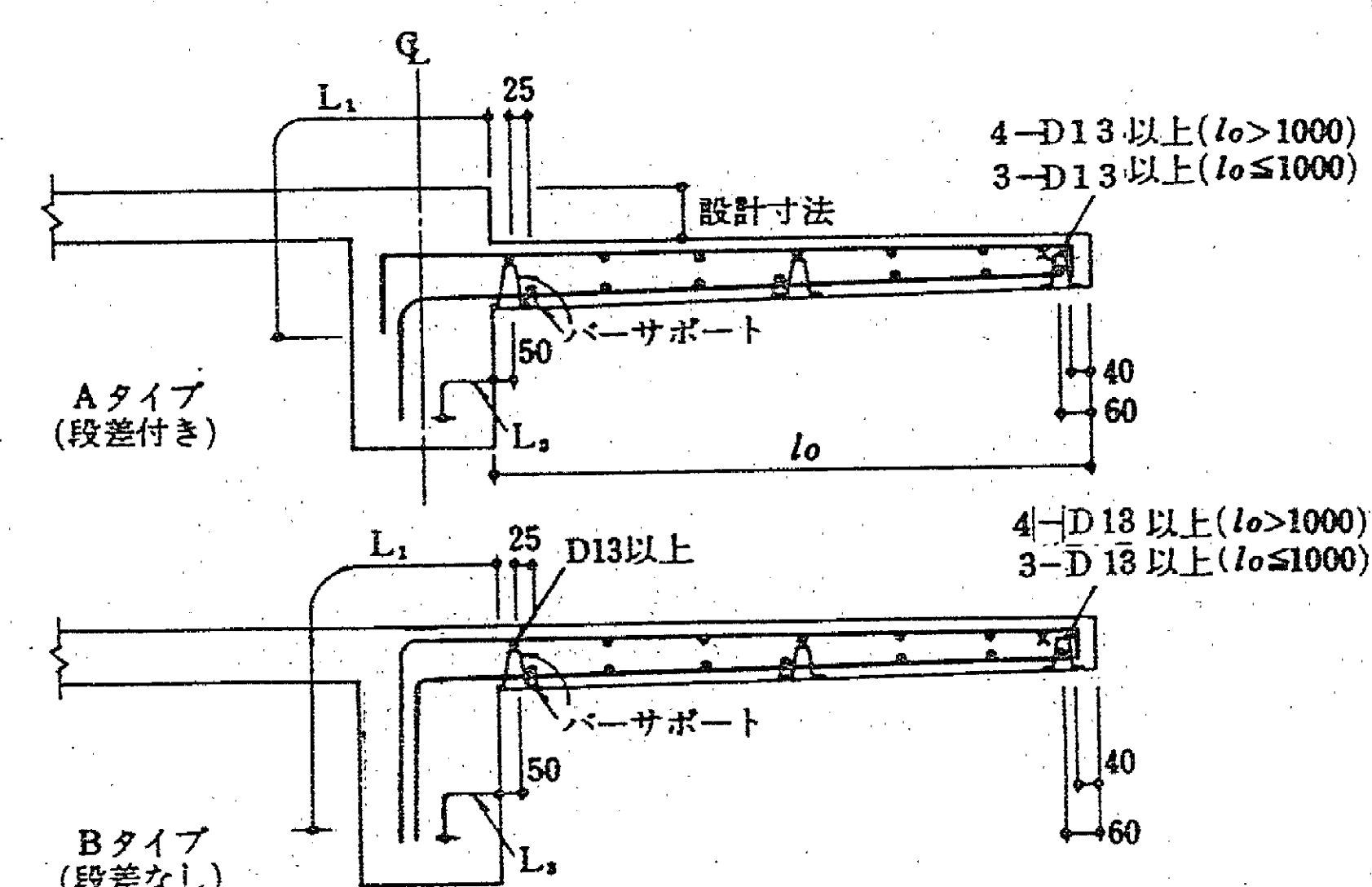
D 片持ちスラブ

片持ちスラブ先端部及び三辺固定スラブの自由端には下図により補強筋を配置する。

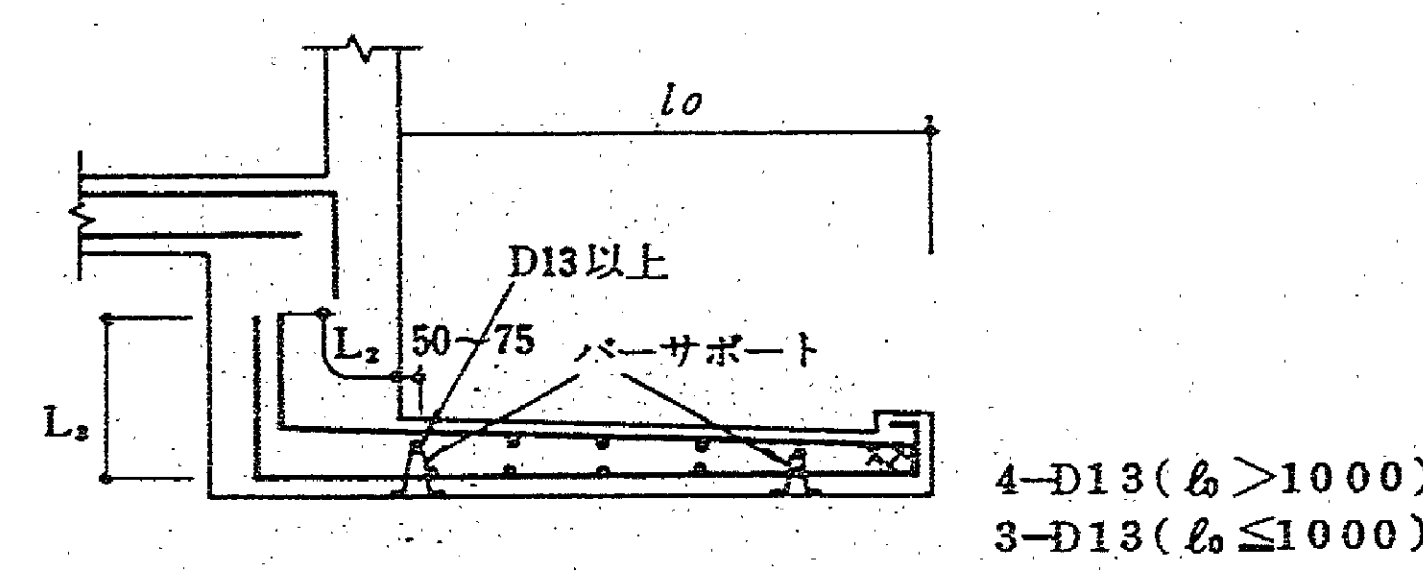


(注) 先端の折曲げ長さLoは、スラブ長さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

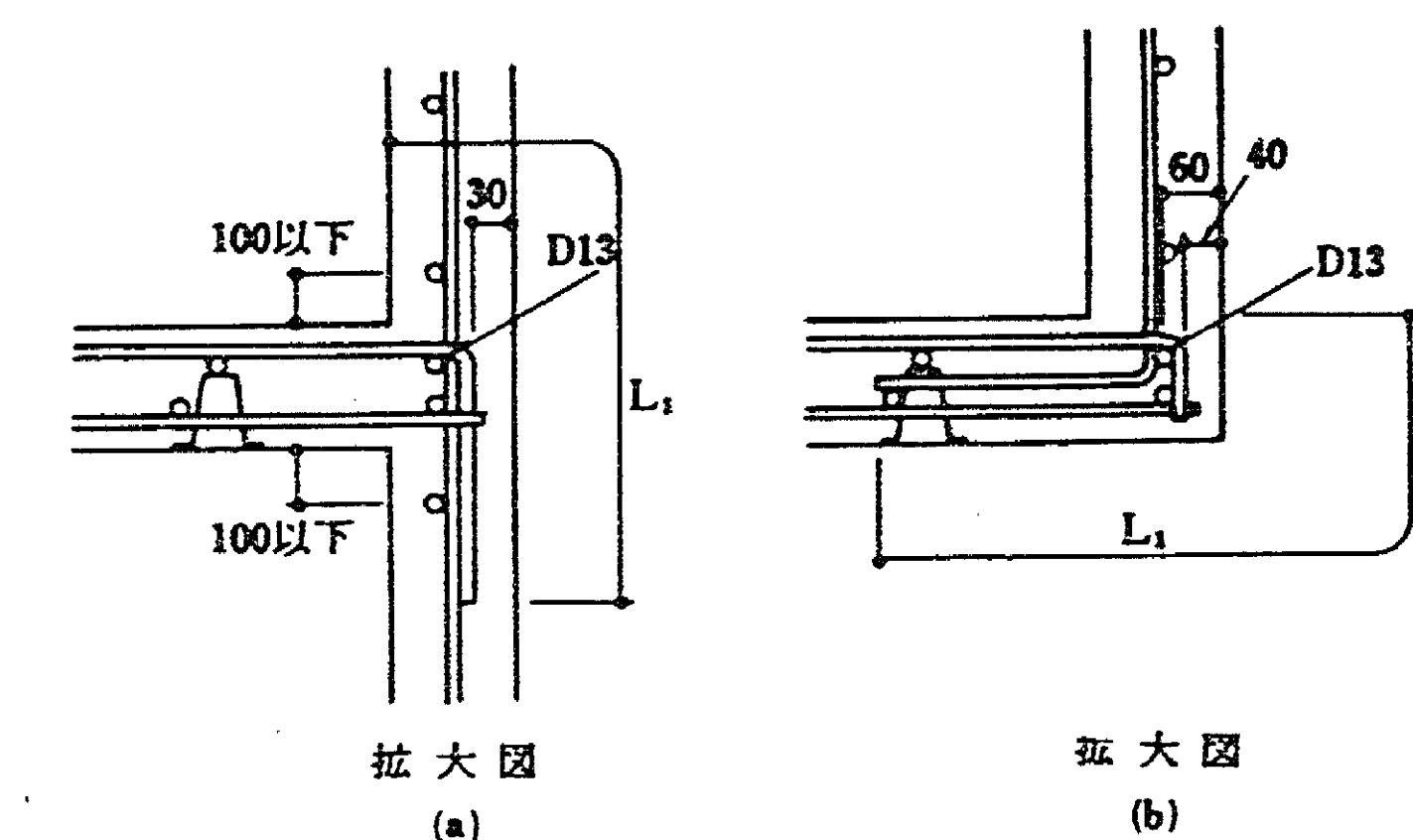
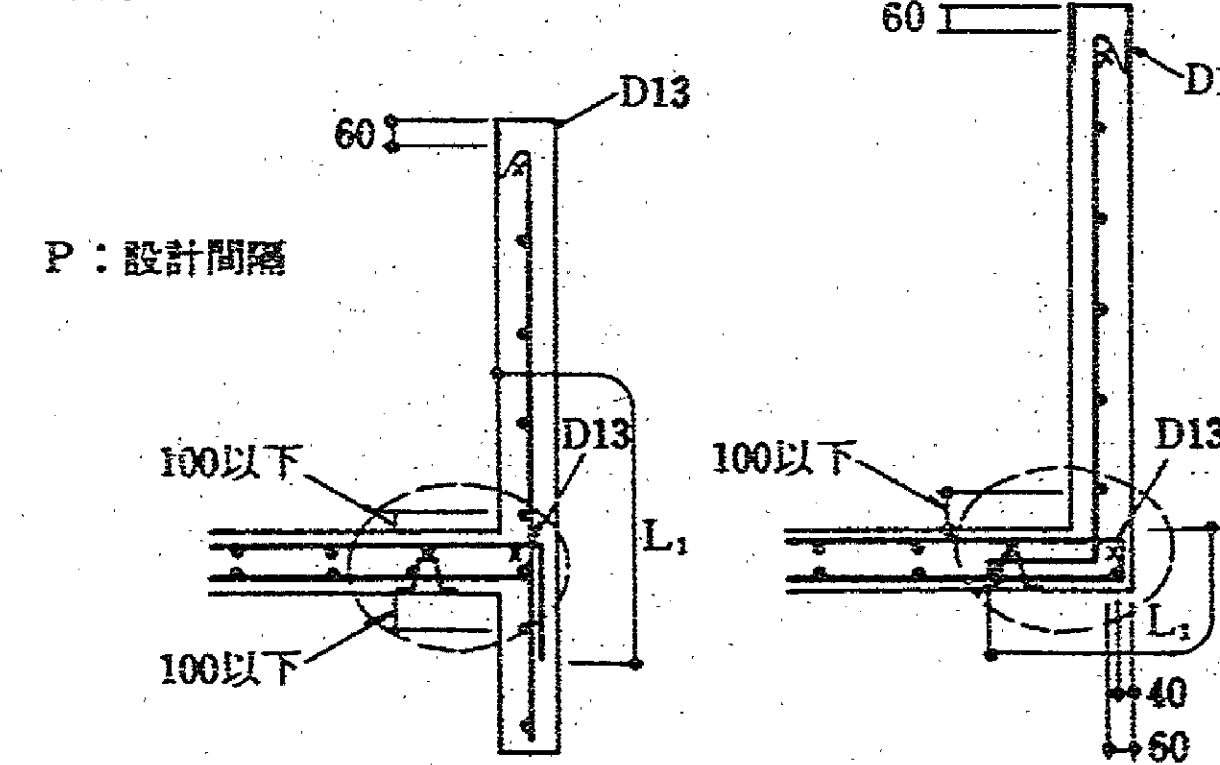
1 片持ちスラブのタイプ



2 逆Tスラブの定着



3 片持ちスラブ先端と手すりとの納まり



13. 壁

A 一般事項

1. 壁配筋の継手及び定着の長さは、 L_1 とする。
2. 土圧などを受ける壁及び耐震壁として特記されたものは、継手長さを L_1 、定着長さを L_2 とする。
3. 継手及び定着のとれない場合は、監督員の承諾を受けて、添接接(両面5d又は片面10d以上)とすることができる。
4. 幅止め筋は、縦、横共D10(9φ)→1000@程度とする。

B 壁の特記外配筋

壁の特記外配筋は下表により、種別は特記による。
なお外部に面する壁及び垂れ壁の配筋は、F表による。

種 別	断 面 図	縦 筋 及 び 横 筋
W10	100	D10 - 250φシングル
W12	120	D10 - 200φシングル
W15	150	D10 - 150φシングル
W18	180	D10 - 100φシングル
W20	200	D10 - 200φダブル
		D10 - 150φダブル

(注) 特記なき場合はAによる

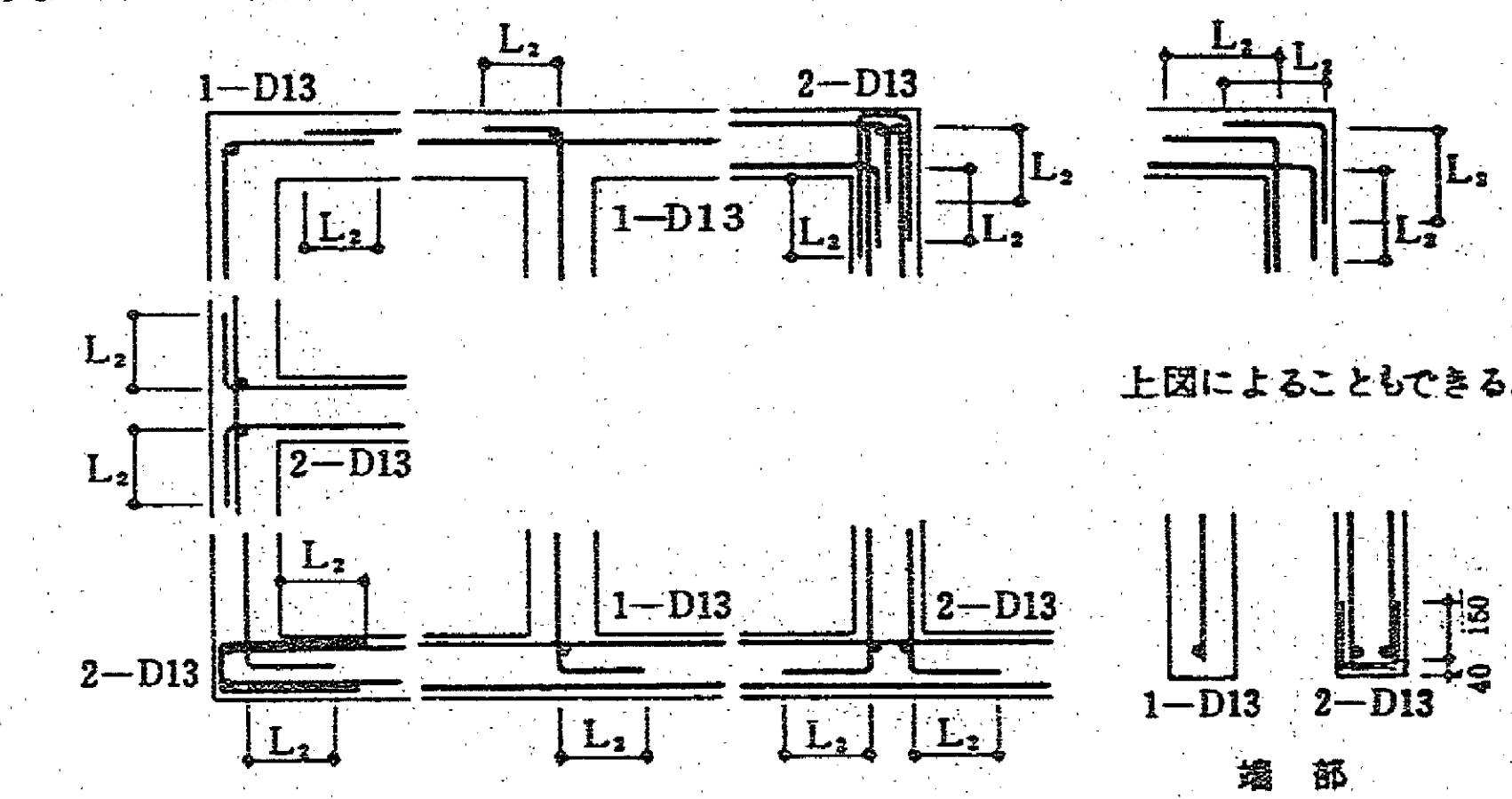
C 階段受け壁

片持ちスラブ形階段を受ける壁の配筋は下表により、種別は特記による。

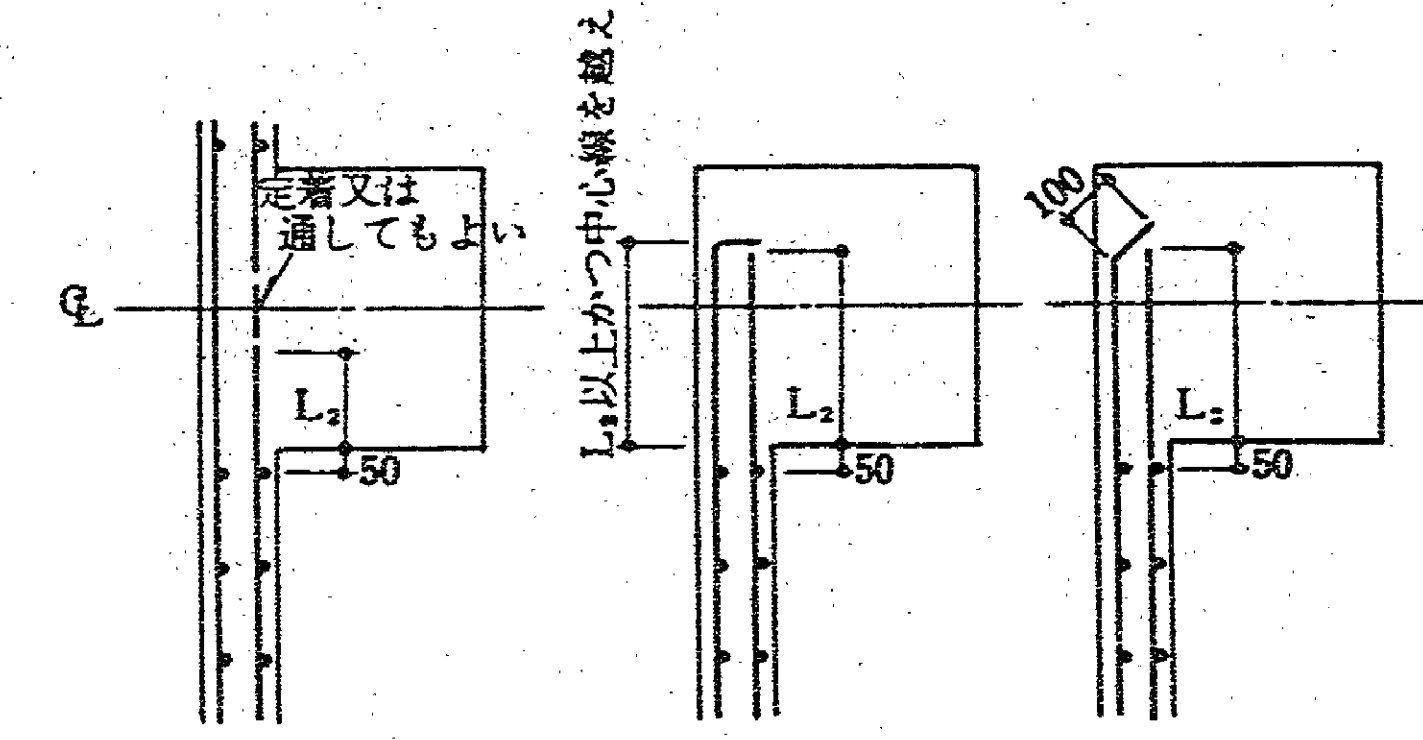
種 別	断 面 図	縦 筋 及 び 横 筋
KW1	180	縦筋 D13-200φダブル
		横筋 D10-200φダブル
KW2	200	縦筋 D13-150φダブル
		横筋 D10-200φダブル

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

D 交差部及び端部の配筋



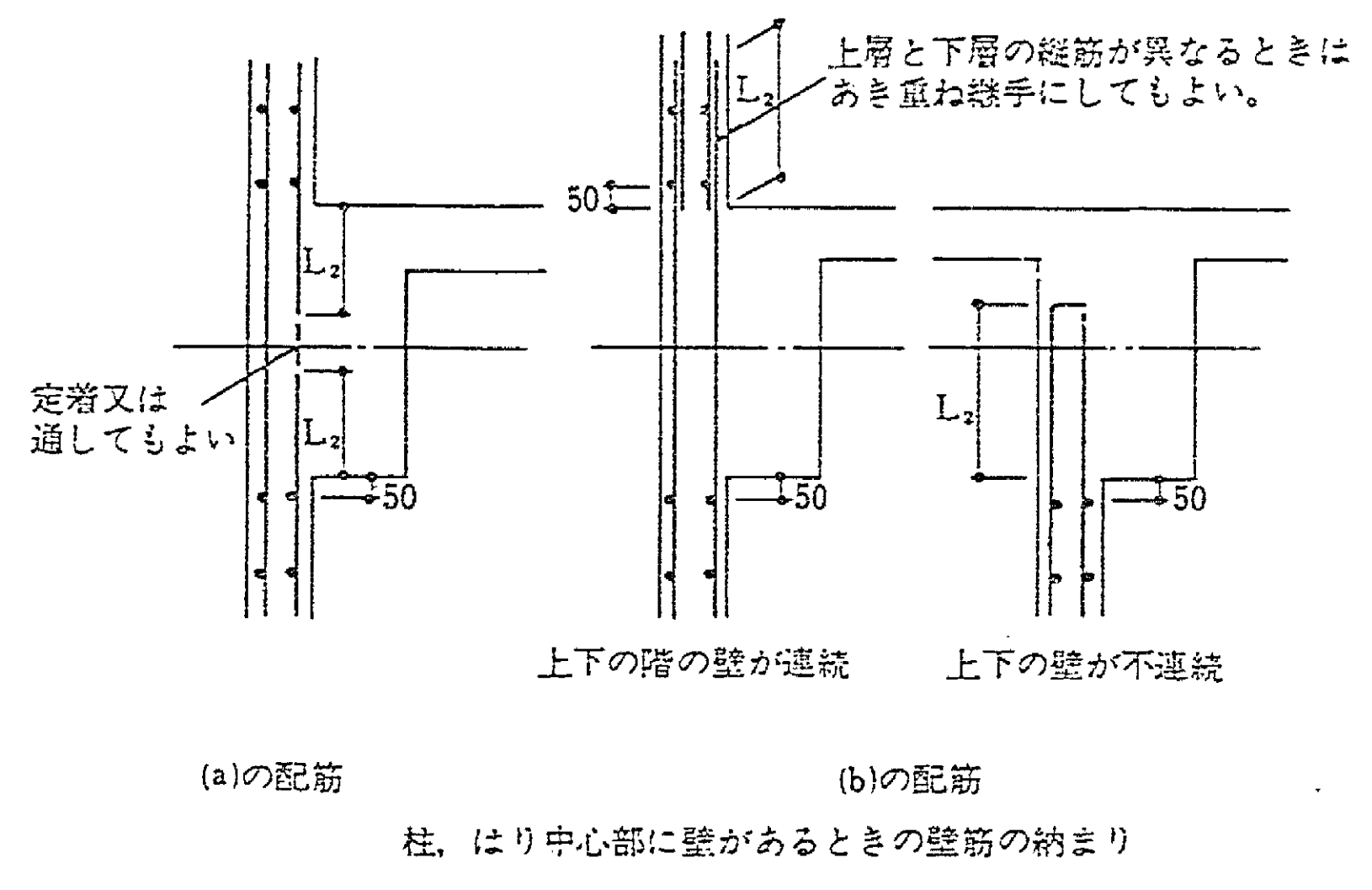
E 壁筋の配筋



マイクログラフ

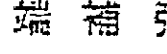
121-11730

鉄筋コンクリート構造配筋基準図〔4〕



F

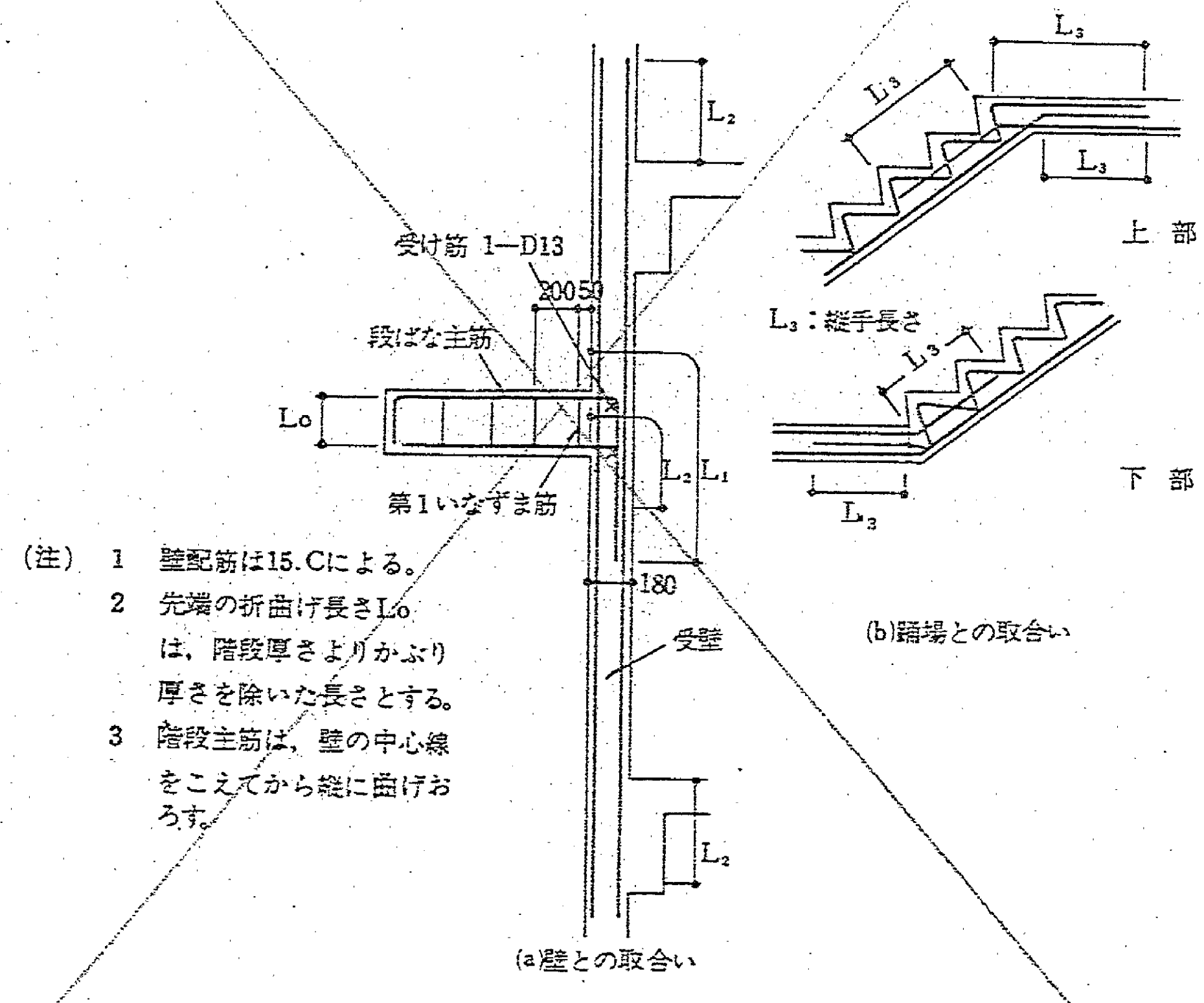
バラベットの及び外部に面する腰壁、垂れ壁の配筋

施工箇所	コンクリート厚さ	方向	配筋	先端補強筋
バラベットの	特記による	縦	D10-150@ダブル	 4-D13 D10-150@
		横	D10-200@ダブルチドリ	
外部に面する腰壁、垂れ壁	120	縦	D10-200@シングル	 2-D13
		横	D10-100@シングル	
	150	縦	D10-150@シングル	
		横	D10-100@シングル	

14. 階段

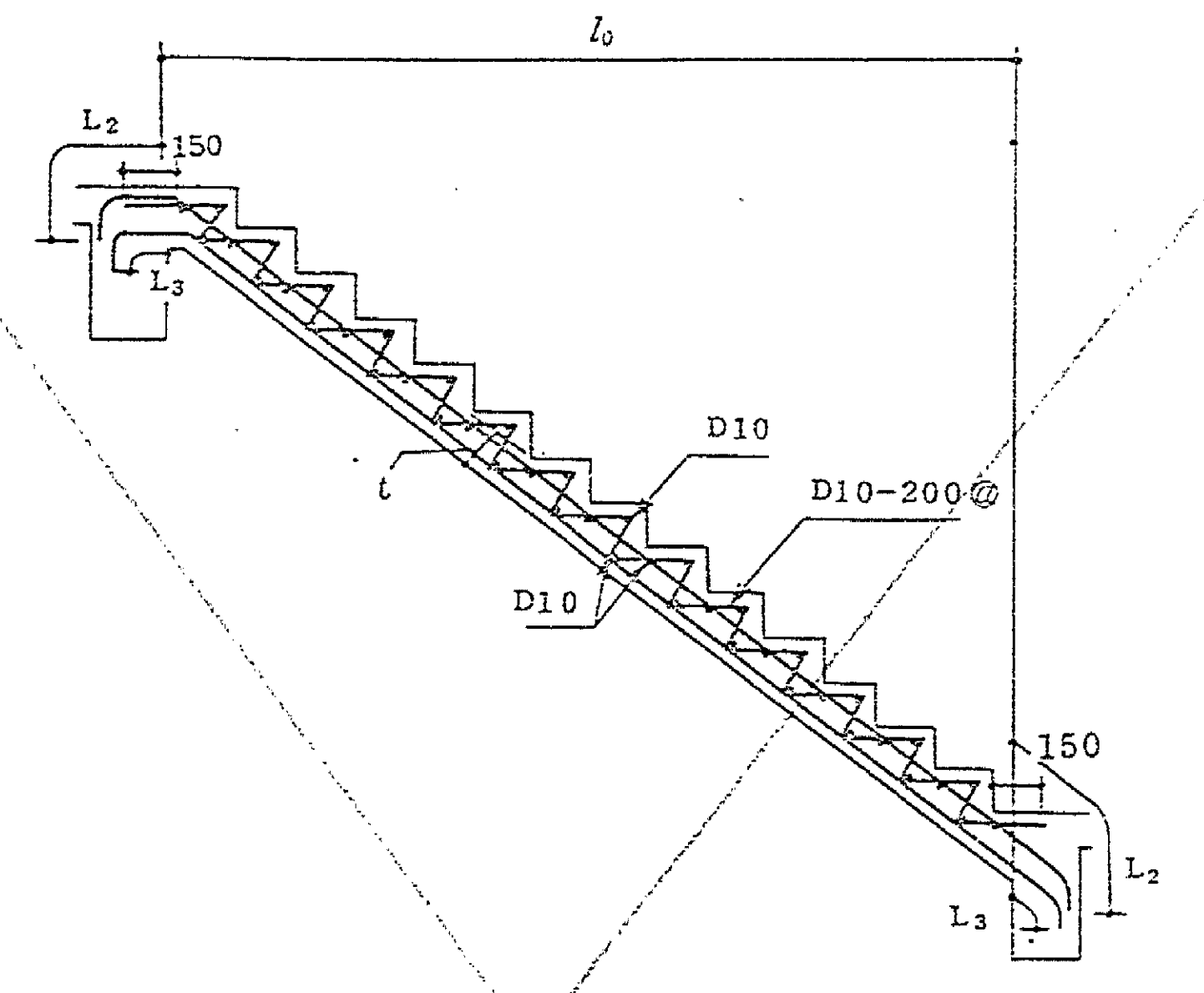
A 片持階段

階段受壁および踊り場との納まり

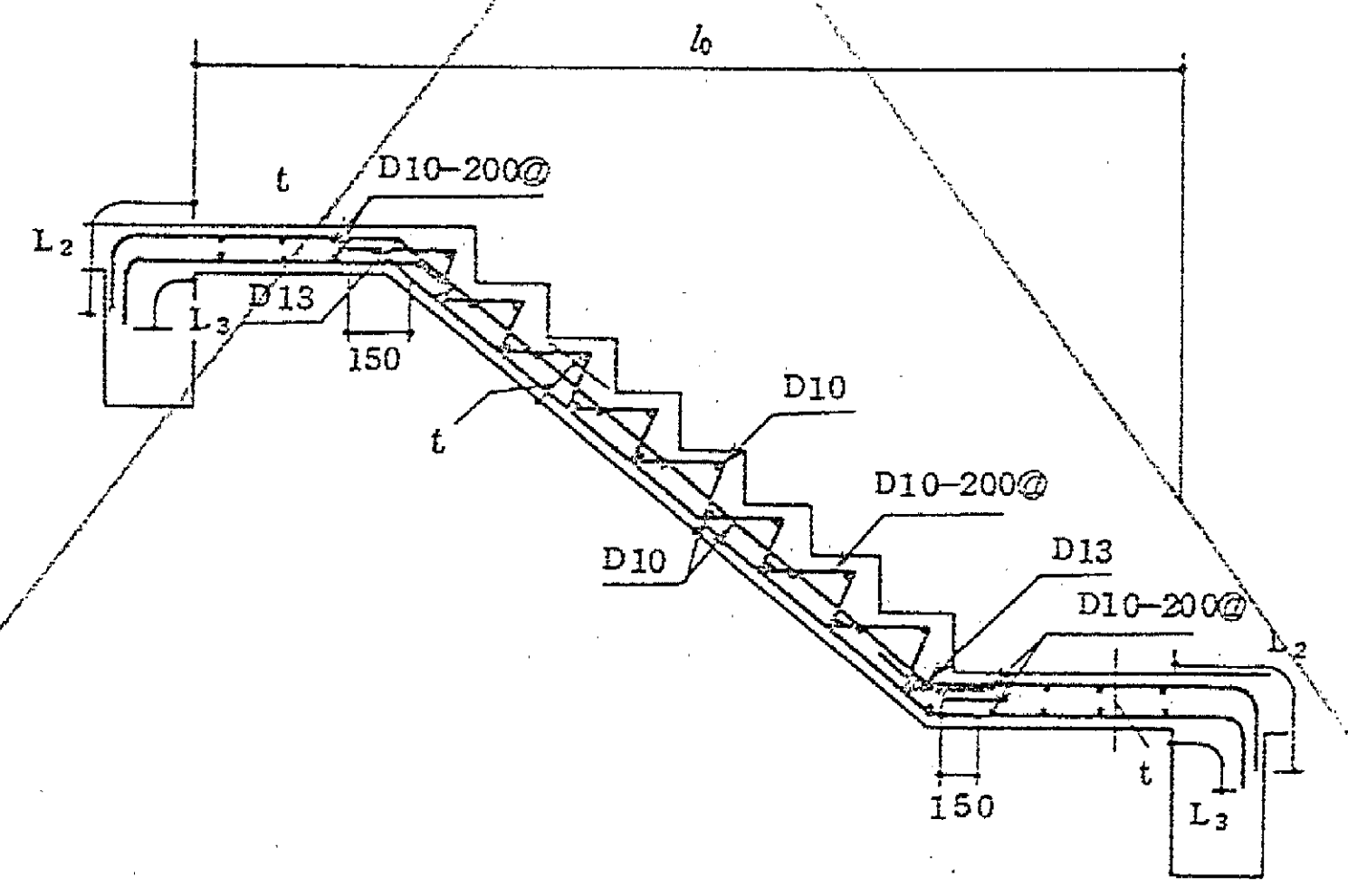


B スラブ階段

1 スラブ階段—1形の配筋



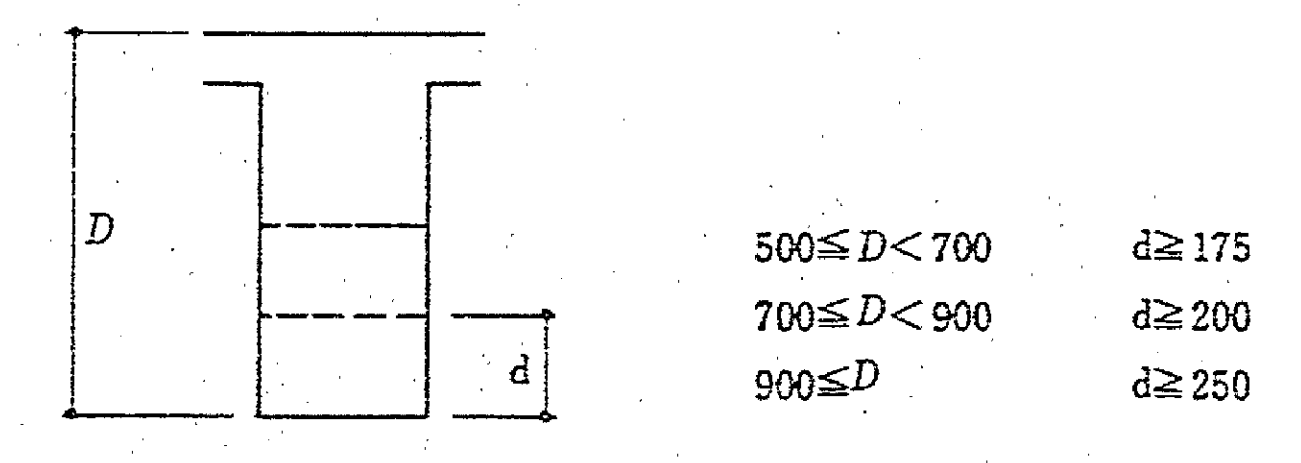
2 スラブ階段—2形の配筋



15. 補強

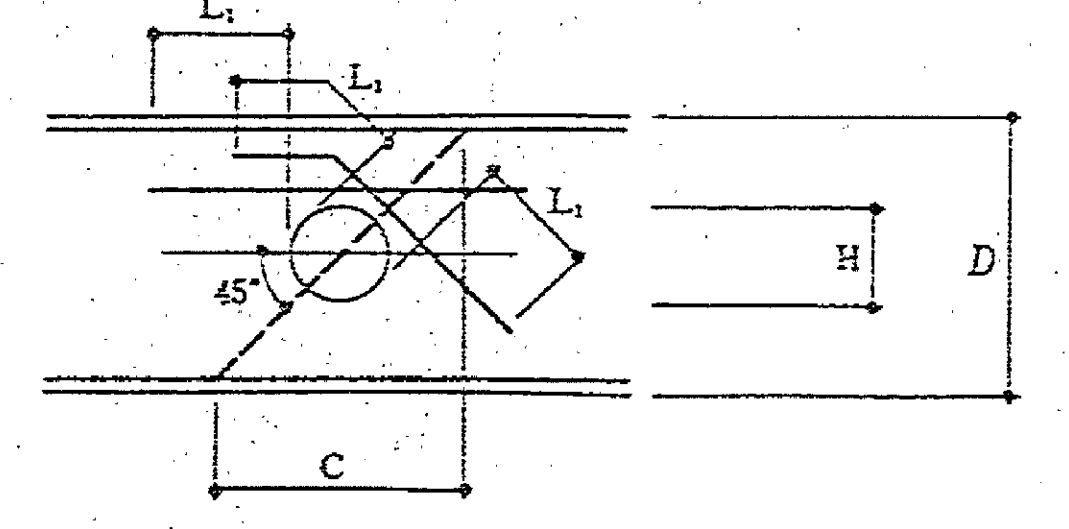
A はり貫通孔の補強

- 1 孔が円形でない場合は、外換円孔におきかえて適用する。
- 2 孔の上下位置は、はりせいの中心付近とし下記による。



- 3 孔の中心位置は柱及び直交するはり(小はり)の面から1.2D以上はなすことを原則とする。
- 4 孔の直径ははりせいの1/2以下とし、また孔が連続する場合は、その中心間隔を孔径の3倍以上とする。
- 5 補強筋は原則として主筋の内側とする。
- 6 鉄筋の定着長さ。

孔補強の有効範囲および定着長さのとり方



(注) 孔補強の有効範囲は孔中心より45°以内の範囲である。

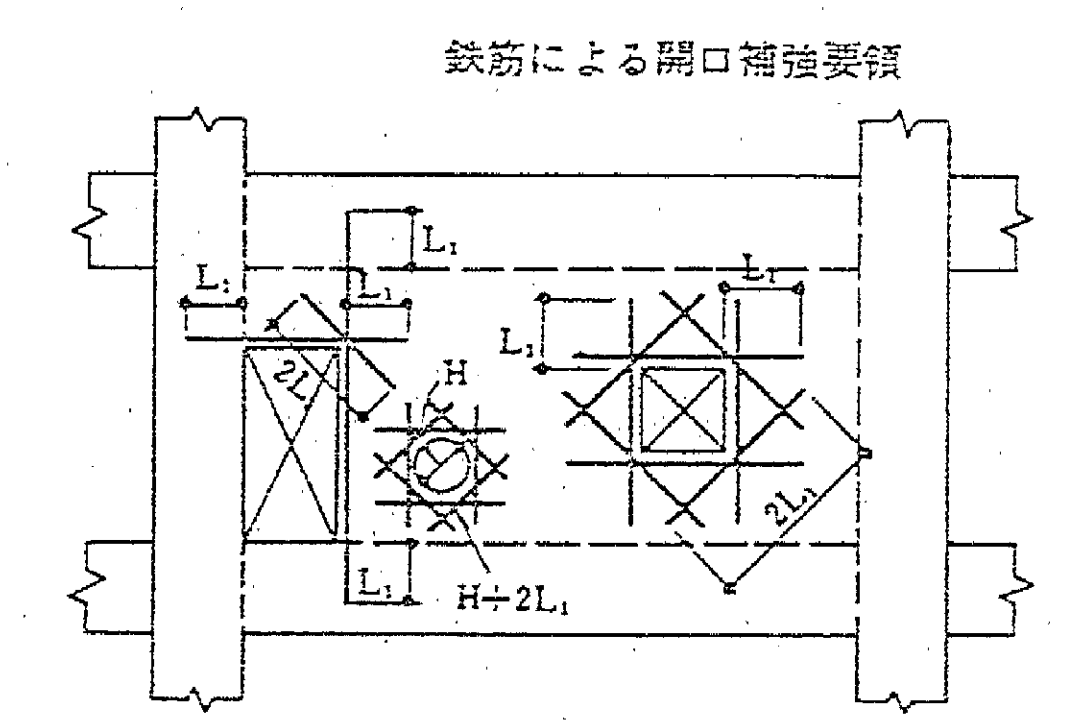
- 7 縦筋はあばら筋とみなす。
- 8 補強は下表による。

(H≦D/3、はり幅≧400)

適用範囲	孔周補強筋	配筋図
50<H<100	斜め 2-2-D13 縦 2-2-D13 横 なし 上 S.T.P なし	
100<H≦200	斜め 4-2-D13 縦 2-2-D13 横 2-2-D13 上 S.T.P.3-2-D13	
200<H≦300	斜め 4-2-D19 縦 2-2-D13 横 2-2-D13 上 S.T.P.4-2-D13	
300<H≦400	斜め 4-2-D22 縦 4-2-D13 横 2-2-D16 上 S.T.P.6-2-D13	

B 壁、スラブ開口部補強

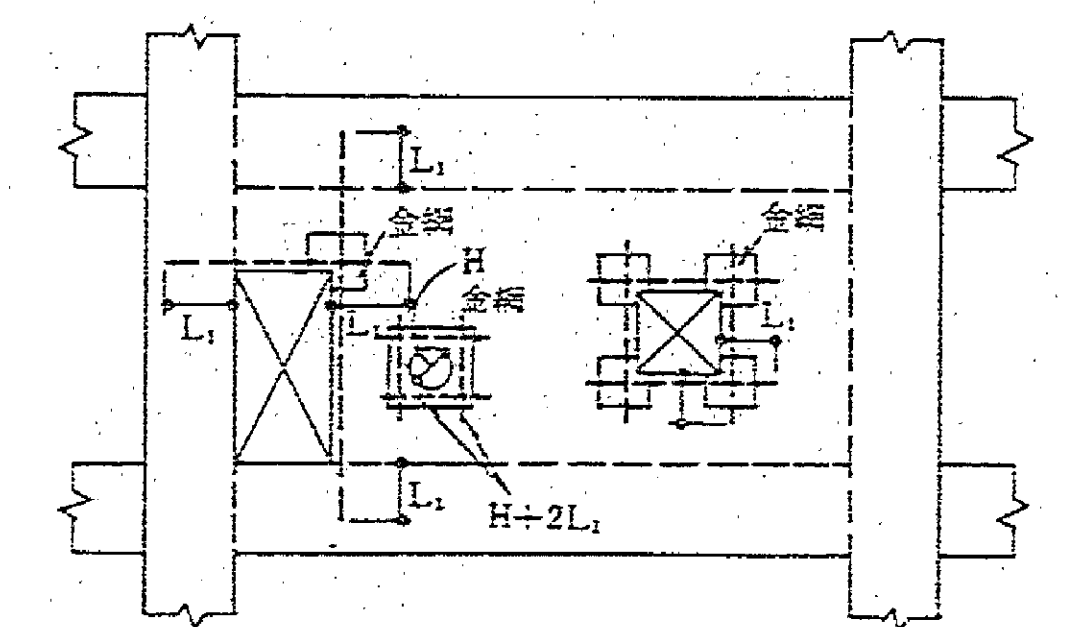
1 壁の開口部補強



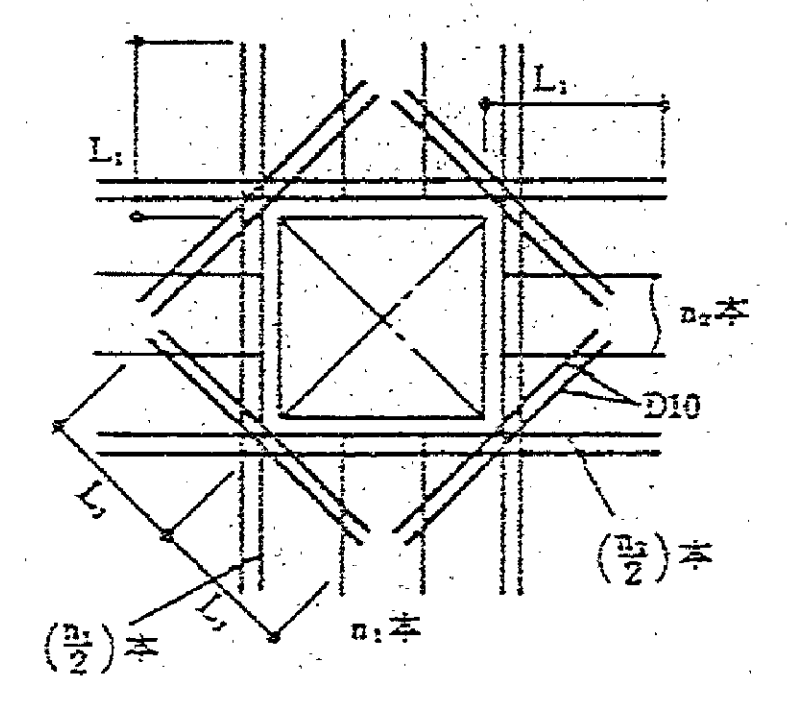
(注) 出入口開口の縦補強筋は上下のりに定着する。

壁の種類	補強筋
W10, W12, W15	縦 横 斜め 1-D13 1-D13 1-D13
W18, W20	2-D13 2-D13

溶接金網・鉄筋格子による開口補強要領



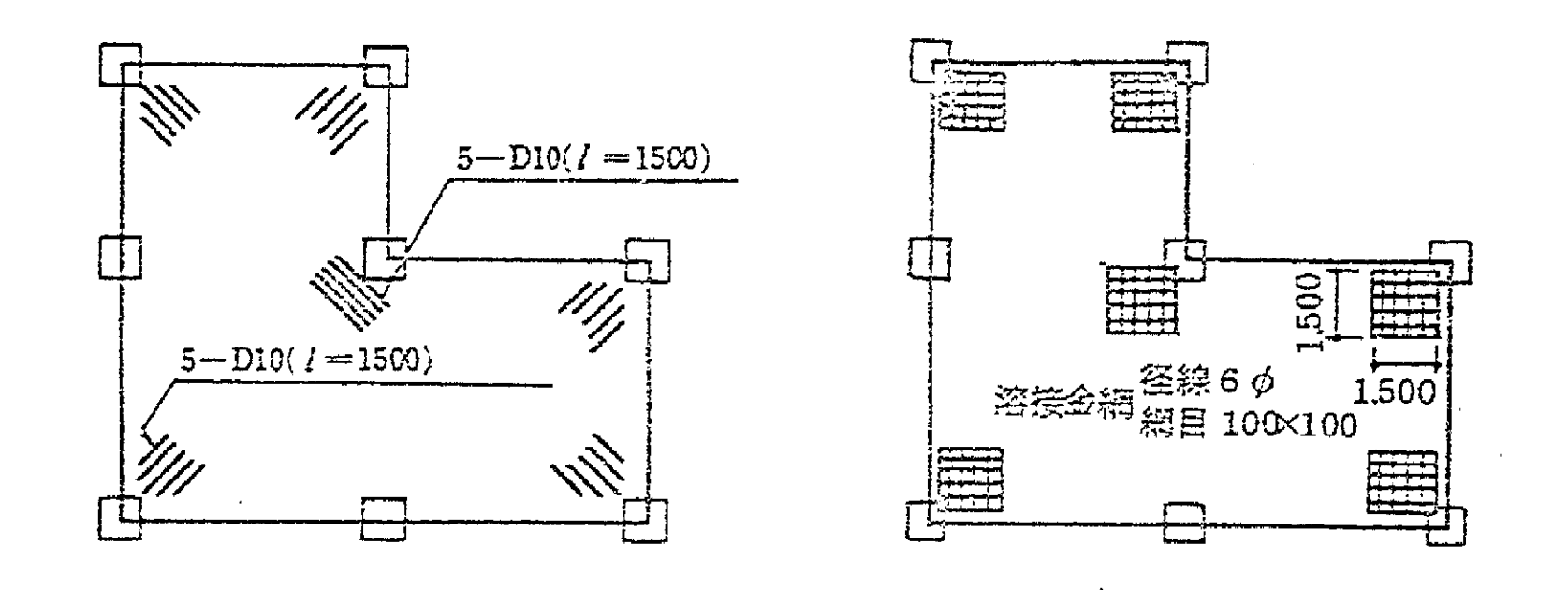
2 スラブの開口部補強



スラブ開口部の径が600以下の場合左図により、開口によって切られる鉄筋と同等の鉄筋で周囲を補強し隅角部に斜め方向に2-D10($l=2L_1$)を上下筋の内側に配置する。

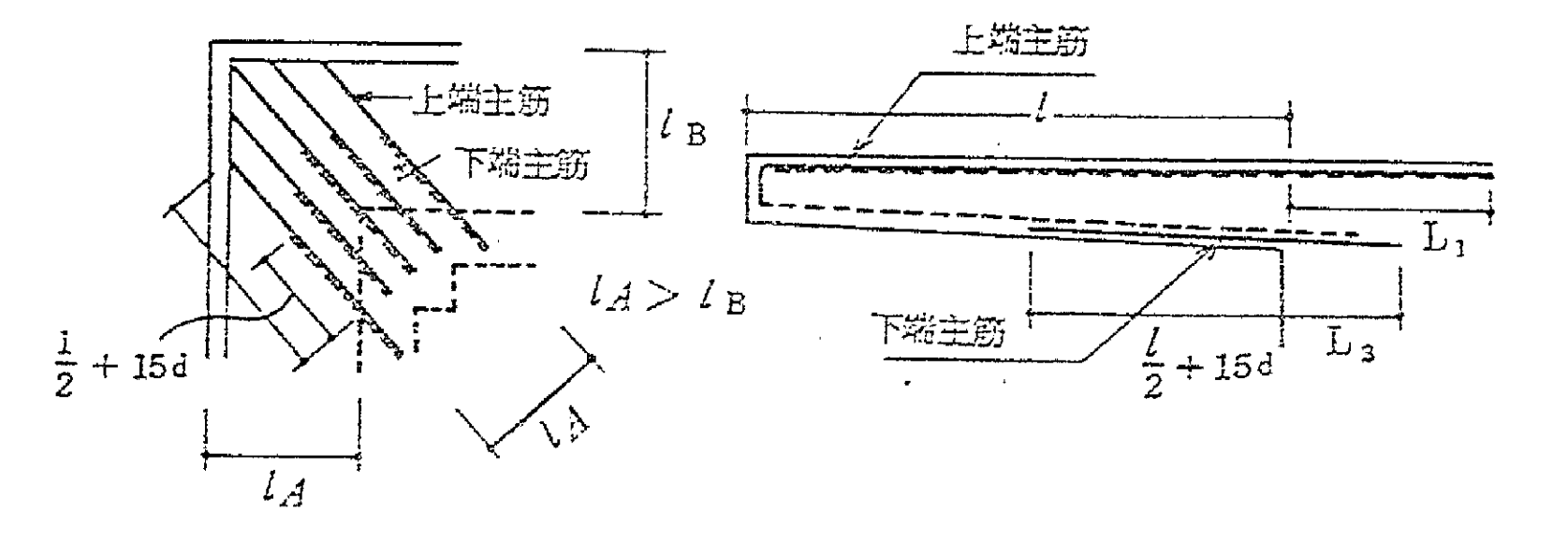
C スラブくう角部の補強

屋根スラブの出隅及び入り隅部分には、下図により、補強筋を上端筋の下側に配置する。



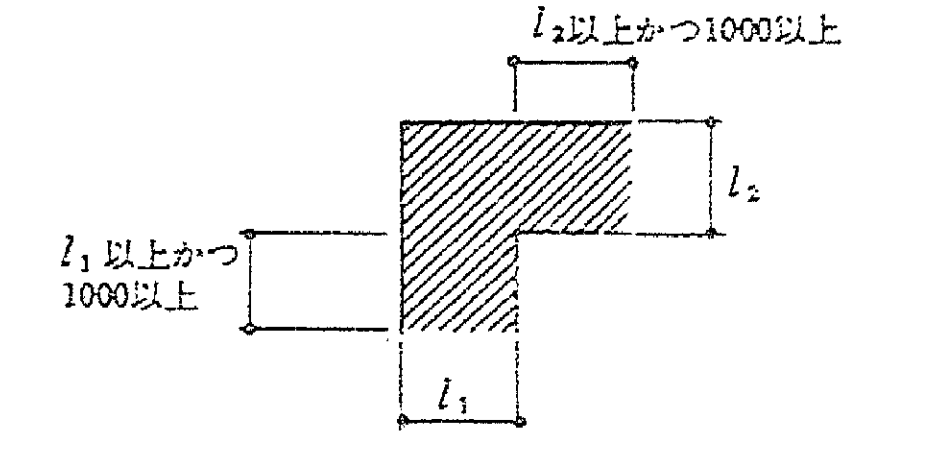
D スラブの出隅部の補強

1 主筋

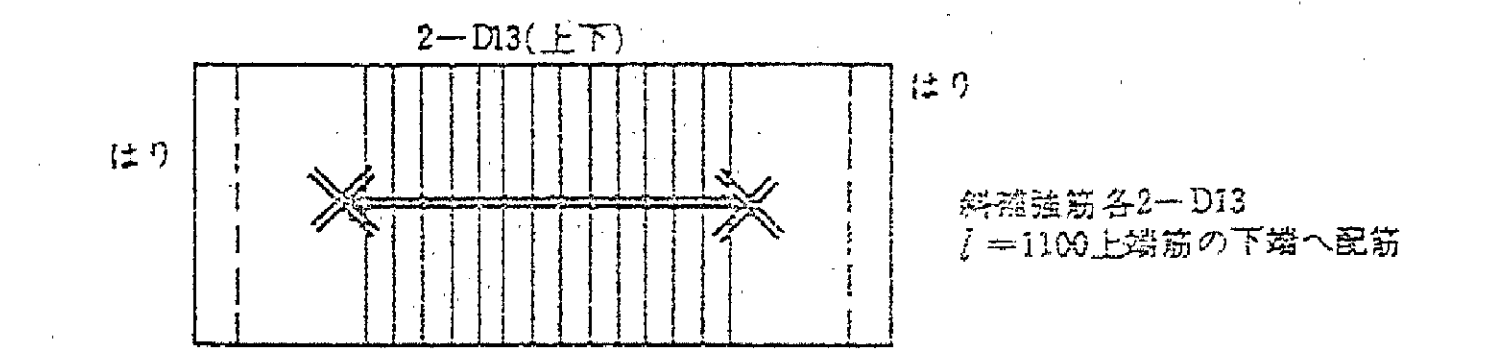


2 配筋

出隅部(下図のハッチ部分)は、12 D.1(スラブ先端部)の配筋筋をD10-@100とする。



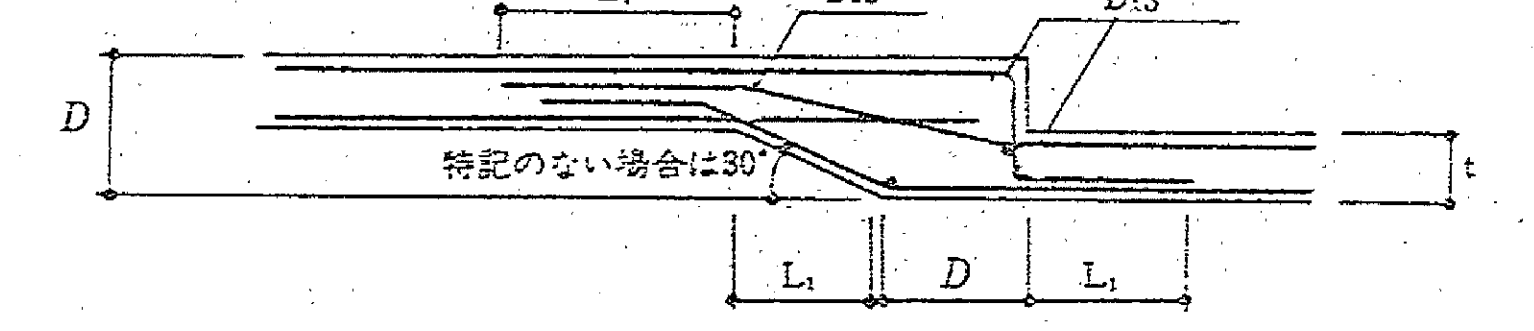
E 階段踊場補強筋



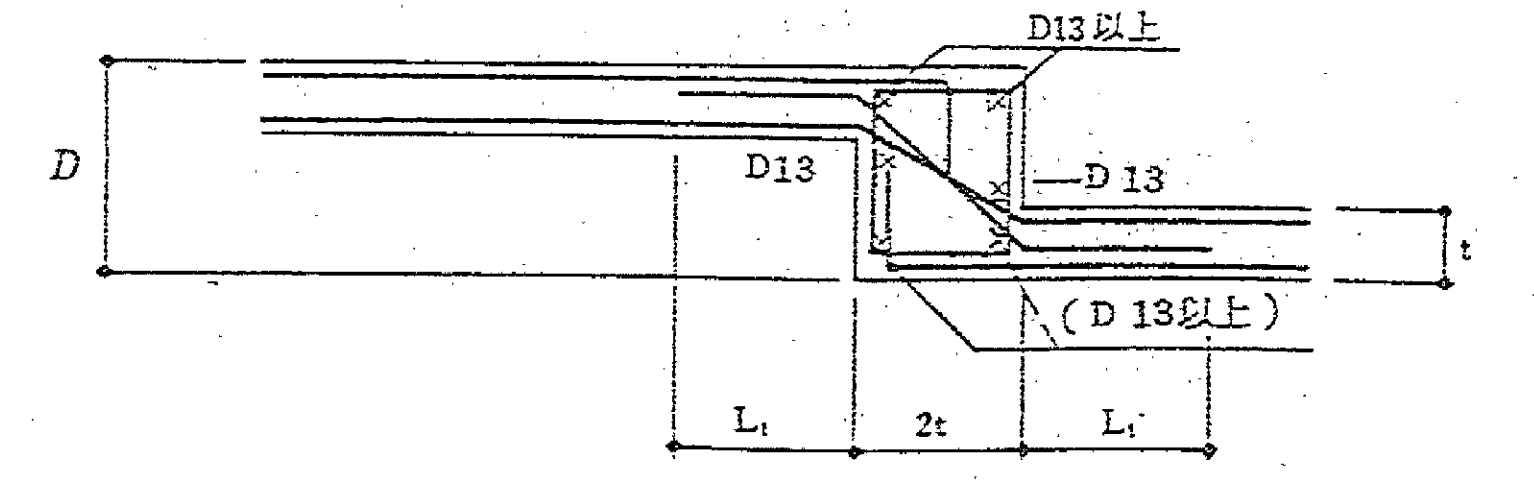
16. 雑配筋要領

A 段違いスラブの配筋

2t>Dの場合



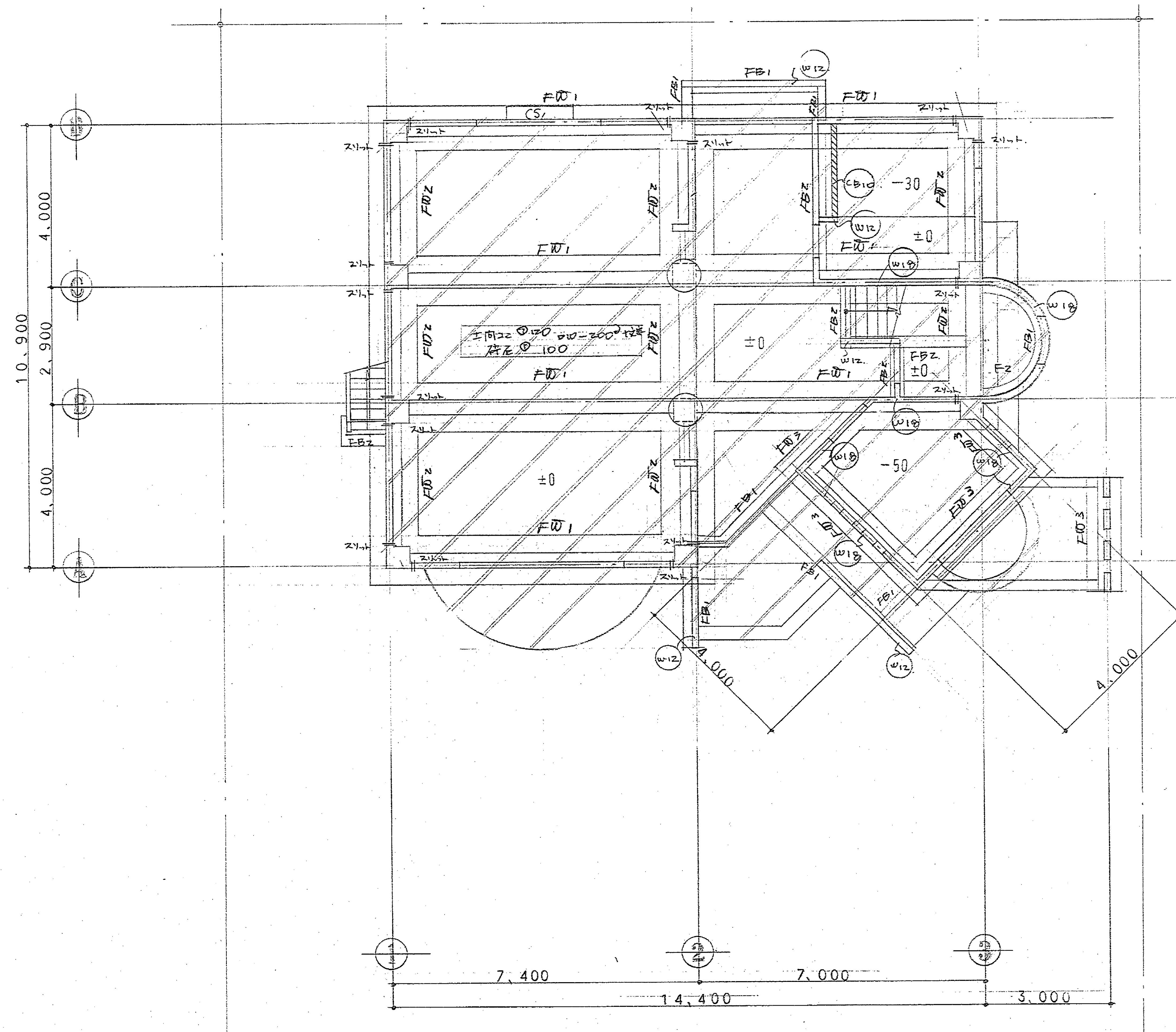
2t≦D≦3t



(注) D10スラブ上端筋と同間隔

スラブ上端部と同間隔

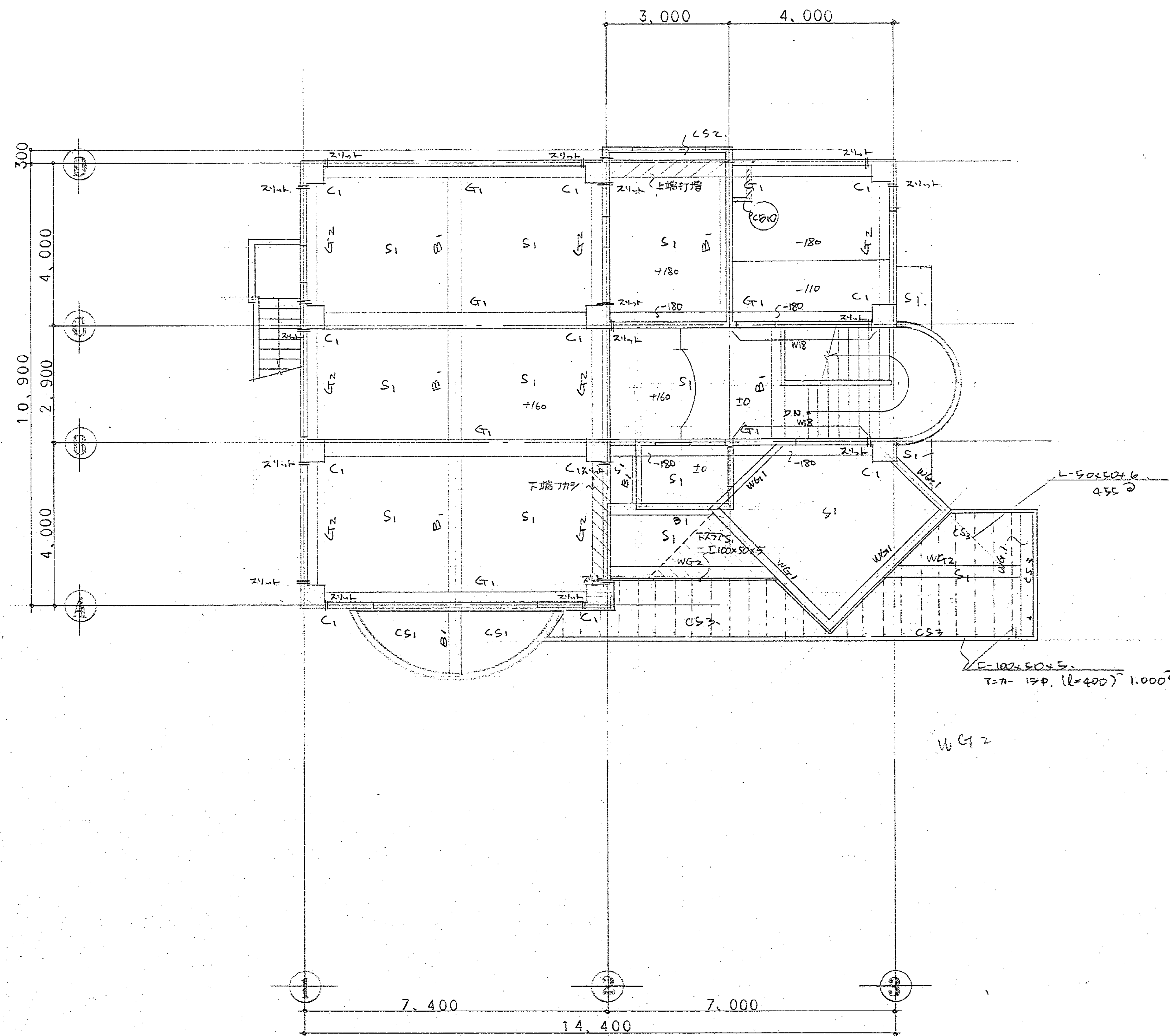
マイクロ 年度
121-11731



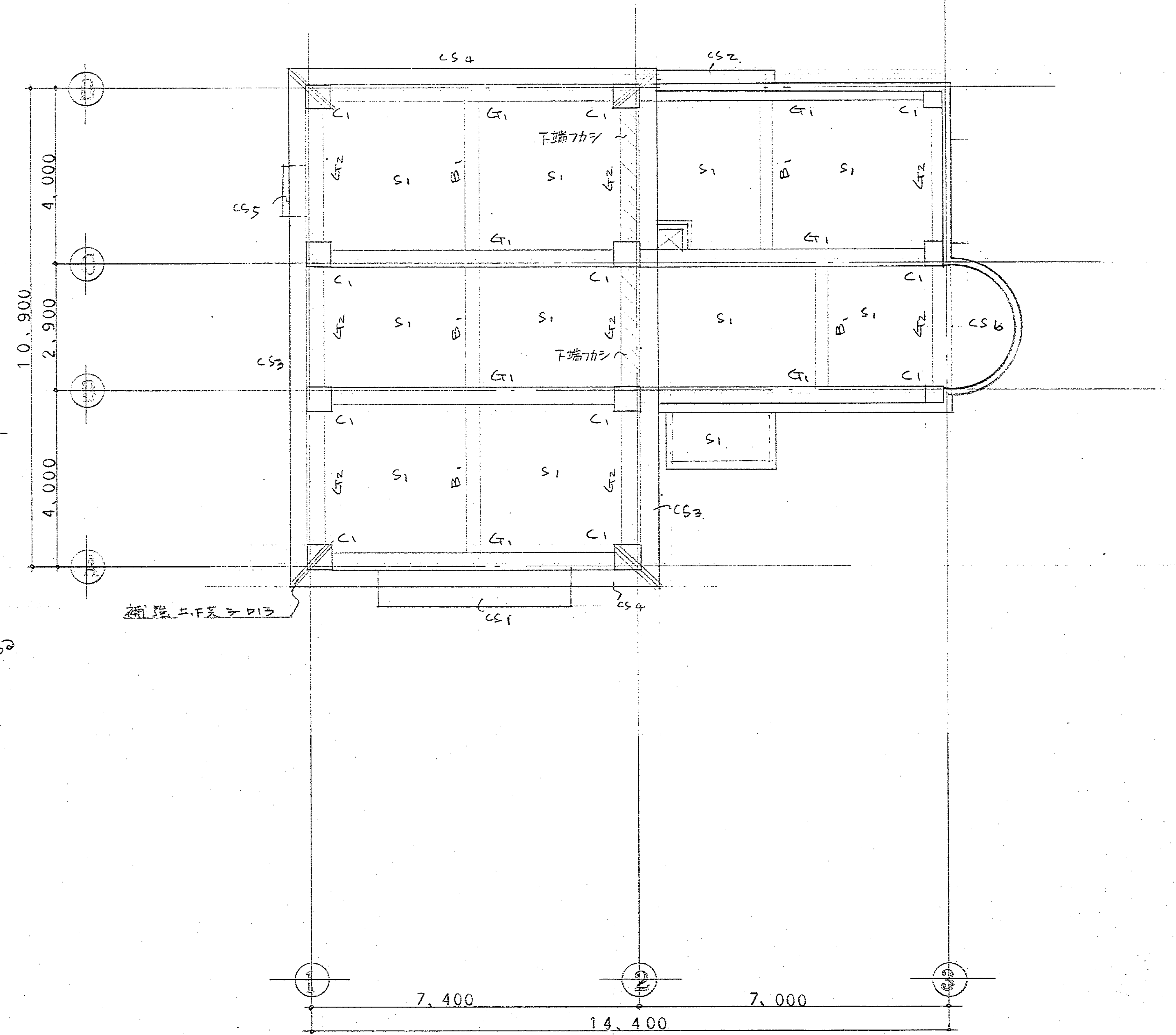
基礎伏図 1:100

壁は1階壁を示し、特記の外は
壁厚150mmとする

マイクログラフ No. 121-11732



2 階床伏図



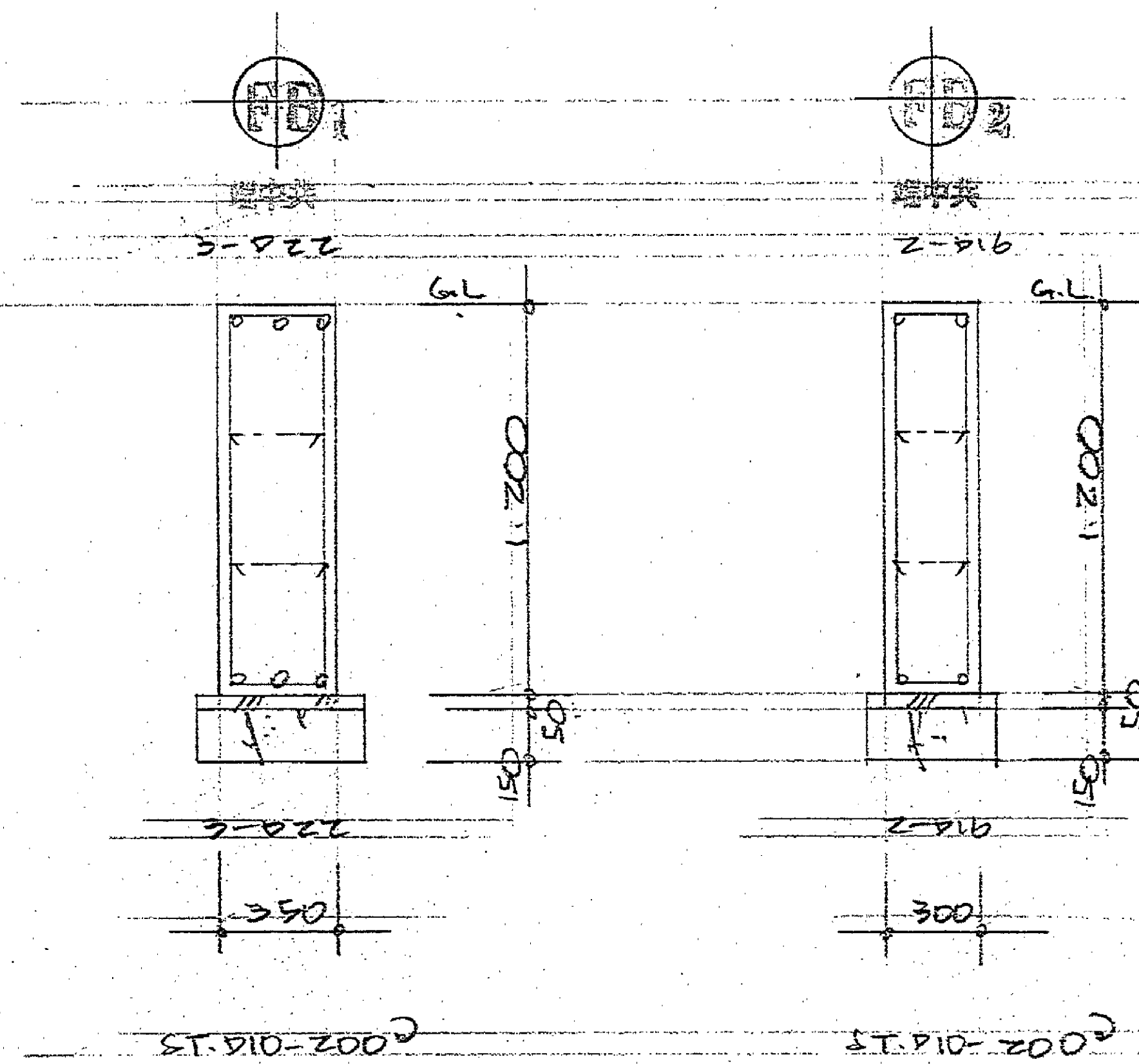
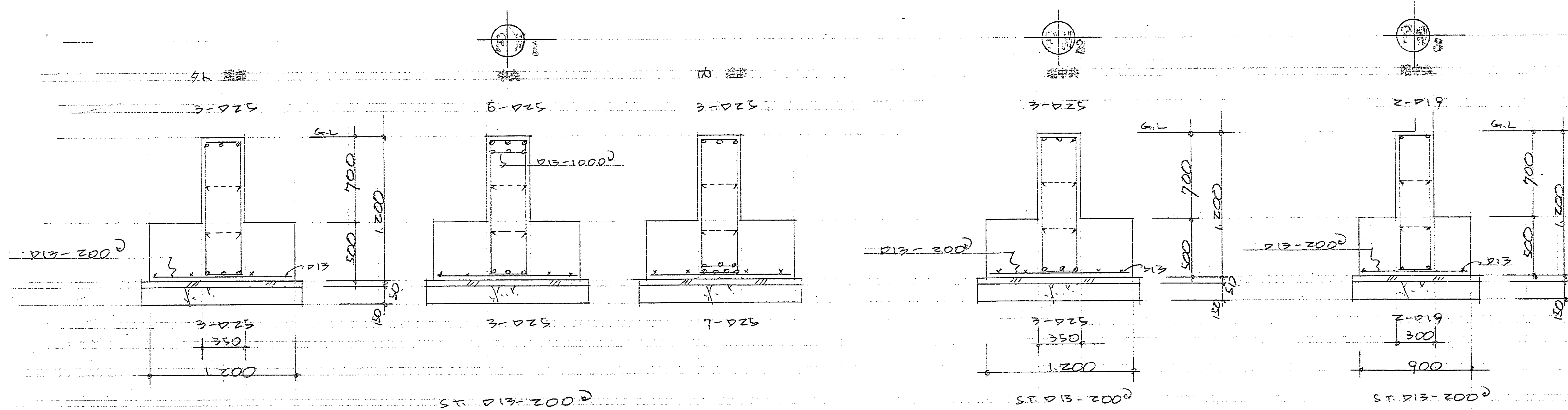
3 階床伏図

壁は2階壁を示し、特記の外は
壁厚=150φとする

マイクログラフ
121-11733

基礎リスト

図号 4-P10
市止め 10-600



マイクログ 年度
121-11734

NO

工事名

昭和63年度 動物愛護館建築工事

図名

基礎リスト

1:100

D.by

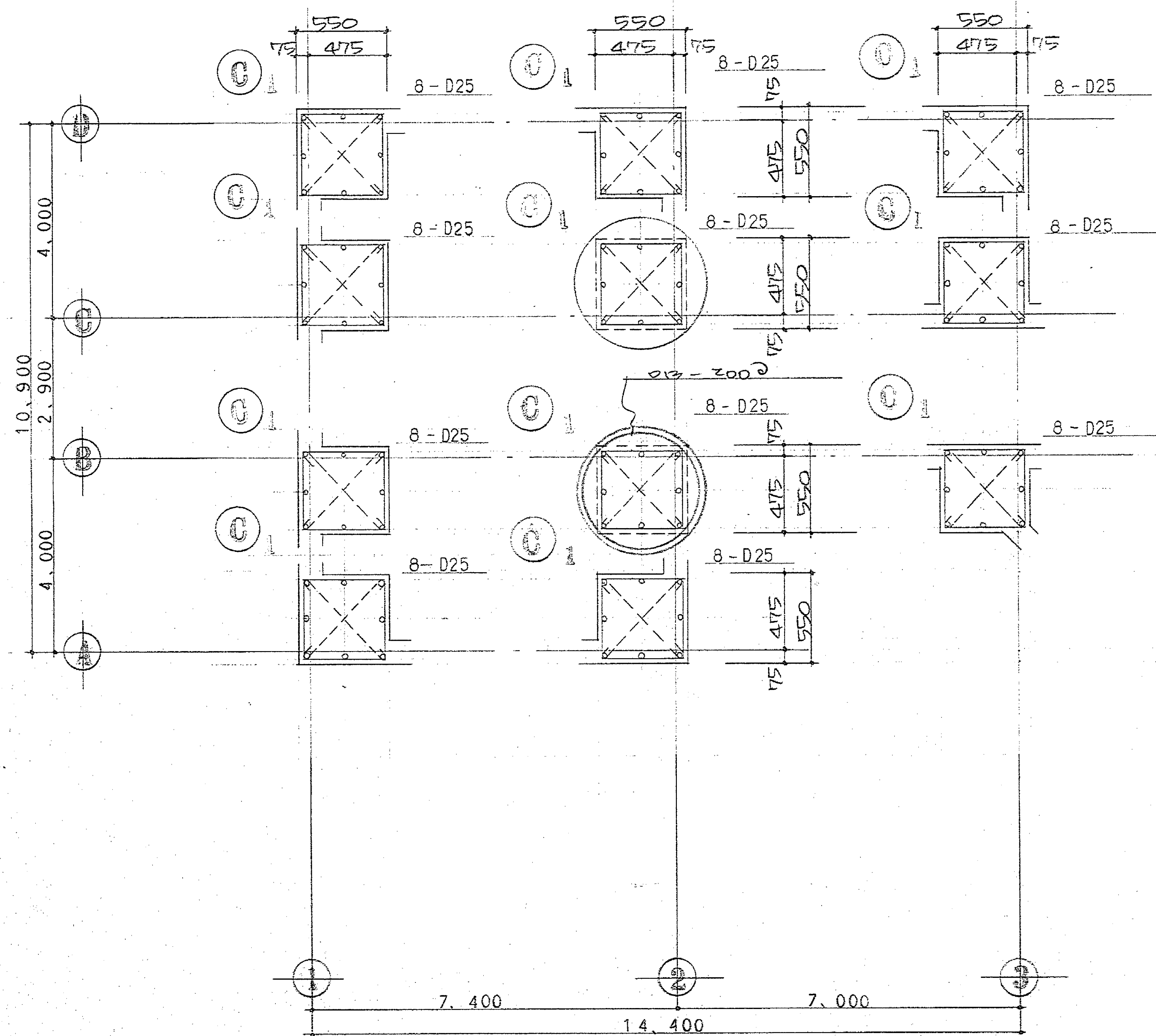
C.by

DATE

1級建築士事務所登録()1869
1級建築士登録 45165
鞍智勝利

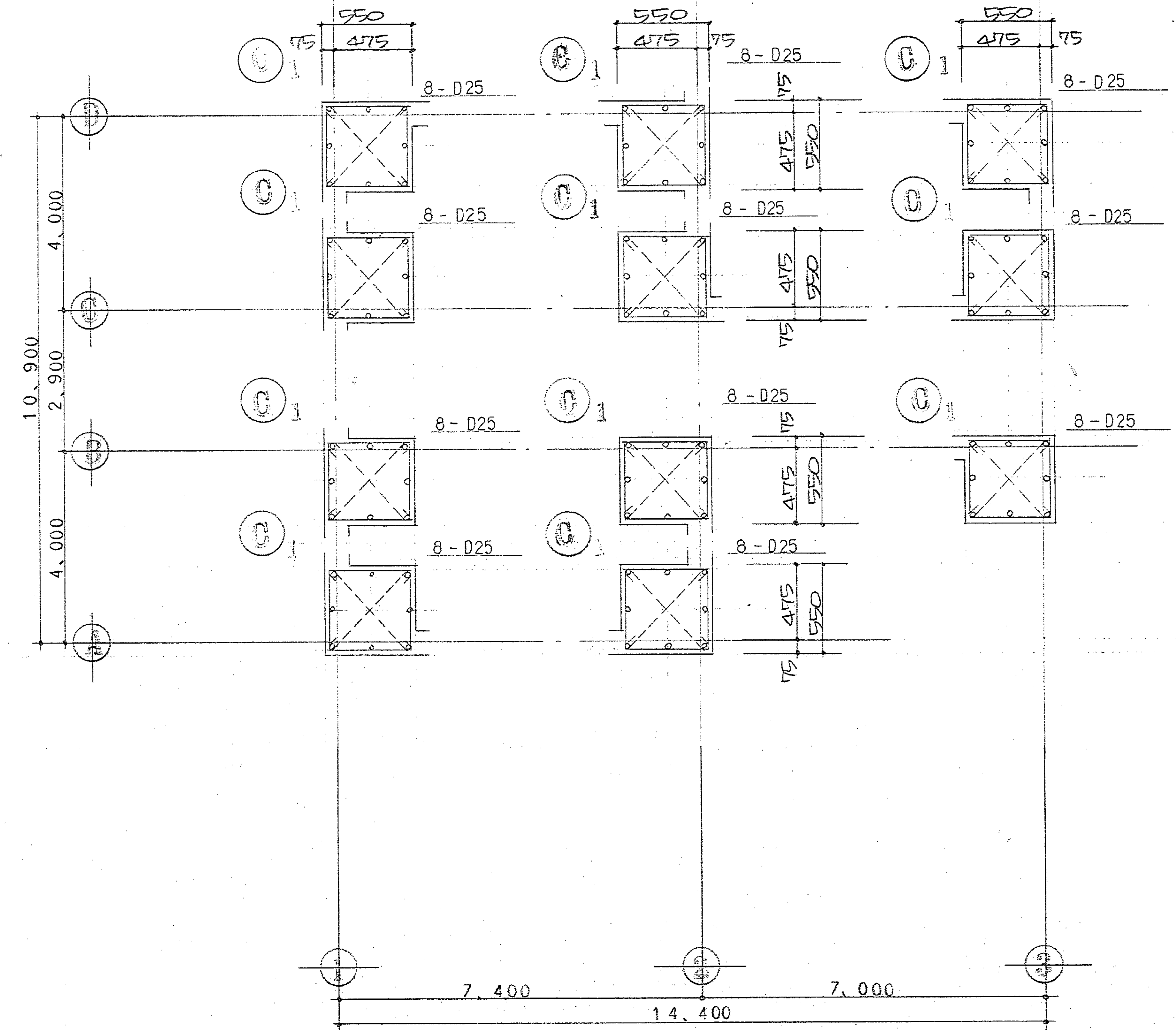
鞍智建築設計事務所
静岡市伝馬町10-14 TEL 55-4049 52-6887

NO. C-9



1 諸柱リスト 1:20 (1:100)

		C1	
断面	→	D13-100 ^φ	
	↑	D13-100 ^φ	
D.H		D10-600 ^φ	



2 諸柱リスト 1:20 (1:100)

		C1	
断面	→	D13-100 ^φ	
	↑	D13-100 ^φ	
D.H		D10-600 ^φ	

マイクログラフ 年度
121-11735

NO

工事名

昭和63年度 動物愛護館建築工事

図名

各 柱 リ ス ト 1:20 (1:100)

D.by

C.by

DATE

1級建築士事務所登録()1869
1級建築士登録 45165
鞍 智 勝 利

鞍智建築設計事務所
静岡市伝馬町10-14 TEL 55-4049 52-6887

NO

C-10

縦 窓
巾止め D10
D10-600@

梁 リ ス ト

1:30

		G ₁		G ₂		B ₁		WG ₁	WG ₂
		端部	中央	端部	中央	端部	中央	中央	中央
1	形状								
	b x D	400 x 700		400 x 500		300 x 400			
	上端筋	3 - D25	2 - D25	3 - D25	2 - D25	3-D19	3-D19		
	下端筋	2 - D25	2 - D25	2 - D25	2 - D25	3-D19	3-D19		
φ . t	D13 - 200@		D13 - 200@		D10 - 200@				
2	形状								
	b x D	400 x 700		400 x 500		300 x 400		180 x 500	300 x 500
	上端筋	5 - D25	3 - D25	5 - D25	3 - D25	3-D19	3-D19	2 - D16	3 - D22
	下端筋	3 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D25	3-D19	3-D19	2 - D16	3 - D22
	φ . t	D13 - 200@		D13 - 200@		D10 - 200@		D10-200@	D10-200@

マイクログラム 年度

121-11736

NO

工事名

昭和63年度 動物愛護館建築工事

図 名

梁 リ ス ト

1:30

D.by

C.by

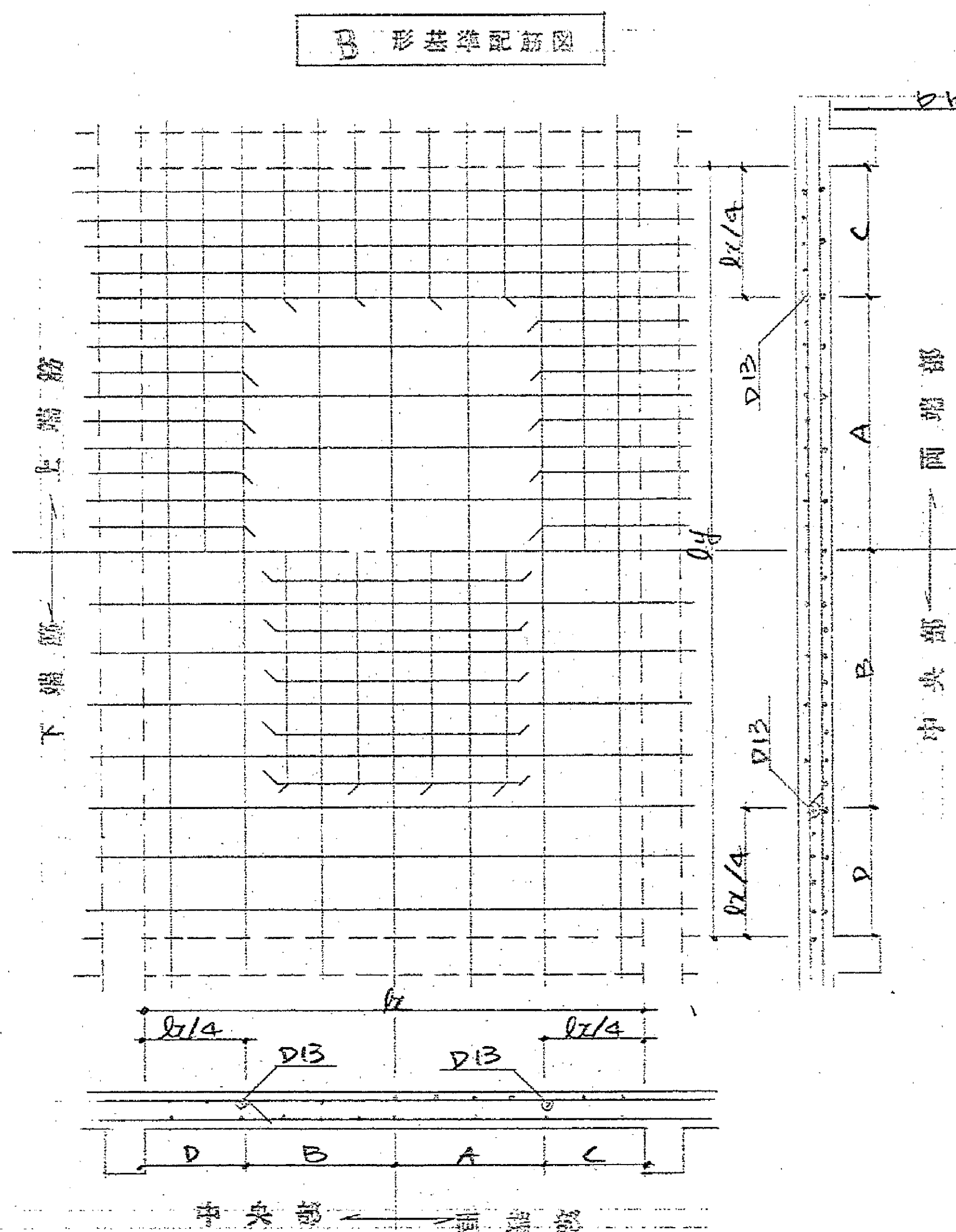
DATE

1級建築士事務所登録()1869
1級建築士登録 45165
鞍 智 勝 利

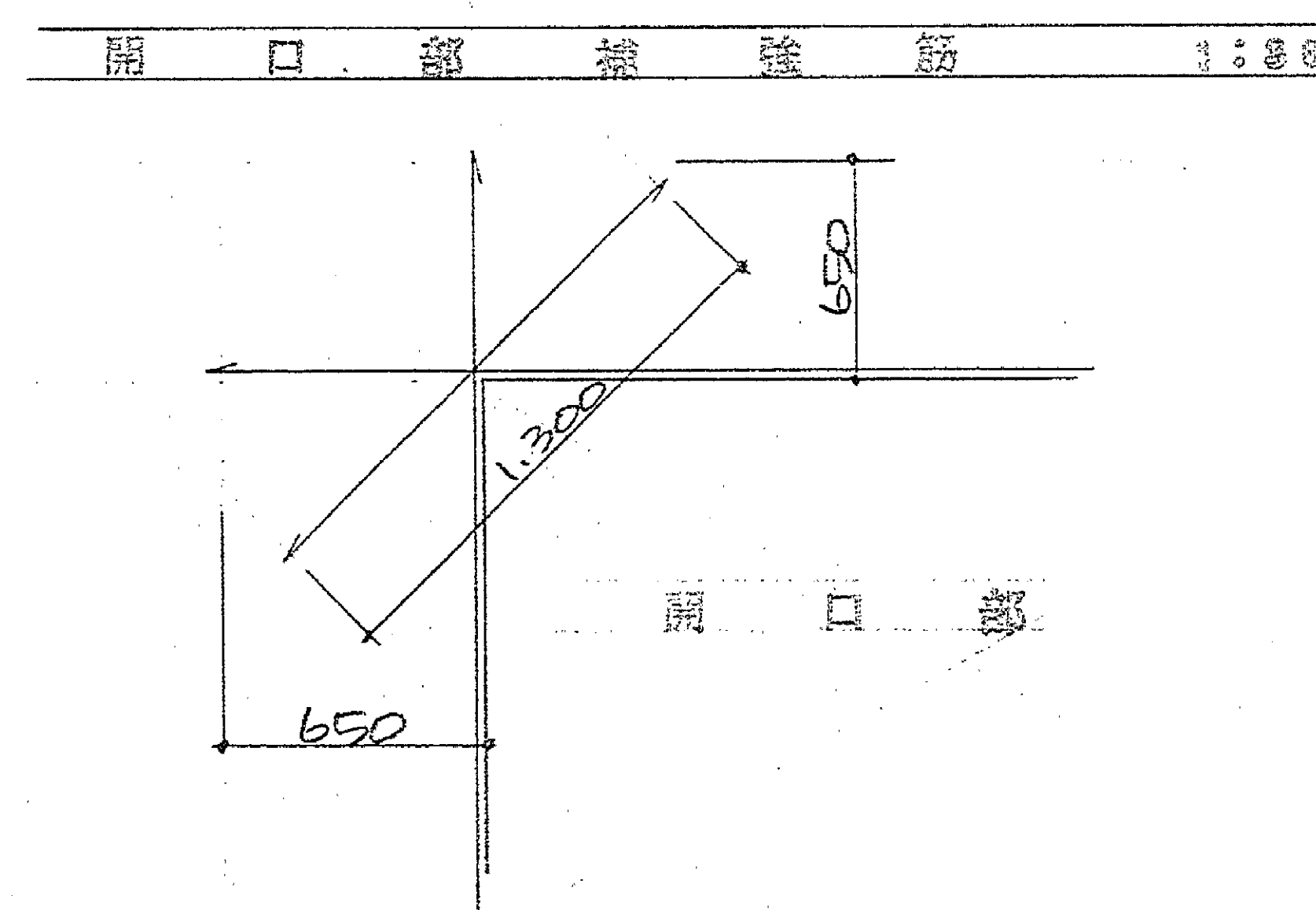
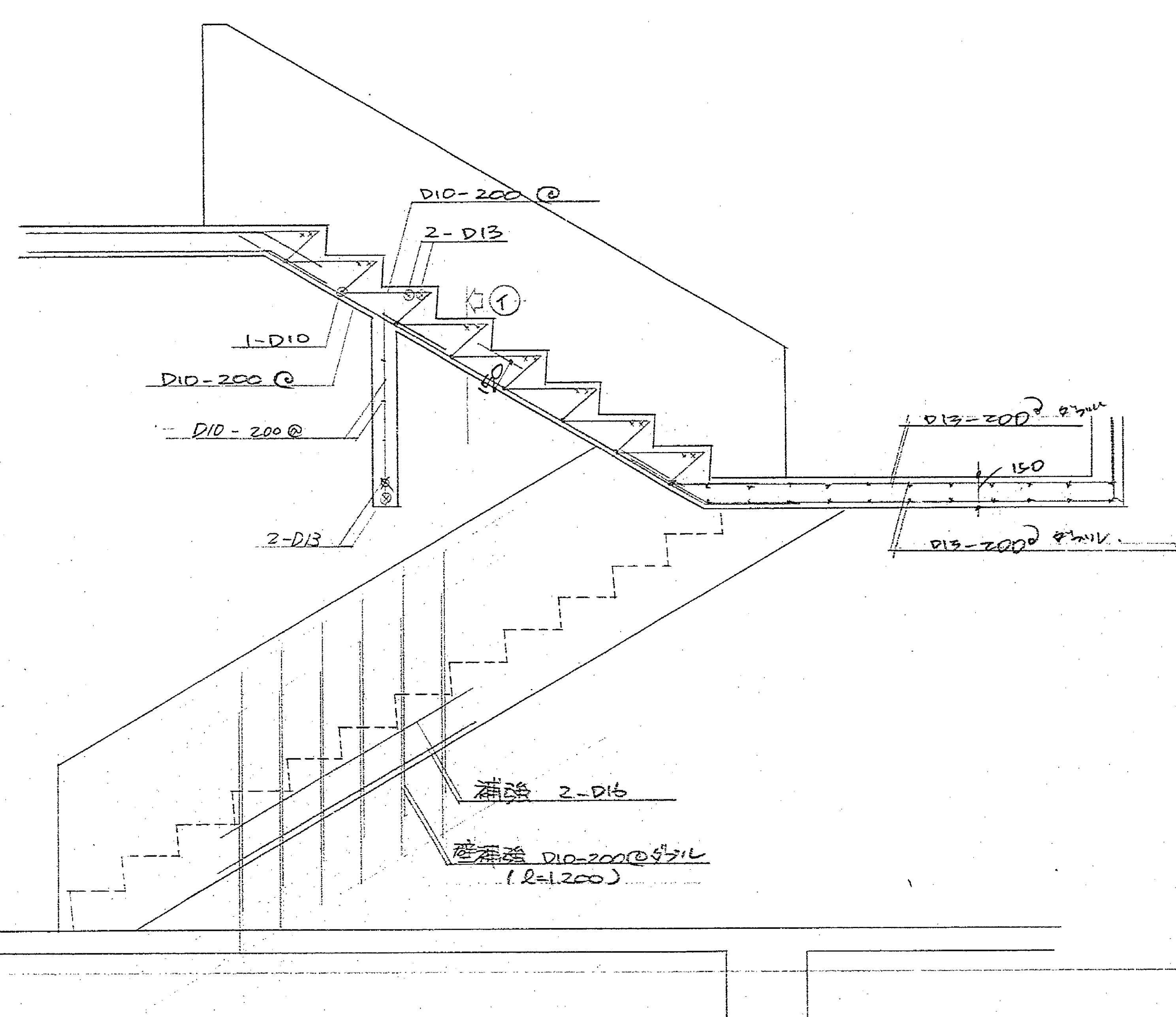
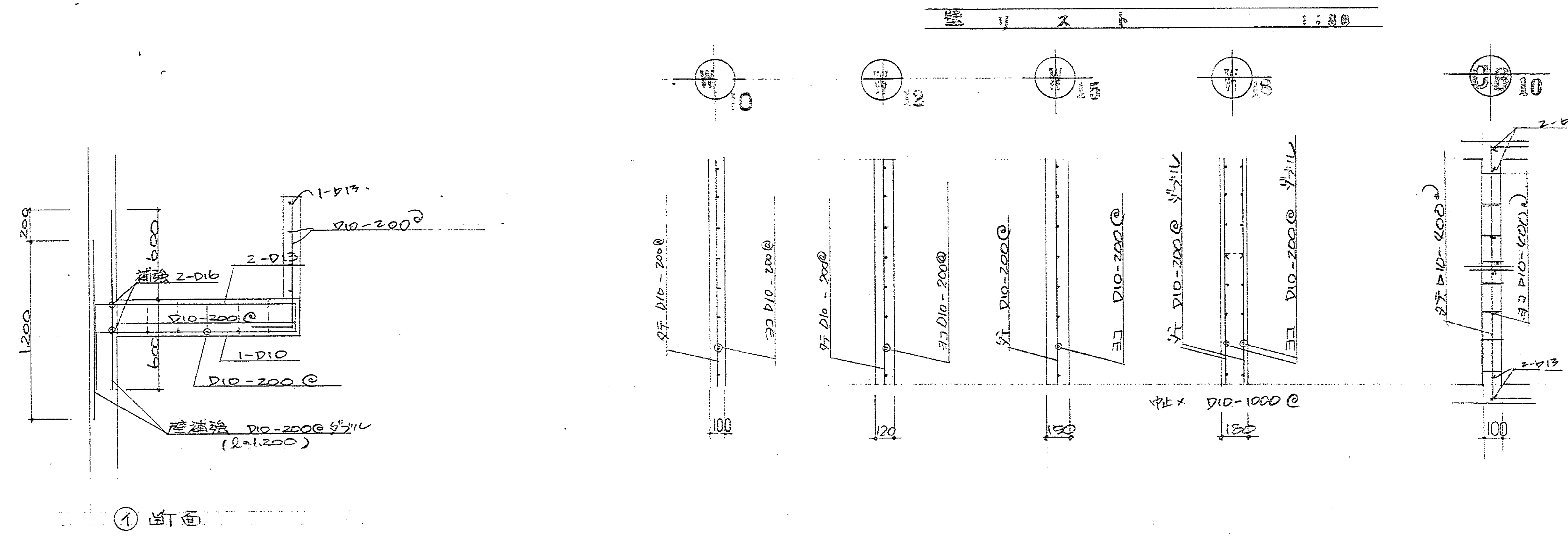
鞍 智 建 築 設 計 事 務 所
静岡市伝馬町10-14 TEL 55-4049 52-6887

NO

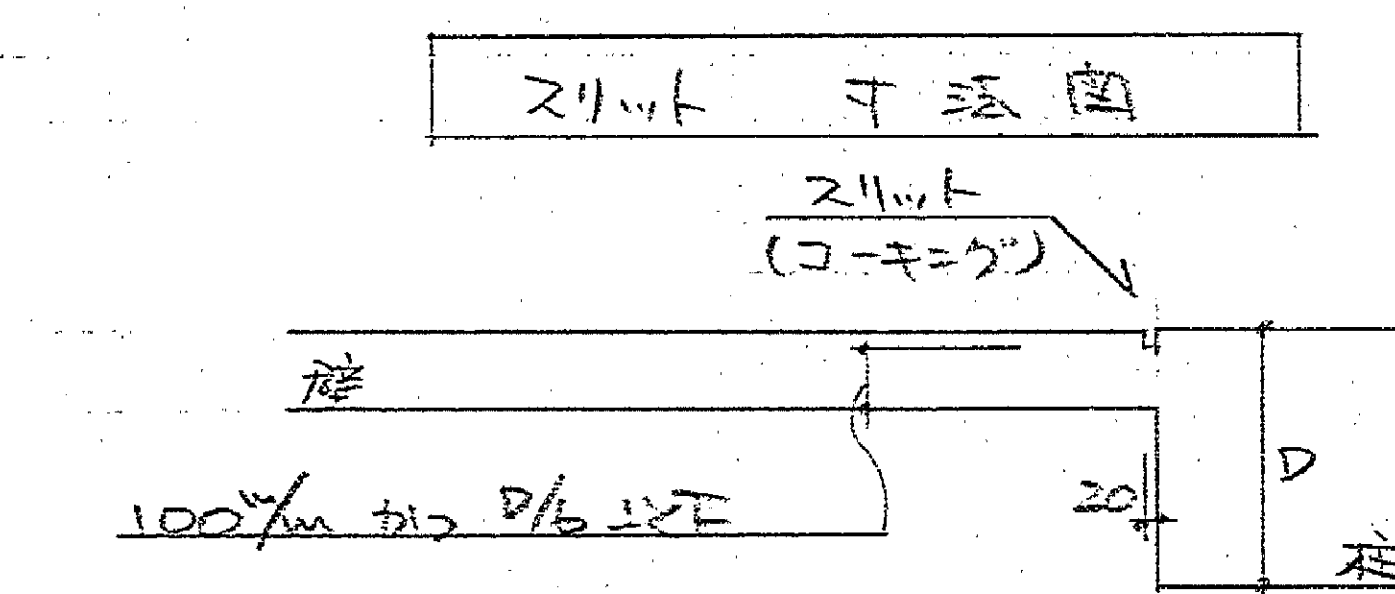
C-11



图形推理



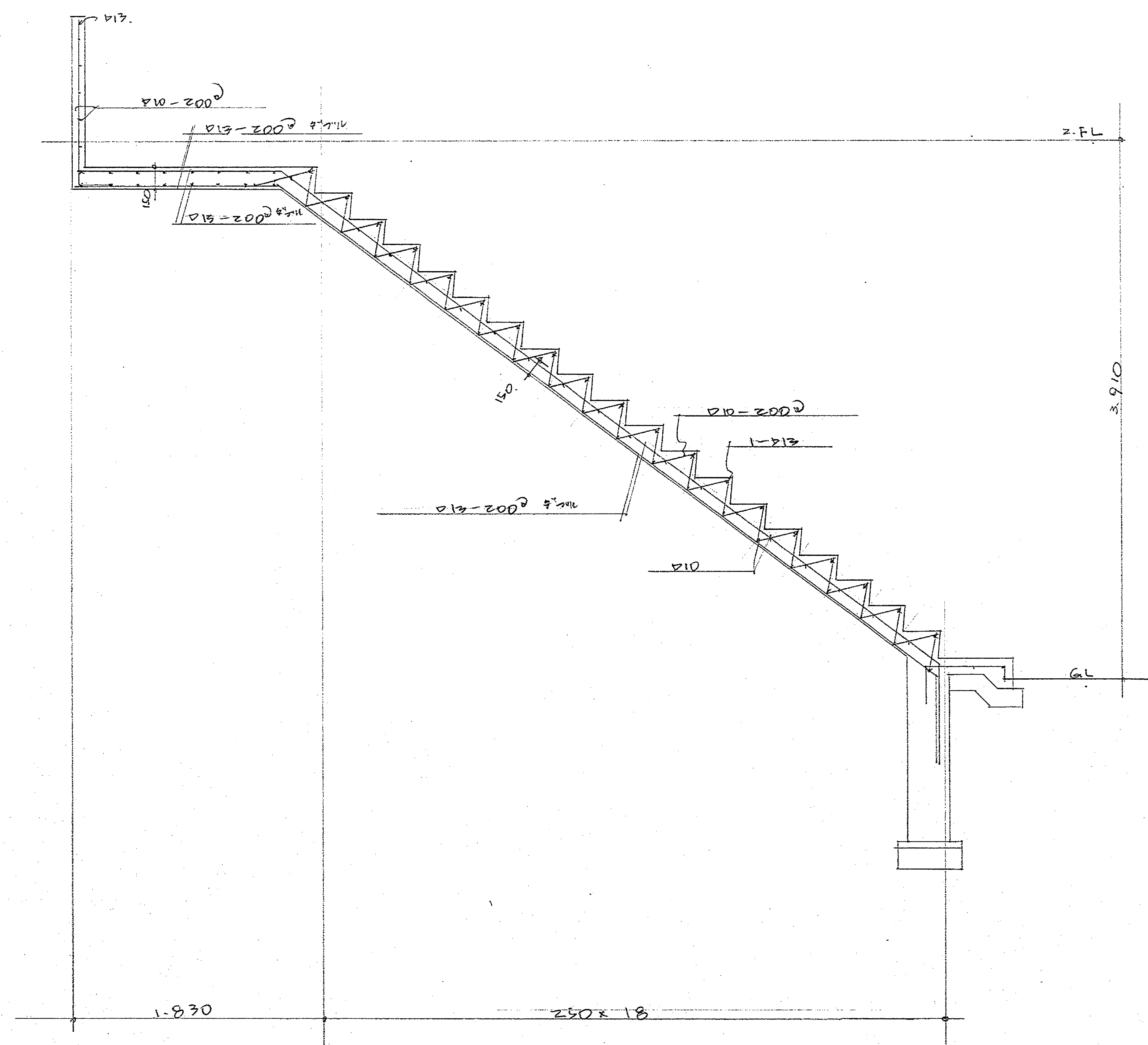
	厚	引 込 寸 法
スラブ	120	各 2-D13
壁	120	各 2-D13
	150	各 2-D13
	180	各 2-D16



耐震スリット：スリットソフト+ホルダー II型 (此仕様要経理)

階段配筋詳細図 1:20

マイクログラフ
121-11738



外階段配筋詳細図 0:30

マイクログラフ
121-11739

マイクログラム
121-11740

NO
昭和63年度 動物愛護館建築工事

工事名
昭和63年度 動物愛護館建築工事

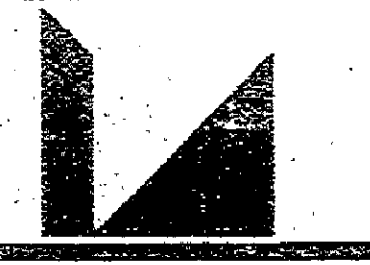
図名
② 通架構造配筋詳細図

D.by

C.by

DATE

1級建築士事務所登録()1869
1級建築士登録 45165
鞍智 勝利



鞍智建築設計事務所
静岡市伝馬町10-14 TEL 55-4049 52-6887

NO
C-15

